

寶文齋

1



書	雜	
數冊	分記	號冊
一	一	一
		二
學校	縣中	滋賀

童女筌

文部省印行

七
湯
土
志



明治九年七月

童女笈

文部省印行

彦根立校
印章

童女笠

此書原本英文ヲ以テ記セルモノニレテ其名チ「ゲアルス、パウ
ン、ブック」ト云フ英人「エル、ファレンタイン」女氏ノ編修ニ係リ
西曆一千八百七十三年龍動ニ於テ發兌セシ所ナリ和蘭人「フ
アン、カステール」氏來テ我國ニ寓スルコト久シ其英語ヲ解シ
兼テ國語ニ通スル故テ以テ囑シテ此書ヲ譯セシム譯成ルニ
及テ刻シテ以テ兒女ノ爲メニス

大井鎌吉 識

明治八年十一月

彦根立校
印章

童女筌原序

人ノ父母タルモノニ申呈スル所ナリ

此小冊子ハ讀者ノ爲ニ有益ニシテ且興趣アル書ト做サン
コトヲ希望シ専心懇切ニ之ヲ編輯スル所ナリ然トモ余ハ唯
余カ一己ノ意見ト經驗トニ任セテ記載シタルヲ以テ其中尙
許多ノ遺漏錯謬アルヲ免カレズ

余固ヨリ此冊子ヲ以テ大方ノ衆人ヲシテ悉皆喜バシムルコ
ト能ハズ然リ而シテ終ニ小説中ノ老人ノ如ク一個ノ人ヲモ

喜バシムル能ハズシテ己マントス小説ニ昔一老人アリ其兒

子ト俱ニ行クニ驢馬ヲ牽ケリ老人自ラ乗レバ之ヲ觀ル者云ヘク其子ニ不慈ナリト

其子ヲ乘スレバ人又云フ少年驢シテ老翁ノ歩行スベキ義理
無シト即テ終ニ衆人ヲ悉ク喜バシムルコト能ハズト此書

ヲ聞スル者或ハ遊戯ヲ説クコトノ甚タ冗長ナルヲ辯破セン
 トシ或ハ縫綴編組ノ方法ニ於テ嘲笑スル者有ルベシ或ハ此
 冊子中ニ快話ナル運動ヲ行フベキ意ヲ數々慫慂スルヲ以テ其
 兒女ヲシテ粗暴放恣ニ陷ラシムルコトヲ誹謗スル者アリ或
 ハ威儀禮貌ノ事ニ關シ論説スル所過多ナリト做ス者有ルベ
 シ或ハ此等諸説ヲ陳腐ナル啞謎ト稱スル者アリ或ハ之ヲ目
 シテ捕風捉影ノ愚論ト爲ス者アリ此外或ハ瘦詞ヲ悉ク廢棄
 セント欲スル者有ラントス然トモ余素ヨリ此種々ノ批評ヲ
 受クルコトヲ免カレザルヲ識レリ故ニ此ノ如キ非難辯駁余
 カ目前ニ重疊來集ストイヘトモ毫モ之ヲ疑懼スルコト無ク
 獨甘ンシテ余カ所思ヲ陳述セントス

凡ソ此一世界ニ在テ人々ノ榮枯得失定限無ケレバ彼ノ童女
 輩ハ先ツ如何シテ人間ニ利益スル所アルベキヤヲ學知セザ
 ルベカラズ且浩漠タル藝林中ニ生立スル人ハ必ス悉皆其身
 ナ改良シテ至高ノ地位ニ達センコトヲ求ムベシ而シテ人民
 ノ自由ヲ得タル此國ニ於テハ巧妙ナル技藝ト精良ナル意匠
 ト及ヒ作法ニ威儀アルトヲ學習セント欲スルトキハ他ノ貴
 重ニシテ簡要ナル義務ヲ行フノ間ニ在テ勉勵修成スヘキ許
 多ノ時間無キニ非ズ又各國共ニ實ニ其娘子輩ヲシテ卑賤ナ
 ル職事ニ於テモ能ク其義務ヲ完了スルコトヲ得セシメ又高
 尚ナル地位ニ在テモ之ヲ益々高貴盛大ニスルニ適セシメ
 ンガ爲メ善ク教育スルコトハ甚タ緊要ナリ是乃余カ此童女

筌中ニ女兒輩百般ノ事業ニ就テ必ス其一ニテ詳説シ集成シ
 テ記載スル所以ノ旨趣ナリ
 故ニ今若シ斯書ニシテ人ノ之ヲ購求スルモノ夥多ナルニ至
 ルコトアラシニハ必ス是レ刊行人ノ大量ナルト使用セシ所
 ノ畫工ノ練熟且良善ナル意匠トニ由テ然ルモノナリ
 余カ此小冊子ヲ作ルニ就テ盡心竭力セシモ世人ノ愛顧ヲ受
 ルニ過スト云フ者アリ然トモ余實ニ之ヲ信スルコト能ハズ
 唯此冊子中ニ於テ人心ヲシテ敗壞誘惑セシムル等ノ弊事ハ
 一點モ有ザルコトハ確然保證セリ

「リヂヤ、メライヤ、チャイルド」

重訂新刻童女筌序

英國及ヒ亞米利加ニ於テ幾千万ノ人民此ノ童女筌ヨリシテ
 其子ノ爲メニ無窮ノ悅樂ヲ發生シ又其子ノ做スベキ事務ニ
 於テ裨益スル所アルコトヲ知道シ了レリ而シテ今人喜ンテ
 記憶シ深ク尊崇スル所ノ此冊子ハ再ヒ少女輩ニ贈呈スルノ
 一具ト做スニ至レリ然ルニ此少女輩ハ則テ始メテ此書ヲ刊
 行セシ時ニ之ヲ捧讀シタルモノ、子孫タリ是故ニ其父祖ノ
 嘗テ讀ミシ所ノ書タルヲ以テ殊ニ少女輩ノ意思ニ感動スベ
 キ所以ノモノアリ是ニ由テ既ニ陳腐ナル冊子ト雖トモ復之
 ナ開彫セント欲スルノ念ヲ發起セシムルニ至ルヘシ然トモ
 従前筆記スル所ハ彼ノ陳腐ニ属スルノ條款少ナカラズ是テ

以テ刊行者更ニ之ヲシテ時勢開化ノ度ニ適スル有益ノ新著述ヲラシメシムコトヲ願慮シ増刪改正ノ業ヲ以テ專ラ當今ノ作者ニ委任シ以テ此新刻ノ童女筌ヲシテ舊來ノ聲譽ヲ失ハザラシメシムコトヲ欲ス

此書中遊戯ノ諸篇ニ於テハ一モ増損スル所無シ蓋シ祖先ノ此方法ニ從ヒ遊戯セシモノニシテ毫モ弊害アルコト無ク且歲月ヲ經ト雖トモ此方法ノミ依然トシテ陳腐ニ至ラザルヲ以テナリ或ハ有益ナル謎辭若シタハ詠詠ノ新奇ナルモノ及ヒ隱語等ヲ増加セシ所アリ又舞蹈ノ篇ハ再ヒ改訂シテ之ヲ筆記シ會話態度圖畫音樂及ヒ時ノ用法等ノ篇ニ於テハ唯其條款ヲ増加スルノミ而シテ妙齡ナル貴女輩ノ園丁タルモノ

ノ教訓ハ一人ノ穎敏ニシテ好テ此ノ術ニ從事スル園丁ニ賴テ之ヲ増補スルコトヲ得タリ又縫裁ノ手工機關ノ手工及ヒ修補スルコト毛綿ノ手工並ニ繡飾スルコト鈎ヲ以テ網ヲ造ルコト補綴ノ手工記號ヲ作ルコト網羅ヲ作ルコト莫大小ノ編物ヲ製スルコト及ヒ小線帶ヲ製スル等ノコトニ開涉スル諸條款ハ特ニ今般ノ再刻ニ就テ陳述スル所ノモノナリ而シテ能ク之ヲ解明スベキガ爲メニ新タニ復許多ノ圖畫ヲ加ヘ又歌唱スル鳥及ヒ談話スル鳥ニ關係スル所ノ教誡ハ家禽ヲ養フコトヲ樂ムモノ、爲メニ必ズ有用ナルベシ且少年輩ノ學知スベキ本草物産學ノ大體モ亦少許ノ増補ヲ做セリ是ヲ以テ余ガ園中ノ妙齡ナル貴女輩ノ爲メニ尙ホ愛顧セツルベ

キ所ノ舊來ノ書價ヲ増シ而シテ此ノ故版ノ書ト一般ニ行ハ
レテ明確眞實ニ切要タル童女笠ノ稱號ニ適當センコトヲ期
望スルナリ

童女笠二序 畢

童女笠卷一目次

胡蝶及ヒ諸花

鳳仙花ノ説話

螟蛉ノ説話

紫花地丁ノ説話

蜜蜂ノ説話

賣函ノ遊戯

字母ノ順序ニ隨テ祝賀ノ詞

赤帽君

「モガル」大帝ハ其身安靜ヲ好マズ

巴里府ノ街聲

以樂默示

知識ヲ試ミルノ謎詞

屋隅戯ノ猫兒

賣鳥者

俳優戯ノ俗人伴

飛去レ鶉鳩

吹揚ケ羽毛

牛脚

牛脚商

避七數

雞籠ノ戯

美人何處ニカ在ル

握レ放セ

「グランドモフナー」ガ彼此ノ語

旋轉無聲靴

某女帝ノ隊伍

審官陪審官

沈黙將

鳥巢ヲ買ハンカ

狼及ヒ牧羊者

栗鼠ヲ嚙ル

花環童女

捉第三人

洗衣

捉迷藏

擬盲人

認影射名

擬替指人

隱藏シテ搜索ス

支那ノ繪影

抵抗力

是所ニ焙リ是所ニ醸ス

汝ハ鵝鳥ナラザルヲ得ズ

智恵ノ牆壁

獨樂

菓拔キ

餅搗ケ餅搗ケ

射奇偶

碗ノ砂

櫻子

鵝鳥形

影戲ノ狐兔

飛去レ雀鴉

指踊戲

銀錢響

弄闕

擬家具

擬學校

交綫戲

言不得

木偶人

偶人ノ家居

五女子爭球

指ハ幾何

開牌藏瞭

「ミストル、ポープ」及ヒ其少女

蜂蜜壺

棍擲竿

匏面及ヒ乾酪

何ノ商業ヲ最モ愛スルカ

打紙袋

帝及ヒ扇從

老狐牝雞及ヒ雞

皮箱

肥タル美牝雞及ヒ九羽ノ鳥

帝及ヒ皇妃

荷蘭國ノ偶人

輕氣鞠球

農人及ヒ工人等

倫敦府中ノ寺鐘

普魯西ノ操練

處女ノ粧飾

家内ノ裝置

慈婦人ノ祝詞

旅人

修業者ノ徒弟

「ナツタルゴッブ」

余ノ想像ハ如何ナル者ノ如キカ

律法師

物質ノ元素

隱語

一語幾多ノ詞ヲ做ス

暗號

「才」ヲ忘ルベカラス

商客

茶檯

啞講師

我處女ノ粧飾

裁縫匠ノ針通

第一第二第三

緣故

字母戲余ハ其愛スベキヲ愛ス

戀慕神

贖罪ノ具ヲ賣ル

仙人跳舞

運轉女

塞子樹或ハ樹心製ノ跳舞偶

開牌戲

類象戲

狐鵝戲

獨樂戲

三千乘戲

教誡遊戲

歷史戲

地理遊戲

教育遊具

音樂遊具

暗記戲

王ノ圖

佛語ノ暗誦戲

著名數戲

伶俐教師

「クローケー」

優美

盃及球

日耳曼球

弓及箭

「カリスゼニックス」

手臂轉形ノ運動

地上ヲ指スコト

幽靈

踏歩

輕仗運動

地平ノ横木

三角

前面ニ屈曲スルコト

後面ニ屈曲スルコト

胸肋ヲ張擴スルコト

踏舞

習慣

會話

「ブッザルス」「リッテルス」及ヒ「シャワードス」

「エグニマニ」

「シヤラーイ」

「レボセス」 「ブツヂルス」 「コノドラマ」

「レボス」

盛儀

「リッデルス」

「ロゴクリヒ」

「アナグラムス」

數學ノ「ブツヂルス」

算數妖術

「コノンドラム」

「シヤラーイ、イン、アクション」

戲場第二款

農家景況

同 第三款

全體

史談活戲

生畫

針工

縫機

縫補

「ベルリンウォルク」

「エグニマス」

「シャワードス」

「レボセス」「プッデルス」「コノヤマム」

「レボス」

盛饌

「リップデルス」

「ロゴクリヒ」

「アナグラムス」

數學ノ「プッザルス」

算數妖術

「コノンドラム」

「シャワード、イン、アクション」

戲場第二款

農家景況

同 第三款

全體

史談活戲

生畫

針工

縫機

縫補

「ベルリンウォルク」

縫繡

「クロシユール」

「パフナウオルク」飾絹工

「マルキング」記號縫

「ニツナング」編製

童女笈卷之一目次畢

童女笈卷一

和蘭 ファンカステール 譯

諸遊戲

○胡蝶及ヒ諸花 共ニ遊戯ノ名號ナリ

佛蘭西國ニ於テ大ニ愛スル所ノ雅遊ヲ此織小嬉戲ト爲ス凡

ソ此遊戯ニ社ヲ結ブ者ハ各個諸草花或ハ羽蟲ノ 又昆蟲トモ云フ

ハ四翼六足等蟲類ノ總名ナリ 名稱ヲ取り以テ其者ノ名號ト做シ名號既ニ

定マリテ後此戲技ヲ始メシム乃チ其社中ヨリ一人ヲ撰ヒ出

シ之ヲ號シテ胡蝶ト呼做ス而シテ此遊戯ノ如キハ大小童男

女等或ハ唯童女ノミ喜テ之ヲ做スアリ若シ少壯ノ男子或ハ

第一圖 胡蝶及諸花



童男ノ此戲ヲ爲スコトアラバ羽蟲ノ名ヲ取り以テ其黨ヲ結ブベシ妙齡ノ處女及ヒ孩兒女ノ如キハ多ク各種ノ草花ヲ以テ其徒ノ號トス偶々童女ノミ合集シテ嬉戲ヲ做スニ當リ其夥半ノ相互ニ混雜スルヲ別タシニハ童女中羽蟲ノ名ヲ取レル者ヲシテ悉ク一方ニ並立セシメ其花號ヲ占メタル者ヲ他ノ一方ニ配列シテ其狀半環形ノ如クス是切要ニシテ欠クベカラザル事トス而シテ彼ノ前ニ擇ハレテ胡蝶ト成リシ者ノ如キハ此環形ノ中央ニ在ルベシ此遊戲ニ關涉スル所ノ規則八

條アリ是皆注意シテ遵守セザルベカラザル者ナリ

第一則

若シ童男有テ此戲ニ管スルトキハ必ス童男ヲ以テ羽蟲黨ト做スベシ而シテ童女ハ即チ花黨ト呼做スベキナリ

第二則

凡ソ其黨中ニ於テ既ニ確定セシ所ノ花名若クハ蟲名ニ非テルヨリハ更ニ別ノ花名蟲名ヲ呼テ說話スルヲ許サズ假令ヘハ茲ニ六個ノ童女アリテ此嬉戲ヲ做サント欲セバ即チ第一童女ヲ號シテ百合花トシ第二ヲ鳳仙花トシ第三ヲ紫花地丁トシ第四ヲ石竹トシ第五ヲ雛菊トシ而シテ第六ノ童女ヲ水仙花ト定ムベシ而シテ後六人ノ遊戯者ノ如キ必ズ一箇薇ノ

名ヲ舉ケテ稱呼スルコト勿カルベシ苟モ之ヲ犯ス者アレハ必ズ其罰ヲ受ケザルコトヲ得ズ蓋シ其薔薇花ヲ以テ己ノ名トシ之レニ代リシモノ一童女モ無ケレバナリ又其他ノ一方ノ六童女ノ如キハ名稱各異ナリ第一ヲ螟蛉ト呼ビ第二ヲ細腰蜂トシ第三ヲ蜻蜓トシ第四ヲ蜜蜂トシ第五ヲ蠶トシ而シテ第六ナル者ヲ獨角仙即チ甲蟲ト號ス斯ノ如ク一定セシテ顧念セス偶々蚊ノ名稱ヲ呼ビ說話スル者アレバ則チ何人タルヲ論セス其犯則ノ罪ヲ蒙ラザルベカラズ

第三則

一花若クハ一蟲ノ名號ノ如キ決シテ二次之ヲ說話スルコトヲ許サズ

第四則

園丁ト云フ詞ヲ萬一言出スコトアレバ渾テ童女ノ花ニ代リシ者各其右手ヲ扞キ伸スベシ是諸花ノ辨チ開ク形容及ヒ園丁ノ齋來レル所ノ快活清涼ノ水ヲ悦喜スルノ色相ヲ示ス爲メナリ花ニ代リシ者トハ即チ花ノ名ヲ以テ其号トセシ者ヲ云フ下條蟲ニ代リシ者ト云フモ同義ナリ以下皆之ニ倣然ルニ童女ノ總テ羽蟲ノ名ヲ以テスル所ノ者ニ至テハ其諸花ノ名ヲ以テシモノトハ相反シテ園丁ノ近ヅクヲ見テ恐怖畏縮スルノ狀ヲ見ハスガ爲メ悉ク皆跳上リテ而シテ少シク後ヘニ退クコトヲ要スルナリ

第五則

水甕ノ話ヲ舉ケテ話ストキハ草花ノ者花黨ヲ云ナリハ都テ起立シ

六
テ其頭ヲ昂クルコトヲ要ス其狀恰モ甕中ノ水ヲ仰テ渴望ス
ルカ如キヲ做スガ爲メナリ然ルニ羽蟲ノ者蟲黨ヲハ各其膝
下ニ屈伏シテ其頭ヲ低ルヽコトヲ要ス是水ノ中ニ淹溺セラ
レンコトヲ恐怖スルノ情態ヲ做スカ爲メナリ

第六則

凡ソ此ノ遊戲ヲ做ス者能ク此ノ下條ノ一事ヲ遵守セザル可
ラズトス即チ「ソ」大陽ト呼聲ヲ發スルトキハ遊戲者悉ク皆
起立スルヲ要ス是恰モ旭日ノ顯出ヲ祝賀スルノ形狀ヲ做ス
カ如ク而シテ花黨并ニ蟲黨ノ如キモ齊シク相共ニ欣喜ノ色
ヲ現ハステ以テス

第七則

遊戯場ノ兒女子各々己ノ名號ヲ聞知スルニ隨ヒ直ニ其說話
ヲ始ムベシ

第八則

第四則第五則第六則中ニ揭示セシ如キ事狀ヲ做シ了テ後遊
戯者各々此等ノ規則ニ隨ヒ再ヒ花名或ハ蟲名ヲ言出ステ待
ツベシ猶細腰蜂ノ例ノ如シ若シ此規則一モ之ヲ犯シ破ルコ
トアルトキハ其黨ノ好ム所ニ任セテ以テ罰罪ヲ被ラシムル
コトヲ得ルナリ

七
茲ニ遊戲ヲ做ス人ノ何事ヲ說話スベキヤヲ確定スル所ノ規
則ニ至テハ一モ豫メ之ヲ設ルコト無シ斯ノ如キ事狀ニ於テ
ハ偏ニ遊人ノ頓智ト熟練トニ屬スルヲ以テナリ凡ソ此遊態

ノ秀逸美麗ヲ增益スルカ如キハ花黨蟲黨ノ者各々能ク其ノ
 己ノ名號ト做ス所ノ花若クハ蟲ノ義ニ就テ云フカ或ハ諸書
 中ヨリ抄録シテ以テ其己ノ性質ノ剛柔精粗ニ能ク適當セル
 所ノモノヲ説話スルヲ以テ頗ル其趣向體裁ヲ善クスル者ナ
 リ余記者云フ者則チ今此遊戲ノ模範トシテ以テ二三ノ文章ヲ舉ケ
 示サン後來此戲場ニ臨ム者アツバ余ハ偏ヘニ少年弟子等之
 ナ讀者ノ自ラ己カ爲メニ豫備格致セン所ノ者ヲ以テ各個ノ
 好趣向ト才智通曉スルトニ任セン
 前條ニ揭示セン規則ニ遵ヒ總テ配列調理シ了ルノ後ニ至リ
 胡蝶始テ其言ヲ發シテ云ク嗚呼美ナル哉斯ノ花ヤ色清潔ニ
 シテ其香馥郁タリ余胡蝶云ク汝ヲ讚頌スルニ何ノ詞ヲ以テ

センカ彼等答告クルニ余常ニ一花ヨリ飛テ一花ニ移リ漂泛
 經歷レテ間斷無キニ因テ余ノ多情輕浮ナルヲ以テス然ドモ
 余カ情實ハ白キ百合花上ニ安臥スル數分時ナランコトヲ想
 望スト此ノ時ニ當テ百合花其己ノ名ヲ呼チ聞キ直ニ胡蝶ヲ
 遮リ止メテ云ク汝ノ巧言詔諛ハ即チ其輕薄虛誕ノ頑癡漢頑癡漢ヲ
 ルヲ示スノ兆ナリ夫レ信實ノ朋友タルモノ其愛情ノ厚キニ
 就テ言フ所ノ詞ハ却テ僅々ナリ今頑愚汝カ如キモノ何等ノ
 才德有テ此花ト相比較スルコトヲ得ンヤ夫レ花ハ單ニ純乎
 タル太陽ノ光線ヲ受クルニ非ザレバ其辨ヲ開クコトヲ做サ
 ズ此ノ時太陽ノ詞アルヲ以テ花蟲悉ク興起ス即チ余汝ノ諛
 辭ヲ聞クヲ厭ヒ甚タ不快ヲ覺ユルコト猶細腰蜂ノ余ヲ螫シ

ヲ以テ嘲弄スルニ異ナラズト是ニ於テ細腰蜂ハ其他ノ者ト
 互ニ起立シテ己ノ名ヲ擧テ說話スルアルヲ待テリ今其名ヲ
 聞キ頓ニ其容ヲ改メテ說話ヲ始ム其詞ニ云ク大凡諸花ノ言
 フ所ヲ以テ之ヲ觀ルニ其己花ヲノ意況ヲ樂マレムル一ニ美
 麗ヲ以テ稱セラル、時ヨリ勝ルハアラズ然ルニ諸花ノ己ニ
 諂諛セラル、ヲ好マザルト云ヒ伴リ嫌フガ如キ詞アルハ其
 意實ハ美麗ヲ以テ稱セラレシコトヲ情願スルナリ若レ其花
 頭ノ如キ熱度ノ爲メニ垂低シ其葉ニ至テハ塵芥ニ蔽ハレ殆
 ト凋萎スル時ニ當リ園丁ノ來ルヲ見バ當ニ大ニ喜ブベキニ
 茲ニ園丁ノ語出ルハ第四ノ規則ヲ見尙且ツ之ヲ嫌忌スルカ如キ狀貌ヲ做
 スハ是諂諛ヲ好メルノ甚レキ明證ナラズヤ這蟲ノ相俱ニ諸

花ノ周圍ニ在テ鳴キ啼ギレモノ園丁ノ齋レ來ル水瓊註ニ水
出ルコトアレバ第五
ノ規則ニ違フベシヲ見テハ恐怖ノ色アルベシ殊ニ短氣ナ
 ル鳳仙花ノ如キハ尤モ其甚レキ者ナリト以上細腰蜂タル者
 ノ説ク所ナリ

○鳳仙花ノ說話

茲ニ鳳仙花細腰蜂ニ對接シテ云ク汝ハ實ニ惡性ノ昆蟲ナル
 哉汝能ク譏刺ヲ做スノミ若レ余ガ爲メニ論ゼバ萬物中ニ在
 テ水ヲ最上ノ愛好物トナス如何トナレバ水ハ余テシテ美麗
 タラレムルノ功ニ於テ必ズ缺クベカラザルコトヲ確知スレ
 ハナリ其群蟲ノ飛避ルカ如キ余ニ於テ何ノ關係スル所カア
 ラン余ハ又何レノ時ヲ問ハズ適意自由ニ蟲類ヲ退散セシム

ルノ術ヲ得タリ若シ之ヲ行ハント欲シ余カ花瓣ヲ開テ誘引
スルアラバ群蟲必ズ競ヒ集ルベシ而シテ既ニ之ヲ厭フニ至
ルトキハ花片ヲ少シク收縮シテ種子ヲ實房中ヨリ放テ出ス
コトヲ得ル是等ノ事ヲ致サバ群蟲ハ直ニ空際ニ分散スベシ
跛行種類ノ地上ニ水ヲ灌ケバ之ガ爲メニ漂泛セラル、如キ
者ヲ余ハ友トシ結デ同伴ト成ランコトヲ要スト汝細腰蜂認
識スルコトアワン譬ヘバ螟蛉ノ如キヲ懶惰ナルモノト思ヘ
ルカ以上鳳仙花ノ説ク所ナリ

夫レ「バルサマイン」即ハ鳳仙花ノ「シードウ」エスセル實粒ヲ含有ス
ノ如キハ一蟲偶々其上ニ止ルアルトキハ忽チ破裂スルモノ
タリ

○螟蛉ノ説話

夫レ羽蟲族中ニ在テ汝鳳仙花ヲ驚歎スルコト何等ノ故アル
ナ以テスルカ余螟蛉ヲハ全ク認識スル能ハザル所ナリ汝ハ
虚飾ノ一妖婦故ハ男稱ヲ以テシテ花ハ女稱ヲ以テスルガ如シ
ルベニシテ其性甚ダ急促汝一點子モ芬芳ノ香氣ヲ帶ル無ク
又汝ノ外ニ多ク在ル所ノ諸花ノ美麗ニ比較スレバ其半ニモ
及ハズ余今發怒ニ乗シテ斯ク粗暴ノ詞ヲ費スニアラス余カ
言フ所ノモノ悉皆眞實無妄ナレバナリ余ハ毫モ汝等ノ美麗
ニ媚ビズ又汝等ノ惠恤ヲ要セズ余ノ跛行スルヤ最モ愛スル
所ノ地ヲ緩歩シテ謙遜ノ狀ヲ見ハス茲ニ一小花アリ此ノ香
氣ヲ呼吸シ得ベキ所ト爲スナリ蟲類何ゾ汝ノ如キ虚飾ノ

妖婦ヲ以テ愛スベク味フベク且ツ驚愕恐怖スベキ者ト做ス
 アナンヤ余ニ語レ小ト雖トモ智ニシテ且ツ謙遜ナル紫花地
 丁ト以上蜈蚣ノ説ク所ナリ

○紫花地丁ノ説話

紫花地丁之レニ謂テ云ク夫ノ蟲類タル者ノ如キ眞實ノ愛心
 ノ何ニモノ爲ルヲ能ク辨識スルアラバ敢テ花中ノ最モ光彩
 ニ且艶美ナル者ヲ求メザルベシ凡ソ信實戀愛スル情致ハ其
 外貌ヲ論セズ人ノ信ズ可ヲザル所ニ存スベシ喋々多辨之ヲ
 説クベキモノニ非ズ然レドモ虚飾ト稱スルハ信實無クシテ
 虚無ヨリ結構セルモノナリ夫レ蟲類タル者ノ見ル所ハ上帝
 ノ功德ヨリモ尙世ノ名譽ヲ喜ブノ情甚タ深カラシ然ルニ彼

ノ蜜蜂ノ如キハ種ノテ奔忙ニシテ且ツ智慧アル者カト以上
 紫花地丁ノ説ク所ナリ

○蜜蜂ノ説話

蜜蜂トナル者ノ言フベキ所ハ余既ニ此ノ遊戯ノコトヲ解明
 セン爲ノ數例ヲ以テ上ニ示セリ故ニ今此ノ蜜蜂ニ就テ何等
 ノ説話ヲ做サンコト唯幼童讀者ノ意ニ任センノミ

附言此ノ遊戯ノ童女ニ有益トスル所ノモノハ博ク草花羽
 蟲ノ名ト其原質トヲ知ラシムルニ在リ兒輩此ノ遊技ヲ奏
 セント欲スル者ハ豫メ諸花群蟲ノ名性ヲ會得シ相對シテ
 談話スルノ趣向ヲ玩味講究シ置クベキナリ

○賣函ノ遊戯

此遊戲ハ英語ヲ學ブ童女等ノ爲メニ有益ノ技倆ニシテ頗ル
 雅致アルモノナリ
 其設爲ノ法タル汝等童女ヲ指環坐シテ先一人起立シ盤若ク
 ハ函等ノ物品ヲ納ルベキ物ヲ此實ニ其器具ヲ採用スルニ非
 唯假リニ詞ヲ設クルノミ
 隣坐ノ人ニ授ケ與ヘテ余此ボツクス函即ヲ汝ニ賣ルト云フベ
 シ之ヲ受クル所ノ人云ク此レニ何物ヲ納ルベキヤ
 授ケタル者ノ云ク此ニフオツクスヲ納ルベシト
 又鄰坐ニ之ヲ傳與シ即チ云フ余汝ニボツクスヲ賣ルト隣坐
 ノ受手即チ云ク此レニ何ヲ入ルベキヤ
 授手云クエベン即
 是ニ於テ遊戲隊長命シテ贖罪センメント云フ授手ノエベン

ト云レモノ即チ云ク何ノ故テ以テ贖罪スベキヤ
 遊戲隊長云ク夫レエベント云ヘル語ハボツクスト其語尾ノ
 連綴異ナルヲ以テノ故ナリ汝常ニ心ヲ留メテ語尾ノ同音ナ
 ルモノヲ選テ云フエベン即チフオツクス即オツクス即等ノ類
 ナリ
 附音囊函等ニ限ラズ何物ニテモ其賣ラント欲スル者ヲ定
 ム其語尾ト同音ノ語ヲ言出スベキナリ
 ○字母ノ順序ニ隨テ祝賀ノ詞日本ノイハ
 茲ニ一童女アリ其同伴ニ謂テ云ク余ハ汝ヲ愛ス如何トナレ
 ンイ汝イツクレムニベキ情實アルヲ以テナリロ汝モ愛スベシ
 如何トナレロクヲ賜ハルト聞ケバナリハ汝モ亦愛スベシ

「ハナヤカ」ナル容色ヲ持テリ「ニ」汝「ニ」シキ「ノ」裝飾ヲ做セルヲ以テ亦然リ「ホ」汝「ホ」ソ「コ」シ「ニ」牡丹鈕ヲレノ勉勞スルヲ以テ最モ愛スルニ足レリ「ヘ」汝モ亦甚タ愛スベシ如何トナレバ「ヘ」リクダル「コ」トノ評判宜シキ故ナリト以上一童女ノ詞斯ノ如クシテイロハノ結末ノ字ニ至ルマテ漸次ニ進ムナリ然ルニ「シ」ノ字ハ素ヨリ脱落セリ其故ハ英語ノ如キ一モ「シ」字ヲ以テ其首ニ加ヘテ綴ラザレバナリ而シテ其脱落セル所ノ字或ハ陳述セシ所ノ緣由概ホ左ノ義アリ凡ソ綴字ノ頭ニ置ク所ノモノニ至テハ相對シテ說話スル人ノ名ノ頭字ヲ以テ始ムベシ若シ之ヲ誤ルトキハ其罰ヲ蒙ル

○赤帽君

衆童女ノ着用シタル帽子ノ色ヲ取テ以テ其名ト呼做ス即チ赤帽君藍帽君黃帽君綠帽君等ノ如キ是レナリ而シテ各々手巾ヲ其身ニ擲投セラレシテ以テ自ラ說話ヲ始ムルノ信號ト爲ス其手巾ヲ擲ツノ童女必ス自ラ狙フ所ノ童女ヲ窺ヒ觀ルコトヲナスベカクズ如何トナレバ其之ヲ擲ツヤ最モ不意ニ出テ彼ヲシテ愕然タラシムルヲ以テ期望スル所ト爲スガ故ナリ若シ其童女赤帽ニ向ヒ手巾ヲ擲ツトキハ遽ニ赤帽君ト呼ブコトヲ要ス其言畢テ未タ五數ヲ算ヘ了ラザルニ先ダチテ赤帽之ニ答フルニ如何ニ余ナルカ君ナルカト云フテ要ス其時赤帽ニ語リシ童女直ニ又之レニ答ヘテ曰ク然リ汝君ト赤帽復タ之ニ答フルニ否否余ニアラズト云フ其時佗ノ童

女謂ア云ク然ラバ君誰ヲカ云フ赤帽答フ即チ藍帽子ナルノ
 ミト是ニ於テ一同ニ手巾ヲ以テ其藍帽子ト號センモノニ擲
 投ス赤帽及ヒ藍帽等ノ者相問ヒ相對フ皆此ト同シ而シテ藍
 帽ノモノ其手巾ヲ綠帽ノ者或ハ其他己ヲ回看セザル者ニ投
 ス其互ニ手巾ヲ投スルノ際ニ當リ回答ノ遲緩差謬アルカ若
 クハ神速ニ捷說スルヲ得ザル者ハ皆其罰ヲ受ケザルヲ得ズ
 其之ヲ爲ス甚タ快活ナルニ至テハ遊戲ノ際常ニ赤帽子カナ
 藍帽子カナ如何ニ君余ヲ呼フカ然リ汝君ヨ否否余ニアラズ
 然ラバ君誰ヲカ謂ヘル等ノ言辭更ニ間斷無ク休マザルナリ

○ヒガル大帝ハ其身安靜ヲ好マズグレトモガルハ東
 印度ノ「ブ」リヒ「府」主ナ
 静即チ日字ノ義凡ソ日字ノ頭ニア
 證チ言ズ今日日本語チ假リテ驗フ

茲ニ一童女アリ其夥半ニ謂テ曰ク水夫ハ却テ「ロ」ヲ搖スコト
 ナ好マズ今汝等彼ニ與フルニ何物ヲ以テセンヤ「フアンニ」
 ト云フモノ答テ云フ余ハ「ロ」ク「ロ」ザイク「ナ」以テセン問フ者ノ
 曰ク其詞惡シ「フアンニ」汝ハ一罰ヲ受ケヨト「シヤリヤ」ト云
 ヘルモノ云ク是ニ罰ナリ如何トナレバ「ロ」ク「ロ」ザイク「ト」云フ
 語中ニ於テ「ロ」ノ字ニ「アル」ヲ以テナリト「フアンニ」即チ「マル
 ガレ」トト云フ者ニ語テ云ク汝ハ彼ニ何等ノ物ヲ與ヘント
 スルヤ「マルガレ」ト答テ云フ余ハ「ト」ホメガネ「ナ」與ヘン是水
 夫ニ要用ナルモノナリト今問ヘル者ノ曰ク善シ次ノ人言ヲ
 揚ゲヨト而シテ後「マルガレ」ト「ユルネリヤ」ト云フ者ニ語テ
 云フ汝何物ヲカ彼ニ與フル「ユルネリヤ」答テ云フ余ハ「ロ」ク「レ」

ヤウノ彩色繪ヲ以テセント「シヤリヤ」曰ク汝一罰ヲ受ケヨト如何トナレバ「ロ」ノ字アルヲ以テナリ其レ斯ノ如クシテ順次ニ周環シテ之ヲ言フナリ

○巴里府ノ街聲

各個ノ童女悉ク巴里府下衆商賈人ノ状態ヲ做ス茲ニ櫻子ヲ賣ルモノアリ或ハ麪包ヲ賣ルモノアリ或ハ故衣服ヲ賣ル者アリ又雞卵ヲ賣ル者アリ而シテ是等ノ賈兒トナル者房室ヲ巡リテ徘徊ス若シ其中ヨリ何某ノ商人ト招呼スルモノアレバ直ニ務メテ其商ノ音調ニ擬シ以テ自ラ爲ス所ノ賣物ニ適スルノ街聲ヲ做スコトヲ要ス然ルニ此商女ヲ招キシ者即チ之ニ問フニ一物ヲ以テナス其女答フルニ余汝カ問フ所ノ物ヲ

持タズ汝其レ之ヲ他ノ人ニ問ヘト今夫佛蘭西國語ヲ更ニ進歩セシメシコトヲ要シ余記者童女タル者ニ勸メント欲スルニ巴里府語ヲ資テ巴里府中商賈人ノ街聲ヲ以テセリ然レドモ余又其佛國語ヲ解スルコト能ハザル者ノ爲メニ英譯ヲ附シ其如何シテ此遊戲ヲ做スベキヤヲ説キ明ス所ノ數例ヲ舉ケテ此ニ示サントス即チ第一衆ニ先テテ此遊戲ヲ始ムルニ其選ハレレ人ヲ呼ビ招キテ云ク「マルレヤーシンド」ボアール佛即チ之ヲ聞クヤ梨商女直ニ其街聲ヲ唱フ若シ其梨商女憐キタル梨子ヲ賣ルコトアラバ即チ其時謠フテ云フ「ゴアールクウイト、オー、プール」佛即チ此梨子ハ竈爐中ニ於テ燒キシ者ナリト若シ其梨子未タ割剝セザル者ナレバ謠フテ云フ「アド

リヤールレチングレー佛即ナ英吉利ノ梨子ハ半ベニ一大錢凡
 當ノ價ニ二個ナリト而シテ此梨商女ヲ招キシ者又問テ曰
 ク「アヴェウデボーム」佛即ナ汝林檎ヲ持タルカト之ヲ問テ答
 テ云フ「ノンドマンデーザンターボルトー」佛即ナ否否余
 ハ持タズ之ヲ賣水擔子ニ尋テヨト是ニ於テ賣水擔子其己ノ
 名ヲ唱フルヲ聞キ直ニ街聲ヲ揚ケテ曰ク「アロアロ」佛即ナ水
 ヨ水ヨト此時梨商其賣水擔子ニ問テ云フ「アヴェウデー」佛ロダ
 ルコイ佛即ナ汝彼ノ「アルコイ」巴里府ノ清泉ヨリ水ヲ汲ミ來
 レルカト賣水擔子答ヘテ云フ「ノンドマンデーザンターマル
 シヤンドブイー」佛即ナ否否此ハ傘商ニ問ヘト其時傘商諗フ
 テ云フ「バラブルイー」佛即ナ傘ヨト其時賣水

擔子傘商ニ問テ云ク「アヴェウデー」佛即ナ汝涼傘ヲ
 持タルカト傘商之ニ答テ曰ク「ノンド



第二圖

櫻子賣

傘商

マンデーザンアママルレヤンドソリ
 ーズ佛即ナ否否之ヲ櫻子賣豎ニ尋ネ
 ヨト其我名ヲ問クヤ櫻子賣豎街聲ヲ
 高クレ謂テ曰ク「アワドウスソリーズ
 アワドウスカーートルスラリーブル」佛

即ナ甘キ櫻子ヨ其量一磅其價四邊尼ナリト傘商櫻子賣豎ニ
 問テ云フ「アヴェウデー」佛即ナ黑櫻子ヲ持
 スルカト之ヲ問クヤ其櫻子ヲ賣ル者答テ曰ク「ノンドマン
 デザンアママルレヤンドブイー」佛即ナ否否之ヲ賣花兒ニ

問ヘト時ニ賣花兒我名ヲ聞キ即チ街聲ヲ發シテ曰ク「ドバー
 ルローズアブレユアヤンデロース」佛語即チ數種美麗ナル薔薇花
 アリ誰カ之ヲ買求メヨト時ニ櫻子賈豎賣花兒ニ問テ云フ「ア
 ヴエヅーデゾイユ」佛語即チ汝石竹ヲ持テルカト賣花兒之
 ニ答テ曰ク「ノンドマンデーザンオーマルシヤンダビー」佛語否
 否之ヲ賣故衣者ニ問ヘト爾時賣故衣者其名ヲ唱フルヤ之ニ
 應シテ街聲ヲ揚ケテ云ク「ツヨヂビーヅイヨガロシ」佛語即チ古
 衣物ヨ古裝飾物ヨト賣花兒其故衣ヲ賣ル者ニ謂テ云フ「アツ
 エヅーデボネ」佛語即チ汝帽子ヲ持テルカト彼商答テ曰ク「ノ
 ンドマンデーザンアラマルシヤンドマレ」佛語否否之ヲ魚
 商ニ問ヘト時ニ魚者己ノ名ヲ聞キ即チ街聲ヲ發シテ云ク

圖三第



「アーキレゴーロマーコロ」佛語即チ
 借々如何ニモ美ナル青魚カナト賣
 故衣者其商ニ問テ云フ「アヴエウー
 デソール」佛語即チ嗟汝鞋底魚ヲ持テ
 ルカト鞋底魚トハ比目魚ノ一種
 其形薄圓ニシテ体ノ一方
 二兩眼ヲ具シ常ニ時ニ商女答テ
 海底ニ住ムモノ時ニ商女答テ
 云フ「ノンドマンデーサンオーフル

シヤントガート」佛語否否乾糕師ニ依テ之ヲ尋ネヨト糕師其
 己ノ名ヲ唱フルニ應シテ街聲一響ヲ始ム其詞ニ曰ク「イーブ
 イユルイーメンツーレヨ」佛語即チ乾糕燒ケタルヨ乾糕温カ
 ナリト魚者問テ云ク「アヴエヅデガートードナンター」佛語即

汝ナンナル乾糕ヲ持タルカト糕師之ニ答テ云ク「ソンドマン
 デーヂンブーラーマルンヤーシンドボア」佛語否否之レヲ
 豆商ニ問ヘヨト夫レ是等ノ例ニ照準シテ此遊戯ヲ知ラレム
 ルニ足レリ猶能ク此戯技ヲ練達センニハ商賈兒ト做レル者
 屢々其一人ニ問フニ一事ヲ以テセズ必ス異ナル事業ヲ以テ
 三次モ四次モ問ヒ試ミ而レテ其一人モ亦他ノ衆多ノ賈兒等
 ニ齊シク汝記者其弟子ニ問フニ種々ノ事業ヲ以テスルナリ
 其嬉戯ノ際賈兒若レ我名ヲ呼ハレレニ當リ自己ノ發聲ヲ忘
 レテ唱ヘザルモノハ必ス其罰ヲ受ク若レ問フニ其商業ニ属
 セザル者ヲ以テスルカ或ハ二度物ヲ問フトキハ其者其罰ヲ
 受ケザルコトヲ得ズ賈兒ノ街聲ハ常ニ間斷無キヲ要ス且其

音曲節奏奇異ナル有テ大ニ遊興ヲ助クルナリ是ニ由テ此嬉
 戯ヲ做スニ先ナテ能ク數多ノ街聲ヲ記得スルヲ最良策トス
 今其例一二ヲ擧ケ示サン「ボアゼコツセ」佛語穀ヲ剥キタル瓩
 豆ヨ或ハ「メゴローノルノ」佛語大ナル胡桃ヨト或ハ「ドボンフ
 ロマーシ」佛語好キ乾酪ヨト或ハ「アングーレヴー」ドラサラー「ド」
佛語汝萬莖ヲ買求メンカヨト或ハ「ヴィヨシフオン」佛語反古ヨト
 或ハ「レボムドナー」佛語馬鈴薯ヨト大抵此ノ如ク類例シテ知
 ルベシ此遊戯ノ如キハ街聲彌多ケレバ其快樂モ彌増加スル
 モノナリトス

○以樂點示

此遊戯ヲ做ス類伴中ニ一童女アリ房外ニ出ヅ時ニ同伴其未

汝ナンタル乾糕ヲ持タルカト糕師之ニ答テ云ク「ノンドマン
 デーザンアーラーマレヤー」佛語「否否之レヲ
 豆商ニ問ヘヨト夫レ是等ノ例ニ照準シテ此遊戯ヲ知ラレム
 ルニ足レリ猶能ク此戯技ヲ練達センニハ商賈兒ト做レル者
 屢々其一人ニ問フニ一事ヲ以テセズ必ス異ナル事業ヲ以テ
 三次モ四次モ問ヒ試ミ而レテ其一人モ亦他ノ衆多ノ賈兒等
 ニ齊シク汝記者其弟子ヲ指テ云フニ問フニ種々ノ事業ヲ以テスルナリ
 其嬉戯ノ際賈兒若レ我名ヲ呼ハレレニ當リ自己ノ發聲ヲ忘
 レテ唱ヘザルモノハ必ス其罰ヲ受ク若レ問フニ其商業ニ属
 セザル者ヲ以テスルカ或ハ二度物ヲ問フトキハ其者其罰ヲ
 受ケザルコトヲ得ズ賈兒ノ街聲ハ常ニ間斷無キヲ要ス且其

音曲節奏奇異ナル有テ大ニ遊興ヲ助クルナリ是ニ由テ此嬉
 戯ヲ做スニ先テ能ク數多ノ街聲ヲ記得スルヲ最良策トス
 今其例一二ヲ舉ケ示サン「ボアゼコツセ」佛語「穀ヲ剝キタル碗
 豆ヨ或ハ「メゴローノルノ」佛語「大ナル胡桃ヨト或ハ「ドボンフ
 ロマー」佛語「好キ乾酪ヨト或ハ「アンヅーレヅードラサラー」佛語
 汝萬苳ヲ買求メンカヨト或ハ「ヴィヨシフオン」佛語「反古ヨト
 或ハ「レボムドナール」佛語「馬鈴薯ヨト大抵此ノ如ク類例シテ知
 ルベシ此遊戯ノ如キハ街聲彌多ケレバ其快樂モ彌増加スル
 モノナリトス

○以樂點示

此遊戯ヲ做ス願伴中ニ一童女アリ房外ニ出ヅ時ニ同伴其未

夕歸入セサル際ニ於テ童女歸來セハ當ニ何事ヲカ爲サシム
 ベキヲ約定スルナリ茲ニ琴ヲ撫スルノ人アリ其童女ノ房内
 ニ入ルニ當リ遽ニ其彈琴ヲ始ム而シテ童女ヲシテ爲サシメ
 ント約定シタル物ニ近ゾクトキハ奏樂益盛ニシテ大ニ快活
 ノ情形ヲ見ハシ童女其物ニ遠サカルトキハ樂聲漸ク微ニシテ
 即チ先キニ童女ノ外出セシニ當テ同伴相定ムルニ房内ノ一
 人ヲシテ其右臉ニ童女ヲ觸接セシメントスルヲ以テセバ彼
 ノ童女ノ入來テ會其一人ノ右ニ近ゾケバ音樂彌高ク張り且
 急ニス若シ童女手指ヲ擧ルアレバ其韻響益快活ナラシム童
 女若シ其一人ノ左臉ニ觸接スルトキハ俄ニ其音ヲ止ムルニ
 至ル而シテ其童女タルモノ同伴ノ己ニ爲サシメント欲スル

所ノモノヲ精細ニ曉解スル能ハザルトキハ必ス其罰ヲ受ク

○知識ヲ試ミルノ謎詞

此嬉戲ヲ爲スノ際一童女房外ニ出ツ其同伴房内ニ在リ相謀
 リテ一箇ノ詞ヲ定ム而シテ彼ノ童女入來テ問テ出シテ以テ
 其語ヲ推シ試ミ之ヲ商解スルモノナリ即チ其問ノ詞ニ云ク
 汝等ノ定メテ名指ス所ノモノハ飛翔スル者カ潜伏スル者カ
 或ハ鳴轉スル者カ說話スル者カ抑成長スル者カ等ノ類是ナ
 リ若シ其審究シテ解明セルト雖トモ確實ニ其一箇ノ詞ニ適
 當セザルトキハ童女其罰ヲ蒙ラザルコトヲ得ズ

○屋隅戲ノ猫兒

此嬉戲ノ如キハ甚タ簡易ナル者ナリ而シテ又甚タ活潑ニシ



テ且快樂ヲ極ムルノ遊事トス即チ屋ノ四隅カ或ハ四箇ノ老
樹木アリ其狀方形ヲ爲セル所ニ於テ其四隅ニ各一童女ヲ置
キ他ノ一女ヲ以テ其中央ニ在ラシメ之ヲ名ケテ猫兒ト呼做
ス而シテ屋隅ニ於テ猫兒猫兒ト云フ
詞ニ應シテ四童女皆立テ互ニ走り互
ニ呼テ其隅ノ位置ヲ相變換スルコト
ヲ爲ス此時彼ノ中央ニ在ル所ノ猫兒
モ齊シク立驢キテ他ノ童女等ガ未ダ
一隅ニ達セザル間隙ヲ伺ヒ疾ク走テ
其一隅ヲ占ムルコトヲ要ス若シ占得
テ此ニ據ルトキハ其隅ヲ奪ハレタル

者即チ猫兒ト爲ルベシ假令ヘバ甲乙ノ二童女アリ各其隅ヲ
變セントスルニ當リ甲女ハ乙女ノ隅ニ達スルコトヲ得レト
モ中央ノ猫兒先ツ甲女ノ占有セシ隅ニ達スルトキハ乙女ハ
中央ニ立止ラザルコトヲ得ズシテ即チ變シテ猫兒ト成ル夫
レ此遊ヲ爲ス急遽走行ノ際ニ在テ相打テ相倒シ混亂驢擾ノ
患ヲ避ンカ爲メ豫メ驅逐戲ノ始ニ於テ走行スヘキ方向ヲ確
定スルヲ緊要トス遊戲中ニモ時々斯ノ如キヲ約定スルアリ
即チ四隅ヲ轉旋走歩スルコト三回若クハ四五回ニ及ヒテモ
猶獨リ中央ニ殘リ在テ一隅ヲモ占得スル能ハザル童女ノ如
キハ己ムコトヲ得ズシテ罰ヲ受ク

○賣鳥者

此嬉戲ヲ爲サンニハ衆童女團樂シテ輪形ヲ做シ其中央ニ一
 女兒ヲ置キ之ヲ賣鳥者ト呼フ此鳥ヲ賣ル者彼ノ輪形ノ衆童
 女ノ目下ニ首ヲ低レテ巡廻ス其時衆童女各之ニ對シテ耳語
 スルニ自己ノ意ニ適スル所ノ一鳥ノ名
 ナ以テス是ニ於テ鳥ヲ賣ルモノ逐一之
 ナ記憶セザルベカラズ若シ此時ニ當リ
 當懼スルアレバ數多ノ鳥名恐ラクハ忘
 失セン故ニ之ヲ筆記スルコトヲ要ス而シテ後高聲ニ之ヲ重
 疊反復スベシ即チ其詞ニ云ク貴童貴女等能ク余カ言ヲ聽ケ
 余カ聚畜セシ所ノ鳥類中ニ在ルモノハ鶯又鶴或ハバルドオ
 フバラデイス（瑞士ノ鳥ト譯ス）或ハ鷓鴣及ヒハンミンダバ

五第圖



ル（小鳥名）等是ナリト而シテ其鳥名ノ目次ヲ錄シ畢ラハ最モ
 能ク注意シテ其目錄ノ順序ヲ以テ誦シ報セザルコトヲ要ス
 如何トナレハ順次ニ之ヲ讀ムトキハ一團ノ童女等其鳥名ノ
 阿誰ニ属スルコトヲ知ルベシ是ヲ以テ此遊戯奇巧ナルコト
 ナ得ザルニ至ル彼ノ賣鳥者其目錄ヲ唱ヘ了リテ後務テ各童
 女ニ問フコトヲ要ス其詞ニ云ク余カ有持スル所ノ羽族中何
 鳥ニ對シテ汝等ハ頓首シ拜スルヤ又何鳥ニ自己ノ秘事ヲ語
 ラント欲スルヤ且ツ謂テ云フ汝等孰レノ鳥ヨリシテ羽毛ヲ
 抜キ剝割セント欲スルカト是時各個自己ノ愛好スル所ニ隨
 ヒ其答詞ヲ爲シテ云ク余ハ鶯ニ向テ頓首シ拜セン又余カ秘
 事ヲ語ラン鳥ノ彼ノバルドナフバラデイスナラン而シテ

羽毛ヲ剝割センモノハ鷓鳩ヨリ之ヲ爲スベシト各其回答ヲ爲スニ當テ何鳥ヨリ羽毛ヲ去ントアル其鳥名恰モ他童女ノ前ニ耳語スル所ノ物ニ的中スルトキハ他ノ童女罰ヲ受ケザルヲ得ス其誰ヲ論ゼズ自己ノ耳語セシ所ノ鳥名他ノ回答スル者ノ何鳥ニ秘事ヲ語ントアル其物ト恰モ符合スルトキハ其童女必ズ何事ヲカ以テ耳語セラル、ニ至ル茲ニ童女ノミ此遊戯ヲ爲シ一モ童男ノ相交ルモノ無キニ於テハ唯簡易ナル女禮ノミヲ行フテ頓首スルノ禮ヲ廢スルコトアリ而シテ誰モ自己ノ選ヒシ所ノ鳥名ヲ聞キ其鳥ニ拜首シ或ハ之ニ秘事ヲ語り及ヒ之カ羽毛ヲ去ル等ノ事ヲ爲スヲ禁スルナリ若シ鳥名目錄中ニ記載シアラザル所ヲ名指スモノ、如キハ必

ス其罰ヲ受ルコトヲ要ス而シテ彼ノ賣鳥者タルモノ圍坐スル所ノ衆女ニ向テ其間ヲ做シ了ラザル間ハ罰ヲ受ルコトヲ爲サズ且ツ拜首スル等ノ事ヲモ行ハザルナリ其賣童女各個ノ名指セシ所ノ者ヲ忘失シテ暗記スルコト能ハザルアレバ其女ヲシテ強テ想出シ來ラシムルヲ要ス若シ其名指セラレシ所ノ鳥名僥倖ニシテ未ダ羽毛ヲ去ルニ至ラザルアレバ其女即テ二回ノ遊場ニ於テ賣鳥者ト做ルヲ得ルナリ然ドモ若シ不幸ニシテ衆女悉ク其羽毛ヲ剝去セラル、ニ至ルトキハ即テ賣鳥者ノ右位ニ當テ坐スル所ノモノ二回ノ遊戯場ニ賣鳥子トナルナリ

○俳優戲ノ俗人伴

俳優童女ノ夥伴相集テ奏樂ノ戲技ヲ爲ス極メテ愉快ノ遊事ト做ス即チ衆童女ノ此遊戲ヲ樂ムモノ先ツ輪形ヲ爲シテ環坐シ各個其形體ヲシテ樂器ノ狀ニ擬似スルヲ約定ス其中ヨリ一童女ノ出ルアリ云ク余ハ即チ提琴ヲ奏セント其左テヲ伸ヘテ右手ヲ動カシ其形容恰モ提琴ノ弓ヲ以テ引カ如シ或ハ其兩手ヲ合シテ口ノ上ニ置キ喇叭ニ擬スル者アリ或ハ案上ニ於テ手指ヲ搖カシ大洋琴ヲ奏スルニ擬似スル者アリ及ヒ椅子ノ背面格子ヲ撫スル者アリ其狀彼ノ豎琴絃ヲ彈スルカ如ク然リ又或ハ大鼓ヲ擊ツカ如キ態ヲ爲ス者アリ或ハ六弦琴ヲ抱ケル貌ヲ做シ棒ヲ以テ之ヲ奏スト云フモノアリ或ハ手ヲ以テ鳴フス所ノ小風琴ヲ撰轉スルカ如キ形ヲ做ス者

アリ而シテ之ヲ概言セハ夫ノ遊戲者ノ衆多ナルトキハ其徒ノ間及ブ所ノ樂器ハ悉ク皆之ニ擬似シ盡スベシ茲ニ其俗人ト做ルモノアリ各奏樂ノ際ニ當リ自ラ擬似スル所ノ樂器ノ音調ニ隨ヒ之ト齊シク口ニテ擬似スルヲ要妙トス即チ

大鼓ノ口音ハ

「ドンドン」

豎琴ノ口音ハ

「ナンケエンナン」

喇叭ニ擬スル音調ハ

「トートロート」

提琴ニ擬スル音調ハ

「スーウキーウ」等ノ類ナリ

夫レ斯ノ如ク競テ此奏樂ヲ做スニ當テハ俗人ノ舉動及ヒ音曲節度ノ奇異不齊ニシテ且混亂スルヲ以テ其情形實ニ看人ヲシテ捧腹絶倒セシムルニ足レリ殊ニ各々ノ俗人精氣ヲ凝

ラシ曲調ヲ究メテ快活ナル擬樂ヲ奏スルニ至テハ一層ノ大笑具ト爲スベシ其俗人等カ連環シテ輪形ヲ做セル中央ニ於テ一童女ノ立ツアリ之ヲ奏樂者ノ總管事ト稱ス此管事ノ職



務ハ俗人等憩息ノ時期ヲ報スルヲ主トス其報スルノ状態務メテ他人ヲシテ大笑セシメンカ爲メ最モ可笑ノ様式ヲ爲ス而シテ此童女ハ其手ニ音樂ノ卷物或ハ時ニ應シテ打ツベキ麾柄ヲ握ルヲ要ス是俗人等ノ司長タルヲ標スルナリ其司長タル童女隊鬧譁浪ノ間ニ於テ突然ト

シテ止リ倉卒ニ俗人ニ謂テ曰ク汝等何故ニ能ク奏樂スル能ハザルカト是時速ニ其間ニ回答スルヲ要ス其答ノ狀タル自己ノ擬似セル樂器ノ種類ニ適合スルノ詞ヲ以テセザルベカラズ茲ニ其例ヲ示サン假令ハ鼓手ハ答テ云フ余カ大鼓ノ撥一箇裂ケタリト豎琴ヲ奏スル者ハ云フ琴絃甚ダ緩キヲ以テナリト大洋琴ヲ奏スル者ノ云ク一個ノ壓板ノ爲メニ琴ノ音調不齊チ起セリト或ハ「ダンムベル」大洋琴ノ音聲ヲ弱クスルノ部ヲ云フ一片碎裂セルヲ以テナリト又笛ヲ吹ク者ノ如キハ答テ云ク笛孔余カ手指ニ適セス其竅孔ノ相距ル甚ダ遠キヲ以テナリト大畧斯ノ如シ而シテ俗人等直ニ其答ヲ爲サズ少シク猶豫スルコトアルカ若クハ自己ノ樂器ニ適合スルノ答詞ヲ做シ得ザル

コトアルカ將々他人ノ己ニ答ヘシ所ノ詞ヲ以テ再ヒ重複スル等ノコトアレハ其童女ハ必ス罰ヲ受ク茲ニ其間ニ答フル者アルトキハ他ノ衆女ハ皆暫ク奏樂ヲ止メ其答詞全ク畢ルヤ或ハ誤テ罰ヲ受ルヤヲ認得テ後即チ再奏ス爾時彼ノ樂師ノ司長他女ヲ顧ミテ云ク汝自己ノ樂ヲ奏スル能ハザルカト夫レ斯ノ如ク漸次ヲ逐フテ問答シ衆皆倦厭ノ色ヲ現ハスニ至テ止ム又時トシテハ一個ノ新規則ヲ設ルアリ曰ク此遊戯ノ際ニ當リ妄ニ大笑ヲ爲シ自己ノ職務ヲ廢スル者ハ必ズ罰ヲ受ルヲ要ス若シ此規則ヲ設ルトキハ罰罪ヲ蒙ル者極メテ多レトス

○飛去レ勃鳩

戲伴相列リテ環坐シ其中央ニ一童女アリ其膝上ニ右手ノ食指ヲオク他ノ衆女悉ク自己ノ食指ヲ以テ中央女ノ膝傍ニ出シテ圍繞ス彼ノ一女ノ食指ヲ舉ルヲ見テ同一時ニ呼テ云ク飛去レ鳩ヨ或ハ飛去レ雀ヨト他ノ衆女モ亦其手様ニ倣テ皆食指ヲ舉ク而ルニ彼ノ一女他ノ衆女ヲシテ錯誤迷惑セシメント欲スルトキハ急遽ニ號呼シテ飛去レ鱒ヨ或ハ飛去レ象ヨト意外ノ語ヲ出スアリ衆童須ク注意シテ其食指ヲ舉ケ動カスコト勿ルベシ若シ誤レハ其罰ヲ受ケザルヲ得ズ今詳細ニ之ヲ説キ明サン凡ソ活動物ノ飛翔シ得ベキ者ヲ呼ブトキハ衆童齊シク食指ヲ舉ルコトヲ要ス若シ飛翔スル能ハザル者ヲ呼ブトキハ靜ニ安シテ食指ヲ動かス無キヲ要ス其技倆

甚々迅速快爽ナルカ故ニ聰敏ノ耳孔ト敏捷ノ意匠トテ最モ緊要トスルナリ或ハ活動物ニアラズシテ偶然ノ氣力ニテ飛揚スベキ物ヲ呼フコトアリ譬ヘバ羽毛或ハ葉或ハ紙或ハ綿絮或ハ羅若クハ紗等是ナリ偶是等ノ者ヲ呼出ストキハ答フルモノ敢テ速ニ其意見ヲ決シ得ズシテ或ハ食指ヲ擧ルアリ或ハ擧ゲザルアリ孰カ是ニシテ孰カ非ナルヲ爭議スルニ至ル即チ一女子謂ヘラク余カ知ル所ハ草葉ノ如キ素ヨリ飛翔スベキモノニ非ズト又他女ノ謂ヘラク余カ見ル所此ニ異ナリ草花木葉ト雖トモ風ノ爲メニ飛散スベキモノナリト此ノ如ク喋々詰辯スルトキ彼ノ中央ニ在ル者之ヲ裁決ス凡ソ此遊戯ハ實ニ一笑具ニ供シ人ヲシテ捧腹セシムベク而シテ罰

ヲ受ル者モ亦甚々衆多ナリトス

○吹揚ケ羽毛

此戲モ亦衆女環坐相互ニ羽毛或ハ紡セザルノ綿及ヒ絹羅等ヲ把束ネテ至輕ノ總條ト做セシモノ又ハ呼吸力ニ因テ自由ニ空際ニ飄搖セシムベキ至輕至微ノ物ヲ吹揚ケテ快樂ト做スノ戯ナリ各童女其物ヲ吹去テ隣童女ノ方ニ超過セシムルヲ要ス是自己ノ吹ク時ニ當テ其物床上ニ墜ルカ若クハ我カ衣上ニ止ルトキハ即チ罰ヲ受ルヲ以

第七圖



テナリ之ヲ吹揚クル甚々激烈ニ過ギテ高ク空中ニ飛騰スル
アリ是ニ於テ順次ノ童女吹カントスル者頸ヲ伸ハシテ之ヲ
爲サゞルベカラズ又氣息ノ甚々微弱ナルカ爲メニ忽チ地上
ニ墮ルアリ傍側ニ送ルアリ或ハ輪形ヲ超過スルニ當テハ吹
ニ當ルノ童女倉卒ニ頭ヲ旋轉シテ之ヲ爲サゞルヲ得ズ斯ノ
如ク輪形連環ノ童女或ハ頭頸ヲ回轉シ或ハ身體ヲ屈曲シ或
ハ喘息勞力ヲ致シ一小羽ヲシテ地上ニ墮落セシメザランコ
トヲ務ム之ヲ傍觀目撃スル亦開口胡蘆スルニ堪ヘタリ

○牛脚

茲ニ九童女アリ連環シテ輪團形ニ列坐ス其中一童女ノ膝上
ニ其手ヲ置クアリ是ヲ此戲ノ嚮導者ト做ス而シテ之ニ隣次

スル者自己ノ一手ヲ以テ嚮導者ノ手背上ニ置キ又其次ノモ
ノ斯ノ如クス漸次ニシテ九童女悉ク重ネ畢テ九手ノ堆疊ヲ
做スニ至ル而シテ後九手堆疊中最モ下ナルモノ其手ヲ引キ
拔キテ其堆疊手背ノ最上ニ置キ即チ號呼シテ云ク第一ナリ
ト其次ナルモノ此ニ做フテ其手ヲ拔キ置替ヘテ云ク第二ナ
リト逐序シテ遂ニ第九ナリト呼フニ至ル此ノ最後ニ拔キ替
ヘントスルトキ務メテ其手下ニ更ニ他人ノ手ヲ捉握スルヲ
要ス若シ之ヲ做シ得ルトキハ大呼シテ第九ナリ余ハ牛脚ヲ
捉リタルト云フ然レドモ戲女等其第九ト呼フモノ已等ヲ捉
フルノ權理アルコトヲ識レハ各其機ヲ見テ速ニ其手ヲ引去
ルコトヲ務ム若シ捉握セラレシ者ハ罰ヲ受ケザルベカラズ

凡ソ此類ノ賭戲ハ其趣向最モ快巧神速ナランコトヲ要ス而シテ又第九ノ呼聲ニ代フルニ次ノ句ノ如キヲ選ヒ用ルモアリ即チ其句ニ曰ク余ハ鼠狼ヲ捉ヘタリト

○牛脚商

茲ニ戲衆集リテ輪圍ヲ做シ中央ニ一童女立テリ之ヲ賣牛脚商人ト呼做ス其商鍵或ハ修筆刀又ハ何物ヲ論セズ取ルニ便利ナル品物ヲ手ニ持テ戲伴ノ一人ニ示シテ云ク汝若干ノ價ヲ出シテ此牛脚ヲ買ハント欲スルカト其間ニ應シテ其鍵ヲ取リ直ニ答テ云ク余許多ノ額數ヲ給與セント而シテ其答語若シ九ノ數或ハ九ヲ乘シタル數名ヲ以テスレバ即チ罰ヲ受ク假令ハ十九或ハ二十九ノ數ヲ答ヘザレ又十八ノ數モ舉ゲ

ザルヲ要ス何トナレバ九ヲ二乗セシテ以テナリ二十七ノ如キモ亦然リ九ヲ三乗シタル數ナレバナリ而シテ彼ノ鍵ヲ買ヒシ所ノモノ輪形中央ニ進ミ出テ代リテ牛脚商ト做ル初メ商人タリシ者即チ其童女ノ占メタル圍輪中ニ列ス夫レ斯ノ如ク間斷無ク漸チ以テ順序ニ商人ト成ルナリ其新タニ牛脚商ト做リ鍵ヲ賣テ未ダ久シカラザル者ニ對シ汝若干ノ數ヲ云々等ノコトヲ問フベカラズ假令之ヲ爲ストモ圍中他ノ者ノ二回或ハ三回ヲ經テ後ニ於テスベシ重ネテ細カニ此文意ヲ解センニハ其童女ニ向テ直ニ問フコトナカルベシ是其人ヲシテ思想シテ得セシムルノ時ヲ與ヘン爲メナリ凡ソ問ニ答フル迅速ヲ要ス若シ猶豫スルアレハ斯ノ如キ遊戯ノ煩ハ

甚タ倦怠ニ至ルベシ彼ノ商賈ト成レルモノ時々買客ヲ眩惑
セシメシ爲メニ一人ヲ目指シ其鍵ヲ與ヘントスルガ如キ狀
態ヲ做スアリ或ハ突然關係ナキ人ニ投與スルアリ更ニ答語
スルノ暇無ク事不意ニ出ルヲ以テ甚タ困迷スルニ及ビ此遊
戲ノ長ク久シキニ隨ヒ罪罰ヲ受クル者ノ次第ニ數多ナル所
以ノモノハ已ニ舉ゲ答ヘシ所ノ價額數ハ敢テ再次之ヲ稱ス
ルヲ得ザルヲ以テナリ

○避七數

茲ニ童男女七個ヲ除クノ外若干ノ員數ヲ選ハズ其之ヲ行フ
ニ當リ或ハ一案机ヲ圍繞シテ做スアリ或ハ輪形ニ相列リテ
做スアリ此遊戯ノ如キ實ニ活潑ノ趣味ヲ存セリ始メテ之ヲ

做ス甲童呼テ云ク一個ナリト其左傍ニ在ル所ノ乙童即云ク
二個ナリ而シテ漸次廻達シテ七個ニ及ブ此時苟モ七ノ數ヲ
稱スベカラズ之ニ代用スルニアッゼト云フ詞ヲ以テスベシ
何人ヲ論セズ七ノ數或ハ七ヲ以テ乘ゼシ所ノ數名起ルコト
アラバ必ズ其代詞ヲ以テスルヲ要ス即ケ七或ハ十四十七二
十一二十七二十八三十五三十七等ノ如キ數ヲ云フナリ而シ
テ代詞ヲナサズレテ七ヲ狭ミテ以テ數位ヲ呼稱スル者又ハ
自己ノ順序ニ非ズレテ數位ヲ呼ブ者或ハ誤テ不當ノ名數ヲ
唱フル者等ハ其罰ヲ受ケザルベカラズ此ニ罰ヲ受クルノ童
女アリ之ヲ償ヒ了テ後即ケ曰ク一個ナリト而シテ復タ再ヒ
此ヨリ左傍ニ回移スベシ然レモ是時ヨリ更ニ前呼ノ數ト異

ナル所ノモノヲ擧クベシ若シ少シク習練スル有テ輪團ノ童女等七十一マヲモ稱スルアルニ會セバ之ニ代フルニ「ブッゼ」ノ一及ビ「ブッゼ」ノ二等ヲ以テシ七十七ニ至ルトキ即チ「ブッゼ」ノ「ブッゼ」ト云テ之ニ代用ス餘ハ皆之ニ做フ若シ自己ノ順序ニ當テ速ニ答語ヲ做ス能ハズシテ彼ノ輪團中ニ在テ一個ヨリ五個マヲノ數ヲ算シ得ベキ者ヨリモ猶躊躇緩延スル者ノ如キハ罰ヲ償フコトヲ要ス

○雞籠ノ戲

小童女ノ此戲技ヲ做ス大ニ慰快スル所アリ我英國ニ於テハ之ヲ稱シテ「メーキングケーセス」ト云フ乾酪ヲ製スルノ義ナリ佛蘭西ニテハ之ヲ「ヘンコーブ」ト名ツク即チ雞籠ノ義ナリ

夫レ「メーキングケーセス」乾酪ヲ製スル義ニシテ遊戲ノ一名トナレル者ナリト云ヘル語ハ假令ハ今説ク所ノ遊戲ニ名目セザルトモ彼ノ佛蘭西ニ於テハ衆人ノ能ク知ル所ノモノタリ彼「マダムカムバント」ト云ヘル婦人曾テ自己ノ言行録中ニ記載セル其言ニ云ク余年十有五ニシテ一皇女ノ授讀者ノ任ニ擧ラレタリ此時ニ當テ始メハ肅然トシテ讀者ノ位階ニ適スル所ノ圈ヲ修飾セリ圓トハ蠶蠶ニテ製造ノ特下ニスル而レテ今斯ノ如キ美麗服ヲ穿ルヲ以テ自ラ快樂ヲ覺ヘ其讀務ノ隙暫憩ノ時正殿ノ前室ニ在テ待居タリ此所ニ於テ自己ノ四體ヲ回轉シテ彼「メーキングケーセス」即チ乾酪ヲ製スルノ戲ヲ爲シ歡娛セリ然ルニ第十五世

「ルウイ」佛蘭西國名 突然トレテ室内ニ入來リ倉卒ニ余ヲ捉
ヘテ殿ニ令告スラク女ヤ皇女ヲ指 彼ノ乾酪ヲ製スル所ノ
授讀者ノ如キハ速ニ其尼利ニ送り遣スベト以上言行錄
中ニ在ル所

ノ語
ナリ

抑モ此「ヘンコーブ」即チ雞籠ト稱スル所ノ遊戯ヲ做スヤ身體
チレテ一分時間最モ神速ニ右側ニ轉シ又突然之ヲ休ムルト
齊シク兩脚ヲ少シク屈曲シテ手臂ヲ伸張スベシ此身體ノ平
均ヲ保タンカ爲メナリ此時ニ當テ童女ノ上蓋衣風ノ爲メニ
吹カレテ膨脹スルノ形狀恰モ雞籠ノ如シ是故ニ余カ記者ヲ
指ス
説ニ因レハ佛蘭西ノ此戯ヲ形容スルニ雞籠ヲ以テスルハ甚
タ適當ナリトス夫レ斯ノ如クニシテ其童女休憩スルコト僅

第八圖



ニ一分時ニシテ又左側ニ身體ヲ轉
スルコト前ニ右側ニ於テスルガ如
クスベシ此戯ハ衆女相集リテ屢之
ヲ爲ス所ノモノダリ其時ニ臨ミテ
一童女ノ群ヲ離レ立テ手ヲ拍ツ者
アリ之ヲ以テ衆女戯技ヲ始ムルノ
信號ト爲ス是ニ於テ衆女相競テ其
身ヲ旋轉シ各時チ同フシテ彼ノ雞

籠狀ヲ爲スニ至テハ頗ル跳舞戲中ノ奇巧ナル者トス若シ一
群中雞籠ヲ爲シ得ザル者或ハ他女悉ク之ヲ爲シ畢テ猶躊躇
シテ爲スコト能ハザル者アツバ皆過怠ノ料ヲ償ハザルヲ得

ズ而シテ彼ノ信號ヲ報スル者總テ其罪科ヲ裁判ス此一女ヲ
 稱シテ「ケ」キシ即チ雞籠ト呼做ス時々一群ノ半數員務メテ
 此戲ヲ爲シ他ノ半數員之ヲ傍觀シテ其是非優劣ヲ判決スル
 フリ是モ亦雞籠ト稱ス或ハ時ニ雞籠ト化シ或ハ時ニ雞籠ト
 化シ相互ニ順序ヲ改テ以テ戲技ヲ做スナリ

○美人何處ニカ在ル

此戲ノ形狀タル彼ノ雞籠ト大同ニシテ小異ナリ茲ニ一童女
 ノ環線ノ中央ニ跪坐スルアリ他ノ衆童女群集シテ其一童女
 ノ上袍ヲ以テ掲ケ擧ケテ其頭上ヲ覆ヒテ其形恰モ雞籠底ニ
 類似セシメ而シテ之ヲ把持セリ此上袍ヲ「トウエル」即チ城樓
 ト稱ス此ヲ把持スル者ヲ「ストーンズ」即チ石ト稱ス一童女ノ環

線ヨリ離レテ立ツアリ此ヲ稱シテ「エネミー」即チ敵ト做ス此
 戲ヲ始ムルニ臨ミテ彼ノ敵トナレル者來テ歌フ其詞ニ云ク
 彼ノ美麗ナル「マルガレット」美女名ハ何處ニカ在ル又謳テ曰ク
 彼ノ美麗ナル「マルガレット」ハ何處ニカ去ルト是時環線ノ中
 央ニ跪坐セル童女答テ云フ「マルガレット」ハ自己ノ城樓中ニ
 鎖鑰セラレテ在リト敵又問テ云フ余ハ其樓中ニ入ルヲ得ベ
 カラザルカト之ヲ聞テ彼ノ石トナレル衆女答テ云フ汝敵即チ
 フ云決シテ入ルコト能ハズ若シ入ラント欲セバ城樓ヲ搬運シ
 去ラザルベカラズト是ニ於テ彼ノ敵一童女ノ手ヲ握テ之ヲ
 他ニ引導シテ曰ク一個石ヲ運去レリ猶入ルコト能ハザルカ
 衆女答テ云ヘラク否否汝悉ク衆石ヲ運去ラザレバ入ルコト

ヲ許サズト而シテ後敵又第二童女ヲ取り去り又問テ云フニ
 侷石ヲ取去ルモ猶未ダ入ルコトヲ得セシメザルカト衆女之
 ニ答フルニ前言ト同シキヲ以テ是ニ於テ敵又第三童女及
 ヒ第四童女ヲ誘引シ去レリ其一女ヲ運ブ毎ニ問答皆同一意
 ナリ而シテ終ニ唯一童女ノミ殘ルニ至ル是時一童女彼ノ城
 樓ト稱セシ上袍ヲ褻ミテ己ノ手ニ有持セリ彼ノ敵トナレル
 モノ近ツキ來ラントスルニ乘シテ其上袍ヲ放テ彼ノ「マルガ
 レツト」ノ頭上ニ墜シ直ニ疾歩ヲ爲ス「マルガレツト」モ亦跳躍
 シテ其一童女ニ隨ヒ走ル衆女亦皆其蹤ニ尾シテ走ル爾時彼
 ノ敵ヨリ第一番ニ捉ヘラレシ所ノモノ第二回戲場ノ敵トナ
 ルヲ要ス又衆女ノ鏡ヒ走ルモノ未ダ其室外ナ一回走セザル

際ニ在テ敵ヨリ捉ヘラレシ者ハ過料ヲ出スコトヲ要ス

○握レ放セ

茲ニ四童女アリ各一手巾ノ四隅ヲ持テリ而シテ他ノ一童女
 其傍ニ立テ之ニ報シテ云ク把レ握レト四女之ヲ聞テ各其持
 ツ所ノ手巾ノ四隅ヲ放解シテ地上ニ墜スコトヲ要ス而ルニ
 又報シテ之ヲ放テ捨テヨト云フ此時四女其手巾ノ隅ヲ確持
 堅握シテ放ダザルヲ要ス一童女ノ云フ所ニ反對シテ急卒ノ
 際故意ニ錯誤セシメテ而シテ誤ラザルヲ妙トス若シ之ヲ彼
 此差謬スル者ノ如キハ其罰ヲ受ケザルコトヲ得ズ

○「グラランドモフター」ガ彼此ノ語

彼此ノ戲タル童男女ノ甚タ愛好スル所ノ者ナリ茲ニ一童子

ノ椅子ニ倚ルアリ之ヲ「グラウンドモフナー」ト稱ス而シテ此童子自己ノ意ニ適スル所ノ容態ヲ做ス即チ其手ヲ胸上ニ按シ腕ヲ伸ヘテ其額角ヲ摩レ以テ痛働ノ面貌ヲ爲スノ類是ナリ一童其態ヲ變スル毎ニ必ズ衆童ニ報シテ云ク彼ノ「グラウンドモフナー」ガ彼様ニ語りシト凡ソ一童ノ彼ノ「グラウンドモフナー」ガ此様ニ語りシト云ヘルトキハ衆童各彼ノ一童ノ做ス所ノ如ク齊シク其容態ニ擬似スルヲ要ス若レ彼ノ「グラウンドモフナー」ガ其様ニ語りシト云ヘルトキハ各童敢テ其態ヲ動搖スルコト無キヲ要ス是故ニ彼此ノ語ヲ倉卒謬リ聽テ其事ヲ誤ル者ハ罰ヲ受ルコトヲ要ス

○旋轉無蹄靴

茲ニ衆童女環坐シテ輪團ヲ做シ他ノ一童女其輪團中ニ在テ衆女ノ隠シテ旋送スル所ノ無蹄靴ヲ認メ得ルコトヲ做スノ戲ナリ輪團ノ衆女中彼ノ靴ヲ取ル者之ヲ背後ニ隱藏シ其順次ニ一手ヨリ一手ニ送り迅速ニ旋轉ス而シテ中央ニ在テ靴ヲ射獵シ獲ント欲スル者常ニ其在ル處ヲ判知スル能ハズ此旋轉ノ際各々其手ヲ搖動セシメ相互ニ轉送スルノ狀態ヲ做スヲ以テナリ若シ靴ヲ持テ射獵者ニ認メラレ其手ヲ把握セラルハトキハ即チ代テ獵者ト爲リ且科料ヲ償フコトヲ要ス余カ記云フ信徴スル所ニ因テ之ヲ觀ルニ小童女ノ此戲ヲ做ス相互ニ密接シ肩ヲ摩シテ低腰架ニ踞スルアリ又兩

第九圖



脚ヲ屈折シテ坐スルモアリ若シ衆女大集ナルトキハ之ヲ二
 個ノ輪團ニ列スルモ亦甚々善シ其一團ニ列スル所ノ者ナレ
 テ他ノ一團ニ入レシメ二重ノ輪形ニ連環セシメ各々其兩脚
 チ屈折シ體ヲ其上ニ載セ二輪ノ童
 女互ニ顔面ヲ對シテ密通シ篋器弓
 形ノ如ク少シク膝ヲ凸クシ彼ノ衣
 下ニ隠ス所ノ靴ヲ以テ此膝下ノ弧
 線ヲ通シテ更ニ知ラシメザルヲ得
 ル其中央ニ在ル所ノ輪線狀中ニ二
 個ノ小口ヲ存ス其一口ハ他ノ一口
 ト相對スバシ若シ靴ヲシテ此二口

ヲ通過セシムルトキハ之ヲ以テ輕々牀板ヲ打叩シ射獵者ヲ
 シテ其所在ヲ曉ラシム獵者之ニ應シ走リテ捉ヘントスルト
 キ衆女競ワテ其手ヲ動カシ旋轉迅速ナルヲ以テ遂ニ認メ得
 ル能ハズ且他ノ輪形ニモ亦牀上輕打ノ響ヲ聞クニ至ル夫レ
 此戲術タル之ヲ粗暴ニ爲スベク又之ヲ溫柔ニ爲スバシ若シ
 粗暴ニ爲ストキハ互ニ相撲ナ相仆シテ大ニ危難ヲ生スルア
 リ或ハ長縮シテ踣躡其體ノ平均ヲ失フヲ以テ轉倒スルアリ
 凡ソ獵者タルモノ中央ノ二口邊ニ於テ之ヲ捉フレテ要ス斯
 ノ如クスルトキハ顛仆ノ思ナシ又此戲ヲ做スニ皮縮若クハ
 彈石等ヲ用ルアリ是容易ニ看出ス能ハザラシメシ爲メナリ
 凡ソ童女ノ靴ヲ他女ニ送ルノ際惶急之ヲ墮スモノハ其罰ナ

受ルヲ要ス

○某女帝ノ隊伍

茲ニ二童女アリ各々其手臂ヲ伸ヘ相合シテ弧線形ヲ爲シテ立テリ而シテ他ノ衆童女相联接シ其隣次ニ尾シテ上蓋衣ヲ摘ミ以テ隊伍ヲ做レ彼ノ二童女ノ手臂ヲ張ル所ノ弧形中ヲ經過ス其時歌ヲ曰ク高ク彼ノ聲ニ諸門ヲ開ケ以テ女帝ノ隊伍ヲシテ通過セシメヨト即チ突然其弧形ヲ抵下スルヲ以テ最モ後ニ在ル者其中ニ籠絡セラレ進

第十圖



退維谷ル此時童女自己ニ要セラレシ所ノ疑問ヲ速ニ答解スルニ非ザレバ科料ヲ償フヲ得ス

○審官陪審官

衆女相集テ一團ノ坐ヲ設ケ之カ首長タル者三人高キ腰架ニ踞ス之ヲ稱シテ審官及ヒ陪審官ト呼做ス凡ソ此戲ヲ始ムルニ先タ各女自己ニ定メラレタル所ノ名稱ヲ唱フ彼三人ノ者ハ之ヲ做サズ即チ頸飾婦人ノ頭項ヲ飾ル物或ハ腕飾或ハ帶紐等ヲ以テ號トセリ而シテ錫製ノ碟子或ハ木造ノ碟子一個ヲ輪圍ノ中央ニ置キ彼ノ審官ノ謂ヘラク我カ貴媛女今既ニ出行セリ是其頸飾ヲ求メント欲シテナリトノ語ヲ發スルニ隨ヒ彼ノ頸飾ト號セル童女ハ跳躍シ彼ノ碟子ヲ取テ獨逸ノ如

少舞旋スルコトヲ要ス然ドモ之ヲ爲スニ一定ノ規則アリ最
 モ之ヲ蹈ムヲ要スルナリ是實ニ難シトスル所ノ戯ナリ初時
 彼ノ童女審官ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ敢テ動搖スル能ハズ
 故ニ先ツ其語ヲ爲サマルヲ得ス曰ク余ハ進ムコトヲ得ベキ
 カ余ハ得テ逍遙遊歩スベキカ余ハ俯屈スベキカ又彼ノ盥子
 ナ捕採スルヲ得ルカ彼ノ盥ヲ得テ轉輸スベキカ彼ノ盥ヲ碎
 クコトヲ得ベキカ或ハ靜ニ之ヲ置クベキカ等ノ語ヲ爲ス此
 童女ノ盥ヲ碎クト云フハ之ヲ破碎スルニアラズ傾倒シテ其
 底ヲ上ニスルヲ云フノミ而シテ其童女ニ盥ヲ碎ケト命セフ
 ルトキ若シ能ク底ヲ上ニスルヲ得ザレバ科料ヲ償フヲ要
 ス彼ノ盥全ク轉輸シ了ルノ後トイヘドモ先ツ請フニ次ノ語

ナ以テセザレハ一團ノ本序ニ還復スルコトヲ得ス其詞ニ云
 ク余ハ科ヲ逍遙スベキカ余ハ坐スルコトヲ得ベキカト若シ
 是等ノ規則ヲ履行セザル者ハ一過毎ニ即テ一罰ヲ受ク其告
 罰ヲ掌ドルハ審官ナリ一團坐ノ衆童女悉ク自己ノ事業ヲ做
 シ了リテ後彼ノ僱審官トナレル者室外ニ出ツ如何ニシテ其
 罰科ヲ償還スベキヤヲ裁決スル爲メナリ余偶茲ニ記載スベ
 キコトヲ忘レタリ今之ヲ錄セン衆童女ノ如キハ順次ニ陸續
 シテ起ツコトヲ爲サズ彼ノ審官ニ向ヒ次ノ書ヲ呈セント待
 ツノミ曰ク我カ賃媛女ノ如キ其帶或ハ紐或ハ腕飾等ヲ要堡
 セリト

○沈黙將

第十圖



此遊ノ如キ別ニ奇珍ノ伎倆ナシ唯科料ヲ多ク聚音スルモノ
 タリ戯女ノ夥伴團樂箕踞シ其中一童女手ニ細キ棒ヲ持ツア
 リ自ヲ將校ト爲リ其兵卒ニ謂テ曰ク余汝等ニ告ルニ拳ヲ以
 テ打テト云フヲ以テスト此將曾テ
 自ラ其爾タル無ク又人ニ對シテ暗
 笑スルコト無シ其狀沈黙ニシテ温
 雅ノ顔色ヲ現ハスタ要ス而シテ云
 ク彼ノ棒ヲシテ隣次ノ所ニ置ケヨ
 ト童女斯ク告ケ畢テ棒ヲ隣次ノ童
 女ニ送ル隣女之ヲ取テ亦同レク是
 言ヲ反復シテ之ヲ其次ニ遣ル斯ク

漸次ヲ逐テ之ヲ反復スルノ際或ハ突然トシテ失笑シ或ハ口
 ナ掩フテ笑フノ類悉ク罰科ヲ受ケザルニ得ザルナリ

○鳥巢ヲ買ハンカ

此戲ヲ做スハ坐踞ノ法則ヲ嚴ニセズ茲ニ一童女アリ室内ヲ回
 歩シテ他ノ衆童女ニ問フニ誰カ余ノ鳥巢ヲ買ハンヤト云フ
 テ以テス他ノ之ヲ買ハント欲スル者答テ云フ我之ヲ買シト
 又問フ汝何物ヲ以テ買ハント欲スルカト是時ノ答詞糖々同
 シカラズ即チ稻藁ヲ與ヘント答フルモノアリ或ハ糖菓或ハ
 餅乾糕等ヲ以テ給セント云フアリ衆童女其鳥巢ヲ得ンガ爲
 メニ給與セント欲スル所ノモノヲ語り畢テ後此賣鳥巢者各
 女ニ對シ六個ノ疑問ヲ質スノ權ヲ有ス各女之ニ答フルノ際

必ズ笑フコトヲ禁ス若シ之ヲ犯セバ其罰科ヲ償ハサルヲ得
ズ而シテ此疑問ヲ爲ス務メテ請諭戯耍人ヲシテ笑倒セシム
ルヲ要ス然レトモ其間タル鳥巢ニ關スルコトカ若クハ鳥巢
ノ爲メニ給與セラレ價ニ係ルコト等ヲ以テスベシ即チ其
用語ヲ擧ケ示サン曰ク余ハ稻藁ヲ以テ何事ヲ做スベキカ余
ハ之ヲ以テ水珠ヲ吹クニ用ヰンカ之ヲ以テ甘口鼠ノ帽子ヲ
製スル料ニ爲シカ或ハ之ヲ以テ幻法師ノ杖ヲ作ラン爲メニ
要スルカ等ヲ以テスベシ

○狼及牧羊者

戯伴隊伍ヲ爲シ互ニ外衣ヲ把テ立テル者ヲ仔羊ト稱ス此伍
ノ先驅ニ在ル一小童女ヲ號シテ牧羊女ト云フ別ニ隊ヲ離レ

テ近傍ニ立ツ所ノ一童女アリ之ヲ狼ト呼做ス而シテ此豺狼
童女ノ巡行スルニ當テ彼ノ牧羊女叫喚シテ曰ク此暗夜ニ乘
シテ余ノ屋宅ヲ回歩スル者ハ誰ソヤト傍ニ立ツ所ノ者答テ
云ク狼ナル哉狼ナル哉ト牧羊女之ヲ聞テ告テ云フ余ノ仔羊
ヲシテ免カレシメト狼之ニ答テ我が奪掠シ去ラント欲ス
ル一仔羊アリト云ヒ即チ彼ノ伍尾ニ附スル所ノ小童女ヲ捉
ヘ去ラント要ス而シテ牧羊女之ヲ遮リ止メント欲シ直ニ跳
出ス衆仔羊悉ク其牧羊女ノ活動ニ倣フテ之ニ隨後ス彼ノ狼
ハ其周章スルニ乘シテ以テ己ニ利センコトヲ務ム恰モ左傍
ニ跳躍スルガ如キ狀ヲ倣シテ突然右傍ニ轉換スルコトヲ倣
ス若シ之カ爲メニ捉捕セラレシ者ハ必ズ科料ヲ出サマルヲ

得ズ又時トシテハ斯ク捉ヘシ者モ脱シ去ルコトアリ此時ニ
 臨ミテ衆童女競ヒ走テ其身ヲ牧羊者ノ前ニ置ク此幸免ノ無
 恙ヲ證スルガ爲メナリ此ノ如キ時若シ起ルアレバ其童女自
 ヲ牧羊者ト做テ甚タ煩忙ナル事務ヲ執ラサルヲ得ズ狼トナ
 リタル女ノ如キモ亦其位置ヲ貶シテ科料ヲ出サシメ伍ノ最
 後ニ尾附スル所ノ一仔羊之ニ代テ狼トナル

○栗鼠ヲ驅ル

一人ヲ除クノ外戯伴悉ク圍坐ヲ爲シ其一人外側ニ在リ手ニ
 巾帕ヲ攜ヘ圍坐ヲ巡廻シ忽地ニ其手巾ヲ遺墜ス而シテ此手
 巾自己ノ脚上ニ墜ル者勃然奮起シテ栗鼠ヲ捉フメシ栗鼠即
 チ彼ノ手巾ヲ墜セシ者タリ其捉ヘントシテ奔逐スル者左ノ

歌曲ヲ唱テ其詞ニ云ク此森林ヲ經過シテ彼ノ栗鼠ヲ驅逐セ
 ヲ余今之ヲ看失フ余今之ヲ看出セリ此森林ヲ經過シテ彼ノ
 栗鼠ヲ驅逐セヨト斯ノ如キ戯術奇巧ニ之ヲ爲ストキハ詭怪
 百出甚タ愉快ヲ極ムベシ夫衆童女ハ常ニ栗鼠ニ注目シテ其
 手巾何處ニ墜スマヤヲ認識スベシ其栗鼠ト做レル者甚タ慧黠
 ナレバ衆中ヲ縱觀シテ漠然不用意人ノ後ニ手巾ヲ墜サンゴ
 トヲ務ム是必ズ鈍癡漢ニシテ先鞭ヲ着ル者ニアラザレバナ
 リ其奔走ノ際ニ在テモ栗鼠ノ者ノ舉動ハ此戯則ニ違背ス
 ルコト無ク勉メテ己ヲ逐フ所ノ者ヲシテ迷惑セシメ内外ニ
 出入シテ常ニ之ヲ避クルコトヲ爲ス而シテ偶捉ヘラルハニ
 會フトキハ逐者即チ代テ栗鼠トナル

○花環童女

此戲稍跳舞ノ一種ニ匹似ス如花ノ少女等相連リテ一隊ヲ做シ互ニ其手ヲ握ル其中一貴媛靜ニ立アルアリ他ノ衆女其一女ヲ圍繞シテ跳舞ヲ做ス或ハ總合シ或ハ停止シテ遂ニ相結テ一隊伍ヲ做スニ至ル而シテ後漸次前ト同シキ舉動ヲ爲テ解散ス其結隊ヲ爲ストキニ當テ皆歌フ其詞ニ曰ク花環ノ童女等ヲ結聚セヨト而シテ離散スルトキニ曰ク又歌フア曰ク花環ノ童女等ヲ解散セヨト

○從第三人第三ノ地位ニ在ル所者ヲ捉フルナリ

此遊戲ハ兒女相並テ二列ノ輪形ヲ做ス中ノ一位ハ三女相並ヘリ而シテ其三個ノ一女ハ位置ノ外ニ立ツト雖トモ其所ヲ

去テ此輪形中何レノ處ニ行クモ妨ナシトス又別ニ捉者一人アリ彼ノ二兒相並フノ外ニアル所ノ者ヲ捉フルヲ要ス是故ニ追捕ヲ免カレント欲スル者ハ速ニ其地位ヲ變シテ輪形ノ内部ニ立ツヲ以テ始メ第二位ニ在ル者忽テ第三位ノ者ト成テ此モ亦追捕者ノ爲メニ獲ラレントス然レドモ此兒モ亦速ニ外部第三ノ地位ヲ離レテ他ノ二人相並フ所ノ内部ハ移レバ追捕者遂ニ志ヲ果スコトヲ得ス是故ニ追捕者ハ常ニ輪形ノ邊ニ在テ東西南北ニ奔走セザルコトヲ得ズ何トナレバ徒ニ相並フモノヲ捉フルニ非ズシテ第三ノ地位ナル輪形ノ外部ニ在ル者ヲ捉フルヲ法トスレバナリ然レドモ若シ幸ニシテ捕フベキ地位ニアル者ヲ捉ヘ得バ其捉フル者ヲ以テ再ビ

追捕者ト爲ス此遊戲タル最モ愛スベクシテ其運動ノ活潑々ナル者トス而シテ時アリテハ群兒相約シテ彼ノ追捕者ハ必ズ手自ラ三次ニ在ル者ヲ摑セザルモ僅ニ手巾ノ彼ニ觸ルアルモ手ニ捉フ者ト其法ヲ曰フス之ヲ手ニ捉フル者ニ比較スレハ其事最モ容易ナルベシ

○浣衣 我處女ノ衣服ヲ洗フヘキノ旨

浣衣ノ戲タル稍舞蹈ニ類似セル者ニシテ兩女子各其右手ヲ彼ノ左腕上ニ措キ面ト面ト相對シテ立テ而シテ徐々其右方ノ彼我手ヲ低昂スルコト三度終テ後左方モ亦右方ノ如ク上下ス此間ニ歌ヲ云ク我カ處女ノ衣ヲ洗ヘ我カ處女ノ衣ヲ濯フベシト二タビ謠フテ止ム再ヒ兩女ノ掌裏ヲ平ニ重ネテ怡

モ衣ヲ浣フノ狀ノ如ク三度之ヲ昂低ス其時亦二タビ歌ヲ云ク衣ヲ洗フベシ衣ヲ濯フベシト又猶可愛ノ運動アリ兩童女初ノ如ク相對シ互ニ兩手ヲ握リ其一方ヲ高ク揚ケテ弓形ヲ爲シ兩女共ニ跪坐シ各其首ヲ弓形兩手ノ下ニ入レテ遂ニ兩女反向シテ其背ヲ合セ又一方ノ兩手ヲ舉ルコト弓形ノ如クシ再ヒ此下ヲ潛行シテ故態ニ復スト雖モ其舉動ハ最モ迅速ナルヲ要ス是ヲ行フ間亦歌謠ヲ唱フ其曲ニ云ク當ニシボルベシ須ヲク衣ヲレボルベシト二度謠フテ止ム此遊戲ヲ做スコト三度俄然ニ之ヲ停止シ即チ相離レテ互三タビ拍子レテ歌ヲ曰ク此衣ハ當ニ叢林ノ中ニ於テ乾カスベシト謠フテ常トス此戲伴唯一對ノミナラズ數十對群相共ニ行フトキハ其

觀ル所婦々トシテ又自ヨ快活ノ風致アリ

○捉迷藏

紫盲ノ戲タル毎ニ戶外ニ於テ行フベキモノトス其故如何トナレバ戶外ノ地ノ如キハ屋内ニ比較スレバ避蔽隱身ヲ匿スニ便ナルノ所多ケレハナリ而シテ遊戲場中群童女ノ其一ヲ選テ之ヲ捉者ト定メ群女ノ各自ニ其隱避ノ地ヲ占ムルノ間ハ宜ク巾帕ヲ以テ己ノ兩眼ヲ蔽フテ他ヲ見ルコトヲ許サズ既ニシテ群兒各其所ヲ得ルニ及テ其中ヨリ號ヲ出シテ「ホー」「即チモ」ヨレ尋ネヨト云フ捉者此号ヲ聞キ即チ其帕蒙チ去テ衆女ノ匿所ヲ搜索シ既ニシテ一女ノ隱レタル者ヲ認ムルニ及テハ當ニ高ク其名ヲ呼テ或ハ云フ余ハ「マリー」「童女」ノ名ヲ

認メタリト又或ハ「ハル」「童女」レツト見出セリト云フ斯ノ如ク立タル所ニ行クコトヲ要ス又其女若シ能ク其所ニ達スル能ハズシテ中途ニ於テ捉者ノ爲メニ捕獲セラルトキハ前ノ捉者ニ代テ自ラ捉者トナラザルコトヲ得ス

○擬盲人

此戲技ハ迷踪摸蝦兒ニ類似シテ往古ヨリ做ス所ノモノニシテ衆童兒ノ能ク知ル所ナリ是ニ由テ其之ヲ説クモ亦大畧ヲ擧ケテ足レリトス戲伴ノ一童女巾帕ヲ以テ雙目ヲ蒙シ擬シテ盲人ト做リ他ノ衆女ヲ捉ヘン爲メ奔躍シテ東西ニ採歩ス衆童女ノ如キハ務メテ其一童女ノ側ニ近接シ殆ト捉ヘツレ

ント爲ルヲ遊ルコトヲ做ス屢捉ヘラレントシ屢失スルヲ妙

第二十圖



トス偶其一童女ヲ捉ヘ得ルト雖モ其誰タルヲ能ク曉リ其名ヲ呼フニ非サレバ其童女ヲ脱放シテ更ニ復タ摸捉スルヲ要ス往々斯ノ如キ戯場ニ臨テハ罰科ヲ償フコトヲ做スアリ凡ソ擬音摸捉等ノ戯種々多シト雖トモ罰科ヲ償フヲ爲サズルヲ

常法トス其摸索者ノ爲メニ捉ヘラレ能ク自己ノ名ヲ呼ビ知ラレタル者ハ代テ摸捉者トナルヲ要スルノミ

○認影射名人影ヲ認メテ其名
ト曉ルノ戯

此遊事ハ冬日ノ夕ニ當テ做スヲ最モ良トスルノ一戯タリ其之ヲ做ス甚タ靜穩ニシテ一モ他人ノ妨碍ヲナスコト無シ夫レ善良ナレ童女ノ各種ノ遊戯ヲ學習スル其始メ之ヲ父母親友ニ謀リ其許諾ヲ承ルニアラザレバ敢テ自恣ニ喧囂ナル遊事ヲ做シテ他ノ妨害ヲ醸ス勿ルベシ假令ハ極メテ細小事タリトモ必ズ先ツ他ノ意思ヲ推察シ其適否ヲ思量シテ而シテ後慰慰ニ之ヲ修スベシ平素家居スルニ當テ靜修精練スルトキハ他所ニ在テ遊戯ヲ做スト雖トモ其体裁温和ニシテ自然習慣ノ美質ヲ失ハザルナリ影戲ノ類亦甚タ多シ其作法ノ如キ大約次ニ示ス所ノ如シ其房室ニ白色ノ掛窓帷ヲ以テスルトキ帷帳ノ下底ヲ緊固ニ鎮壓スヘシ是帷帳ノ面ヲ平ニシ且

少クモ動搖セザラシメサル爲メナリ若シ掛窓帷ノ闕乏スルニ當テハ搥布帛ヲ以テ之ヲ壁上ニ掛クベシ而シテ其選ハレテ盲人ト做レル者燈燭及ヒ他ノ衆女ヲシテ己ノ背面ニ在ラシメ自ラ掛窓帷ノ前ニ坐スルヲ要ス彼ノ衆女皆列坐シテ後各自己ノ影ヲシテ白キ掛窓帷ニ映寫セレメン爲メ房室ノ向側ヲ行歩スベシ是時衆多ノ童女中或ハ頭巾ヲ被フルアリ或ハ肩巾ヲ着ルアリ或ハ故意ニ跛歩スルアリ各種々ノ妖貌ヲ爲シ務メテ故態ヲ變ス而シテ彼瞽童女ハ能ク勞傭中ニ認識シテ衆女ノ誰彼タルコトヲ曉リ之カ名ヲ喚ビ得ルコトヲ要ス

○擬瞽指人

原語盲人ノ指者ト云ヘル意

此盲目ノ人ヲ指シテ其名ヲ中ツルノ戲即チ藏瞽ナリ其眼目ヲ帕蒙シテ盲目ト爲リ房内ノ中央ニ立テ手ニ長挺ヲ持テリ他ノ群女皆其近傍ヲ回轉シテ各適意ノ聲色ヲ爲ス或ハ笑フ者アリ或ハ叫ブ者アリ或ハ咳嗽スルアリ或ハ拍手スルアリ踏舞スルアリ大畧此等ノ類ナリ彼ノ盲目タル者衆聲ヲ默聽シ務メテ其笑フモノハ誰咳スル者ハ某タルヲ名指シ携持スル所ノ長挺ヲ以テ其童女ヲ指シ其名ヲ呼テ之ヲ與フ是ニ於テ其自己ノ名ヲ指サレタル者即チ代テ

圖三十第



盲目ノ任ニ當ル此戲又次條ニ示ス所ノ如クニレテ行フコトアリ茲ニ衆童女互ニ其手ヲ把搦シ輪圍ヲ設ケ彼ノ盲目ヲ其中央ニ置キ而シテ其周圍ヲ旋回ス盲目杖ヲ以テ床上ヲ敲ク此ヲ停止ノ信號ト做シテ其旋回スルコトヲ休ム是ニ於テ盲目其意ニ適スル所ノ者ニ其杖ヲ指シ指サレタル者杖ノ一端ヲ把リ杖ノ他端ヲヘシ是時盲目杖ノ一端ヲ搦テ一輕音ヲ發ス其指サレタル者モ亦一響スル假令ハ盲目ノ發音ニ或ハ猫兒ノ啼吼ヲ做シ或ハ喇叭ノ音響ニ擬似スル等ノコトヲ爲ス而シテ其ノ語音ヲ以テセズ若シ盲目ニ擬似スル所ノ者ノ音聲ヲ暗記シテ其誰某タルヲ正シク名指シ之ヲ明告スル能ハザルノ際ハ猶長ク盲目ト成テ其任ヲ務メザルコトヲ得ズ

○隱藏シテ搜索ス

一女先ツ房外ニ出ヅルコトヲ爲ス他ノ衆女皮繩手巾或ハ是種類ノ玩具ヲ隱藏シ其事ヲ做シ畢テ後衆女等相喚テ云ク「ゴト」即チモ一ヨシ尋ネヨト此時彼ノ一女復タ房内ニ入り其品物ヲ隱藏シ置キタル所ニ至ラントスルトキ衆女互ニ叫喚シテ云フ汝方ニ燃ユベシ今汝既ニ益燃ユルベシト而シテ其一女甚タ密近ニ迫ルトキハ又呼テ云フ嗚呼汝將ニ火焰中ニ入ラントスト若シ其蔽匿セシ器具ヨリ遙ニ遠ザカラントスル時ハ衆女一同音ニ呼テ云フ汝如何ニ冷ニル寒氣ヲ生ゼシヤト而シテ偶然品具ヲ搜索シ得ルアレハ其コレヲ隱藏セシ所ノモノ之ニ代ツテ搜索者ト做ル凡ソ隱藏物ニ近ツクテ燃

ユル火ニ入ルト云ヒ其物ニ遠ザカルヲ冷ユル寒氣ヲ生スト
云フ

○支那ノ繪影

凡ソ影戲ノ類ハ童兒ノ擧テ愛玩スル所タリ此戲唯夜分ニ於
テ爲スベキノミ即チ巨大ノ掛窓帷幕及ヒ燈燭ヲ以テ之ヲ做
ス掛窓帷ハ其色純白ヲ最モ良トス而シテ其面ヲ平カニシ且
動搖セシメザラン爲メニ固ク緊定センニハ之ヲ下シテ兩側
ノ壁間ニ針ヲ以テ留ムベシ其之ヲ行フニ當テ一群ノ衆童女
半數ハ看客ト爲リ半數ハ行者ト爲ルベシ看客ハ掛窓帷ニ面
シテ數重ニ排列スベシ其排列中最モ前面ニ在ル一小群女ハ
掛窓帷上ヲ横截リテ絹紐或ハ細小ノ棒ヲ率ネ各手臂ノ能ク

及フ所ノ高サニ舉ケ之ヲ鎮壓スベシ是影繪ノ動搖スベキ物
ヲシテ靜定セシメ衆女ニ示サンガ爲メナリ彼ノ行者タルモ
ノハ看客ヲ離レテ少シク其後ヘニ立テ豫備シ置ク所ノ紙葉
ニ貫キシ種々ノ畫像假令ハ屋宇草木男女ノ形體及ヒ諸活動
物等ヲ以テ順序ヲ逐ヒ徐々ニ彼ノ掛窓帷ノ面ニ照映シテ其
影ヲ寫スベキ様式ニ從テ之ヲ通過シ之ヲ變換スベシ是等ノ
影繪ヲシテ或ハ進メ或ハ退ケ或ハ逢ヒ或ハ別レ愈々出テ愈々奇
ナラシムルモ亦甚タ容易ナリトス加之ス之ヲ做スノ間自由
ニ畫圖ノ說話ヲ爲シ出像返魂ノ奇想ヲ起サシム此術ニ練達
老熟スル所ノ者ニ至テハ戰爭ノ狀態或ハ盲人ノ角觥田舎漢
ノ野踊等ノ實景ヲ模寫シ人ヲシテ悲喜交發シテ止マザラン

ハ凡ソ屋宇草木其他無情物ノ如キハ其影ヲシテ妄ニ動搖セ
 シメザランコトヲ要ス禽族ニ至テハ數縲ノ絲ヲ掛ケ其端ニ
 結着シ且引キ且搖カシ始終定則ナカルベシ此戲ノ事實更ニ
 影畫鏡ト異ナルコトナシ行者若シ久シキニ堪ヘザルトキハ
 彼ノ看官之ニ代テ新ニ其戲ヲ續キ行フコトヲ要ス

○抵抗カ

此遊戲モト佛蘭西ト英吉利トノ號アリ現今ニ至テハ斯ク科
 スベカヲ宜ク英吉利カ支那カト呼做スベシ單ニ其力ヲ試
 驗スル者タルヲ以テ小童女ニ不相當ノ戲事ト思想スルコト
 アルベシ然トモ余カ曾テ識ル所ノ兄弟姉妹ノ如キモ甚ダ此
 戲ヲ愛好スルアリ今其方法ヲ説示サン茲ニ兩黨ヲ設ケ其人

第四十圖



員各齊一ナラシメ又一線ヲ地上或ハ床上ニ畫シ兩黨各其目
 的トスル所ノ者ヲシテ此線界ヲ踰越セシノ他黨人ヲ自黨ニ
 引入ルコトヲ要ス若シ彼方ノ各人ヲシテ悉ク我方ノ線界
 ニ引入レ得ルトキハ彼ヲ呼テ囚人
 ト做シ勝利ヲ得タリトス兩黨人ノ
 中央ニ在テ互ニ手ト手ヲ把握スル
 兩人各黨一人ノ如キハ最モ用心注意
 シテ其舉動ヲ務ムベシ如何トナレ
 ハ若シ突然粗暴ヲ做ストキハ之カ
 爲メニ衆女悉ク危難ヲ惹起スコト
 確實ナレハナリ

○是ノ所ニ焙リ是ノ所ニ醗ス

此戲タル小童女相連テ團形ヲ作り我カ隣次ニ列スル者ノ手ヲ互ニ緊握スルコトヲ做ス而シテ一童女之カ中央ニ在テ彼ノ衆女等カ各相結ヘル一雙ノ手ニ自己ノ手ヲ觸レンメ其時ニ語テ云ク此所ニ我之ヲ焙ルト又他ノ童女等カ相結メル一雙ノ手ヲ動搖セシメ謂テ云ク我此處ニ於テ之ヲ醗スト斯ノ如ク順次ヲ以テ他ノ童女等ノ手ヲ動カシ語ルニ余此所ニ居テ結新餅ヲ製スト或ハ我之ヲ碎カント欲スト云フヲ以テス此結尾ノ句ヲ語ルトキ兩女等相握ルノ雙手ヲ離サシメント欲シ特意ニ衝撞スルヲ爲ス一女中央ニ在ルモノ能ク之ヲ分離スルコトヲ得バ之カ爲メニ手ヲ離サレン者其一女ニ代テ

離ス者ノ任ヲ受クベシ若シ其女之ヲ分ツ能ハサルトキハ遂ニ之ヲ捨去テ能ク他女ノ手ヲシテ分離セシムルニ至ルマデ輪團中ヲ迴轉シテ止マザルベシ之ヲ試ル三回ニシテ猶其功ヲ奏セザル者ノ如キハ罰シテ科料ヲ出サシムルアリ然レトモ科料ヲ取ラズシテ互ニ相嬉ブテ此戲ノ常法トス

○汝ハ鵝鳥ナラザルヲ得ズ

此遊戲ノ如キハ童女互ニ會話スルテ大旨トス而シテ其會話スルニ當テ種々語ル所ノ事狀ヲ紙上ニ模寫スルヲ法ト做ス假令ハ一童女先ツ下條ノ事ヲ語ラハ即テ筆ヲ執テ云ク茲ニ老夫婦アリ一楕圓形ノ室ニ住メリト因テ其室ノ圓形ヲ圖レ即テ○又語テ云ク此室ニ一廳アリ其形ハ此ノ如シト即テ○

又圖隱ノ圖ヲ做シ又語テ云ク此室ニ一戸アリ其戸ハ彼ノ廳
ニ對シテ其形是ノ如シト即ケ一又語テ云ク此戸前ヨリ一通
路アリ其路ノ一方ハ生籬其側ニアリ而シテ其路ノ形タル是
ノ如シト云テ又其狀ヲ圖ス即ケ一又此路ノ窮ル所ニ一池ア
リ其形ハ是ノ如シト之ヲ圖シ畢テ即ケ一

第五十圖



又云ク此池邊

ニ草アリ蕃茂スル是ノ如シト又筆シテ其草ヲ添ヘ即ケ一而
シテ後又曰ク一夜賊アリ池ノ彼ノ岸ニ來レリ其容貌ハ是ノ
如シト其足指ノ跡ヲ畫キ即ケ一且ツ曰ク時ニ賊ノ來レルヲ
以テ老婦其良人ヲ喚テ曰ク池塘ニ人アルヲ覺フ請フ行テ其
來由ヲ糾問セント是ニ於テ老夫婦遠ニ池中ニ入り其中央ニ

到リテ留マレリ其留マル所ノ形容是ノ如シト二人相並フノ
趣ヲ摸シ即ケ一且ツ曰ク夫婦ノ相留マル既ニ此圖ノ如ク又
互ニ相啓テ云ク嗚々スル勿レト其體裁是ノ如シト手ヲ以テ
招クノ形ヲ寫シ即ケ一又曰ク老夫婦遙ニ彼ノ岸ヲ窺ヘトモ
一物ノアルヲ見ルナシ其故如何トナレハ彼ノ賊ハ之ヲ視テ
愕然逃去シハナリ彼ノ二老ハ寒ヲ畏シテ池中ニ立ツコト良
久シ老夫婦婦ニ語テ云ク其レ是ノ如クバ汝モ鶴鳥タラザル
ヲ得ズ宜ク家ニ還ルベシト云フ時ニ又說話スル者鶴鳥ノ形
ヲ繪クベシ其寫セル所ノ紙ヲ高ク掲ケテ之ヲ衆兒
ニ示サバ衆兒ハ當ニ鶴鳥ノ畧圖是ノ如クナルヲ悟
了スベシ前ノ如ク會話中逐一其事ヲ記寫スルニ臨

第六十圖



ミテハ執筆者圍繞セル群兒ニ對シ其形容ヲ摸ス彼ヨリ見レ
ハ顛倒スルアリ左右ヨリ見レバ側面ナルアリ宜ク其人々ニ
對シ注意セシムベキヲ要ス若シ然ラザレバ圍繞ノ衆兒ハ執
筆者ノ意ヲ觀察スルニ由ナレ

○智慧ノ牆壁

茲ニ一個ノ泉水アリ清シテ且ツ冷ナリ而シテ四貧者ノ來テ
此四隅ニ住セル其形此ノ如シ



第七十圖

ア！其性忍刻ニシテ善良ナラズ亦來テ彼ノ四貧者ノ屋後ニ
當テ四大家ヲ新築セリ其地位ハ此ノ如シ

第八十圖



然ルニ四富豪者相議シテ此清泉ヲ汲ミ專ラ四

家ノ用ニ供シ彼ノ貧者ヲシテ水ヲ用ヰルヲ得ザラシメントカ
爲メ高牆壁ノ屈曲連續スルモノヲ設立シ富者ヲ壁内ニ置キ
貧者ヲ壁外ニ在ラシメ泉水ニ通スルニ路無カラシメント欲
スルニ其高長ノ牆壁屈曲ノ形體如何スベキカ汝等久シク之カ
爲メニ思焦ストモ尙其形ノ當然ナルモノヲ石盤上ニ圖スルコト

ヲ得ザルベシ故ニ余今其形ヲ畫キテ汝等ニ示サン

第九十圖



○獨樂

陀螺ヲ舞スノ戲ハ鈕形ノ象牙或ハ木ヲ以テ造ル所ノ物ヲ以テ鐵針若クハ木釘ノ頭ニ貫キ之ヲ床上或ハ机案ニ於キテ圓旋スルノ技トス其針釘等ヲ用キルハ宜ク鈕形物ノ中心ヲ求メテ之ヲ貫キ尖頭ヲ僅ニ顯ハシ下底ニ餘ス所ハ大抵五分許ヲ適宜トス而シテ衆童女相集リテ各其好ム所ノ物ヲ執ルベシ或ハ彩色ノ異ナルアリ或ハ形質ノ大小アリ其形色ノ彼此別ナル品物ヲ得各相競フテ圓旋スルニ及ヒテハ無數ノ獨樂其形色ヲ異ニスルモノ點々圓旋シテ實ニ目ヲ悅ハシムレニ足レリ

○藁拔キ

此技タル稻藁若クハ竹木箸等數百條ヲ取テ長端均一ナラシメ之ヲ積ミ簇々依テ相立タシムベシ而シテ別ニ一二ノ竿頭ニ質ノ美ナル曲針若クハ鈎針ヲ挾ミ之ヲ以テ先ツ衆女中ノ一兒ニ與ヘ順序ヲ定メ次ヲ逐フテ彼ノ積堆スル所ノ藁若クハ箸ノ一條ヲ鈎取スルヲ要ス之ヲ鈎取スルニ當テ毫モ他物ヲ動搖シ或ハ傾倒セシムルヲ得ズ然ラサレバ假令務メテ其一條ヲ拔キ得ルモ勞シテ功無シトス夫レ此ノ如キ至微至難ノ技ナルヲ以テ一兒適ク多少ノ辛苦ヲ極メテ一條藁ヲ鈎取セハ之ヲ己ニ藏蓄シ一二三四ト相數ヘ相積ミ彼ノ始メ積堆セシ所ノモノ悉ク盡クルニ及ヒテ即チ他ノ衆兒各自ニ得ル所ヲ算計シ其得ルノ多寡ヲ以テ其優劣ヲ定ムベシ凡ソ之

チ爲スノ始ニ當リ先ツ葦頭若クハ箸首ヲ染メ或ハ小印ヲ點
シテ他ト異ナル物三條ヲ其中ニ雜置レ三條中ノ第一ナル物
ヲ假ニ稱シテ帝王トシ第二ヲ皇后トシ第三ヲ大僧正ト呼做
ス其第一ヲ得ル者ハ一條ヲ以テ他ノ四條ニ充テ第二ヲ得レ
バ他ノ三條ニ充テ第三ヲ得レバ他ノ二條ニ充テ優劣ヲ定ム
ルナリ

○餅搗ケ餅搗ケ

此遊戯ノ如キハ凡ソ全世界中國トシテ之ヲ做サズル所ナレ
而シテ此戯技ヲ爲ス群女中ノ第一兒平坦ニ端坐シ丁々手ヲ
拍ツ第二兒モ亦此ノ如ク互ニ相歌ヒ相和シテ云ク餅搗ケ
餅搗ケ餅舍ノ人ヨ吾ハ成ルタケ早ク搗クト斯ク云フコト二

タビニシテ又掌ヲ撫シテ云ク餅ヲ團メヨ餅ヲ團メヨト而シ
テ後又食指ヲ以テ左手ノ掌裏ヲ指テ云ク按シテ試ミヨ餅ヲ
按シテ試ミヨト斯ク云ヒ畢テ又兩手ヲ高ク舉テ云ク當ニ蒸
籠ニ入ルベシト其長歌ヲ唱フル左ノ如シ

搗クベシ搗クベシ餅ヲ搗クノ人偏ニ吾ニ與フルノ速ナ
ルヲ望ム且其餅ヲ圓形ニシ印スルニ「ト」ノ一字ヲ痕セヨ
是「ト」マスニモ與ヘ且吾ガ爲メニ蒸籠ニ入レヨ

○射奇偶

奇偶ヲ射ルノ戯事其爲ス所ノ方法亦數種アリ其一ヲ云ハン
茲ニ一童女アリ先ツ小粒ノ菓子等數個ヲ掌中ニ握リ之ヲ膝
前ニ出ス又一童女アリ其掌握スル所ノ物ノ數ヲ臆斷意算シ

テ即ナ[テウ]即ナ奇ト云ヒ或ハ[ハン]即ナ偶ト稱ス而シテ後其
 手ヲ開キ其物ノ數ヲ示シ果シテ彼ノ云フ所ノ如ク奇若クハ
 偶ニ中レハ其射テ云ヒ當ル者ヲ勝トシ若シ其言フ所ニ反ス
 レハ掌握スル者ヲ勝トス此遊戲ハ最モ古代ノ戲ニシテ羅馬
 國希臘國ノ女子等常ニ好テ之ヲ做セリト云フ而シテ當時用
 非ル所ノ物多クハ豆栗巴旦杏ノ類或ハ金貨ヲ以テ之ニ代ル
 アリ

○碗ノ砂

此戲ハ殆ト彼ノ策拔キノ技ニ相近シ其遊事ヲ爲スノ始メ先
 ツ盃碗ニ砂ヲ盛リ此ニ細小ナル旗一旒ヲ立ツ衆童女其傍ヲ
 回旋レ順次ヲ逐フテ盃子中少分ノ砂量ヲ彈キ出スコトヲ要

ス此時若シ誤テ彼ノ小旗ニ觸レ之ヲ傾ケ倒ス者ハ諱テ其旗
 ナレテ故ノ如ク起立セシメ而シテ後他ノ群兒女ニ對シテ吾
 ノ不敬無禮ヲ謝シ或ハ正ニ婦人ノ禮儀ヲ行フテ法口トス

○櫻子

群童女環列シ其中央ニ立ツ所ノ
 一兒粗糸ヲ櫻子ノ帶ニ約結シテ
 之ヲ低垂シ彼ノ圍繞セル衆兒女
 ナシテ手ヲ後ニシテ口ヲ伸キテ之
 テ喫マシム敢テ手ヲ添フルコト
 ナ許サズ此ノ如キノ遊戲ハ最モ
 爲シ易キ所ノ事ト雖トモ勉メテ

目 止 第



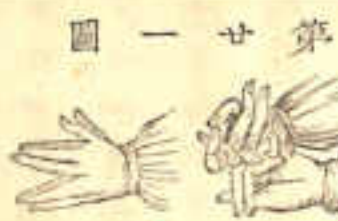
謙讓温和ノ風ヲ存スルヲ以テ若シ遊戯ノ夥伴事ニ觸レテ怒
ヲ發レ或ハ私ニ諍議ヲ生シ或ハ泣喚シテ止マザル等ノコト
アルトキハ速ニ遊戯ヲ休止セシムルヲ法則ト做ス

○鵝鳥形

此戲技タル群女中ノ一兒先ツ其小指ヲ中指ノ背ニ重ネ中指
ハ小指ヲ重ネナゲテ共ニ食指ノ背ニ置キ而シテ斯ノ如ク重
ネル所ノ三指ヲ以テ大指腹部ニ當テ嘴形ヲ爲シ他ノ伴ニ謂
テ云ク汝等請フ吾カ鵝鳥ヲ買フベシト時ニ他ノ童女中ニ之
ヲ買ハント云フ者アレバ遠ニ其組重ネル所ノ數指ヲ解放シ
掌ヲ開張シテ之ヲ衆女ニ示シテ曰ク不幸ナリ鵝鳥ハ飛去テ
空中ニ入レ今ヤアルコト無シト

○影戲ノ狐兔

童兒女輩其弟妹ノ最モ幼稚ナル者ヲ守ルニ當リ其ヲシテ嬉
ミ且撫慰シテ能ク靜良ナラシムル所ノ遊戯頗ル多シト雖モ
夜分ノ影戲ヨリ善キハナレ先ツ童女ノ十指ヲ組合シテ種々



ノ形狀ヲ做シ之ヲ燈火ニ照映シテ影ヲ壁面ニ寫
シテ家兎或狐頭ノ如キ者ヲ現ハス等ノ事最モ幼
孩兒ヲシテ嬉ミ或ハ懼レシムルニ足レ其事ヲ
做ス次第ノ如シ第一圖ヲ狐トシ第二圖ヲ家兎ト
ナス而シテ其第一圖ノ狀タル第二第三ノ兩指ヲ

奇巧ニ上下セシムレハ其影恰モ狐ノ物ヲ食フガ如ク若シ掌
ヲ平ニスレバ人ノ形ヲ生シ或ハ鳥嘴及ヒ鳥頭ノ狀ヲ現ハス

コトヲ得ヘシ又大指ノ腹上ニ食指ヲ置ケハ即チ鳥嘴ヲ生レ
 復タ中指ヲ食指ノ背ニ相重ネ中指ヲレテ少シク屈シテ食指
 ト全ク相重ネルコト無ク指ノ中央ヲシテ空隙
 アラシムルトキハ其影恰モ鳥眼ノ如キヲ現目
 セリ而シテ後他手ニ胡桃ノ類ヲ摘持テ之ヲ其
 嘴邊ニ近ククレンバ實ニ鳥ヲ飼フノ狀ノ如シ

○飛去レ雀鴉



戲童女等各側兩手ノ中指爪ニ濕紙或ハ煎餅薄脆等ノ物ハ一
 小片ヲ貼着シ其一指ヲ雀ト云ヒ他ノ一指ヲ鴉ト稱ス而シテ
 其兩指ノミヲ相並ヘテ机端ニ置キ突然一指ヲ擧ケ呼テ云ク
 雀ヨ飛去レト而レテ其手ヲ机上ニ下ストキ忽チ中指ヲ隠レ

代フルニ食指ヲ以テスベシ又他ノ一手ヲ揚ケ呼テ云ク飛去
 レ鴉ト其中指食指ヲ交換スルコト例ノ如シ斯ノ如クスルト
 キハ彼ノ濕紙共ニ失セテ見エズ其之ヲ轉換スル極メテ神速
 ナレバ傍觀ノ癡兒驚歎シテ實ニ以テ雀鴉飛去レリト爲スニ
 至ル而シテ後復タ手ヲ擧ケテ云フ復タ來レ雀ト其時即チ彼
 ノ中指ヲ机端ニ置クベシ爾時雀ノ濕紙忽チ復タ出現ス鴉モ
 亦此ノ如クシテ示スベシ

○指踊戲

茲ニ一種ノ指踊戲アリ奇ニシテ且雅致アリ其事タル先ツ大
 指ト他ノ四指ヲ屈メ第一ニ其大指ヲ搖カン大聲ニ歌テ云ク
 踊ルベシ踊ルベシ當ニ大ニ踊ルベシ斯ク謠ヒ了テ即チ大指

ヲ搖カスヲ休メ又他ノ四手ヲ搖カシテ云フ汝等須ラク跳舞
 スベシ愉快ノ人々ヨ彼ノ田舎兒ハ獨リ踊ルニ便ナリト斯ク
 謠ヒ又獨リ食指ヲ搖カシテ歌フベシ其歌ニ云ク踊ルベシ頭
 人ヨ跳舞スベシ頭人ヨト之ヲ謠ヒテ又五指齊シク搖カシ且
 ツ歌ヒテ云フ汝等當ニ舞フベシ實ニ愉快ト云フベシ何トナ
 レバ頭人ノ如キハ能ク獨リ踊ルヲ得レバナリト然レテ又中
 指ヲ搖カシ踊ルベシ踊ルベシ中ノ人ト即チ中指ヲ唱ヘ五指
 ヲ搖カシテ汝等宜シク踊ルベシ實ニ愉快ト云フベシ其故ハ
 中人ノ如キハ能ク獨リ踊ルヲ得レハナリト尙又佗ノ殘レル
 兩指モ前ニ爲ス所ノ如クシテ謠フベシ時ニ無名指ヲ指環人
 ト稱シ小指ヲ短小人ト呼フベシ此技ヲ熟練シテ能ク行ヒ變

化自在ナルニ至テハ誠ニ幼童子女及ヒ觀者ヲシテ喜慰快悅
 セシムルニ足レリ

○銀錢響

此技モ亦奇戲ナリ先ツ右手ノ掌ヲ以テ左手掌上ニ十字形ニ
 重ネ其指ヲシテ密ニ掌背ニ接著セシメ其左掌ノ背ヲ以テ跪
 ツク所ノ膝蓋骨ヲ打叩シ他ノ兒女ニ問フベシ吾カ掌中ニ何
 物ナカ有スルト然リ將ニ答テ云ハン思フニ二個ノ銀錢ナル
 ベシト其故如何トナレバ其音實ニ銀錢ヲ相摩擦スルガ如キ
 響ヲ爲セバナリ若シ其答フル所果シテ此ノ如クナレバ即チ
 兩掌ヲ開潤ニシテ空手中一物無キヲ示スベシ

○弄闕

此嬉戲ハ群童女ノ尙己_レヨリ幼少ナル者ヲ玩弄シテ欣慰セシ
ムルノ遊事ニシテ瑣々タル小嬉戲ナリ其之ヲ爲スヤ童女ノ
面ヲ物依ノ後ニ隱シ或ハ忽々現ハシ可憐兒ニ向テ唱ヘテ_レボ

○團牌樓

團牌ヲ累ネテ樓閣ヲ作
ルノ戲技ハ巧手ニ非ザ
レバ其精ヲ究メ難シ先
ツ二片ノ團牌子ヲシテ
兩頭相依ラシメ恰モ天
套形ノ如クス而シテ四
箇相並べ其四箇上ニ又

一_レバーブ_レ即
ナバーアト
云フ或ハ不第
意ニ面ヲ出
シテ赤子ヲ
團ヒ弄シテ
モ亦タ爾カ
云フナリ



各二片牌ヲ平坦ニ安置ス是一層樓ヲ設立センカ爲ナリ其平
坦ニシテ床ノ用ヲ爲スベキ所ニ又三箇ノ天套形ナル物ヲ組
立テ其上ニ各二片ヲ置テ床ノ如クシ第三層ノ設築ヲ爲スベ
シ又其床上ニ團牌ヲ以テ二箇ノ天套形ヲ造リ又平坦床ヲ設
ケ其上ニ又一層ヲ組テ一ノ天套形ヲ建ツ是ニ於テ始メテ其
業ヲ止ムベシ如何トナレバ一天套ノ上更ニ床ヲ設クルノ地
位無ケレバナリ若シ一童女アリ之ガ爲メニ一脚ノ執ヲ有持
シ一己ノ用ニ供スルコトヲ得レバ此樓閣ノ周圍ニ又二片ノ
團牌ヲ兩頭相依ラシメテ之字山間ノ路ノ如ク_レボルシニヤ_名地
垣端ノ形ヲ像ルニ足レリ其中ニ於テ種々ノ家ヲ設クルコト
ヲ得ベシ假令バ倉廩府庫ヲ置キ或ハ涼亭或ハ小房等ヲ築キ

且ツ木造ノ狗犬或ハ牝牛又ハ牛乳ヲ取ルノ婢女類ノ製造物アリテ之ヲシテ各其位置ニ在ラシメハ當ニ是レ一大農家ノ形狀ヲ見ハスニ足ルマシ

○擬家具

女兒ノ家ニ處ル常ニ大人ニ侍シ種々家具ノ排列セルヲ見ル毎ニ好テ食饌飲器ヲ供給スルノ遊戯ヲ做ス是ニ於テ或ハ一机案ヲ設ケ其傍ニ之ニ稱フ所ノ椅子ヲ置キ或ハ茶碗碟子杯盤ヲ列ネ賓客送迎ノ狀ヲ做シ或ハ艶麗ナル木偶人ノ小ナルモノヲ椅子ニ安置シ其休裁最モ華美ヲ極ム又田舎僻邑ノ女兒ノ如キハ茗盃杯蓋ニ代フルニ櫛子實ヲ用テシ盤ニ代フルニ桃實ヲ兩判シテ用弁ルナリ

○擬學校

假學校ヲ設ケ文書針線ノ事ヲ擬スルハ童女兒最好ノ戲ナリ群兒中一個ノ才女子ヲ選ヒ之ヲ女教師ト定メ他ノ兒輩ハ悉ク此教師ノ命ヲ遵奉シ或ハ書ヲ讀ミ字ヲ學ヒ或ハ縫裁ノ技ヲ傳授シ各其適スル所ノ事業ヲ做ス而シテ他人ト私語耳語スル等ノトキハ必ズ屋ノ一隅ニ於テ最モ靜カニ爲スベキヲ命ゼラル是ニ於テ各童女身自ヲ算ノ學校ニ在テ日課ヲ勤ムルノ情形ヲ爲シテ娛樂ニ供ス然トモ其嬉戲一モ兒女子ノ當ニ爲スベキ事外ニ出ラズ偶其遊戯ヲ少變スルコトアリ即テ彼ノ女教師ト假定セル所ノモノ他ノ一兒ヲ喚テ云ク「マリー」少女子ヨ汝ノ稟性甚ダ良善ナラサルアリ汝ハ他ニ行キテ無

第廿四圖



益ニ校中ノ事情ヲ語レリト「マリー」答テ曰ク教師ヨ誰アリテ
 カ此ノ如キ無稽ノ事ヲ告ケシヤト此時教師若シ之ニ答テ此
 母指ノ告クル所ナリト云ハ「マリー」ハ宜シク答テ斯ク云フ
 メレ何ゾ其事ノワシヤ其女母指ヲ云フ
 ノ如キハ一モ事ヲ解スルヲ得ザル
 者ナリト云フベシ「マリー」ノ答フル
 所此ノ如クナラバ教師ハ又食指ノ
 云フ所ト云ハ「マリー」ハ答テ吾ハ
 其食指ノ如キ女子ハ信スル能ハス
 ト云フベシ教師又中指ノ告グル所
 ト云ハ「マリー」答テ然ラバ其中指タル女

子ナレテ其事ノ證據ヲ示サシメヨト云ハン無名指ノ告グル
 所ト云ハ「マリー」答テ嗚呼彼ノ無名指女ハ怠惰ニシテ且ツ無稽ノ
 言ヲ發スル者ト云フベシ教師若シ小指ノ語ル者ト云ハ「マリー」即
 チ他ノ群童女モ共ニ聲ヲ發シテ嗚呼此無用ノ小指女ト云フ
 メレ若シ教師ニ答フル者其度ヲ失ナハ「マリー」直ニ教師ヨリ其罰
 トシテ滑稽詭浪ノ一事ヲ命シテ群兒ノ笑ヲ取ラシム然レドモ
 教師ノ任ニ當レル者ハ假令遊戯ト雖トモ能ク其事ニ注意シ
 他ノ群兒ヲシテ不順序不相當ノ學動アラシメザルヲ要ス

○交綫戲

細綫若クハ小紐ノ大凡ソ二尺三四寸尺曲ナル者ヲシテ緊壓編
 結セシメ兩女子相對シテ雙手互ニ之ヲ交換ス其法種々ノ線

絡各々ノ機活ヲ做シ色々ノ形狀ヲ作ルノ戲ナリ或ハ臥臺ヲ造ルアリ或ハ十字形或ハ至細ノ活字或ハ蛛網等ヲ模擬シテ編ムアリ其如何シテ之ヲ做シ得ルヤ其方法ヲ記載センコト筆墨ノ及ヒ難キ所ナレバ少童女ノ才敏能ク交換シ能ク編綴シ得タル懸信ナル者ヨリ實際ニ就テ授受センコトヲ要ス

○嘗不得イシヤク 恋イシヤク 成イシヤク ハイシヤク ノイシヤク 片イシヤク 音イシヤク ヲイシヤク 云イシヤク ハイシヤク 小兒

兒女子ノ夥伴各個右手ノ食指ヲ以テ他ノ一兒ノ膝上ニ左右ヨリ置クコトヲ做ス此一兒ハ即チ此戲ヲ發起スル者ナリ而シテ一兒順次ヲ以テ衆女ヲ撫シ乳臭兒ノ最モ香ヒ得ザル所ノ詞ヲ舉テ曰ク「インタリー」「ミンタリー」「カツタリー」「コレン」等或ハ林檎ノ寶曼陀羅花針金荆棘蓮車ノ鎖群鶴ノ類ヲ云ヒ試

ミ而シテ又曰ク泉ノ外或ハ泉ノ内ニ又坐スベント其一兒女ノ語ルニ又泉内ニ坐スベント云フ其内ト云フニ偶當レバ彼ノ衆女中其時手指ヲ撫セラレシ者ハ他女等ノ意ニ適スル所ノ罰科ヲ蒙ラザルヲ得ズ又女兒畏縮シテ避ケ逃ルヽコトヲ做シ他ノ衆女等捉ヘントシテ其力ヲ勞スルアリ

○木偶人

夫レ木偶人ニ衣裳ヲ服セシムルハ童兒女ノ最モ愛好スル所ニシテ大ニ緊要ノ一助ト做スベシ如何トナレバ兒女子等若シ能ク其嬉戲ノ偶女ニ着スル所ノ細小ノ上蓋衣帽子及ヒ外套等ノ如キ常ニ看慣レテ愛玩掛慮スルトキハ其成長ノ日ニ及ヒ衣服裁縫ノ技ニ於テ極メテ妙工夫ヲ得レバナリ余曾テ

一少女ノ木偶ノ數十二個ヲ有スル者ヲ識レリ其十二個中二三ハ他人ヨリ贈ル所ノ者ト雖トモ其少女子爛布ヨリ裁縫レテ自ラ粧飾セシ者多クナリ而シテ其姊タル者之カ眼目及ヒ口唇ヲ着色セリ茲ニ其少女子各般國民ノ風習ニ因テ各般ノ粧飾ヲ其偶人ニ施サント欲シ如何シテ能ク做レ得ント焦慮スルコト久シク而シテ一モ他人ノ幫助ヲ受クルコトヲ做サズ幸ニ風俗慣習ト習スル所ノ一書ヲ熟讀玩味シテ始メテ各國人民ノ衣襟ニ隨ヒ着飾セシムルコトヲ得タリ而シテ其

第五廿五圖



樣式實ニ宜シキニ適シ且ツ甚タ奇巧ナリ譬ヘハ彼ノ「ラアラ」
「ラアラ」 歐洲北部 人ノ如キハ毛皮ヲ以テ軀幹ヲ總會スルアリ
 亞非利加婦人ハ其鼻頭及ヒ手臂ニ飾物ヲ施シ米州印土人ノ
 如キハ其頭髮ヲシテ項頸ニ結束セシメ其肢体ニ至テハ多少
 ノ墨線ヲ點ゼリ佛蘭西女子ノ類ハ都テ屈身拜首且ツ手足ヲ
 運動スルノ狀ヲ寫シ土耳其人ハ燦爛タル衣服ヲ裝ヒ首飾ニ
 頭巾及ヒ鳥羽ヲ藏カセリ此等ノ偶人ノ如キハ精巧ヲ極メ奇麗
 ナル觀物ヲ表セリ各品物中最モ絶妙ト稱スル所ノモノハ衣服
 ノ縫裁彩飾人ヲシテ感歎セシムベシ是ニ由テ之ヲ觀レバ
 爛布偶人ト雖トモ輕侮スル能ハズ墨西哥國人ノ偶像タル蠟
 テ以テ包裹シ爛布ノ狀ノ如ク人形ヲ彫造セリ其巧妙手タル

彫像師ノ所爲ト異ナル無キニ至レリ此墨西哥製ノ偶人ノ様式我カ倫敦府中「チャーレス」通衢ノ「ソーボ」街中「モンタナリヤ」（家主人ノ名）ノ店頭ニ多ク排列シタリ而シテ其排列中木偶人ノ如キハ像形大小老幼種々觀美ヲ盡セリ少女兒タル者阿母ニ陪隨シテ此店舗ニ至ルアラバ喜歡幾何ゾヤ夫レ少女ノ家ニ處ル別ニ情意ヲ語ルベキモノ無ク玩具ノ偶人ヲ以テ自己ノ同伴ト做シ或ハ之ニ愛情ヲ話シ或ハ之ト接吻シ或ハ之ニ説諭シ或ハ之ヲ叱責シ或ハ之ニ書ヲ讀ムコトヲ教ヘ或ハ之ヲシテ睡眠セシメント欲シ其歌ヲ唱ヘ無情ノ默偶人ヲ有情ノ可憐兒ト看做シ之ト對坐シテ嬉戲ヲ爲シ得ベキモノタリ

○偶人ノ家居

童女兒ノ傀儡戲ヲ做スニ當テハ先ツ偶人ノ家居ヲ設ケザルベカラス閨房ノ遊此ヨリ樂キハ莫シ其建築ノ狀人間尋常ノ屋宇ト異ナル無シ唯大小ノ同シカラザルノミ且家内ニ現在安排スル所ノ家具ニ做フテ之ヲ適宜ノ地位ニ列ネ以テ其嬉樂ニ供スベシ始メ一小建家ノ空洞ニシテ一モ器物無ク唯小火爐ヲ附シテ之ヲ其女兒ニ與フルヲ善シトス其故如何トナレバ女子ノ管理スベキ家具ノ裝置等ヲ練習セシムルニ便宜

第廿六圖



ナレハナリ其家具ノ如キモ漸次ニ之ヲ安排セハ日ニ一日ヨリモ邊分ノ樂ミヲ加フベシ又其家居ニ就テ數種必要ノ品アルベシ斯ノ如ク家具安排ノ遊戲ヲ始ムルニ先ツテ各房ノ廳帷ヲ裁縫スルヲ要ス此一小築ヲシテ木版六片ヲ連ネテ六室ト假定シ第三層ノ兩室ハ一ヲ寢室トシ一ヲ小兒ノ室トシ第二層ノ一室ヲ食堂トシ他ノ一室ヲ客堂トシ下ノ兩室ノ如キハ一ヲ庖厨トシ他ノ一房ヲ主人平常ノ住所ト做ス彼ノ兒室ノ廳帷ハ印花布一片ヲ以テ之ヲ造ル一室內ノ窓帷ハ模様ノ同一色ヲ要スト雖トモ寢室ノ如キハ必シモ同一ナルヲ要セズ汝等ノ阿母當ニ服スル所ノ綿紗衣ノ裁縫餘片ヲ以テ其用ニ供スルニ足ラン然トモ其綿紗ニ縞ノ模様アルハ供シ難シ

又客室ノ窓帷ハ宜シク天鵝絨或ハ絹帛ヲ施スベシ其色ハ紅或ハ淺藍黃色等ヲ好ントス食堂ハ毛織ノ布ヲ用非色ハ濃褐或ハ綠色ヲ以テス華美ナラザルヲ要スルナリ而シテ各室ノ廳ニハ同種ノ布ヲ用非或ハ小總ヲ以テ窓帷上ニ附スベシ是實ノ窓帷ヲ掛クル爲メニ其上部ニ在ルモノ、如クスルナリ故ニ房ニ非ズシテ布ヲ用非ルアラハ宜シク華ノ形ヲ刻ムベシ凡ソ窓帷ヲ約スル綴線若クハ組糸ヲ用非ザルヲ得ズ若シ之ヲシテ開閉自在ナラシメント欲セハ當ニ輪環ヲ柱上ニ着ケ之ニ組紐綴線等ヲ貫キ置クベシ且ツ一室內渾テ紙ヲ細スベシ又其ノ壁紙ヲ購求セザルヲ得ズ而シテ兒室及ヒ客室ノ如キハ兒輩ノ高ク所ノ地圖等ヲ掲ケ或ハ金銀紙等ヲ細斷シ

テ之ヲ周圍ニ貼セバ當ニ畫絹ノ木匡ノ如キヲ觀ルベシ是等
 ノ事畢テ後床上ノ坐氈ニ及フベシ此氈ノ厚クシテ且ツ粗
 ナル者ハ室ノ小ナルニ稱ハズ宜シク他ノ織毛ノ輕薄ナル者
 或ハ厚紙ヲ以テ之ニ供セバ却テ其美ヲ覺ユベシ且ツ氈ヲ設
 クルニ當テ窓帷ノ采色ニ注意スベシ若シ同色ナレバ絶妙ナ
 ラストス譬ヘハ客室ノ窓帷淺藍色ナレバ氈ノ綠色ヲ忌ム濃
 褐及ヒ栗色大ニ風味アリトス是ヨリ後寢床ニ及ブ第一等ノ
 室ニハ四脚ノ床ヲ設ケ第二等ノ室ニハ佛國製ノ臥床ヲ置キ
 一二ノ兩室共ニ赤兒ヲ臥セシムルノ場ヲ設ク此臥場ニ要ス
 ル所ノ裁縫物亦多シ彼ノ第一等室ノ臥床ニ備フル枕ノ如キ
 ハ美線ヲ以テ綴密ニ飾ラザルヲ得ス而シテ寢室ト主人平常

ノ居室ニ諸具ヲ全備セシムルヲ急務トス其未タ客室ヲ修飾
 セザル前ニ在テ食堂必用ノ水火割烹ノ諸具ヲ備ヘンコトヲ
 要ス此諸具ヲ需メント欲セハ日耳曼市街或ハ玩弄物ノ肆店
 ニ認メ得ベシ予嘗テ日耳曼市ニ在テ兒戲玩弄物ノ藍布或
 ハ寫字臺或ハ洗手盤等ノ極メテ精麗ナル物ヲ認識セリ又兒
 輩ノ彼ノ諸具ヲ購求スルニ當テ最モ注意セザルベカラザル
 アリ先ツ品物ノ大小長短ヲ詳悉スベシ家ノ小大ハ木偶人ノ
 長短ヲ本トシ偶人ノ巨細ハ家具ノ大小長短ニ因テ定ムルヲ
 本トス之ヲ眞個ノ人間ニ在ル物ニ譬フベシ汝ノ父母ハ頭蓋
 骨ト相並フノ家ニ居ラザルベシ阿父ハ豆茶ヲ飲ムニ當テ洗
 手盤ノ如キ者ハ用非ザルベシ阿母若シ膝下ニモ及ハザル短

小ノ抽斗机ヲ用井ルアラハ汝亦將ニ驚キ且ツ笑フベシ然リ
而シテ斯ノ如キ一小築内ニ置ク所ノ偶人ハ土偶ニアラズシ
テ四肢合接セル木偶ヲ好シトス大小長短唯其欲スル所ノ數
種アリ此木偶ヲ以テ一家ノ人員即チ主翁ヨリ小兒奴婢ニ至
ルマデ全備セシメ而シテ後此輩ノ衣服調度ハ各個ノ位階ニ
隨テ之ヲ撰ビ主從ノ差等アラシムベシ是ノ如クシテ其適當
ノ地位ニ安置スルヲ要ス是ニ於テカ各種ノ家具器械一切全
完善美ヲ盡シ兒輩欣喜想フベキナリ

○五女子爭球

此遊戯ヲ做ス必ズ五女子ト俱共ニセサルコトヲ得ズ其名ヲ
「フアンニー」ト云ヒ「ルシー」ト呼ビ「マリー」ト唱ヘ「エルレン」ト稱

シ「セン」ト號ス而シテ先ツ小球或ハ針線ノ如キ者ヲ備ヘ置キ
即チ「フアンニー」其室外ニ出デ或ハ屋隅ニ行キテ面ヲ掩ヒ目
ヲ繋シテ按盲ヲ做スベシコレ他ノ兒輩ヲ見ルヲ得ザラシム
ルガ爲メナリ而シテ自餘ノ四兒相並ヒテ各自ニ其兩手ヲ上
蓋衣或ハ蔽膝ノ下ニ藏メ匿クス彼ノ小球ヲ把握セル者ハ獨
リ「エルレン」ノミナリト雖トモ其兩手ヲ匿クスノ狀ハ三兒ト
異ナルナシ是ニ於テ彼ノ面ヲ蔽ヘル所ノ「フアンニー」他兒ノ
來レ來レ我等ノ面前ニ來レト云フヲ聞キ即チ四人相並メル
所ニ進ミ來リ彼ノ小球ヲ握レル者誰タルヲ心認セハ按盲ハ
盲ヲ廢シ宜シク其兒ニ對テ云フベシ假令ハ「ルシー」汝果シテ
彼ノ小球ヲ握レト而シテ後又女王「アン」殿下ハ百合花ト其

光華ヲ競フカ如ク美麗ニシテ太陽ノ照ス所ニ坐シ其色ハ饒
 頭ノ如ク紫色ヲ表セリト女王「アン」殿下ハ君ニ三通ノ手簡ヲ
 送レリ請フ君其一簡ヲ開セヨト云フベシ時ニ「ルシ」答テ余
 ハ彼ノ三通ノ書ヲ讀ミ盡スニ非ザレハ唯一簡ヲ開キテ欲セ
 スト云ハン其時又云フベシ若シ泉シテ然ラバ請フ其小球ヲ
 余ニ與ヘヨト然ルニ此「ルシ」ト云フ者實ニ小球ヲ把握セル
 者ニアラザルヲ以テ即チ其兩手ヲ上蓋衣若クハ蔽膝ノ下ヨ
 リ現シテ空掌ナルヲ示スベシ是ニ於テ「フアンニ」ト云ヘル
 モノハ己ノ見ル所ト異ナルヲ以テ一タビ其所ヲ去テ面ヲ蔽
 隠シ再ビ四兒ノ呼招クヲ待得テ又其前面ニ進ミ前條ノ詞ヲ
 以テ「マリー」ニ話ス然トモ「マリー」ノ掌中ニモ小球無キヲ以テ

再度其監定ヲ誤レリ三次ニハ即チ「エ
 ルレン」ニ對シテ彼ノ語ヲ話スニ及ビ
 「エルレン」泉シテ彼ノ小球ヲ把握スル
 テ以テ果シテ其然ルヲ識レリ「エルレ
 ン」ハ是ニ於テ其小球ヲ上蓋衣若クハ
 蔽膝ノ下ヨリ出シ之ヲ他ニ與ヘテ後
 其列ヲ去テ「フアンニ」即チ其列ニ加
 ハルコトヲ得ベシ時トシテハ彼ノ排
 列中始メニ坐スル所ノモノ一少女ヨリ彼ノ語ヲ以テ直ニ對
 話セラレントキ即チ其鑒識ノ如ク小球ヲ把握セルコトアリ

○指ハ幾何

第七世圖



圖八廿第



是ノ如キノ遊戯ハ平々易々タル者ニテ乳臭ノ女兒モ尙能ク
 速ニ其事ヲ辨解スベシ此技ハ二人相第リテ做スコトヲ得ベ
 シ而シテ其一人ハ他ノ膝上ニ伏シ其蔽膝ヲ以テ面部ヲ蔽隠
 シ他ヲ見ルコト能ハザラシム又他
 一人ハ屢々面ヲ蔽フ者ノ背ヲ打テ
 テ云フ吾ハ幾個ノ指ヲ舉クルヲ知
 レルヤト是ニ於テ其面ヲ蔽フヘル
 者ハ彼ノ舉クル所ノ數幾個ナルヲ
 懸斷スルヲ要ス而シテ彼ノ舉クル
 者ハ唯二指ノミナルヲ自己ノ臆斷
 ニテ三箇ト云フトキハ背ヲ打テタル者答テ否否然ラス唯二

箇ノミト云フベシ是ニ於テ二タヒ彼ノ背ヲ打テ云フコト
 前ノ如クス其面ヲ蔽フ者ノ懸斷スル所果シテ其數ノ如クナ
 ラハ面ヲ蔽フ者即テ代リテ指ヲ舉クル者ト做リ前ノ指ヲ舉
 ケシ者ハ即テ面ヲ蔽フベシ其指ヲ舉クルノ事ヲ爲スモノ時
 々指ノ數ヲ變換シ或ハ唯一指ヲ舉クルアリ或ハ兩手共ニ四
 指ヲ舉クルアリ然レドモ曾テ大指ヲ其數ニ加ヘ入ルコト
 勿レ

○關牌藏暇

一關牌或ハ引火奴若クハ紙及ヒ紐其他何ヲ論セズ細小ナル
 物唯一片ヲ以テ定メテ隱藏スル所ノ物ト做ス而シテ衆女中
 ノ一少女ヲ撰ヒ此戲ヲ始ムルノ者トス他ノ衆少女ハ房外ニ

出テ戸側ニ立ツ若シ戶外ニ出ヅルトキアレバ必ズ房ノ一隅ニ至リテ各ソノ目ヲ蔽フテ盲ト做リ他ヲ窺ヒ見ルコトヲ爲サズ其時彼ノ一少女ノ房内ニ在ルモノ闢牌若クハ前條ニ陳ブル所ノ一物ヲ取リテ之ヲ竈前ノ坐具ノ底或ハ櫃布ノ下或ハ窓蓋ノ側或ハ長椅ノ後或ハ大洋琴ノ架上其外隠蔽置スルニ適レタル所ヲ認メテ之ヲ匿クレ置キ而シテ後他ノ衆女等ヲ招ク其時呼ベル詞ニ云ク彼ノ牛酪ヲ塗りタル燧カナル蠶豆ヨ來リテ晚餐ニ供スルヲ喜ベト之ヲ聞テ衆女競ヒ來リテ各處ヲ搜索シ彼ノ闢牌ヲ得ンコトヲ務ム若シ其少女等闢牌ノ在ル處ニ近ゾカントスレバ彼ノ一少女他ニ告ゲテ曰ク汝等將ニ燒クベシト或ハ云フ汝等温暖ヲ覺ユベシト此其闢

牌ノ隠シアル所ノ距離近キニ因テ云ヘルナリ若シ之ニ反シテ少女等其藏牌ノ所ヨリ次第ニ遠ザカルトキハ彼ノ一少女又云ヘサク汝等寒氣ヲ覺ユベシト或ハ云フ汝等冷涼ニ感ズベシ其闢牌ヲ十方搜索シテ遂ニ查出スル所ノ少女即チ代リテ之ヲ隠藏スルノ任ヲ承ク

○「ミストルゴーフ」人名及ヒ其少女

此戲技ハ衆女大集會中ニモ相俱ニ爲スベキ者トス先ツ圓形ノ小茶盆若クハ木版等ヲ取リテ之ヲ室内中央ノ牀板上ニ置クベシ而シテ戲伴ノ一少女其中央ニ進ミ出テ之ヲ把リ其線ヲ歛テ牀上ニ當テ大指及ヒ四指ヲ合シテ劇シク之ヲ圓旋セシムベシ彼ノ一少女其茶盆ヲ舞ハサントスルトキノ詞ニ云

ヘラク彼ノ「ボーア」君及ビ其少女ノ
 允可ニ因レリト若シ其茶盆圍旋ヲ
 休ムルトキ倒マニ其底面ヲ以テ覆
 スルトキハ其一少女料料ヲ償フコ
 トヲ要ス加之ナラス其始ノ茶盆ヲ
 把ルトキ言フベキノ詞ヲ忘ル、モ
 亦罰ヲ受ケザル能ハズ斯ノ如クレ
 テ後ニ其一少女坐列ヲ退キ次順ナ
 ルモノ代リ進ンテ彼ノ茶盆ヲ旋舞ス此時モ亦云ヘラク「ボー
 ア」君ト其少女ノ允可ニ因レリト

○蜂蜜壺

第九圖



第十三圖



一少女牀上ニ蹲踞シ其膝下ニ兩手ヲ入レ相合ンテ把握セリ
 而シテ別ノ二童女ノ年齢長シテ且
 ツ強力ナルモノアリ來リテ其一少
 女ノ手臂ヲ左右ヨリ把リ抱ヘ舉ケ
 テ以テ一室内ヲ運搬ス其時謂テ云
 ク誰カ此蜂蜜壺ヲ買フ者アランカ
 ト蜂蜜壺ト成ル所ノ一少女ノ如キ
 ハ此ノ如ク東西運轉セラル、ヲ以
 テ其兩手ヲ堅剛ニシテ以テ自己ノ膝ヲ抱持スベシ若シ兩手
 少シク弛緩シテ未ダ室内一周旋ヲ終ラザルノ間己ノ兩足ヲ
 シテ牀上ニ放墮セシムルトキハ料料物ヲ出スヲ要ス又戯伴

ノ集マル數多ナレバ數個ノ蜂蜜壺ヲ設ケ爲シテ齊シク一室内ヲ回旋運動スルコトヲ做スニ至ル

○攪擾竿

戲伴ノ此遊ヲ做ス其人員ヲ數ヘ特意ニ一箇ノ椅子ヲ欠クヲ要ス而シテ長椅ヲ設ケ之ニ腰居スルコトヲ禁ス茲ニ七人ノ少女アリ此遊戯ヲ試ミント欲セバ其室内ニ於テ唯六個ノ椅子ヲ置クベシ其之ヲ置クヤ壁下ニ密近スベシ伴中ノ一少女室内ノ中央ニ立テ手ニ堅竿ヲ把握セリ他ノ五少女ノ如キハ中央女ノ周圍ヲ逍遙緩歩シテ云フ攪擾セヨ攪擾セヨト彼ノ中央ニ在ル所ノ一少女モ亦攪擾セシメント欲スルノ情態ヲ表シ其竿ヲ以テ之ヲ促スコト稍久シクス然レドモ夥伴中一

モ之ヲ望ムモノ無キヲ以テ即テ奮起シ其竿ヲ取テ牀上ヲ打ツコト三回ニシテ忽テ其竿ヲ捨テ、戲伴ト相並ブ他ノ少女此信号ヲ聞クヤ直ニ室内旋回ヲ始ム是ニ於テ各相競フテ椅子ニ腰居センコトヲ務ム勞力數次遂ニ其椅ヲ得ル能ハズシテ發立スル所ノ者次回ノ執竿攪擾者ト爲ル

○飽包及ヒ乾酪

此遊戯タル唯二人爲スベキ者トス今之ヲ爲サント欲セバ一雙ノ女子各其兩手ヲ閉テ互ニ積ミ重ヌベシ即テ其雙女子ヲ號シテ一ナルシート云ヒ他ヲゼント云フ又此意ヲ細カニ説キ明サシニハ其ルシート云ヘル者自己ノ右手ヲ机上若クハ膝上ニ置クトキ彼ノゼン女其右手ヲ以テルシー女ノ右手

ノ上ニ重ヌ其次ニ「ルシ」左手ヲ以テ之ニ加ヘバ「ゼン」モ亦左手ヲ「ルシ」ノ左上ニ累ネ竟ニ悉ク堆累シ了ル其レ斯ノ如ク雙女子ノ手悉ク重累セシ時「ルシ」即チ右手ノ最モ下底ニ在ルモノ「ゼン」ニ問テ云ク汝其處ニ何物ヲ有持スルヤト時ニ「ゼン」之ニ答テ云フ余麵包ト乾酪トヲ持テリト之ヲ聞クニ及テ「ルシ」其麵包ト乾酪トヲ食ヒ盡サンコトヲ「ゼン」ニ告グ爾時「ゼン」其堆累ノ底ヨリ自己ノ左手ヲ出シ以テ其口ヲ覆ヒ恰モ麵包ト乾酪トヲ食フガ如キ状態ヲ做ス是時ニ「ゼン」モ亦「ルシ」ニ問テ云ク汝其處ニ何物ヲ有持スルヤト「ルシ」ノ之ニ答フル前ニ「ゼン」ノ答ヘント同一詞ヲ以テス而シテ後又「ルシ」疑問ヲ出シテ「ゼン」ニ質ス此時「ゼン」其右手ヲ執リ去テ即チ

下條ニ陳述スル所ノ問答ヲ始ムルコトヲ做ス「ルシ」ハ此問答ノ結局ニ至ルマデ其右手ヲシテ猶尙拳ヲ握リ久シク机上ニ安ス

「ゼン」問 汝其處ニ何物ヲ持タルヤ

「ルシ」答 一箇ノ函ヲ持テリ

「ゼン」問 其函ニ何物ヲカ入ル

「ルシ」答 麵包ト乾酪トヲ入ル

「ゼン」問 余カ分部何處ニアルヤ

「ルシ」答 猫己ニ奪ヒ去レリ

「ゼン」問 其猫何處ニ在ルヤ

「ルシ」答 林中ニ在リ

「ゼン」問 其林何處ニアリヤ

「ルシー」答 火既ニ之ヲ燒キタリ

「ゼン」問 其火何處ニ在リヤ

「ルシー」答 水之ヲ消シタリ

「ゼン」問 其水何處ニ在リヤ

「ルシー」答 牛己ニ之ヲ飲メリ

「ゼン」問 其牛何處ニ在リヤ

「ルシー」答 屠者己ニ之ヲ殺セリ

「ゼン」問 其屠者何處ニ在リヤ

「ルシー」答 戶外ニ在リテ胡桃ヲ食フタリ

爾後誰ニテモ人ニ先テ詞ヲ發スル者ハ其罰

トシテ三度耳ヲ強ク捻ネリ又三度緊シク手
ヲ打ケ若クハ締ムル

夫レ斯ノ如ク陸續問答了リテ後誰カ沈黙スルコトノ最モ長
キヲ得ルヤヲ求ム若シ各兒女中先テ發話スルアレハ他ノ
童女ヨリ三回耳ヲ捻ネリ手ヲ打タル、罰ヲ受ク若シ再度ノ
戲ヲ復スルトキハ必ズ其下底ニ手ヲ置ク所ノ者ヲ「ゼン」ト做
ス而シテ其間ニ答フル事務ヲ任スル者トス

○何ノ商業ヲ最モ愛スルカ

問答ヲ設クルノ遊戲モ亦多シ茲ニ一童女アリ之ヲ號シテ「ル
シー」ト云フ「ルシー」ノ室外ニ出ヅルニ當リテ他ノ戲伴室内ニ
在テ何ノ職業ヲ論ゼズ一商業ヲ定メ置ク其戲伴ニ「フアン」ニ

「ト名クル一少女アリ此女ヤ彼ノ「ルシー」ノ外出ヲ伺ヒ之ニ耳語スルニ予等ガ豫メ定ムル所ノ商業ヲ汝ニ問フコト數多ト雖トモ其最モ顯著ナル職業教師醫師等ヲ舉クルノ後順序ニ問フ所ノ者ヲ真ノ質問事ト爲スト云フヲ以テセリ今之ヲ耳語スト雖トモ一少女何ヲ以テ彼ノ「ルシー」能ク余等ガ定ムル所ノ商業ヲ計斷シ得ルヤ否ヲ知ラシヤ即チ「ルシー」ノ室外ニ出ツル後其女伴一商業ノ名ヲ定メ雜貨商ト呼做ス若シ「ルシー」招カレテ室内ニ入ルニ當リ「フアンニー」試ミニ問テ云ク余等最モ愛スル所ノ商業ハ如何ナル者ト暗ニ計斷シ得レヤ

「ルシー」答テ云フ汝尙ホ一層ノ問ヲ以テスベシト

「フアンニー」問 銀工ナルカ

「ルシー」答 否

「フアンニー」問 街上ヲ往來スル珠商カ

「ルシー」答 否

「フアンニー」問 街隅ノ書賣ナルカ

「ルシー」答 否

「フアンニー」問 次街ニ在ル木匠ナルカ

「ルシー」答 否

「フアンニー」問 汝カ親族ヲ診察スル醫師カ

「ルシー」答 否

「フアンニー」問 良好茶ヲ賣ル雜貨商カ

「ルシー」答 然リト

之ヲ聞テ衆女相共ニ呼テ曰ク即テ余等カ定ムル所即テ雜貨
 商ナリ汝ルニ如何シテ斯ノ如ク能ク之ヲ明斷シ得タルヤ
 ト夫少女等「フアンニー」ノ「ルレー」ニ質問ノ際醫師教師等顯著
 ナル人ヲ舉ゲテ而レテ次回ノ問ニ商業ヲ以テシ「ルレー」答フ
 ルニ然リトノ語ヲ以テスルハ豫メ知ル所ニハ非ザルナリ凡
 ソ法教師醫學師及ヒ法律學道學者等ヲ稱レテ貴顯ノ職業ト
 做ス其次ナル者「マリー」トス時ニ「フアンニー」之ニ耳語スル
 ニ子汝ニ質問スルノ間法律師ト呼フノ次ニ出ダス所ノ者ヲ
 眞ノ質問事ト覺ユベレト此時定ムル所ノ商業ニハ時規匠ヲ
 以テスルナリ而シテ「マリー」彼ノ「フアンニー」ノ問中律法師ノ
 事ヲ以テセシ後其次回ノ質問ヲ能ク意算鑑定シテ以テ確答

ヲ爲スベシ

又此戲ニ類似スル所ノ一遊技アリ之ヲ稱シテ四足ト呼ブ此
 戲技詞字ヲ以テ創起スルノ物タリ即テ帽子火遮魚婦人ノ帽
 子等ノ詞是ナリ其其ノ質問ヲ發スル一回前ニ說話スル所ノ
 詞ノ如キハ必ズ四足ヲ有スル者ヲ要ス即テ犬馬檯長椅及ヒ
 椅子等是ナリ假令ハ彼ノ暗ニ射斷スル者數多ノ質問ヲ受ク
 ル後即テ問フニ是レ猜ナルカヲ以テス之ニ答テ然リト云フ
 問者又言ハン何故ニ猫トスルヤト答フル者云フ猫ハ四足ア
 ルモノト其問答ノ意味類ネ此ノ如シ

○打紙袋

紙袋撞擊ノ戲タル先ツ薄キ白紙ヲ以テ一個ノ袋ヲ製シ之ニ

盛ルニ砂糖菓子ヲ以テシ其口ヲ括ルニ紐子ヲ以テス而レテ之ヲ梁柱間架若クハ部戸ニ掛ケ或ハ頂格ニ垂レ別ニ一條ノ棍ヲ備ヘ置キ群兒相互ニ目ヲ掩フ者彼ノ棍ヲ持テテ低垂スル所ノ紙袋ニ近接シ其棍頭ヲ以テ暗ニ撞撃ヲ試ミルコト三回一モ中ヲザル者ハ讀リテ次位ニアル者ト交代スルヲ要ス偶一女子能ク彼ノ袋ヲ打撃シ得ルモ尙ホ其袋ノ破裂シテ物ヲ漏ラスニ非ザレバ長ク此遊ヲ爲スコトヲ得然レドモ垂下スルニ及ヒテハ袋中ノ糖菓ハ墮テ床上ニ散亂ス此時ニ

第三十一圖



當テ群兒相競フテ之ヲ拾ヒ之ヲ食フヲ以テ嬉戯ノ一興トス若シ群女中最モ年長者ノ此技ヲ戲フルニ當テハ彼ノ囊袋ニ盛ルニ小冊子或ハ針氈插花簪等ヲ以テス亦一快事ナリ此遊事ノ如キハ時トシテ一家人奴婢相集リテ之ヲ行フアリ是ノ如キトキハ密ニ盛ルニ麵粉ヲ以テシ外貌恰モ他人ノ美物ヲ盛レルカ如クシ他人ヲシテ其中ニ在ル所ヲ知ルコト能ハザラシム而シテ後行フ所ノ戯技ハ前條ノ如ク棍頭撞撃シ了リテ囊袋破裂ニ及ヒ彼ノ麵粉散亂シテ周圍ノ者ヲ白抹スル笑具トス

○帝及ヒ屬從

集會スル所ノ童女兒中最モ長身ナル者二人假ニ守門者ト定

メ室ノ中央ニ進ミ互ニ一個ノ異名ヲ冒シ二人私ニ相謀リテ
 他兒ヲシテ其名ヲ知ラザシム其私ニ設クル所ノ名號ハ金
 ト云ヒ銀ト云ヒ或ハ金剛石眞珠又ハ薔薇百合花鬱金香ノ類
 ニシテ各自好ム所ノ名ヲ取テ己ノ稱号ヲ表ス而シテ他兒ハ
 各列ヲ爲シテ互ニ其前ニ立ツ者ノ裳ヲ塞グルニ兩手ヲ以テ
 ス彼ノ長身ノ兩童女ハ室ノ中央ニ在テ兩手ヲ握リ之ヲ最モ
 高ク舉クルトキ他兒ノ列立スルモ其下ヲ通行ス此間兩童
 女ハ下條ノ歌詞ヲ詠フ

我等ハ蒼天ノ如キ高門ヲ開キテ帝及ヒ其從者ヲシテ經
 過セシムルナリ

斯ノ如ク謠歌スルノ間兩女不意ニ出テ彼ノ雙手ヲ解テ行列

中最モ少年ノ女兒ヲ捉フルヲ要ス然レドモ女兒等ハ此捕捉
 テ免レン爲メニ勞力シテ頭ヲ低ルヽヲ專務トス若シ其捉ヘ
 ラルヽニ會フトキハ兩女私語シテ其女兒ニ問テ云フ汝ハ金
 銀金剛石眞珠百合薔薇等ノ中何物ヲ最モ愛好スルヤト其時
 彼ノ女兒答テ余ハ金ヲ好ムト言ハヽ其兒ヲシテ兩女前ニ私
 ニ假定シテ金ト号スル者ノ後ニ立テテ其上蓋衣ヲ持タシム
 若シ彼女兒銀ヲ愛スト云ハヽ他ノ一女ノ後ニ從フコト猶金
 ノ如クス此事己ニ畢リテ兩女復雙手ヲ舉クル始ノ如シ而シ
 テ又前條ノ歌詞ヲ唱ヘテ彼ノ行列者ヲ通行セシム是ノ如ク
 屢行フテ遂ニ皇帝及ヒ其從類ニ至ルマテ悉ク捕捉シ獲テ止
 ム其捉フル所ノ者ハ皆之ヲ彼ノ兩女ノ後ニ從ハシム此ヨリ

後ハ衆女中其長身ナル者始メノ兩女ニ代テ門者ノ專チ行フ
而シテ後他ノ群兒中其長身ナル者ヲ選ヒテ帝ト做シ自餘ハ
皆身體ノ高低ニ依テ位次ヲ定メ最モ少且ツ短ナル者ヲ最後
ニ在ラシム且ツ此列ヲ爲セル者ハ未ダ其兩女ノ手下チ通過
セザルノ前ニ在テモ常ニ兩女ノ近傍チ徘徊ス

○老狐牝雞及ヒ雞

此戲タル先ツ一兒ヲ選ヒテ野狐ト假定シ之ヲシテ室ノ中央
ニ在ラシメ他兒ハ長幼ヲ論シ年長ノ者ヲ先首ト做シ順チ逐
フテ排列ス而シテ其列ヲ爲ス逐次ニ前ナル者ノ裳チ褰クル
者トス此排列ヲ爲シテ彼ノ狐ナル者ノ周圍チ廻旋ス其列首
ノ女兒ヲ牝雞ト定ム其牝雞ナル者謂テ云ク

我ハ吾足指ヲ洗ハン爲メ井ニ往ケリ還リテ之ヲ見ルニ
吾一雌ノ死スルアリ

此ノ如ク順チ逐テ呼ヒ彼ノ狐側チ回旋ス一回旋了リテ後彼
ノ狐側ニ留リ牝雞又喚テ曰ク老狐老狐汝ハ何チカ爲スト時
ニ狐タル者答テ曰ク我ハ火ヲ焚クナリト牝雞又問フ其火ハ
何ノ用ニ供セントスルカト狐答フ水ヲ煖メンカ爲メナリト
牝雞又曰ク水ハ何ノ用ニカ供スル狐曰ク一雌チ烹ンガ爲メ
ナリト牝雞曰フ汝何レノ處ヨリ得ント欲スルカ狐云フ汝ガ
群中ヨリ之ヲ得ントス斯ノ如ク問答スルノ間彼ノ狐タル者
突然奮起ス是ニ於テ牝雞及ヒ其群雞共ニ驚愕シテ皆室中ニ
散亂ス狐タル者急ニ走リテ之ヲ逐ヒ若シ一個ノ雌チ得バ其

得ラル、者代テ狐ト成リ而シテ亦前條ノ如ク室ノ中央ニ居
 テ占ム始メ老狐ノ任ニ當レル者ハ彼ノ群兒中ニ入テ其列首
 ニ立テテ牝雞ノ事ヲ執行フ、
 ○皮籬曰ク此籬ハ、
 此遊戯ハ群童女各自其掌握ヲ一列ニ爲シ別ニ一兒ノ呼テハ
 シニ一「フ號スル者アリ此ハシニ一」ハ皮籬或ハ榛實又ハ肉豆
 蔻等ノ如キ細小ニシテ且ツ圓形ナル物ヲ掌中ニ握持シテ列
 兒ノ前面ニ進ミ一兒毎ニ相向テ其掌中ノ物ヲ授クルノ狀ヲ
 做シテ曰ク我カ與フル所ノ物ハ確實ニ掌握スベシト云フ列
 兒モ亦各其個ニ其品物ヲ得ルガ如キ外貌ヲ做シテ其掌ヲ開
 閉スル最モ迅速ニ行フト雖トモ其皮籬ニ至リテハ固ヨリ列

兒中唯一人ノ受クル者アルノミ譬ヘハ「ハンニ一」ナル者列兒
 中ノルーシイナル者ニ授ケ而シテ後復周ネク此様式ヲ做シ
 テ再タセ列首ニアル所ノ「マリーイ」ニ對シテ問テ曰ク皮籬ヲ
 得シ者ハ誰ナルカ君宜シク暗射シテ決斷スベシト「マリーイ」
 答フ蓋シ「セン」女ナラント此時「セン」女ハ掌ヲ張りテ己ノ有持
 セザルヲ示ス「マリーイ」各順次ニ暗射シテ「スーザン」ナル者ニ
 當テ適ニ謂テ云ク有持スル者ハ蓋シ「ルーシー」女ナリト果シ
 テ其女ニ中タルヲ以テ「ルーシー」掌ヲ開キ其有物ヲ示シテ「ス
 ーザン」ニ與フ「スーザン」女ハ是ヨリ皮籬ヲ持テテ列兒ニ授ク
 ルノ事ヲ執ルニ至ル此戲事ヲ行フニ當リ時トシテハ臆斷ノ
 的實ナラザル者ヲシテ爲メニ過料品ヲ出サシムルヲ法トシ

定ムルアリ若シ此定制ニ依ルトキハ須臾ノ間數種ノ過料品
物滿室堆チ爲スニ至レリ

○肥タル美牝雞及ヒ九羽ノ鳥

遊戲隊ノ兒童等輪形ニ坐チ占メ而シテ其中ノ一女兒先ツ揚
言シテ肥タル美牝雞ト稱シ之ヲ暗號トシテ此戲基ヲ經始ス
隊中一人毎ニ此暗號ヲ唱ヘ後又其司長タル者唱ヘテ曰ク二
羽ノ家鴨ト一羽ノ肥美牝雞ト稱シ兒輩チシテ次ヲ逐テ各自
ニ之ヲ唱ヘシメ司長又唱ヘテ曰ク三羽ノ野飼ノ鶉鳥ト二羽
ノ家鴨及ヒ一羽ノ美ナル牝雞ト稱シテ又前ノ如ク群兒チシ
テ一人毎ニ順ヲ逐テ之ヲ唱ヘシメ終リテ後復タ曰ク肥タル
四羽ノ鶉鳥及ヒ三羽ノ野飼ノ鶉鳥家鴨二羽肥美牝雞一羽ト

稱シ是モ亦兒輩チシテ各自ニ唱ヘシメ又曰ク五羽ノ鳩四羽
ノ鶉野飼ノ鶉鳥三羽家鴨二羽肥美牝雞一羽ト稱シテ同シ
ク之ヲ稱セシメ然ル後又唱ヘテ曰ク長脰ノ鶉六羽ト五羽ノ
鳩及ヒ肥タル四羽ノ鶉野飼ノ鶉鳥三羽家鴨二羽ト肥美牝
雞一羽ト云テ又之ヲ順次ニ唱ヘシメテ後又曰ク綠色ノ鶉
七羽ト長脰ノ鶉六羽及ヒ五羽ノ鳩ト四羽ノ鶉并ニ野飼ノ
鶉鳥三羽ニ家鴨二羽ト肥美牝雞一羽ト云フテ又順次ニ逐一
稱セシメ終リテ又曰ク呼ブ所ノ八羽ノ鶉七羽ノ鶉鸚鵡長脰ノ
鶉六羽鳩五羽鶉野飼ノ鶉鳥三羽家鴨二羽肥美牝雞一
羽ト呼ヒテ又各自ニ稱セシメ終リテ後又曰ク醜惡ナル角鷹
九羽呼フ所ノ八羽ノ鶉鸚鵡七羽長脰ノ鶉六羽五羽ノ鳩鶉

四羽野飼ノ鶴鳥三羽二羽ノ家鴨一羽ノ肥美牝雞ト云ヒ又之ヲ群見ニ呼ハシメテ後又曰ク猛烈ナル鶯十羽ト醜惡ナル角鷹九羽ト喚フ所ノ梟八羽及ヒ綠色ノ鸚鵡七羽ト並ニ長脰ノ鶴六羽鳩五羽鷓鴣四羽野飼ノ鶴鳥三羽家鴨二羽肥美牝雞一羽ト云フテ又之ヲ各自ニ唱ヘシム斯ノ如ク兒輩ヲシテ一人毎ニ之ヲ稱セシメ若シ之ヲ唱フルノ間或ハ猶豫シテ發言ノ期ニ後ル、カ若ハ脱漏アルカ又ハ錯謬アルモノハ即テ過料ノ品物ヲ出サシム凡ソ此戲事一變シテ此家ハ「シヤツク」ノ建テタル家ト云フ遊ヒト成ルヲ得ベシ其「シヤツク」ノ建テタル家ト稱スル遊戯ハ世間童兒ノ能ク知ル所ノ者ニシテ此遊戯タル當初ハ各自ニ稱シテ曰ク此家ハ「シヤツク」ノ建テタル家

ト而シテ唱首ハ之ヲ一タビシ次位ハ二回シ三次ハ三回シテ相重加スルニ及ヒ全ク一週シテ止ム其間ニ或ハ其數ヲ誤リ或ハ其語ヲ失スルアレバ是レ亦過料品物ヲ出サシムベシ
 ○帝及ヒ皇妃
 此嬉戲タル小童女二列ニ連坐シテ面ト面ト相對シ而シテ其戲伴ノ人員タル偶數ヲ以テスルヲ要ス即ケ六八十及ヒ十二等ノ如キ是ナリ而シテ其一系列ノ小女ハ貴族ニ擬シ列首ニ坐スル所ノ者ヲ皇帝ト定メ他ノ一系列ヲ貴媛女ノ相連ル者ト爲シ其列首ニ在ルモノ皇妃ト稱ス凡ソ皇帝ト爲レル者ハ其貴族人等ノ員數ヲ算ヘ即ケ一個二個三個等ヲ以テ之ニ命ス各個ノ貴族等ハ皇帝ノ算フル所ノ數ヲ暗記スルヲ要ス皇妃モ

亦貴媛女ヲ算フル事ヲ務ム其數ノ名目タル聊カ貴族等ト異ナルアリ假令ハ貴族人ノ名數チ一二三四五ト云フトキハ貴媛女ハ六七八九十ヲ以テ呼ブメシ今ヤ齊シク其列ヲ整フルニ臨ミテ彼ノ皇帝及ヒ皇妃タル者各其數ヲ呼ブ若シ皇帝二個ト呼フトキハ貴族人中二ノ數ヲ取ル所ノ者直ニ其列ヨリ出テ衆女相連ルノ周圍ヲ回旋ス是ト同時ニシテ皇妃モ八個ヲ以テ呼フトキハ貴媛女中八ノ數ヲ命セラレシ所ノ者進ミ出デ彼ノ一人ノ貴族ヲ追逐シテ轉旋ス此時若シ貴人皇帝ノ所ニ達シ得ズシテ貴媛ノ爲メニ捉ヘラレシ者ハ科料品ヲ出スコトヲ做ス而シテ後各其故位ニ復シ終リ即チ今度始メテ呼フ所ノ順次ヲ皇妃トス是ニ於テ皇妃第十數ヲ呼ヒ皇帝第

四數ヲ以テセバ貴族タル者貴媛ヲ追逐シ若シ貴媛皇妃ノ前ニ至リサル前ニ之ヲ捉フルトキハ即チ亦科料ヲ出サゞルコトヲ得ズ此戲ニ於テ時々奇數即チ一三五七等ヲ以テ貴族ノ稱トシ偶數即チ二四六八十等ヲ以テ貴媛ノ取ルモノト做スアリ

○荷蘭國ノ偶人

茲ニ衆多ノ遊伴悉ク室外ニ出テ唯二小女ノ事ニ熟練シタル者ノミ室内ニ殘留シテ爲ス所ノ嬉戲アリ凡ソ他ノ衆女等ノ如キハ曾テ此戲ヲ解セサル者ヲ以テスルモ却テ奇々妙々ナリトス予等假定スルニ「フアンニ」名ト「ルシー」女トテ以テ共ニ室内ニ殘リ彼ノ偶人ヲ模造スル者トシテ而シテ全ク偶人ト

做レル者ヲ「フアンニー」トス今ヤ「フアンニー」偶人ノ事ヲ做サ
 シニハ其體ヲシテ長キ檯布ノ牀上ニ遠スル者ヲ以テ蔽ヒタ
 ル檯下ニ横タヘ其面ヲ俯伏シテ見エサラシムベシ「ルシー」女
 ハ豫メ必用ノ器具ヲ備ヘ以テ「フアンニー」ノ兩脚ヲ粧飾スル
 ニ上服及ヒ下衣ヲ以テシ又外套或ハ肩巾及ヒ古帽子或ハ頭
 頸様ヲ以テ包括緊着セシメ腰己下忽テ變シテ恰モ粗大ナル
 偶人ノ如キ者ヲ現出スルニ至ル斯ノ如ク裝束修飾シ了リテ
 即テ遊伴ヲ誘引シテ室内ニ入ラシム此時少女等曾テ荷蘭製
 ノ偶人ヲ見サル者ハ斯ノ如キ飾物何事ナルカヲ怪ムベシ彼
 ノ「フアンニー」ハ衆女ノ室内ニ還ルニ先テ其兩脚ヲ互ニ舉
 ケ恰モ偶人ノ直立セシ様ヲ爲スベシ其入り來ルニ及ヒテ直

ニ兩脚ヲ上下シ或ハ蹴或ハ跳ヒ偶人ヲシテ蹈舞踊躍セシム
 ルノ様式ニ擬シ或ハ屈身拜禮ノ形容ヲ做サシムルガ如キ方
 法ヲ以テス而シテ滑稽調謔ヲ尽シ屢偶人ノ頭額ヲ牀上ニ打
 叩セシムルコトヲ做ス其偶人タル者巧ミニ其技ヲ奏スルト
 キハ看客ヲシテ口ヲ開テ奇快ト稱セシムルニ至ル化シテ偶
 人ト成ル者務メテ身ヲ檯下ニ隱藏スルヲ注意スルトキハ看
 客ノ此戲ヲ解セザル者ハ兩脚ノ然ラシムル所以ヲ知ラズ偶
 人活動ノ妙ナルヲ驚歎シテ止マザルニ至ルベシ其之ヲ務ム
 ル者ハ必ズ顔面ヲ俯伏スルヲ要ス若シ童男ノ此戲ニ加ハル
 者アレバ必ズ擬偶人ト做スベシ

○輕氣鞠球

夫レ樹膠鞠球ノ發明タル奇巧ニシテ實ニ女兒ニ於テ益有リ
 テ害無キノ戲技ト謂フベシ其故如何トナレバ樹膠製ノ球ナ
 ルヲ以テ兒輩ノ頭額ヲ誤打スルコトアルモ更ニ傷損スル等
 ノ危難無キヲ以テナリ凡ソ輕氣鞠球ノ戲タル其形輕クシテ
 且ツ大ナルヲ以テ久シク空際ニ飛揚シテ飄搖スルコトヲ爲
 ス其之ヲ擧クルヤ手若クハ打球版ヲ以テスベシ若シ之ヲ一
 室内ニ於テ爲サント欲セバ其牀上ニ白堊ヲ塗リテ環線ヲ畫
 ク可シ而シテ此環線ヲ超過シテ度外ニ其球ヲ出ス者アレバ
 料料ヲ以テ其罰ヲ償ハシム若シ戶外地上ニ於テ做ストキハ
 其環線ノ如キモ室内ニ畫クヨリ一層廣大ナルヲ要スベシ

○農人及ヒ工人等

圖二十三第



一兒女アリ房外ニ出ヅ他ノ兒女等相謀リテ一職業ヲ約定ス
 而シテ其一兒女房內ニ還ルトキ他ノ兒女等前ニ定メシ所ノ
 一事業ニ擬シテ其動作處置ヲ做シテ以テ問フ我等如何ナル
 職業ヲ爲シタルヤ彼ノ一兒女ニ鑒
 識シテ明斷セヨト云フ若シ其女兒
 ノ心算的中スルトキハ其女ヨリ體
 格及ヒ年齡ノ次ナル者房內ヲ去ル
 他ノ女兒等已ニ做セン所ノ如ク亦
 一職業ヲ約定ス而シ其女兒復タ房
 內ニ還ルニ當テ戲伴ノ女兒等悉ク
 椅子ヲ横倒シ各其面前ニ突出シ其

形恰モ田畝ヲ鋤クカ如キ趣ヲ爲シ或ハ竿ノ一端ニ手巾ヲ結
 ヒ之ヲ左右ニ搖動セシメ以テ枯草ヲ乾カスノ狀ヲ爲セバ是
 レ必ズ農夫タルコトヲ判斷シテ誤ルコト無シ若シ又低腰架
 ニ踞シ鞋ヲ繕理スルノ態ヲ做セバ即チ是補鞋匠ナルコトヲ
 斷了スベシ若シ斜脚ノ槓ニ倚ルトキハ裁縫匠タルコトヲ察
 知スベシ若シ錐鑿鋸子ノ施シ鉋削スルヲ見テハ匠人ニ擬ス
 ルコトヲ曉ルベシ或ハ鐵砧ニテ鐵ヲ槌打シ若クハ馬ニ靴ヲ
 穿カシムル容ヲ爲サバ即チ鐵匠タルコトヲ識ルベシ或ハ
 鋸ヲ以テ煉化炭ヲ攤ケ及ヒ梯子ニ登ルノ形ヲ爲サバ其泥水
 匠タルコトヲ判知スベシ夫レ前條ニ謂ヘル所ノ如キハ唯衆
 兒女ノ悉ク認知スル所ノ各職業ニ就テ其大畧ヲ擬スルノミ

譬へハ農夫補鞋匠及ヒ諸工人等ノ如キ是ナリ然レドモ衆多
 ナル各職業ノ全体ヲ做サズシテ唯其一職業中ニ就テ種々所
 爲ノ方法ヲ區別シテ精細ニ模倣スルヲ要スルノミ就中岐嶷
 敏銳ナル兒女輩ヲシテ此戲技ヲ爲サシムルニ至テハ實ニ快
 活ト稱スベキナリ

○倫敦府中ノ寺鐘

寺鐘ノ戲タル原野若クハ空閑ノ地假令顛躓スルモ危害ヲ被
 ラザル所ニ於テ做スベシ先ツ戲伴中最モ長高キ兩女子ヲ撰
 ヒ此二女ヲシテ各兩手ヲ高ク舉ケテ頭上ニ交握セシム而シ
 テ他ノ兒女ハ列伍ヲ整へ各自ノ前ニ在ル所ノ一兒ノ裾ヲ蹇
 ケテ彼ノ兩女等カ高ク舉ケタル所ノ手下ヲ通過スベシ其狀

恰モ帝及ヒ属從ト題スル所ノ遊戯ニ相類似ス他兒等斯ノ如ク列伍ヲ整ヘテ其手下ヲ過クルトキ兩女相歌フテ唱和スル所ノモノ左ノ如シ

彼ノ「セント、クレメント」倫敦府下名街區寺鐘ノ云ヘルニ橙哉檸檬

哉ト又「セント、ギールス」倫敦府下名街區寺鐘ノ語ルニ磚屑及ヒ瓦

ト又「セント、マルナン」寺名寺鐘ノ謂ヘラク汝余ニ二錢五厘ノ

負債アリ何ノ時カ其額ヲ余ニ返還スルト「オールド、ベイレー」

寺鐘謂ヘリ又「シヨルデー」寺名鐘ノ謂ヘルニハ何ノ時カ余

カ富有ヲ致サント斯ノ如ク何時カ至ラント「ステアッブニー」

寺鐘ノ音フ所ナリ余ハ之ヲ知ラズト「ボウ」寺名寺鐘言ヘリ

以上即チ歌ナリ其列伍ノ尾ニ至リテ彼ノ兩女突然臂ヲ下ケ

以テ其臂下ヲ通過セル一兒女ヲ捉ヘ

ンコトヲ要ス此兩女ノ如キハ是ヨリ

先キ既ニ名號ヲ定メタリ臂ヘハ一女第三

ヲ肉豆蔻ト呼ヒ一女ヲ肉桂ト呼ブ若

シ之ヲ捉フルトキ其捉ヘラレタル一第三十

兒ニ問フニ汝肉豆蔻カ將タ肉桂カ何圖

レヲ好メルカヲ以テス是ニ於テ彼ノ

一兒ノ答フル所其定メタル名ニ當ラ

ザレバ兩女中ノ一人ノ背後ニ立タシム而レテ後衆女悉ク捉

ヘ盡サレテ兩女ノ尾ニ附スルニ至レバ其列尾ニ在ル所ノモ

ノ互ニ手ト手トヲ握リ以テ彼ノ兩女ヲシテ其中央ニ在ラシ



ノ之ヲ圍繞シテ衆女其側ヲ回旋シ竟ニ兩女ニ接通スルニ及
 プマテ陸續圍轉シテ己マザルベシ衆女等斯ノ如クスルノ間
 謠フニ彼ノ橙哉檸檬哉等ノ歌ヲ反復唱和シ終ニ「ボウ」名ノ大
 鐘ト云ヘル詞ニ至リテ中央ニ居ル所ノ兩女勃然奮起シテ輪
 圍ノ兒女ニ迫リ之ヲ排斥シテ遁逃ス

○普魯士ノ操練

衆兒相俱ニ跪列ス唯一兒ノ將校ニ擬スル者ノミ其列ニ加ハ
 ラズシテ佇立セリ此將校ト做レル者ハ英敏ニシテ且ツ此戲
 ニ巧手ナル童女ヲ要ス夫レ此操練戲タル列首ニアル者ヲ押
 伍ト做シ之ヲ除クノ外他ノ衆兒曾テ戲技ヲ知ラザルトキハ
 却テ一層ノ歡樂ヲ添フルモノナリ若シ押伍ト做ルモノモ曾

第三十四圖



テ此戲ヲ試ミ識ルコト無キトキハ即テ將校其列伍ニ臨ミテ
 衆女等ヲ指導スルノ方法ヲ押伍ニ教フルコトヲ要ス整備完

全シ其秩序ヲ歴テ後彼ノ將校即テ
 列伍ノ前面ニ立テテ指令ノ詞ヲ出
 ス其告命スルニ及テ衆女等時ヲ齊
 レクシテ其命ヲ遵奉スルコトヲ做
 サレム其時將校衆女ニ示スニ最モ
 謙浪滑稽笑ハシムルニ足ル事ヲ以
 テス假令ハ列伍ニ命シテ衆悉ク咳
 嗽スベシト云フトキハ即テ皆之ニ

從ヒ務メテ刺シク咳嗽囂然タルヲ要ス若シ其頭髮ヲ拔ケ或

ハ其鼻ヲ撮マメ或ハ其頬ヲ打テ或ハ兩手ヲ拍テ或ハ大ニ笑
 へ或ハ其目ヲ瞬セヨ等ノ笑フ可キ事ヲ以テセバ齊シク其命
 ナ奉シ同一時ニ之ヲ爲スヲ妙トス其動作處置ノ令ヲ下ス者
 ハ彼ノ押伍ノ任トス而シテ後遂ニ結局ニ至リテ將校命シテ
 曰ク棒ヶ銃ト列位此令ヲ聞キ各前面ニ其一臂ヲ真直ニ出ス
 將校其次ニ令シテ放射セヨト云フ此時押伍突然其鄰次ニ在
 ル者ヲ撞撃シテ之ヲ倒ス其倒サレタル女兒又其隣次ノ者ヲ
 撞倒ス逐序ニ斯ノ如クシテ列隊悉ク横倒シテ以テ互ニ相蹂
 躪スルニ至ル故ニ此戲タル其柔弱ナランヨリハ寧ロ剛強ナ
 ルヲ要ス然レトモ諧謔ヲ極メテ笑ハレムベキ者ナリ而レテ
 此遊戲ヲ爲ス葦茶場若クハ枯草原ニ於テセバ衆童女等縱令

跌蹶ストモ尙傷害ヲ受クルノ恐レ無カルベシ又戲伴等椅褥
 帛枕若クハ他ノ柔軟ナル物ヲ以テ列伍ノ尾ニ敷クコトヲ注
 意スベシ是其列尾ニ在ル所ノ一女兒ヲシテ其敷物上ニ倒臥
 セシメンガ爲メナリ凡ソ此戲場ニ在テ苟モ粗暴ノ舉動且ツ
 奸惡ノ妬氣ヲ挾ミテ之ヲ施ストキハ實ニ不測ノ災害ヲ生ス
 ルニ至ルベシ然レトモ快樂ノ技タルニ注意シテ能ク適宜ニ
 之ヲ行フニ於テハ何ソ必シモ害アリト爲ル者ナランヤ

○處女ノ粧飾

此遊ヲ爲スノ始メニ當テ戲伴先ツ相約スルニ遊戲場中決シ
 テ言フベカラザルノ采色ヲ定ムルヲ以テスベシ若シ誤テ其
 禁スル所ノ采色ヲ說話スル者アレバ必ズ過科品ヲ出サシム

べき法制ヲ假定ス初時淺黃綠色及ヒ淡紅色ヲ言フヲ禁ス而
 シテ一童女アリ他ノ兒女ニ對シ問テ曰ク我兒ヲシテ蹈舞セ
 レムルトキ其粧飾スル衣裳ノ采色何ヲ以テセバ好カラント
 其時各自ニ一種ノ采色何ヲ用ヰテ可ナルベキヲ答フ此間若
 シ誤テ彼ノ禁スル所ノ色ヲ以テ之ニ答フル者アレハ則テ約
 ノ如ク過料品ヲ出サシム群兒各自ニ此ノ如ク衣裳一種ノ采
 色ヲ陳述シ其數完備スルニ及テ前ニ積ミ貯フル所ノ過料品
 ヲ以テ各其本人ニ罪ヲ蒙ラシム或ハ時トレテ禁色中唯二種
 ヲ定ムルアリ其制下條ノ如シ

假令ハ「フアンニ」女語テ云ク吾等今ヨリ禁スル所ノ采色
 何等ノ色ヲ以テセンヤト「ルシ」答テ云フ宜シク黑色ヲ禁

スベシ「フアンニ」又云ク尙別ニ白色ヲ禁シテ可ナリト若
 シ其制ヲ定ムル斯ノ如ク僅ニ二種ヲ以テセバ蓋シ過料品
 ノ集ル最モ數多ナルベシ故ニ群兒ヲシテ黑白ノ二種ヲ言
 フヲ禁セシム而シテ「フアンニ」又云ク我兒ヲシテ蹈歌ヲ
 爲サシムルニ當テハ其衣裳ノ如キハ何ノ采色ヲ用ヰテ可
 ナルベキヤ「ルシ」答テ云フ黃絹ノ上蓋衣ヲ用ヰルベシト
 「メリ」女次ニ答テ云ク綠色ノ繻子ノ飾物ヲ用ヰテ可ナラ
 シ「デリー」女次ニ答テ云ク眞珠ノ頸飾及ヒ腕飾ヲ用ヰル
 ベシ「ストザン」女次ニ云ク白色ノ靴ヲ用ヰルベシト「フアンニ
 」女「スーザン」ノ語ヲ聞テ則テ云ク嗚呼汝既ニ一ノ罪ヲ犯
 セリ其故如何トナレバ白色ハ言フコトヲ禁ゼリ何ソ白色

ノ靴ヲ用ヰテ可ナリト言ヘルヤ「スーザン」女答テ云フ噫吾
 何故ニ黒色ノ繻子ノ靴ヲ用ヰルトハ言ハサリシカト其時
 ニ又「フアンニー」云ク是モ亦宜シカラズ黒色モ白色ト同シ
 ク前ニ禁スル所ナリト「スーザン」云ク誠ニ然リ然ラバ則チ
 我カ此剪刀ヲ以テ過料品トシ出スベシ而シテ罰事ハ償ヒ
 了レリ請フ前ノ如ク此遊戯ヲ行ハント時「ゼン」女ノ云ク
 吾兒ハ青色ノ肩衣ヲ用ヰテ可ナラント「アン」女次ニ云ク吾
 兒チシテ踏舞セシメンニハ其袖チシテ膨脹セシメンガ爲
 メ淡紅色ノ組紐ヲ用ヰルベシト次ニ「エルレン」女云ク宜シ
 ク白山羊毛ヲ以テ造レル手套ヲ用ヰルベシト時ニ「フアン
 ニー」之ヲ聞テ云ク白山羊毛カ然バ則チ第二次ノ犯罪ナリ

ト「エルレン」陳述スラク然リト雖トモ踏舞ノ時ニ當リ曾テ
 有色ノ手套ヲ用ヰルノ人無シト「フアンニー」則チ答テ云ク
 若シ果シテ然ラバ汝其手套ノコトヲ言ハサルニ如カズト
 是ニ於テカ「エルレン」其言ニ服シテ云ク然バ則チ此鬪牌ヲ
 納レテ以テ過料品ニ充ント次ニ「イサベル」云ク吾兒チシテ
 踏舞セシメバ則チ深紅色ノ花ヲ以テ頭髮ニ挿サシムベシ
 ト是ニ至テ「フアンニー」噫然トシテ歎レテ云ク美色ノ集マ
 レル既ニ多キコト斯ノ如シ其踏舞兒ノ如キハ殆ト豔麗ナ
 ル數種ノ花ヲ束テル者ノ如クナラン次ニ「カザリン」女ノ云
 ク紫色ノ糸ヲ以テ結ベル網囊ヲ用ヰルベシト「ロザー」女云
 ク吾兒ノ如キハ黒剪絨ノ帶ヲ用ヰシムベシト時ニ「フアン

ニ「云ク黒剪絨カ其黒色ハ則テ「ロザ」モ亦一罪ヲ犯セリ
ト時ニ「ロザ」女陳述スワク如何ナル剪絨ト雖トモ之ヲ帶
ニ用ルルニ當テハ其色ノ黒キヲ見ズト「ファンニ」女之ヲ
斷シテ云ク豈其レ然ラシヤ汝誤テリ何ソ徒ニ黒色ヲ嘗ヘ
ルヤ汝ノ罪ヲ償フ過料品ハ何レニ在ルヤト「ロザ」女云ク
然リ我此皮箱ヲ以テ之ニ充ント時ニ「ファンニ」云ク是ノ
如キハ吾兒ノ蹈舞衣裳既ニ全ク整ヘリ請フルシ「女」再
ビ之ヲ反シテ汝ガ女兒ヲ粧フテ可ナリト是ニ於テ又相禁
制スル所ノ采色ハ青緑ノ兩色ヲ以テ約シ「ロシ」女又群兒
ニ問フ所ノ事狀渾テ前條ノ如クス

○家内ノ裝置

此遊戯ノ様式モ亦前章ニ言フ所ノ物ニ類似シ之ニ加フルニ
前章ニ優リタル技倆ヲ爲シテ兒女子ノ才智ヲ出サシムルヲ
要スル者ト做ス其之ヲ爲スノ始メ先ツ探圖シテ當用ノ兩色
ヲ定メ置キ而シテ家内ノ諸器具ヲ選ハシメ必ズ此兩色ニ適
當セル所ノ品物ヲ裝置シテ以テ問ニ答フル者トス假ニ探圖
シタル兩色ヲ茶褐色並ニ黄色ノ二種ト定メ其施行フ所ノ
戲事下ニ述ルガ如クスベシ

「ラウツ」女群兒ニ對シ問テ云ク客室ノ如キハ何色ノ坐籠ヲ
用キテ可ナランカ「テート」女答テ云ク固ヨリ茶褐色ノ坐籠
ヲ敷クベキナリト「シヨルシアナ」女次ニ答テ云ク黄色ノ窓
帷ヲ用キント次ニ「マアルダ」女ノ云ク火爐ニハ火箸並ニ火

遮ノ最モ美ニシテ且ツ兩ツナガラ螺旋柄ノ存スル物ヲ使
 用スベシ其品ハ我前ニ「ペーケル」街ニ於テ認メシ物ノ如キ
 ナ要スト次ニ「ラウラ」女云ク吾ハ「マナルダ」女ノ言フ所ノ如
 キハ用井ル能ハズ汝ハ須ラク過料品ヲ納ルベシ何トナレ
 バ若シ此客室ニ用井ルニ當テハ火箸及ヒ火遞ノ如キハ宜
 シク黄銅ヲ以テ作レル物ヲ相當トスベシ次ニ「ジマイマ」女
 云ク若シ我之ヲ好マバ此ノ如キ室ニハ櫥色ノ爛布籃及ヒ
 樺木ヲ以テ造レル椅子ヲ備フルモ亦害無カルベント「ハル
 リー」ト「女次」ニ答テ云ク硝子ハ宜シク黄色ノ美ナル物ヲ以
 テスベシ其品恰モ「サー」シヨソアン「氏」ノ博物館ニ於テ觀
 ル所ノ物ノ如キヲ要スト時ニ「ラウラ」女云ク彼ノ往古ノ風

ノ如キ鏡ヲ以テ造レル鏡等モ尙當時客室ニ在ルヲ嫌ヘリ
 况ヤ此處ニ黄色ノ硝子ヲ用井ントスルニ於テチヤ豈即今
 ノ流行ニ適セザルヲ歎ゼザルヲ得ンヤ其故如何ニト云フ
 ニ若シ彼ガ如ク黄色ノ硝子ヲ使用セバ吾輩ノ面色ヲシテ
 恰モ黄疽ヲ思フル者ノ如クナラシムベシ是故ニ茲ニ用井
 ント欲スルニハ銀色ナル物ヲ以テ至妙トナスベシト又「ア
 ンニー」女答テ云ク美麗ナル銀製ノ火燈架ヲ備フベシト「ラ
 ウラ」云ク汝「アンニー」過罪ヲ受クベシ夫レ火燈架ノ如キハ
 黄銅ヲ以テスルカ或ハ漆器ヲ以テスルカ若シ好ム所アレ
 バ消金物ヲ以テスルヲ要トスル者ナレバナリ若シ家室ノ
 飾物品具己ニ全ク整齊スル時ハ其次ハ盛饌ヲ調理スル事

ニ及ブベシ_レゼン_レ云ク余炙兔ヲ以テ供セント其詞許諾セラ
 ルルウイザ_レ曰ク余ハ甜瓜ヲ以テセント其詞モ亦善シ而シ
 テ_レフアンニ_レノ蠻苳及ヒ乳酒ヲ以テセント香ヒシモ甚タ
 好物ナレドモ其色ナラザルカ故ニ惡シ彼ノ園庭ヲ飾ル種
 々ノ花卉ノ如キモ亦將ニ論セントス金盞草_レボートルコツ
 プ_レ即チ毛茛ノ一種又黃花ノ紫羅蘭及ヒ_レブルーム_レ形胡蝶ノ如
 色ノ花_レ者_レノ如キ最モ要スル所トス夫レ燦爛タル黃色ノ花ノ
 種類モ稍少シト雖ドモ茶褐色ヲ帶ルノ花ヲ查出スルコト
 ハ實ニ難シトスル所ナリ茲ニ_レオルナダ_レオース_レ花_レ草_レ一部ノ
 種類中ノ諸花ヲ點檢シテ以テ彼ノ茶褐色ヲ帶フル所ノ花
 ノ模範ト爲スベキ者ヲ認メ出スニ至レリ其種類中ニ_レカル

モオラリヤ_レノ一種アリ即チ茶褐色ト黃色トヲ兩ツナガテ
 兼帶スル所ノ花ニシテ殊ニ世ノ貴重スル所タリ嗚呼余等
 ガ園中草菜場ニ在ル所ノ者ハ唯土ト砂土ノミト次ニ論ス
 ル所ハ則チ家室住居人ノ衣服トス其家父タル者彼ノ_レクワ
 ーケル_レ宗_レ派_レ宗徒ノ服スル極メテ粗品ノ衣裳ヲ以テセザル
 コトヲ得ズ却テ僕從ノ如キハ黃色ノ服ヲ着用シ得ルナリ
 然ルニ家母ハ栗色ト黃色トヲ以テス此家ノ童兒ノ朋友ニ
 シテ彼ノ_レブリウ_レコー_レトスクール_レ即チ藍色表衣校ニ在ル
 所ノ兒輩ノ如シ此家ニ來訪スルアレバ則チ其藍色ノ表衣
 ヲ脱グコトヲ要ス而シテ後其黃色ノ股衣及ヒ黃色ノ觀衣
 ヲ服シ以テ此家ノ規約ニ適スル所ノ者ト爲ス夫レ茶褐色衣

及ヒ黄色ノ如キハ各物ニ適用スル所ノ色ニシテ常ニ習慣
 レタル詞ナリ若シ之ヲ云フテ禁セバ實ニ童女ノ難シトス
 ル事恰モ淡紅色及ヒ淺藍色等ヲ禁言スルト同一意ナリ

○慈婦人ノ祝詞 慈婦人トハ天女ノ
 如キモノヲ指ス

番次ヲ以テ兒女等相互ニ替リテ慈婦人ト成ルコトヲ做スノ
 遊戯ナリ其始メ最モ長高キ童女ヲ以テ慈婦人ト做ス此童女
 房内上坐ニ椅子ヲ設ケテ之ニ居ル而シテ他ノ兒女等ハ悉ク
 房内下坐ニ就ケリ其中ニ唯一兒女ノ房ノ中央ニ立タルアリ
 之ヲ稱シテ審官ト云フ秩序整完シテ後各兒等彼ノ慈婦人ニ
 低頭禮拜ス爾時審官ノ唱ヘケル詞ニ

慈ナルカナ彼ノ一婦人其玉座ヲ占メタル容貌恰モ我皇妃

ノ如シ汝等頌詞ヲ以テ彼ノ婦人ニ呈シ去リ而シテ彼ノ婦
 人ヲシテ獨在ヲシメヨ

之ヲ聞テ群兒女各順序ヲ以テ審官ノ前ニ至リ彼ノ慈婦人ヲ
 讀スルノ詞ヲ耳語ス其時審官其間ク所ヲ反復シテ忘レザル
 様注意セシム各兒皆斯ノ如ク其祝詞ヲ以テ審官ニ耳語ス其
 事終ルニ及テ審官其各ヨリ告クル所ノ語ヲ以テ順テ逐ヒ高
 聲ニ誦讀ス慈婦人之ヲ聞テ各其祝詞ノ作者ヲ射斷スルコト
 ナ務ム審官之ヲ聞テ慈婦人ノ詞的中スルト否トヲ以テ逐一
 之ヲ告ク若シ慈婦人ノ臆斷誤ルトキハ其度毎ニ一罰トシテ
 一箇ノ過料品ヲ償フコトヲ要ス斯ク幾回誤ルモ其回数ニ因
 リ他ノ兒女ヲシテ末ダ玉座ヲ取ラザル前ニ悉ク其料料品ヲ

儀フベシ審官ト做ル者兒女ノ祝詞ヲ能ク記憶スルノ最モ牢
確ナル方法ハ即チ石盤ヲ持携シテ衆兒ノ語ルニ隨ヒ之ヲ其
面ニ記載スベキモノトス

例

「ルシー」女「フアンニー」ニ謂ヘラク汝最モ長ケ高キ故ニ最初
ノ慈婦人タラザルヲ得ズ而シテ余「ルシー」ガ如キ身ノ長ケ
汝ノ次ニ在ルヲ以テ即チ審官トナラン衆兒等來テ房内ノ
下坐ニ於テ相列スベシ余ハ石盤ヲ携ヘ其中央ヲ占ムベシ
「フアンニー」房内ノ上坐ニ居ルベシ又謂テ云ク汝等全ク整
齊ヲ做シ畢レルカ若シ然ラハ相俱ニ慈婦人ニ禮拜スベシ
ト是ニ於テ衆兒「フアンニー」ニ拜禮ヲ爲シ乃チ謂テ云ク

彼ノ慈婦人其玉座ニ居ル様式恰モ我皇妃ノ如シ汝等頌
詞以テ彼ノ慈婦人ニ呈シ去ルベシ而シテ獨リ彼ノ婦ヲ
シテ在ラシメヨ

衆兒女各順チ替ヘテ「ルシー」女即チ審官ノ前ニ進ミ而シテ
彼ノ「フアンニー」慈婦人ヲ頌讚スル詞ヲ耳語ス之ヲ聞テ審
官即チ其語ヲ以テ携ヘシ所ノ石盤ニ記載ス之ヲ做シ畢リ
テ審官謂ヘタク善カナ汝等悉ク祝詞ヲ做シ了レルカ、然バ
則チ余之ヲ誦シテ以テ慈婦人ニ報讚スベシト「ルシー」茲ニ
讀誦ス慈婦人此報ヲ聞キ以テ祝詞ノ作者各兒女中誰タル
ヲ射斷スベシ

「ルシー」石盤ヨリ讀ム其詞ニ或人ノ云ク夫レ慈婦人タル者

ハ最モ其好質ナルベシト

「フアンニー」曰ク此語「スーザン」ノ作ル所ナラン

「ルシー」曰ク否然ラズ「レディヤ」女ノ作レルモノナリ故ニ君

一醫ヲ受クベシト

「フアンニー」曰ク 醫科ハ悉ク余カ受クル所ナラン而余甚

タ之ヲ受クルコトヲ欲ス故ニ余一醫ヲ受クル毎ニ科

料トシテ則チ是ノ携ヘタル所ノ花中ヨリ一花ヲ出シ

テ以テ之ヲ償ハン則チ目今受クル所ノ醫科茲ニ薔薇

花ノ一苞アリ之ヲ以テ償ヒ且ツ云ク事己ニ做シ了レ

リ因テ續キテ此遊戯ヲ爲スベシト

「ルシー」曰ク 或人云ヘルニ慈婦人ハ甚タ穎明ノ慧眼ヲ有

セリト

「フアンニー」答フ 是「ゼン」女ノ言ナリ

「ルシー」曰ク 否然ラズ「イザベル」女ノ作ル所又汝過テリ故

ニ第二醫ヲ以テセン又云ク或人ノ説クニ慈婦人ハ美

麗ナル捲髮ヲ有セリト

「フアンニー」答フ 是「カソリン」女ノ爲オ所カ

「ルシー」曰ク 然リ則チ「カソリン」ノ作ナリ又云ク或人云ヘ

ラク慈婦人ハ甚タ歌謠ヲ能クセリト

「フアンニー」答フ 是「ロヂ」女ノ説ク所ノモノカ

「ルシー」曰ク 否然ラズ「スーザン」ノ云ヘル所ナリ故ニ第三

醫ヲ受クベシ又云ク或人ノ云ヘラク慈婦人ハ從容自

適ニ踊舞ヲ善クスト

「フアンニー」答フ 是「メリー」女ノ詞ナリ

「ルシー」曰ク 否然ラズ「エルレン」女ノ言ナリ第四罰ヲ受ク
メシ又云ク或人ノ語りシニ慈婦人ハ高聲ニ讀書ノ際
常ニ能ク其句讀段落ニ注意スト

「フアンニー」曰ク 是必ズ「ゼシ」女ノ詞ナリ

「ルシー」曰ク 否然ラズ「ロザ」ノ云ヘル所是故ニ復タ一罰ヲ
受クメシ又云ク或人ノ方ヒシニ慈婦人ノ裁縫スル其
針歩甚タ細密ナリト

「フアンニー」答フ 是必ズ「アン」女ノ云ヒシモノカ

「ルシー」曰ク 「フアンニー」汝此度ハ能ク的中セリ是即チ「ア

シ」女ノ詞ナリ又云ク或人ノ説ニ慈婦人ハ凡ソ遊戯ノ
衆技藝ニ長ゼザル者無シト

「フアンニー」答フ 是「メリー」女ノ説ナルカ

「ルシー」曰ク 否然ラズ是余ガ説キシ所ニシテ彼ノ目錄ノ
結尾ニ記載セシ祝詞ナリ然レドモ「フアンニー」汝臆斷
セラレシ所的中セザル者一ナラズ即チ今汝カ償フベ
キ所ノ罰數六個ニ及ベリト若シ之ヲ償却シ了ラバ次
回ノ慈婦人タルノ面目ハ余カ承クル所ニシテ「スーザ
ン」汝輩ノ如キハ審官ノ任ヲ務ムヘキ者ナラント

○旅人

一童女ノ旅行人ニ擬スルアリ他女等各名稱ヲ取ルニ地頭地

主侍史侍婢及ヒ官馬者磨鞋者等ヲ以テシ自餘ノ人々ハ馬馬
 鞍馬勒燕麥長鞋上鞋磨牛晚餐蠟燭臥臺等ヲ以テ號トナスベ
 シ總テ傳舍或ハ酒舗ニ關スル所ノ者ニシテ行旅ノ必須要用
 欠クベカヲザル稱號ヲ以テスルナリ夫レ旅行人ヲ除クノ外
 他ノ衆兒悉ク房ノ四方ニ座スルトキ彼ノ旅人房内ニ入り來
 リテ即チ呼テ云ク地主余ハ今夕晚餐ヲ得テ以テ臥床ニ至ル
 ナ得ルカ地主之ヲ聞テ晚餐及ヒ臥床ノ名ヲ占ムル所ノ各輩
 ナシテ共ニ起立セシム而シテ後旅人又謂ヘワク地頭余ハ一
 瓶ノ酒ト新聞紙トヲ要スト此時酒及ヒ新聞紙ヲ以テ名號ト
 スル所ノ者各個彼ノ地頭ト共ニ突然起立スルヲ要ス旅人又
 「オストレル」即チ客舍ニテ馬ヲ掌トル人ヲ呼出シ我ヨリ鞍及

ヒ馬勒ヲ叩シ燕麥ヲ以テ之ヲ飼シコトヲ命ス是ニ於テ管馬
 者馬馬鞍馬勒及ヒ燕麥等各自己ノ名ヲ聞キ直チニ突起スル
 コトヲ爲ス而シテ旅人又侍者ニ命スルニ晚餐ヲ持來ワシコ
 トチ以テス其之ヲ聞クヤ忍チ晚餐各ノ回答ヲ做シ又旅人終
 ニ侍婢ヲ呼ヒ命シテ蠟燭ヲ携ヘ來レト云フ「アトゴイ」長
 鞋ヲ管スル者ニ我長鞋ヲ取り以テ上鞋ヲ持來ワシコトヲ命
 ス此ニ由テ侍婢蠟燭管鞋者上鞋及ヒ長鞋等悉ク起立ス誰某
 ナ論セズ若シ旅人ノ其名ヲ呼ベルトキニ當テ直チニ起立ス
 ルコトヲ忘ルハ即チ其童女科料ヲ出サザル可ワズ此
 旅行人ノ任ニ當レル者ノ如キハ其才敏捷ナレバ此遊戯モ亦
 極メテ大快樂ヲ做スニ堪ヘタリ凡ソ戲伴ノ取ル所ノ名稱ニ

係カル事件ハ何ヲ聞ハズ悉ク旅行人ノ號令ヲ發スルコトヲ得ルナリ

○修業者ノ徒弟

此遊戯ヲ始メテ發起スル所ノ女子ハ即チ其子息ヲシテ裁縫匠鞋匠雜貨商或ハ其他ノ工人及ビ舗商等ノ生業ヲ修セシムルヲ做ス即チ徒弟クアラ而シテ其女子己ノ子息ノ始メテ製造スルカ或ハ初メテ賣却スル所ノ品物ノ頭字ノミヲ以テ戲伴ニ告グ他ノ兒女ハ其告グル所ニ因テ彼女ノ意ヲ斷斷スル能ハズシテ之ヲ辭スルトキハ其女再タビ子息ヲシテ徒弟タラシメザルヲ得ズ誰ニテモ其斷スル所能ク的中スル者ノ如キハ則チ彼ノ女ニ代リテ此戯ヲ發起スル所ノ女子ト爲ル凡ソ

此嬉戲ノ如キハ唯二三女兒ニテモ衆女兒ニテモ做シ得ベキ者トス

例

「ファンニー」 余子息ヲシテ雜貨商ノ徒弟タラシメタリ而

シテ彼カ始メテ賣ル所ノ物ヲ「ナ」トス

「マリー」 茶カ

「ファンニー」 否余カ意茶アラズト

「ゼン」 據古聿カ

「ファンニー」 善カナ其言中レリ今「ゼン」汝ノ願ニ當レリト

「ゼン」 余我子息ヲシテ糖菓舗ニ於テ修業セシメタリ而シ

テ彼レ始メテ賣ル所ノ物ハ「ホブレ」ナリ

「ルシー」于葡萄于葡萄ト又曰ク余モ亦子息ヲシテ糖菓舖
ニ徒弟ヲラシメタリ而シテ彼レ始メテ賣ル所ノ物ヲ
「ヤク」ト爲ス

「オール」余等「ヤク」ノ何物タルヲ臆斷スル能ハス

「ルシー」尙之ヲ務メヨ

「エルレン」嗚呼多栗ナルカナ余モ曾テ子息ヲシテ餅師ノ
徒弟トナラシメリ而シテ彼レ始メテ製スル所ノ物ハ

「シク」ナリ

「ルシー」「シク」トハ何物ナルカ衆女各沈思スルコト稍久シ
而シテ遂ニ臆想シ得ル能ハズシテ之ヲ辭ス

「エルレン」諭シテ曰ク生薑餅中ノ胡桃子ナリ

「メリー」嗚呼何故ニ余ハ之ヲ想ヒ出シ得ザリシヤ余カ平

生之ヲ嗜好スルノ甚シキニ汝「エルレン」復タセヨ

「エルレン」余子息ヲシテ園丁ノ業ヲ修メシメタリ而シテ彼

レ始メテ栽植スル所ノ根ヲ「ウ」トス

「メリー」是鬱金香ナリ

「エルレン」然リ汝ガ言申レリ

「メリー」余子息ヲシテ鐵器商ノ業ヲ修メシメリ而シテ彼
ノ子初メテ賣ル所ノ物ハ「アチ」ト爲ス

「ゼン」是煎鍋ナリ余モ子息ヲシテ木匠ノ徒弟ヲラシメタ

リ而シテ彼ノ子初メテ造作スル取ノ物ハ「ナグ」ナリ

「フアンニー」是中央ニ置ク櫥ナリ余モ子息ヲシテ文具師

ノ職業ヲ修メシメタリ而シテ彼ノ子初メテ賣ル所ノ物ハ「フラ」ナリ

「エルレン」是レ封蠟ナリ余モ亦子息ヲシテ文具師ノ徒弟
 タラシメタリ而シテ彼ノ子初メテ賣ル所ノ物ヲ「コ」
 ト做ス

「メリー」 「コレ乎」「コ乎」余之ヲ辭スト

「オール」 稍久シク沈吟シ余等悉ク之ヲ辭ス

「エルレン」 諭シテ曰ク是曆書ナリ

「メリー」 余ハ徒ニ曆書ハ書買ノ販賣スル物トノミ思想シ
 居レリ

「エルレン」 夫レ曆書ハ文具師モ亦販スル所若シ余其一舖

ニ至ルコトアレバ常ニ注意シテ左所右顧シ目撃スル
 所ノ各物ヲ記憶スルコトヲ務ムト

○「ナツテルボツブ」名 猫

戲伴相俱ニ列坐テ爲シ下條ニ舉クル所ノ詞ヲ以テ其兒女各
 順序ヲ以テ復讀ス其之ヲ誦スルヤ一モ其音ヲ變換シ或ハ其
 言ヲ誤謬スルコト勿キヲ要ス則チ其言タル左ノ如シ

此處ニ一男子アリ其名ヲ「ユツブ」トス此男一妻ヲ娶レリ其
 名ヲ「モツブ」ト云フ又其男一犬ヲ飼ヘリ而シテ其名ヲ「ボツ
 ブ」ト做ス其妻一猫ヲ養フ其名ヲ「ナツテルボツブ」ト呼フ

「ユツブ」言ヘラク「ボツブ」ト「モツブ」ト言ヘルニ「ナツテルボ
 ツブ」ト彼ノ「ボツブ」ハ「ユツブ」ノ犬「モツブ」ノ猫ハ「ナツテル

「ボツア」ナリ「モツア」「ゴツア」而シテ「ナツ」タル「ボツア」ト
 若シ兒女等順序ヲ遂フテ上條ノ詞ヲ反復スルノ間假令一點
 子ナリトモ差謬ヲ爲ストキハ則テ其女兒ノ頭髮ヲ前面ニ纏
 ヒ結フニ長キ紙片ヲ以テセラル其形恰モ角ニ擬似スベク其
 紙片ヲ凸ク指出ス而シテ此戲ヲ再三數次做サシムルトキハ
 遊伴女兒ノ頭額上ニ三個若クハ四個ノ角ヲ戴ク者甚ダ數多
 ナルニ至ルベシ斯ノ如ク頭角ニ置ク所ノ紙葉ノ如キハ此戲
 ノ未ダ始マラサルニ先ダテテ調整シ備ヘ置クベシ角ヲ作ス
 所以ノモノハ則テ料料ト同一物ニ看做スナリ是故ニ其鬪ヲ
 贖フ毎ニ其角一個ヲ除キ去ルコトヲ得ル質賣者ハ常ニ其眼
 目ヲ遮蔽セフレダリ質喚者ノ如キハ彼ノ一角ニ觸ルトキ謂

テ云ク如何シテカ此處女ハ其一角ヲ脱除スルヲ得ンヤト此
 時乃テ發スルニ常例ノ確言ノ一箇ヲ以テス

○余ノ想像ハ如何ナル者ノ如キカ

遊伴其位置ヲ整齊シ列坐ノ首位ニ在ル所ノ一女子一個ノ詞
 ナ思惟スルヲ爲ス譬ヘハ太陽川帽子上服等ノ如キ者ニシテ
 其一女子他ノ女伴ニ問テ云ク余ノ思惟スル所其レ如何ナル
 物カト時ニ其始メニ答フル女ハ則テ其恩惟者ノ次坐ニ列ス
 ル者ト爲ス而シテ各其女ヨリ順序ヲ正シテ答辭ヲ爲スコト
 然リ而シテ彼ノ衆女等其思惟者ノ何物ヲ以テセンヤテ豫メ
 識ル者無キヲ以テ之カ答ヘテ爲スモ素ヨリ不相富ノ妄誕ヲ
 出サ、ルコト能ハズ或ハ答フルニ汝ノ思惟スルモノハ針ヲ

ランカト或ハ手套カ或ハ風ト等シキ者カ等ノ詞ヲ以テ思惟者ニ於テハ其答辭各誰ノ女ヨリスル所ナルヲ能ク記性スルヲ要ス而シテ各女ハ悉ク答詞ヲ做シ畢リシトキ自己ノ想像ヲ告示スルコトヲ做ス又各女ハ其答ヘシ所ノ詞ノ彼ノ女子ノ想像セシニ類似スル所以ノ理ヲ解明セザルベカラズ若シ此理ヲ解明スル能ハザル者ハ則テ罰ヲ以テセザルコトヲ得ズ此遊戯一回了レハ次回ニ想像セシ所ノ女兒ヲ以テ前ニ做セシ者ノ次坐ニ列スル者トス

例

「メリヤ」曰ク「ジュリヤ」余ノ想像スルモノヲ何トカナスマヤ
「ジュリヤ」答フ 雨ノ如シ

「メリヤ」曰ク 「ルウイザ」汝ハ何ト謂ヘルカ
「ルウイザ」答フ 恰モ花ノ如シ
「メリヤ」曰ク 「ナヤルロート」汝ハ如何
「ナヤルロート」答フ 鐘ノ如シ
「メリヤ」曰ク 「ソビヤ」汝ハ其次ニ申レリ
「ソビヤ」答フ 恰モ梟ノ如シ
「メリヤ」曰ク 「ヘレン」來リテ言ハザルカ
「ヘレン」答フ 恰モ星ノ如シ
「メリヤ」曰ク 「エミリー」モ亦來ランカ
「エミリー」答フ 恰モ乾酪ノ如シ
「メリヤ」曰ク 雨カ花カ鐘カ梟カ星カ乾酪カ

「ジュリー」曰ク 余ハ斯ノ如キ者ニ類似セル何物ノアルヲ
想ヒ出スコト能ハズト

「メリー」諭シテ曰ク 余ノ心中ナルモノ即チ月ナリト又曰
ク「ジュリー」夫レ月ハ何ノ故アルヲ以テ雨ト等シキモ
ノカ

「ジュリー」答フ 彼ノ月ハ乃チ海水ヲシテ漲起セシムルヲ
以テナリ汝「メリー」ソレ此事ヲ知ラン月ノ水ニ於ケル
ヤ潮ヲシテ自由ニ滿溢セシム而シテ雨ノ水ニ於ケル
モ亦然リ之ヲシテ自在ニ増加セシム汝「メリー」他日新
聞紙上ニテ大洪水ノ説話ヲバ讀マザリシガ彼ノ大洪
水タル河海充溢シテ草木家畜ノ類悉皆鳥有ニ属セリ

ト

「メリー」嗚呼然リ汝「ジュリー」ノ説明スコト至レリ尽セリ

又曰ク今「ルウイザ」何故ニ月ハ花ノ如キ者ナルカ

「ルウイザ」答フ 夫レ花ハ日毎ニ變換スルアリ此則チ月ト
等シキ者トスル所以ナリ

「メリー」曰ク 「チヤルロート」月ハ何ノ故ヲ以テ鐘ト同シキ
カ

「チヤルロート」答フ 鐘ナル哉鐘ナル哉余ハ月ト鐘ト相類
似スル所以ヲ照査シ出ス能ハズ因テ更ニ一言ヲ費ヤ
スナ知ラズ故ニ余之ヲ辭セン

「メリー」曰ク 然バ則チ汝「チヤルロート」一語ヲ受クルコト

「ナヤルロート」曰ク 爰ニ余カ手巾アリ以テ謝セン

「メリー」曰ク 「ソビヤ」何ノ故アリテ月ハ臬ト相同シキ所アルヤ

「ソビヤ」答フ 此理甚タ容易ナリトス夫レ臬ハ晝間ハ更ニ出現セザル物タルヲ以テナリ

「メリー」曰ク 「ヘレン」何故ニ星ハ月ト相均シキ者ナルヤ

「ヘレン」答フ 之ヲ比較スル亦甚タ易シ星ハ夜而已現ハル

、ヲ以テノ故ナリ

「メリー」曰ク 「エミリー」何故ニ月ハ乾酪ト同一ナルヤ時ニ「ナヤルロート」其側ヨリ謂ヘツク「エミリー」汝ハ必ズ言

ハン乾酪ノ形ト月ノ形ト相似タル所以ナリト

「エミリー」答フ 否否余ハ斯ク言フニ非ス其故如何トナレ

バ乾酪ノ形ヤ圓ナリ然ドモ球形ト相異ナルアリ夫レ

乾酪ハ兩面一遍ナリ而シテ月ハ球ノ如ク兩面圓ナリ

ト

「ナヤルロート」曰ク 余曾テ荷蘭國製ノ小キ乾酪ノ其狀恰

モ球ノ如キ者ヲ見タリト

「エミリー」曰ク 余ハ汝カ詞ヨリモ猶尙優レル所以ヲ言ハ

ント勉勵セリト獨リ沈思默計ス

「メリー」曰ク 來レ「エミリー」汝ハ深ク考思スル所アリシヤ

「エミリー」答フ 夫レ月ハ乾酪ト同シ其故如何トナレハ共

ニ是東方ニ在テ最モ大ナル者タルヲ以テナリ月形ヲ望見シテ最モ大ナルハ彼ノ東方ニ在テ昇登スルノ際トス而シテ我英國ノ東方部ニ在テ製スル所ノ乾酪ヲ最モ大ナル者ト爲セバナリ

「メリー」曰ク 是甚シキ牽強附會ノ説トス然レモ余等ハ之ヲ領諾スベシ又曰ク「ジュリー」今己ニ思惟スベキノ順次汝ニ當レリ

「ジュリー」暫ク默思スルアリ乃チ曰ク叔余ノ想像セシ所ノ者ハ何等トスルヤ

「メリー」答フ 恰モ温和ノ婦人ノ如シ

「ジュリー」曰ク次ギニ「ルウイザ」判断スベシ

「ルウイザ」答フ 「プリユムケーキ」糖菓ニシテ其中ニ乾葡萄其他果實ヲ入レタル

ノ如キカ

「ジュリー」曰ク 「ナヤルロート」余ガ思フ所ノ物何物ト等シ

キカヲ判決スベシ

「ナヤルロート」答フ 砂ノ如シ

「ジュリー」曰ク 「ソビヤ」汝如何ト思ヘルヤ

「ソビヤ」答フ 恰モ薔薇花ノ如シ

「ジュリー」曰ク 「ヘレン」ハ如何

「ヘレン」答フ 蹈舞ノ如シ

「ジュリー」曰ク 「エミリー」汝ハ如何トスルヤ

「エミリー」答フ 獅子ノ如シ

「ジュリー」衆ニ報シテ曰ク余カ意思則チ薔薇ナリ時ニ彼ノ「ソビヤ」言ヘラク嗚呼薔薇ナル哉希有ナル哉而シテ「ジュリー」又曰ク余將ニ聞ク所アラントス彼ノ薔薇ハ何故ニ温和婦糖菓子砂踏舞及ヒ獅子等ニ類似スル所アルヤ「メリー」汝何ヲ以テ余ニ告クルヤ

「メリー」答フ 夫レ薔薇ハ恰モ温潤ナル婦人ノ如シ其故如何トナレバ彼ノ花容ノ美麗ナル既ニ凋殘スト雖ドモ其香氣ノ馥郁タル久シク留在スルヲ以テナリ

「ジュリー」曰ク 「ルウイザ」汝ハ何ノ故アリテ薔薇ハ大ナル「プリユムケーキ」ノ如クナル者ト思ヘルヤ

「ルウイザ」答フ 嗚呼余ハ甚ダ之ニ困却セリ其故如何トナ

レバ彼ノ薔薇ト糖菓子トノ如キハ薄暮ニ方テ要スル所ノ類ナリ余之ヲ未タ思想シ得ル能ハズト

「ジュリー」曰ク 如何ゾ「ナヤルロート」何等ノ故アリテ薔薇ヲ以テ砂ト相比對スルヤ

「ナヤルロート」答フ 其故ハ兩ナガラ風力ノ容易ニ散ラシ得ル所ノ者ナリ

「ジュリー」曰ク 「ソビヤ」汝ノ比較ハ偶余カ思想スル所ト暗合セリ此事甚ダ希ニ有ル所ニシテ若シ此ノ如ク相的中スルトキハ則チ其醫トシテ過料ヲ以テセン時ニ「ソビヤ」答テ曰ク之ヲ過料ト呼做スベカラズ余カ薔薇ト定メシ所以モ汝ノ既ニ之ヲ確定セシコト素ヨリ知

ヲザルニ属セリ故ニ是等ハ唯余ノ不幸ト謂フベシ過
ト言フベカラズ然トモ科料トシテ余カ扇ヲ取レ
「ジュリ」曰ク「ヘレン」ハ何故ニ薔薇ヲ以テ蹈舞ニ似タル
者ト爲スヤ
「ヘレン」答フ「其理ハ專ラ幼年子女ニ能ク適スル者タレバ
ナリ
「ジュリ」曰ク「又「エミリー」」ユ彼ノ薔薇ノ獅子ト同シキ所
以ノモノ何レニ在リヤ

「エミリー」答フ「是ハ兩ナガラ我英國ノ徽章ナルカ故ナリ
○律法師

此戲タル兒女ノ員奇數ヲ以テスルヲ要ス即チ七人九人十一

人十三人等ヲ云フ是其一人律法師ト爲ルトキ殘員必ズ偶數
ト爲ル故ニ二人能ク相對坐スルコトヲ做スヲ以テナリ夫レ
衆兒女對列シテ坐スル後一兒ノ殘レル者ヲ擬シテ律法師ト
呼做ス凡ソ戲伴ノ坐スル必ズ二列ニ相連ナリ互ニ向テ面ト
面トテ相對シ各自其前ニ在ル者ヲ對手ト爲スベシ一個ノ律
法師ト成レル兒女ハ二列對坐スルノ間テ從容緩歩シテ以テ
自己ノ適意ナル所ノ女ニ向ヒ質問ヲ爲ス此時其女直ニ自カ
ラ律法師ニ答辭ヲ爲スベカラズ其前ニ坐スル所ノ對手ノ女
之ニ答フベシ若シ此處ニ注意セズ其間ハレタル女倉卒ニ自
ラ之ガ答辭ヲ做ストキハ則チ其女ヨリ科料ヲ出スコトヲ要
ス其對手女ノ如キモ亦己ノ對偶タル者ノ爲メニ答フベキヲ

忘却スルカ或ハ注意セズシテ之ヲ做サマルトキハ共ニ同シク科料ヲ償フコトヲ要ス其例左ノ如シ

例

「メリヤ」汝今余等ヲシテ二列ノ椅子ニ坐セシメヨ是ニ於テ各個其居ヲ占メ以テ互ニ面ト面ト相對セシムルカ爲メナリ

「シヤリヤ」汝ハ「ハルレート」ノ對手タルベシ「ルウイザ」ハ「ナヤルロツト」ノ對手トナルベシ而シテ「マルナルタ」ハ「エリザ」ノ夥伴タルベシ余ハ則チ律法師ト爲リ以テ疑問ヲ質サシ各女等能ク自ラ省ミ妄ニ答辭ヲ爲サズシテ其對手ヲシテ之ガ答ヘテ做サシムベキヲ記憶シ置ク

ベシ

衆女兒各二列ニ坐セリ「メリヤ」其列坐ノ首邊ニ進ミ出テ始メ「シヤリヤ」ト「ハルレート」ノ中間ニ佇立セリ

「メリヤ」問フ 「シヤリヤ」汝明日近傍ノ地ニ行步ヲ做スカ

「ハルレート」答フ 否彼ノ「シヤリヤ」ハ本曜日ニ至ラザレバ

其行ヲ做サズト

「メリヤ」問フ 「ルウイザ」汝ノ針工ノ箱ハ剪絨カ將タ摩洛哥皮ヲ以テ製スル者カ

「ナヤルロツト」答フ 彼ノ「ルウイザ」ノ針工ノ箱ハ美ナル剪

絨ニ着色シタル物ヲ以テ作レリト

「メリヤ」問フ 「ヘレン」汝ハ佛蘭西國語ヲ學ヒ初メシカ

「エミリー」答フ 然り彼ノ女ハ昨一週ニ於テ之ヲ始メタリ

ト

「メリヤ」問フ 「マルナルド」汝ノ傷指既ニ故ニ復セルカ

「エリザ」答フ 否否然ルニアラズ

「メリヤ」問フ 「エリザ」汝近時購求セシ所ノ新シキ書籍ハ如

何ナル者カ

「エリザ」答フ 此書ハ活動物ヲ論ジタル者ニシテ則チ「バル

レー」氏ノ説述セシ所ナリ

「メリヤ」曰ク 嗚呼汝「エリザ」過テリ乃チ一罽ヲ領受スベシ

何故ニ「マルナルド」ガ汝ノ爲メニ答辭ヲ做スナ待タザ

ルヤ

「エリザ」曰ク 然バ則チ余カ手套ヲ以テ之ヲ償ハン

「メリヤ」問フ 「エリザ」汝彼ノ「バルレー」氏ノ著述中最モ嗜好

スル所ノ者ハ何物タルヤ

「マルナルド」答フ 篇中馬ヲ襲撃セル彼ノ虎ノ說話最モ妙

ナリトス

「エリザ」曰ク 此回次ハ余之ガロノ番人ト爲ルヲ以テ敢テ

答詞ヲ做サマルヲ得タリト

「メリヤ」問フ 「エミリー」汝ノ上服ハ恰モ體ニ適フ甚ダ緊密

ニアラザルカ

「ヘレン」答フ 否否全ク問フ所ニ反セリト

「マリー」問フ「ルワイザ」汝ハ何等ノ物ヲ好ムヤ彼ノ「チーブル」

國製ノ乾麵包ト「カステラ」トナリ

「ルウイサ」答フ 實ニ「カステラ」ハ良好物ナリ

「メリヤ」曰ク 聞ナル哉謝ナル哉汝「ルウイサ」自ラ答辭ヲ禁

セラレシテ忘レヌルカ

「ルウイサ」答フ 茲ニ余ノ帶アリ之ヲ以テ謝テ償ハント

「メリヤ」問フ 「ハルレート」汝曾テ律師ト成リテ此遊戯ヲ

試ミシヤ

「ジャリヤ」答フ 然リ屢次彼ノ女子之ヲ爲セリト

○物質ノ元素

一手巾ヲシテ其形圓球ノ如ク之ヲ捲キ童女等悉ク團輪ニ列
坐ス而シテ此遊戯ヲ始ムル所ノ一女其球ヲ取テ空中ニ投シ

テ以テ其女伴ノ一人ニ與フルコトヲ爲スナリ此球ヲ空際ニ
投スルニ當テ呼フニ土空氣或ハ水等ノ詞ヲ以テス夫レ火ニ
住ム所ノ物一モアルコト無キヲ以テ火ト云フヲ禁ス若シ戲
伴中誤リ呼フニ火ノ詞ヲ以テ云フ者アレハ其時同遊者各個
沈黙セザルコトヲ得ズ而シテ彼ノ空際ヨリ墜ケ來ル所ノ球
ヲ承取ラントスル兒女之ヲ捉フルノ際彼ノ投者ノ正ニ喚呼
スル所ノ元素ニ相應シタル活動物ノ名稱ヲ舉ケ以テ之ガ答
辭ヲ做スベシ若シ投者ノ詞則チ空氣ヲ以テセバ其答フル所
須ラク鴈鷹鶴或ハ其他鳥名ヲ以テスベシ若シ其詞ニ水ヲ以
テセバ則チ鯨沙魚或ハ海豚等ヲ以テ答辭ト爲スヘシ若シ又
元素ノ稱ニ土ヲ以テセバ之ガ答トスル所ノ名號ニハ虎獅子

茶三十五圖



熊等ノ如キ獸ヲ舉クベシ凡ソ答辭
ヲ做スノ人之ヲ速ニスル能ハザル
カ或ハ謬誤ヲ生スルカ或ハ獸名ヲ
稱スベキ時ニ當テ鳥名ヲ舉ケ彼此
齟齬スル等ヲ做ス者ハ必ス科料ヲ
出スヲ要ス又苟モ一回言ヒ出シダ
ルモノヲ再ヒ言フトキハ亦科料ヲ
出ダサバルコトヲ得ズ而シテ球ヲ
承取ル者ハ則チ又之ヲ空中ニ投轉シ他女ヲシテ又之ヲ承領
セシム其際常ニ必ス元素中ノ一元素ヲ舉ケテ叫喚スルコト
ヲ做シ斯ノ如クシテ漸次ニ投轉シテ嬉戲ヲ盡ス其例左ノ如

シ

例

「マライヤ」「エルレン」ニ向ヒ球ヲ投スルトキ曰ク土ト「エルレ
ン」答フ豹ナリト「エルレン」又之ヲ「ルウイザ」ニ向ケ投ジ曰ク
空氣ト「ルウイザ」答テ曰ク啄木鳥ト而シテ「ジャリヤ」ニ向ヒ
投スルトキニ曰ク水ト「ジャリヤ」之ヲ承取テ答フルニ白魚
ト云ヒ又之ヲ「ソフアイヤ」ニ投與シテ曰ク水ト「ソフアイ
ヤ」跳躍シテ云フ嗚呼余意ヲ用非ザリシナリ吐綬ハ雞吐
綬雞ト「マライヤ」ハ「ハ」彼ノ吐綬雞ハ水中ニ栖ムベキ者
カ「ソフアイヤ」否々斯ノ如クナラス余カ意ハ海龜海龜然
ドモ余カ言甚々運カリシヲ知ル幸ニ余ニ石筆ノ在ルアリ

之ヲ以テ罾ヲ償ハント而シテ球ヲ「マライヤ」ニ投與シナガラ言ヘラク土ト「マライヤ」答テ曰ク水牛ト自ラ之ヲ「ハルエツト」ニ投與シテ言ヘラク空氣ト「ハリエツト」答テ曰フ雀ト而シテ球ヲ「エミリー」ニ投シ又曰ク水ト「エミリー」答フル詞ニ比目魚ト言ヒ了リテ球ヲ「シャルロート」ニ投與シツ、又言ヘラク大氣ト「シャルロート」答テ曰ク鴨ト時ニ「エレン」曰ク何如ニ「シャルロート」汝ノ言適合セズ夫レ家鴨ハ鳥類タルコト判然タリ然トモ曾テ蒼空ニ飛翔シ去ルヲ得ルカ土ヲ家鴨ノ栖宿スル所ト爲スト復タ「シャルロート」之ニ答テ曰ク「エレン」汝甚タ事物ニ詳明ナリ彼ノ野鴨ノ如キハ蒼空ニ飛揚セザルカ其翔ルヤ最モ高ク且ツ群飛セリ「エレン」曰

ク然バ則チ汝「シャルロート」野鴨ヲ擧ゲテ答フベシト「エミリー」モ亦答テ曰ク鴨ハ水中ニ在テ浮ヘリト時ニ「マライヤ」曰ク叔々余始メテ之ヲ信ズ夫ノ鴨ト云フ詞ヲ承諾セザルヲ得ザルコトヲ假令質問ノ詞ニ大氣土或ハ水ト云フト雖トモ鴨ハ此三元素中何レニモ托寓スルコトヲ得レバ實ニ好キ答辭ト謂フベキノミ「ヘルン」曰ク若シ質問ニ大氣トアラバ常ニ野鴨ヲ以テ答フベシ

○隠語

遊戯伴中一童女アリ房外ニ出ゾ而シテ他ノ兒女相俱ニ一個ノ文字ヲ定ム則チ好ム謹ム見ル聞ク去ル等ノ詞是ナリ此等ノ文字ノ如キ彼ノ一童女房内ニ歸ルトキ他ノ群兒ニ質ス所

ノ間ヲ以テスルヲ要ス然ルニ彼ノ群兒等各其一童女ニ應答スルノ語中ニ於テ之ヲ加入スベシ若シ文字ノ決定スルモノ有レバ一童女ノ房内ニ招カレテ各女兒ニ就テ質ス所アリ各女ノ之ニ答フルヤ必ズ前ニ確定セシ隱語ヲ以テスベシ唯其詞ヲ爲スニ當テ語勢ヲ強クスル勿レ又其詞ヲシテ容易ニ解セシムベキヲ做ス勿レ若シ彼ノ質問ノ一童女注意シテ各女兒ノ答詞中同一ノ語アルヲ數々スルトキハ其隱語果シテ何ノ詞タル容易ニ解中シ得ベシ問者若シ其伴ノ答中ヨリ是則テ隱匿秘藏ノ詞タルヲ檢査シ出ストキハ其查出セラレタル者房外ニ出テ其順次ノ番ニ任ス而シテ他女又次回ノ詞ヲ一定シ其房内ニ入り來レバ則テ質問者トナル

例

「マライヤ」女「エミリー」ニ謂テ曰ク汝房外ニ出テヨト「エミリー」乃チ房外ニ出ツ又衆女ニ對シ今余等定メシ所ノ詞ハ如何時ニ「エレン」曰ク愛カ或ハ恐カ「ジュリヤ」曰ク斯ノ如キ詞ハ甚タ解シ易カラシ余等試ミント欲スル所ノ詞ハ好ムカコノ時衆女皆曰ク好ム好ム我等モ好ムヲ試ミント又曰ク來レ「エミリー」ト「エミリー」房内ニ還ルヤ直ニ「マライヤ」ニ質シテ曰ク汝ハ今夕天甚タ温暖ナルト覺エザルカト「マライヤ」答テ曰ク余カ好ム所ヨリ暖ナラズト次キニ「エミリー」「ジュリヤ」ニ問フテ曰ク汝西瓜ヲバ愛セザルカト「ジュリヤ」答テ曰ク余ハ寧ロ鳳梨ヲ好メリト「エミリー」又「エレン」ニ問フ

テ曰ク汝「ホウキツト」氏ノ下種菊種書ヲ讀ミシヤト「エレン」
 答テ曰ク然リ而シテ余ハ同氏ノ「ラブエンドモチー」即チ愛
 貨幣ノ義ニシテ
 書ノ題名ナリ書ノ如クニ之ヲ好マザリシト「エミリー」情及ヒ
 ルナルド」ニ問テ曰ク汝今朝早起セシカ「マルナルド」答フ然
 リ甚ダ早く起キダリ余ハ毎朝告天子ト早起ヲ競フコトヲ
 好メリト又「ハルレート」ニ問テ曰ク汝自ラ此網製ノ小囊ヲ
 作レルカト「ハルレート」答テ曰ク之ヲ作レリ余ハ巾囊針氈
 針線包金剛砂囊等ノ物ヲ製スルコト甚ダ好ム所ナリト時
 ニ「エミリー」衆女ノ語ル所ヲ聞キ畢リテ曰ク余ハ斷スルニ
 好ノ字ヲ以テセリ好哉好哉必ス汝等ノ隠セシ所ノ字ナラ
 ント「ハルレート」答フ汝ノ言實ニ中レリ今ヤ余房ヲ出ツベ

ント乃チ戶外ニ去ル時ニ「シヤレロート」衆ニ語テ曰ク今度
 ハ余等定ムル詞ヲ見ント呼ヒ做サント「マリヤ」答テ曰ク此
 字甚ダ善シト而シテ後彼ノ「ハルレート」ヲ呼ベリ乃チ房内
 ニ還リ來リテ「マリヤ」ニ向ヒ問テ曰ク汝何時「クサ、シンモ
 ンス」名女ノニ逢ヒシヤ「マリヤ」答フ余一昨日「シユリヤ」ト共ニ
 散歩ノ際彼ノ女ヲ看シト次ニ「ハルレート」ニ問テ曰ク彼ノ
 女ハ甚ダ健ナリシヤト「ハルレート」答フ余時ニ彼ノ女ヲ看
 ル其貌甚ダ健ナルガ如ク然リ又「ルウイザ」ニ問テ曰ク汝ノ
 有スル繪圖函ノ如キハ實ニ美ヲ極メタリ汝カ意甚ダ快嬉
 ナリシヤト「ルウイザ」答テ曰ク余カ昨日或ル店舗ニ於テ看
 ル所ノ繪圖函ハ余カ所有物ヨリモ遙カニ良好ナリト又「ハ

ルレトトニ向ヒ問テ曰ク曾テ汝彼ノ「ロウラ、モルトン」女ノ
 ト相識ノ親ミアリシヤ「シャルロット」答テ曰ク余曾テ蹈歌
 ノ節ニ當テ唯一回彼ノ女ヲ看タリ然レドモ猶未ダ相識ノ
 親ミアラズト又「エミリー」ニ問テ曰ク汝有スル所ノ藤棚ノ
 下ニ置キタル新製ノ櫥ハ其高サ甚タ高キニ過ギント思ハ
 ズヤ「エミリー」答テ曰ク汝ノ言誠ニ然リ明日必ズ工匠來リ
 テ其兩脚ノ高サヲ見テ之ヲ適宜ニスベキナリト時ニ彼ノ
 質問者ノ「ハルレート」曰ク衆女等定メシ所ノ詞ハ即チ見ル
 ト云フ字ナルベシト「マリヤ」曰ク嗚呼々々「エミリー」汝ハ此
 意味ニ於テ彼ノ見ルト云フ詞ヲ用井ル甚タ善カラズ故ニ
 知レ易シ「ハルレート」ノ容易ニ之ヲ臆斷シタリシヲト「エミ

リー答テ曰ク其詞既ニ了悟セリ余復タ房外ニ出ツルモ毫
 モ意トセザルナリト

○一語幾多ノ詞ヲ做ス

此遊戯ハ衆女兒中ノ一人室外ニ出デ其群ヲ離レシ後室内ニ
 殘ル所ノ衆兒彼ノ一人ヲシテ還リ來ルノ時ヲ判斷セシメン
 ガ爲メニ預メ一語ヲ定ム譬ヘバ衆兒ノ定ムル所ノ一語菓子
 ト約定シテ彼ノ室外ノ一人ヲ呼ヒ入レ衆兒ノ列首ニ在ル所
 ノ者ノ前面ニ立タシム時ニ列首ナル者彼ノ一人ニ謂テ曰ク
 栗ト而シテ後又其次ナル者ノ前面ニ往テ立ツ乃チ第二次ニ
 列スル者之ニ謂テ曰ク蔽ト又三次ナル者ニ及ヒ之ニ謂テ曰
 ク濫梯ト夫レ斯ノ如ク列兒中ニ在テ彼ノ一人ニ一語ヲ言フ

ニ必ズ初ニ定ムル所ノ一語ニシテ之ヲ其語音ノ始メニ置ク
譬ヘバ「クワシ」ト約定セハ其三字ヲ初音頭ニ發シ「クリ」「ワラビ」
「シブカキ」等ヲ云フガ如キヲ要ス而シテ其言フ所ノ順序モ必
ズ始メ約定スル所ノ一語ノ綴字次ヲ逐フベシ彼ノ一人ノ判
斷セル者ハ各兒ノ言フ所ヲ聽キ其語首ニアル一字ヲ以テ懸
斷スベシ是故ニ前ノ三語ノ首字ヲ綴テ一ト爲バ即チ「クワシ」
ノ一語タルヲ識ルニ足レリ斷者確乎トシテ考證スル所アラ
ハ則チ衆兒ニ向テ之ヲ發言スベシ而シテ後又列首ヨリ逐次
ニ室外ニ出ヅルヲ要ス若シ此遊兒中之ヲ知ラザル者甚タ多
キニ居ラハ列首ナル者能ク之ヲ知ルモ其兒輩ヲシテ識ラシ
ムベカラズ然レドモ預定ムル所ノ語ハ必ス之ヲ室内ノ衆

兒ニ通知セシムベシ爾時ハ唯其語ヲ聞テ之ヲ彼ニ告クル而
己ナルヲ以テ此戲技ニ明詳ナル斷者ノ來リテ彼等カ私ニ約
スル所ノ語ヲ暗射的中セルヲ見ハ將ニ大ニ驚愕スベキナリ

例

「マライヤ」女「ジュリヤ」女ニ謂テ曰ク汝ハ固ヨリ此遊戯ヲ詳
悉セリ故ニ宜シク室外ニ出テ彼ノ判斷者ニ任シテ事ヲ執
リ行フベシト是ニ於テ「ジュリヤ」室ヲ出ヅ「マリヤ」室内ニ殘
レル衆兒ニ對シテ曰ク余輩ハ將ニ一語ヲ約定シテ以テ彼
ノ「ジュリヤ」ヲシテ懸斷セシムベシト即チ山櫻桃「ニハザク
ワ」ト云フ詞ヲ定メ又曰ク汝等曾テ此遊戯ヲ試ミシコトア
リヤト衆女皆答テ曰ク余輩更ニ識ルコト無シト「マリヤ」曰

ク然ヲバ甚ダ好シ余將ニ「ジユリヤ」カ汝等ノ眼前ニ來ルト
 キ汝ノ女ニ對シテ云フ所ノ詞ヲ設ケ今預メ汝等ニ告クベ
 シ若シ汝等曾テ此戲技ヲ知ルアラバ則テ汝等モ目ヲ撰ブ
 所ノ詞ヲ以テ爲ルコトヲ得ベシ「ジユリヤ」入來ルトキ余ハ
 「ニハサクヲ」即テ山櫻桃ト言ハン「ソビヤ」汝「ハナス」即テ蓮ト
 云フベシ「エミリー」汝ハ須ラク「ザクロ」即テ石榴ト言フベシ
 「カロリン」汝ノ言ハ「クルミ」即テ胡桃ヲ以テスベシ「ルウイサ」
 汝「ラン」即テ蘭ト云フベシ其レ斯ノ如ク衆女ノ言フ所ヲ確
 定シテ後「マライヤ」又衆兒ニ向テ曰ク汝等宜シク各自言ハ
 ントスル詞ヲ記憶シ置クベシト「ジユリヤ」來ルベシト時ニ
 「ジユリヤ」室内ニ入り來ル「マリヤ」「ジユリヤ」ニ謂テ曰ク余カ

言ハ「ニハサクヲ」ナリト「ジユリヤ」此時衆女ノ列ニ添フテ悉
 ク其面前ニ至ル而シテ「ジユリヤ」順次ヲ以テ各女ノ前ニ佇
 立スルトキ各女ハ稱スルニ先ニ教ヘラレシ所ノ詞ヲ以テ
 ス即テ「ソフアイ」曰ク蓮ト「エミリー」曰ク石榴ト「カロリン」曰
 ク胡桃ト「ルウイサ」曰ク蘭ト之ヲ聽キ了リテ彼ノ「ジユリヤ」
 少シク考フル所アリテ則テ速ニ看破スルニ衆女等ノ言ヘ
 ル詞ノ首字ヲ綴レバ則テ「ニハサクヲ」即テ山櫻桃トナルコ
 トヲ知ル是故ニ「ジユリヤ」衆女ニ謂テ曰ク是レ即テ山櫻桃
 ナリト衆女答テ曰ク實ニ然リ實ニ然リト「カロリン」曰ク余
 ハ如何シテ汝カ其詞ヲ認識シ得ルヤヲ思量スルコト能ハ
 ズト「エミリー」言ヘラク余考フル所アリ之ヲ發明スルノ方

法ヲ悟ル難事ニアラズ然レモ詳細ニ此理ヲ説キ泄スコト
 ナ能セズト「ルウイサ」曰ク余モ亦信ス必ス此理ヲ想ヒ出サ
 シコトヲ然レモ其故ヲ口ニ説クコト能ハズト「カロリン」曰
 ク余ハ之ヲ不可思議ト覺ユト其時「ジュリヤ」曰ク汝等ノ之
 ナ怪訝スルモ宜ナリ暫ク務メテ此戲技ヲ做完スルアラバ
 自ラ了解スベシ汝等自ラ其實際ヲ履ミ行フトキハ頓ニ其
 理ヲ看破スベシ又曰ク來レ「マリヤ」汝次回ノ戲事ノ斷者ト
 成ルニ當レリ

○暗號

遊戲伴中先ヅ一女ヲシテ室外ニ出デシメ其不在ニ當テ他ノ
 一女室内ニ在ル所ノ一品物ヲ撫弄ス室外ノ一女還ルニ及テ

他ノ女ノ撫弄セシ物ハ何ノ品ナルヤヲ暗射セシムルヲ要ス
 而シテ彼ノ一女先ニ室外ニ出テントスルニ際會シ此戲技ノ
 長タルモノ私カニ之ニ耳語スルニ暗號ヲ以テス此暗號ノ所
 以ハ若シ彼ノ一女戲長ヨリ問テ承クルトキ曰ク此品ナルカ
 ト云ヘルハ戲長正シク他女ノ撫觸セシ物ヲ指シタル事ヲ悟
 ルベシ若シ之ト相反シ戲長ノ問テ發スル偶一物ヲ指テ其品
 ナルカト云フヲ以テセバ則テ其他女ノ曾テ撫玩セザル物タ
 ルヲ了スベシ此ト其トノ語ヲ以テ暗號ト做シ置ケバナリ

例

「マウイヤ」曰ク「ルウイサ」汝室外ニ出ツベシ始メ余ヲシテ密
 カニ汝ニ告ケシムルニ或ル事ヲ以テスベシト自ラ「ルウイ

サレテ他處ニ誘引シテ之ニ耳語ス其事ノ義ニ曰ク彼ノ「ジユ
 リヤ」ト云フ者汝ノ室外ニ在ルトキ一物品ヲ撫スヘシ而シ
 テ汝ノ室内ニ入り來ルニ當リ余數多ノ貨物ヲ指シテ汝ニ
 問フベシ其間ヘルニ彼ハ其品ナルカト云ハゞ即チ余ノ汝
 ニ指ス所ノ者眞ニ其撫觸セル者ニ非ザルコトヲ知り汝之
 ニ答フルニ否ト云フベシ若シ余ガ彼ハ此品ナルカト云ハ
 ゝ則チ汝然リト云フベシ其故如何トナレバ此時余ガ意適
 サニ「ジユリヤ」ノ撫觸セシ物ヲ指シタルヲ了解スベキナリ
 ト又曰ク今汝去ルベシ而シテ暗號ハ即チ是ナルヲ能ク暗
 記シテ之ニ答フルニ然リト云フベシト「ルウイサ」汝撫セン
 ト欲スル物ハ何ナルカト「ジユリヤ」答テ曰ク茲ニ余ノ撫弄

スル所ノモノハ針工籃ナリト又曰ク來レ「ルウイサ」ト時ニ
 「ルウイサ」室内ニ還リ來ル
 「マライヤ」問フ 一書ヲ指シテ彼ハ其レナルカ
 「ルウイサ」答フ 否
 「マライヤ」問フ 針氈ヲ指シテ彼ハ其レナルカ
 「ルウイサ」答フ 否
 「マライヤ」問フ 新聞紙ヲ指シテ彼ハ其レナルカ
 「ルウイサ」答フ 否
 「マライヤ」問フ 針工函ヲ指シテ彼ハ其レナルカ
 「ルウイサ」答フ 否
 「マライヤ」問フ 一籃ヲ指シテ彼ハ此ナルカ

「ルウイサ」答フ 然リ

此時他ノ兒女曾テ此遊戲ヲ知ルコト無キトキハ必ス大ニ驚愕感歎ノベシ

「シャルロット」曰ク彼ノ「ジュリヤ」ノ撫セシ所ノモノハ即チ其籃ナリト「エレン」曰ク如何シテ然ルヤ「ルウイサ」之ヲ能ク判斷シ得シカ「ハルレート」曰ク問語中數多ノ物貸アリト雖トモ籃ノ外「ジュリヤ」ノ撫觸セザルヲ何ノ故ニ能ク知り得シヤト時ニ「マライヤ」言ヘラク「ハルレート」汝室外ニ出ヅルノ順次ニ當レリ故ニ其始メ余ト共ニ他處ニ往キ以テ汝ニ此秘密事ヲ聽カシメント凡ソ此戲技ヲ爲スノ際必ズ一人ニシテ二回室外ニ出ヅベカラザルヲ牢記スルヲ要ス

「マライヤ」「ハルレート」ヲ誘ヒ室ノ一隅ニ至リテ之ニ耳語シテ云ク此回ノ暗號ハ其詞ヲ使用スベシト「ハルレート」室外ニ出テ其不在ニ當テ「シャルロット」火燈ヲ撫ス而シテ後「ハルレート」室ニ入り來ル「マリヤ」數回之ニ問フニ彼ハ此ナルカチ以テス「ハルレート」ノ之ニ答フルヤ素ヨリ悉ク否々ヲ以テス然レトモ若シ「マリヤ」ノ火燈ヲ指シテ問フニ彼ハ其ナルカチ以テスルトキハ「ハルレート」之ニ答フルニ然リト云フヲ了悟スベシ

○「オ」ヲ忘ルベカラズ

遊伴團樂ト環坐シ一女兒ノ其中央ニ佇立スルアリ而シテ字母中「ク」ト云フ一字ヨリ前ニ在ル所ノ字音ヲ其頭ニ置ク所ノ

市街等ノ名ヲ言フテ禁スルノ戯技ナリ強テ「オ」ノ一字ニ限ラ
ス字母中何レノ字ニテモ預メ定メ置キ其レヨリ前或ハ後ニ
在ルノ音ヲ以テ發スル詞ヲ制止シテ會話スルヲ云フ

例

「ルシー」中央ニ佇立シテ其己ニ最モ接遇スル所ノ一兒女ニ
對シテ曰ク「リナヤルド」王者曾テ其部下ヲ率井テ進ミタリ
余ニ語レ王ノ至リシハ何レノ地ナルカサ
「ファンニー」答テ曰ク即チ「ウエンチヤストル」府ニ至ルト「ル
シー」曰ク汝ノ言好シ而シテ「ファンニー」ノ次位ニ在ルモノ
ニ對シ又曰ク彼ノ「ソルタン」(土耳其國皇帝)「サラロン」ハ其兵人
ヲ引率シテ進ミタリ而シテ彼ノ「ソルタン」ノ至リシ所何レ

ノ地ナルヲ余ニ詳語セヨト

「シヤルロツト」答テ曰ク「アスカロン」ニ至レリト「ルシー」曰ク
「シヤルロツト」汝一罰ヲ領スベシ「シヤルロツト」答テ曰ク余
カ意「シユルサレム」府ヲ言フナリト「ルシー」又曰ク「シヤルロ
ツト」汝復タ一罰ヲ領スヘシ其故何如トナレハ余ノ未ダ聞
ク發セザルヲモ願ミズシテ暴カニ發スルナリト

「ルシー」「エミリー」ニ謂テ曰ク「エバン」王其群騎下ヲ率井テ進
ミタリ余ニ告ゲヨ彼ノ王ノ至リシ所ハ何レノ地ナルカサ
「エミリー」答テ曰ク「リームス」府ナリト「ルシー」曰ク汝ガ言
善イ哉ト

夫レ斯ノ如ク願回シ衆女ニ問フ毎ニ必ス國名ヲ變換シテ質

スナリ即チ麻羅歌國亞非利加西國帝「グランド、シクール」或ハ「ペ
 ルシヤ」國王或ハ「デンマルク」國王等ノ如キヲ以テ做スベシ而
 シテ其答ヘニ於ケル所ノ市街ノ名ノ如キハ或ハ帝王者其自
 己ノ騎下ヲ親引シ至ル所ニシテ畧其地内ニ在ルモノヲ以テ
 常例トス若シ兒女ノ之ニ答フルトキニ於テ一部府ノ名目ヲ
 舉クルニ當リ或ハ帝王者ノ領内ニ在ラザル所ヲ以テシ加之
 ナラズ彼ノ「オ」ト云フ字ノ前ニ在ル音ヲ以テスルトキハ則チ
 二重ノ罰ヲ蒙ルコトヲ要ス今茲ニ其一例ヲ舉ゲン若シ一兒
 女ノ答フルニ越後ノ輝虎甲斐ニ侵入スト云フテ以テセバ今
讀者為メ日本ノ地理名稱ヲ以テスメ則チ是レ二個ノ不當ヲ
 生スルナリ其故如何トナレハ越後ノ甲斐ト國ヲ異ニセル是

一個ナリ而シテ「ノ」ノ字「オ」ノ前ナルヲ云フ其一個ナリ凡ソ衆
 女兒ノ甚タ幼雅ナル者ノ如キハ此遊戯ヲ試ミルニ當テ未ダ
 曾テ萬國ノ地理學ヲ學ヒ得ザルノ間ハ唯專ラ自國ノ地理諸
 王將士等ノ事ノミヲ語ルヲ要スベシ

○商客

遊兒女ノ夥伴各順次ニ己ヲ稱シテ一商客ト做シ其客一商品
 チ呼ビ出スコトヲ做ス其之ヲ呼フ所ノ女子ノ次坐ニ列スル
 者ハ則チ彼ノ呼フ所ノ貨物ハ活動物カ將タ植物ナルカ或ハ
 鑛山物ニ屬スルカヲ以テ答フルコトヲ要ス若シ其答フルモ
 ノ或ハ謬誤ヲ致スコトアレバ則チ己ニ代テ商客ト做ルノ順
 番ヲ變ハルヽナリ若クハ其答辭の中スルトキハ其順序ニ商

客ト做テ以テ販賣貨物中ノ一物ヲ發言シ又自己ノ稱スル所
ノ者ハ動物カ植物カ抑鑛物カノ間ヲ起シテ以テ其次坐ノ兒
女ニ質スコトヲ得ル斯ノ如クニシテ逐次ニ遊戯ヲ做スノ技
ナリ其例下ニ示ス

例

「マライヤ」曰ク余ハ磁器商ナリ而シテ販賣スル所ノ一茶器
ヲ有セリ夫レ此茶器ハ活動物カ植物カ將タ鑛物ニ属スル
者ナルカ「ルウイサ」答テ曰ク是ハ即チ鑛物ニ属ス夫レ茶器
ハ粘土ト磁石ヨリ造ル物ニシテ即チ土ニ属スル質ナリト
スト又曰ク今余ノ順番來レリト抑余ハ賣段商ナリ而シテ
染木綿衣ヲ販賣ス是レ動植鑛何レノ物ニ属スルカト「エレ

シ」答テ曰ク是植物ナリ夫レ木綿衣ハ綿ヨリ製スル所タリ
然ルニ余モ一蠟燭舖ヲ保有セリ其販賣中蠟燭一箱アリ此
物ハ動植鑛何レノモノト爲ルカト「シヤルロツト」答テ曰ク
動物ニ属ス夫レ蠟燭ハ牛羊鹿山羊ノ脂及ヒ蜜蜂鯨頭油等
ヨリ取テ以テ製スル所ノモノタリ即チ彼ノ獸脂蜜蜂鯨頭
油ノ如キハ動物質ノモノナリ又曰ク茲ニ余モ亦木匠庫ヲ
有セリ而シテ販賣スル所ハ一個ノ飯椗ナリ是ハ動物カ將
タ植物カ或ハ鑛物カ何レニ属スルカト「ハルレート」答テ曰
ク其飯椗ハ「マホガニー」亞米利加熱帶間ノ地ニ産木ヲ以テ
造ル所ナレハ即チ植物ニ附属スヘシト又曰ク余ハ絹帛商
ナリ販賣スル一段ノ八絲ヲ持テリ此物ハ動植鑛中何レニ

属スベキヤ「カロリン」答テ曰ク即チ植物ナリト之ヲ聞キテ「ハルレート」「カロリン」ニ向テ謂テ曰ク何故ニ八絲ハ植物ナルヤ夫レ八絲ハ蠶ヨリ産スル所ノ絹糸ヨリ製造セシ者ニ非ズヤ故ニ之ヲ動物ト做サマルコトヲ得ズ「カロリン」汝過テリ因テ其順ヲ礙ハル而シテ汝此回ハ一物ヲモ販賣スルコト能ハズ茲ニ來レ「エミリート」汝今商客ト做ルベシト時ニ彼ノ「エミリート」曰ク余ハ文具商ナリ茲ニ販賣スル所ハ紙一帖ヲ有セリ之ヲ動物トセンカ若クハ植物又鑛物トセンカト「ジュリヤ」答テ曰ク是レ植物ナリ夫レ白紙ノ如キハ麻布或ハ綿爛布ヨリ製セシモノナレハナリ「ジュリヤ」又曰ク余ハ藥材商ナリ而シテ販賣スル所ニ一種ノ鴉片ヲ持テリ此

鴉片ノ質タル動植鑛中何レニ属スベキヤト「マルナルド」答テ曰ク此物ハ鑛物ニ附属スト時ニ「マライヤ」嗚呼否々夫レ鴉片ハ植物ト做スベキナリ即チ罌粟ノ液汁ヲ取テ凝固セシメタル者タリ汝「マルナルド」商客ト做ルノ順ヲ奪ヒ取ラレタリ故ニ余復タ商客ト爲ルノ順番來レリト時ニ「マルナルド」曰ク余ハ想像スルニ凡ソ藥種ハ鑛物ニ属スルモノナリト「マライヤ」之ヲ教諭シテ曰ク夫レ藥種ハ其類大凡鑛物ナリトス然レトモ藥材ノ植物ヨリ産スル者亦甚タ多種ナリトス故ニ鴉片ハ固ヨリ植物ナリ

○茶棹

遊兒女伴相環テ團形ニ坐列シ而シ茶棹ニ附属スル所ノ貨物ノ

名號ヲ取テ以テ各自ノ名稱ト定ム則チ茶焙麵包牛酪砂糖及
 ヒ乳酪等ノ如シ而シテ此遊戯ヲ始ムルニ當テ其茶ヲ以テ名
 號トスル所ノ一兒女其片脚ニテ房内ヲ巡回シテ謂テ曰ク余
 ハ茶ヲ旋舞セン誰カ砂糖ヲ舞ハサンカ時ニ砂糖ヲ以テ名ト
 スル者答フルニ余ハ砂糖ヲ旋舞セン誰カ乳酪ヲ以テ舞ハサ
 ンカト或ハ何ノ品物ヲ論セズ其女嗜好ニ適シタル物ヲ以テ
 之ガ答ヲ做ス若シ自己ノ答フル順序ニ當リシトキ其答辭ヲ
 爲スノ速カナラザルカ或ハ其名號ヲ忘レシ者ノ如キハ罰ヲ
 償フコトヲ要ス例ヲ舉クベシ

例

「マライヤ」曰ク今「ハルレート」汝茶ト做ルベシ「ジュリヤ」汝乳

酪タルベシ「ヘレン」汝ヲ砂糖ト定ムベシ「ルウイサ」ハ牛酪ト
 ナスベシ「シヤルロット」汝ハ麵包トスベシ「カロリン」ハ乾餹
 トナルベシ「エミリー」ハ蜂蜜タルベシ而シテ余ハ即チ薄片
 ノ熏腿ト做ルベシト又曰ク衆兒女等來リテ茲ニ環形ニ佇
 立スベシト

「ハルレート」房内ヲ巡回シテ謂テ曰ク余ハ茶ヲ舞サン誰カ
 乳酪ヲ舞ハサンヤト

「ジュリヤ」答テ曰ク余ハ乳酪ヲ舞ハサン誰カ砂糖ヲ舞ハサ
 ンカ「ヘレン」答フ余即チ砂糖ヲ舞ハスベシ誰カ有リテ麵包
 ヲ舞ハサンヤ「シヤルロット」答フ余即チ麵包ヲ舞ハサン誰
 カ牛酪ヲ舞ハサンヤ「ルウイサ」答フ余ハ牛酪ヲ舞ハスベシ

誰カ乾餅ヲ舞ハサンヤ「カロリン」答フ余乾餅ヲ舞ハスベシ
 誰カ蜂蜜ヲ舞ハサンヤ「エミリー」答フ余ハ即チ蜂蜜ヲ舞ハ
 スベシ誰カ熏腿ヲ舞ハサンヤト時ニ一兒女ノ之ニ答フル
 者ナシ「エミリー」又曰ク誰カ熏腿ヲ舞ハサンヤ嗚呼「マワイ
 ヤ」汝一罰ヲ領スベシ汝熏腿タルコトヲ忘レタリト「マリヤ」
 答フ今余ハ他事ヲ思想シタリ奈何セシ余實ニ其罰ヲ承ク
 ルニ當レリ其故如何トナレバ何事ヲ論セズ余輩ノ所爲ニ
 於テ常ニ能ク注意セザルベカラズ假令今ノ做ス所ハ遊戯
 タリト雖トモ亦然ラザルヲ得ズ故ニ余ノ過タル罰トシテ
 此一書冊ヲ以テ之ヲ償ハン而シテ以來猶切ニ罰ヲ承クル
 無カラシコトヲ掛慮留意セズンバアルベカラズ

○啞講師

此遊戯タル二人ニテ做ス者ニシテ其一人ハ更ニ身體ヲ動搖
 スルコト無ク獨リ講説ヲ做ス而シテ他ノ一人ハ毫モ說話ス
 ルコト無クシテ唯其身體ノ運動サノミ做スナリ今假リニ「マ
 ライヤ」ヲシテ講説者ニ擬セシメ而シテ「マワイヤ」女ハ室ノ中
 央ニ立チ其身ニ纏フニ大表衣ヲ以テセリ茲ニ「ハルレー」ト云
 フ女アリ彼ノ「マワイヤ」ノ背後ニ潜伏シ其「マワイヤ」ノ着スル
 所ノ大表衣ノ下ニ潛匿シ「マワイヤ」ノ肩胛下ニ其頭ヲ屈ムル
 コトヲ做ス而シテ其大表衣ノ兩腕下ヨリ自己ノ兩手臂ヲ推
 出スベシ「マワイヤ」ハ其手臂ヲシテ自己ノ腋ニ置キ毫モ動搖
 セザルヲ要ス豫メ其秩序ヲ整備シ了リ彼ノ「マワイヤ」大ニ意

氣ヲ勵マシ衆ノ平生最モ愛好スル所ノ說話ヲ爲スヲ要ス即
 ナ小學讀書中ニ在リテ錄シタル
 「ランドルフ」女史ノ獨話書冊或ハ
 「ヨングノルウエル」氏ノ自記傳其
 他此等ニ類スル所ノ書ヲ以テス
 ベシ又何ノ書タルヲ問ハス世間
 ニ著名ナル事情ヲ以テ記錄セシ
 者ヲ以テ之カ選擇ヲ做スベシ而
 シテ彼ノ「マライヤ」其說話ヲ反復
 シ爲スノ際全ク其肢體ヲ振動スルコト無カルベシ「ハルレ
 ト」ハ其兩手ト兩臂トヲ「マライヤ」ノ上腹ヨリ出シテ種々ノ

第三十六圖



活動ヲ做ス而シテ其臂ノ運動ヲ做スヤ務メテ衆女ノ捧腹絶
 倒ニ堪ヘザラシムベキ機巧ヲ做シ以テ其講説ノ興ヲ大ニ増
 進セシムベシ則チ其形容タル或ハ兩臂ヲ伸ベ攤ケ或ハ兩手
 ヲ以テ呼ヒ招ク狀ヲ做シ或ハ上ヲ指シ下ヲ揮シ又ハ「マライ
 ヤ」ノ額觀胸膈等ヲ打ツコトアリ此ノ如ク奇怪ノ活手段ヲ做
 シ他ノ兒女ヲシテ笑ハシムベキ態狀ヲ要ス若シ啞講師ヲ務
 ムル者甚タ巧妙ニ其事ヲ做ストキハ曾テ此戲藝ヲ目撃セザ
 リシ所ノ人ハ意表ニ出テ新奇觀樂ヲ興起スル者ナリ

○我處女ノ粧飾

此遊事頗ル茶檯ノ戲技ト相類セリ兒女ノ夥伴各自ヲ號トス
 ルニ衣物ノ名ヲ以テス茲ニ八人ノ兒女此遊戲ヲ做スアリ特

ニ七個ノ椅子ノミカ室内ニ置キ其他ハ悉ク室外ニ出スコトヲ要ス或ハ之ヲ出サバルモ猶且ツ椅子ノ背後ヲ外ニシテ之ヲ一處ニ集メ置キ人ヲシテ腰居ノ用ニ供セザラシムベシ而シテ椅子唯七個ナルヲ以テ遊兒八人ノ中必ス一個ノ椅子欠ク者アリ其七女子ハ各個壁ヲ背ニシテ室内ニ團居スベシ其一女子ノ椅子得ザルモノ中央ニ佇立ス之ヲ處女ノ下婢ト稱ス其下婢呼テ曰ク我處女己ニ起キタリ鞋ヲ以テスルヲ要スト此時鞋ヲ以テ名トスル所ノ一兒突立シテ呼テ曰ク鞋ナルヤト直ニ復タ其椅子ニ坐ス而シテ後彼ノ下婢謂テ曰ク我處女己ニ起ク上蓋衣無カルベカヲズト表衣ト稱スル女子忽チ自己ノ名ヲ舉ゲ「ウハギ」ト云テ之ガ答ヘテ爲ス若シ自己ノ名

ヲ呼ハレシトキ直チニ起立スベキヲ過リテ遲緩シ或ハ速ニ答辭ヲ出サバル者ハ其罰ヲ領セザルヲ得ズ又或ハ彼ノ婢呼テ曰ク我處女ハ齊ク其全粧ヲ要ス是時ニ當テハ各兒女等其椅子ヲ去リ以テ他女ノ坐ヲ奪領セント旋轉奔走ス然レトモ素ヨリ室内一椅子ヲ欠クヲ以テ各競走周章シテ坐セントスルノ際必ズ一兒女ノ椅ニ坐スルヲ得ズシテ獨殘レル者アルベシ即チ其女ノ如キハ化シテ彼ノ下婢ト成リ室ノ中央ニ其位置ヲ占メ以テ他ノ兒女ノ名號ヲ呼フノ職務ニ任ス

例

「マライヤ」曰ク偕余等茲ニ集會スル者唯七人タルヲ以テノ故ニ要スルニ六個ノ椅子ヲ以テスベシト因テ他ノ椅子ヲ

シテ室ノ他側ニ置キ故ラニ壁ニ面シテ以テ腰居ノ用ヲ做
サシムベカラズト衆兒女即チ椅子ヲ位置ス

「マライヤ」又曰ク來レ「ジュリヤ」汝肩巾ト做ルベシ「マルナル
ド」ハ頸飾ト做レ「シヤルロツト」ハ上服ト定ムベシ「ハルレー
ト」ハ帶ダレ「ルウイサ」ハ帽子タレ「エミリー」ハ婦人ノ帽子ト
ナルベシ而シテ余ハ即チ處女ノ下婢タラシ汝等各其坐ヲ
占ムベシト是ニ於テ衆女皆其坐ニ列ス

「マライヤ」曰ク我處女己ニ起ク要スルニ其頸飾ヲ以テスト
「マルナルド」其坐ヨリ起テ答テ曰ク頸飾カト「マリヤ」又曰ク
我處女既ニ起ク而シテ上服ヲ要スト「シヤルロツト」答テ曰
ク上服ナルカト「マライヤ」曰ク我處女既ニ起ク肩巾無カル

ベカラズト「ジュリヤ」答テ曰ク肩巾ナルカト「マリヤ」曰ク我
處女既ニ起ク要スルニ其帽子ヲ以テスト「ルウイサ」答テ曰
ク帽子ナルカト「マライヤ」曰ク我處女既ニ起ク要スルニ「ボ
ンチツト」即チ婦人ヲ以テスト時ニ之ガ答ヲ做スアラザレ
バ「マライヤ」曰ク帽子帽子何故ニ「エミリー」汝ハ答辭ヲ爲サ
マルカ汝自己ノ事ニ於テ注意少シト「エミリー」曰ク嗚呼余
ハ何事ヲ徒ニ思想シタリシヤ余ガ手帽ヲ以テ其價ヲ償ハ
ント「マライヤ」曰ク我處女既ニ起ク要スルニ其肩巾ヲ以テ
スト時ニ答フル者アラズ又曰ク「ジュリヤ」「ジュリヤ」汝既ニ
肩巾タルコトヲ忘レタルカ「ジュリヤ」之ニ答テ曰ク何故ニ
余ハ最後ニ答フル者ニ當レルカ余汝既ニ肩巾タルコトヲ

忘レタルカ「ジュリヤ」之ニ答テ曰ク何故ニ余ハ最後ニ答フ
ル者ニ當レルカ余汝ノ直ニ余カ名ヲ復タ呼フ所ノ故ヲ知
ルコト能ハズト「マリヤ」曰ク然リ其事更ニ規則ニ反スル
ニアラス彌益遊戯ヲ做シテ心意ヲ愉快トヲシムルノミ汝
曾テ彼ノ茶櫃ノ遊戯ニ於テモ亦識ル所アラン夫レ余等ガ
同一ナル名ヲ二回相續ケテ呼フコトヲ又曰ク茲ニ來レ「ジ
ユリヤ」汝ノ科料物何ノ處ニアルヤト「ジュリヤ」曰ク余ガ此
申ノ先キノ花束ヲ以テ鬪ヲ償ハント「マリヤ」曰ク我處女既
ニ起ク要スルニ其帶ヲ以テスト「ハルレート」答テ曰ク帶ヲ
ルカ又汝「マリヤ」之ヲ見ルベシ此回ハ余ノ務ムベキニ注意
シタリシト「マリヤ」曰ク我處女ハ要スルニ齊シク其全服ヲ

以テスト 全服全鞋トハ指テ服色鞋飾ノ
物全備セシテ軀ケテ云フナリ

此時衆女兒齊シク走テ其坐ヲ去リ他ノ椅子ニ坐センコト
ヲ競フ而シテ終ニ「ジュリヤ」女獨リ殘サレテ處女ノ下婢ト
做ル衆女ハ各速カニ其坐ヲ定ムルニ當テ忽地ニ「ジュリヤ」
又呼ブニ我處女ハ齊シク其全服ヲ要スト此時再タヒ混走
亂歩シテ各女爭競其坐ヲ變換ス是ニ於テ「エミリー」女我坐
ヲ得ルコト能ハズシテ遂ニ處女ノ下婢ト做レリ

○裁縫匠ノ針通

此遊戯タル唯兒女子ノミ能ク之ヲ做スニアラス男兒モ亦好
テ之ヲ做ス或ハ童男童女相混シテ互ニ做スコトアリ其狀タ
ル戲伴相共ニ陳列シテ手ト手ト把握ス而シテ其陳列ノ最

モ後ニ在ル所ノ一兒遽ニ走テ列首ノ傍ニ至リ其首位ニ在ル所ノ二兒ノ手腕下ヲ潛僂シテ出ツ他ノ兒女モ亦之ニ做フテ其列後ニ在ル者ヨリ逐次ニ彼ノ二兒ノ腕下ヲ潛リ通ル斯ノ如クシテ其始ノ列首ニ在リシ者終ニ列ノ最後ト成ル而シテ又前ノ如ク戲事ヲ做シ首尾交循環シ更ニ變換シテ故位ニ復ス其遊戯陸續スル數回斯ノ如キ變幻異態ヲ做スナリ

○第一第二第三

夫レ此嬉戲ノ如キハ闔家兒輩ノ尤モ能スル所ニシテ乳臭ノ幼兒等モ又能ク識リテ爲ス所ナリ一兒女或ハ一兒男ノ室外ニ出ル者アレバ他ノ兒輩ハ其好ム所ニ隨ヒ又三人ヲ選定ス此選ニ當ル者ハ或ハ男兒トシ或ハ女兒ト做ス而シテ今假リ

ニ定ムルニ兒輩其選ニ當ル者ヲ「ブラオン」「スミス」女「ロビン」「ト」呼ヒ做サン而シテ前ニ室外ニ出ヅル所ノ少兒女即チ還リ來レリ

例

「ロウラ」女「アダ」女ニ問テ曰ク汝第一ノ人ニ做サント欲スルモノハ何ソヤ「アダ」答テ曰ク嗚呼余ハ彼ノ女ヲ粧飾スルニ美ナル組絲ノ「ベルツ」即チ「彩衣」ヲ以テセン「ゼン」女曰ク汝余等ノ第二ノ人ニ對シ如何ノ專テ做スアラントスルカト「アダ」答テ曰ク余ハ彼ノ男ニ與フルニ一肥馬ト藍色ノ短表衣トテ以テシ彼ヲシテ「エブソム」「競馬會」ニ騎ラシメント沿道ノ諸門ヲモ揚々トシテ躍過セシメント欲スト「アエロリン」曰

ク汝余等ノ第三人ニ何ヲカ爲スヘキヤト「アダ」又答テ曰ク
 彼ノ女ニハ皮製ノ風領ヲ以テ被ムラシメ其身體ヲシテ温
 暖ナラシメンガ爲メ火爐ノ前ニ坐セシメ與フルニ羹汁ヲ
 以テシ而シテ鹽漬ナル彼ノ手指ヲシテ裝飾針工ヲ除クノ
 外他事ヲ做サシムルコト勿カラント時ニ「ロウラ」曰ク「アダ」
 汝三罰ヲ受ケザルベカラズ其故如何トナレマ汝ノ言悉ク
 不相當ノ事ノミ汝彼ノ肥滿セシ「ブラオン」ヲ粧フニ「ベルツ」
 ナ以テセン「ゼン」女「アダ」ニ謂テ曰ク汝ハ彼ノ「スミス」女ノ繼
 ヒ馬車セズ競馬者ノ如ク諸門ヲシテ躍騎セシメント欲ス
 ルカト次ニ又「フェロリン」モ言ヘラク「アダ」汝ハ彼ノ「ロビ
 ソン」ノ其長高六尺ニ至ル者ヲシテ火邊ニ坐セシメ嚴冬外

ニ出ルニモ大表衣ヲ用非ル無ク唯皮製ノ一風領ノミヲ以
 テ装ハシメント欲セシカト或人ノ説ニ據ルニ此遊戯ヲ爲
 スニ當リ其引用擧言スル所ノ者ノ如キ或ハ適當ナラズシ
 テ屢錯謬ヲ爲スコトアリ之ヲ除カントスルニハ宜シク其
 選用セル所ノ人名ヲシテ常人ヲ擧クルコトナク世上最モ
 秀逸有名ナル人物ヲ選ヒ置クベシ假令其人既ニ物故スル
 モ現今生存スルモ相關セズ其英名ヲ揚ゲテ此戯ヲ做スト
 キハ一段ノ快意ヲ増加スベキナリ余等ガ聞ケル所ノ一二
 ナ擧ケン即チ「ロルドヘーロン」ハ美麻布ヲ與ヘン「エリバカ」
 ハ其家室ヲ清潔ニ洒掃スルヲ命ゼラレ「カットー」ハ確緊ナ
 ル繩索上ニ跳舞スベシト處セツレタリノ類ナリ

○緣故

此遊事ハ二兒若クハ四兒ニテモ做シ得ヘキ戯技ト雖トモ最モ適宜ナリトスルハ即チ三人ナリ其之ヲ爲スニハ豫メ板紙或ハ鬮牌ノ白キ者ヲ備ヘ又之ヲ細小片ニ割截シテ其形ヲ同一ニシ其小片紙ノ數ハ大約十二枚ノ者ヲ四箇ト做スベシ其十二枚ヲ一具トシタル物八箇ヲ用ヰルヲ最良トス是遊戯ノ長ク接續センガ爲メ且種々變換スル所アラシメシガ爲メナリ然レドモ余等今茲ニ假定センニ鬮牌片紙ノ十二枚ノ物四箇ヲ以テスベシ最初其小片紙二十四枚ヲ以テ各紙上ニ書記スルニ平生知己親友ノ一名ヲ以テス其書體最モ秀美ニシテ鮮明衆人ノ讀ミ易キヲ要ス既ニ書シ了リテ後更ニ一具即チ

十二枚ヲ取り各紙ノ上面ニ錄スルニ居所ノ號ヲ以テスベシ譬ヘハ某街某區某寺院某花園某果木苑某跳舞會及ヒ某學校等ニ在ルヲ以テスベシ而シテ後終ニ餘殘セル所ノ十二枚ニ書スルニ其緣故即チ童女等ノ偶會スル所以ノ事情ヲ以テスベキナリ今其例ヲ舉テ比喻セン曰ク童女輩其穿ク所ノ鞋ヲ失ヘリ或ハ少女ノユトヲ以テス而シテ其地所ニ其事情ノ關係セザル無キニ至ルベク看得スルヲ緊要トス既ニ地所ヲ書記セシ鬮牌全ク整フニ至テ即チ之ヲ始メ先キニ人名ヲ錄セシ二十四枚ヲ取ル者ヲ「ジュリヤ」ト做シ二個ノ名ヲ一回ニ讀ミ下スベシ其居處ヲ錄セシ所ノ十二枚ヲ得ル者ヲ「ソフアイヤ」女ト做ス「ハルレー」トハ即チ事情緣故ヲ記載シタル鬮牌ヲ

取ルノ任ヲ掌トル而シテ此牌ハ三女各携持スル所ノ小籃ニ盛リ其中ヨリ最モ上ニ在ルヲ逐次ニ取出ス或ハ開牌ヲシテ各個遊手ノ目下ニ置キ攪亂シテ一堆ニ積ミ重テ白キ面即チ牌ノ裏ヲ上ニ爲スベシ其遊事ヲ改メ爲ス毎ニ必ス牌子ヲ屢次攪亂スルコトヲ切要ト做ス

例

「ジュリヤ」「ソフアイヤ」「ハルレート」

「ジュリヤ」曰ク余輩做ス所ノ事全ク整ヘルカ事皆其緒ニ就カハ即チ遊戯ヲ始メント又「ジュリヤ」二枚ノ開牌ヲ取り而シテ讀ミ上ル其詞ニ曰ク「ルウイザ、ハルトレー」ト「ヘレン、ツエールス」ト

次ニ「ソフアイヤ」一枚ノ開牌ヲ讀テ曰ク彼等共ニ日輪車ニ在リト

時ニ「ハルレート」讀テ曰ク是彼ノ輩ノ寒冷ニ感冒セシ所以ナリト

「ジュリヤ」又讀テ曰ク「エミリー」「カンブメル」及ヒ「クラ、」ト「チルソン」ト

「ソフアイヤ」讀テ曰ク兩人ハ跳舞會ニ在レリト「ハルレート」曰ク其故ハ即チ彼ノ二人ハ熱病ヲ患フル者ナレバナリ

「ジュリヤ」讀テ曰ク「マリヤ」ウアルデン」及ビ「チヤルロツト」「ハースウエル」ト

「ソビヤ」曰ク兩人共ニ街間ニ在リト

「ハルレート」曰ク其二人ノ如キハ必ズ共ニ兩足ヲシテ冷シ
濕ホツシメタリ

「ジュリヤ」曰ク「フアンニー」「ミルホルド」及ヒ「エルレン」「タラヴ
エス」ト

「ソビヤ」曰ク彼ノ兩人ハ共ニ同伴ナリト

「ハルレート」其縁故ハ即チ彼ノ二人ノ鼻ヨリ同ジク出血淋
瀉スレバナリ

「ジュリヤ」曰ク「エミリー」「チンブル」及ヒ「カロリン」「ゾーワス」ト

「ソビヤ」曰ク彼ノ兩人共ニ博物館ニ在リト

「ハルレート」曰ク其縁故ハ兩人相俱ニ甚タ歡喜ヲ極メタリ
ト

「ジュリヤ」曰ク「ソビヤセーモル」及ヒ「ハルレートハルトラン
ド」ト

「ソビヤ」曰ク嗚呼「ハルレート」汝余カ名ナルカ讀テ曰ク兩チ
カラ廚房ニ在リト

「ハルレート」曰ク其故ハ彼ノ二女共ニ一事務ヲモ做サズシ
テ居レバナリ

「ジュリヤ」曰ク「マナルダクランバイ」及ヒ「エリザロツス」ト

「ソビヤ」曰ク兩人共ニ菓木園ニ在リト

「ハルレート」曰ク是其來由ハ相共ニ争競シテ之ヲ分領セン
ト欲スレバナリ

「ジュリヤ」曰ク「マリーアンホルレー」及ヒ「ジュリヤエルデン」

即チ余ガコトナリト

「ソビヤ」曰ク兩人相共ニ寺院ニ在リト

「ハルレート」曰ク是其來由ハ兩ナガラ沈黙シテ一語ヲダモ
話セザルヲ以テナリ

「ジユリヤ」曰ク「アドレイド」「エルメル」及ビ「ジユリート」「フェン
ニング」ト

「ソビヤ」曰ク彼兩人共ニ戲場ニ在リト

「ハルレート」曰ク其來歴ハ共ニ始終笑謔シテ在レバナリ

「ジユリヤ」曰ク「ジエオルジャブラス」及ビ「エレーノル」「オルク
レイ」ト

「ソビヤ」曰ク彼ノ輩ハ屋ノ頂上ニ居レリト

「ハルレート」曰ク其所以ハ兩人共ニ其脚蹠ヲ挫ケルヲ以テ
ナリ

「ジユリヤ」曰ク「エンミリンスタンレー」及ビ「ロウラレー」ト

「ソビヤ」曰ク兩人俱ニ學校ニ居レリト

「ハルレート」曰ク其然ル所以ハ兩人共ニ帽子ヲ毀損セシテ
以テナリ

「ジユリヤ」曰ク「マルガフト」及ビ「アツスウード」ト

「ソビヤ」曰ク兩人共ニ遠ク人ヲ訪問シ居レリト

「ハルレート」曰ク其緣故ハ兩ナガラ自己ノ家ニ歸來スルヲ
悦喜スレバナリ

「ジユリヤ」曰ク今余輩持ツ所ノ圖牌悉ク讀ミ盡シタリ故ニ

余輩ヲシテ之ヲ集合シ又攪亂シ復タ此遊技ヲ新タニセシ
ムベシ即チ此回ハ「ソビヤ」名牌ヲ取ルベシ「ハルレート」ハ居
所牌ヲ持ツベシ余ハ録故牌ヲ取ラン而シテ又此回ノ應答
モ稍相適センコト余ノ希望スル所ナリト

若シ遊戯中板紙或ハ白鬮牌ヲ得ル能ハザルトキハ白キ厚紙
ヲ裁斷シテ之ガ用ニ充ツベシ而シテ平日不用ノトキハ一函
中ニ納メ置クベシ又最モ注意スベキ事アリ凡ソ常例二名ヲ
一回ニ讀ムガ故ニ名牌ノ數ハ處牌及ヒ故牌ノ二倍タルベシ
又四人ニテモ此遊戯ヲ做シ得ベシ爾時ハ則チ二人ハ名牌ヲ
分テ各々一名牌ヲ讀ムベシ若シ唯二箇人ノミニテ之ヲ做ス
トキハ其一人ハ名牌ヲ全取スルヲ要シ其他ノ一人ノ如キハ

處牌ト故牌トナ併領シテ讀ムコトヲ要トス

字母戲余ハ其愛スヘキヲ愛ス

字母ノ遊戯タル最モ愛スベキノ技藝ニシテ衆多ノ人歎ヲ以
テ做スベキ者ナリ先ツ其順序ヲ定メ字母今試ムニ日本ノイ
ロハヲ以テ遊戯ノイ
實況ヲノ音ヲ以テ發起スルノ語ニテ說話ヲ做ス其番次ハイ
示ス
ロハノ順ニ隨ヒ各其當ル所ノ字音ヲ以テ言ヒ出スノ詞ヲ專
用スベシ而シテ若シ彼此謬誤或ハ猶豫遲滯スル者アレバ其
罰ヲ課ス茲ニ一女兒アリ下條ニ載スル所ノ詞ヲ以テスベシ
「イ」余ハ「以」ト我愛ヲ同フス其故如何トナレバ彼ハ幼稚シテ潔
ク勸勞アレバナリ余ハ又「以」ヲ惡ム如何トナレバ賤キタナ
クシテ僞ルヲ以テナリ又彼ノ者余カ名ヲ家屋ノ記號ニ彫

刻セシメ縁故アル家産トテ芋ニ添ヘデ卷柏石薺等ヲ惠マ
ル彼ガ名ヲ一介ト云ヒ其來ルヤ伊勢ノ飯野ヨリスト

「ロ」次ノ者余ハ呂ト我愛ヲ同フス其愛如何トナレバ寵勲ヨ
リ還リタル魯直ナル營生ナレバナリ亦「呂」ト共ニ彼ヲ惡ム
コトアリ祿放サレニテ旅費ニ窮シ隱謀ノ露顯シタルヲ以
テナリ又彼ノ者余カ名ヲ漏刻ノ記號ニ取レリ加之ナラズ
昇轎夫ノ名號マデニ變名ヲ用ヰシト而シテ彼ガ名ハ即チ
六次郎今來タル所ノ本生ノ地ハ六條通ニテ六角堂ノ僧ノ
還俗セシ者ナリト

「ハ」余ハ「波」ト我愛ヲ共ニス其故如何トナレバ彼ハ談話ヲ善
クシ始メヨリ變ルコト無ケレバナリ又「波」ト共ニ惡ムアリ

彼恥辱ヲ知ラズ裸ニ成リ跣足ノミスルヲ以テナリ彼又花
瓶ノ銘ニ余カ名ヲ彫琢シ盆盂等ニモ余カ號ヲ施セリ而シ
テ彼ノ名ハ春三ニテ來ル本國ハ播磨ナリト

「ニ」余ハ「仁」ト我愛ヲ愛ス其故如何トナレバ彼ハ俄ニ任官
シタルヲ以テナリ今余「仁」ト共ニ彼ヲ惡ム故アリ彼柔和
ナルハ質實ニテ實ハ再楞然ナリ彼ノ者余ガ名ヲ以テ太偶
人ノ號トシ又雞朱櫻マデモ其號ヲ及ボセリ而シテ彼ノ名ヲ
仁四郎ト云ヒ其來ルハ新潟縣ヨリスト

「ホ」余ハ「保」ト我愛ヲ同ウセン其故ハ彼誘ワズ欲ガラズ法師ノ
如キヲ以テナリ余又「保」ト共ニ彼ヲ惡ム縁故アリ彼勞ヲセ
ズ譽名ノミヲ好ムガ無本意ナリ彼余ガ名ヲ以テ樺ニ彫リ

帆ニ記シ楚海扇等ニモ呼ベリ而シテ彼ノ名ヲ星五郎ト云
 ヒ本ハ北越ヨリ來ル肩販夫ナリト

「ヘ」余ハ「邊」ト我愛ヲ共ニス彼ノ者詔諛モ無ク偏頗モ無ケレバ
 ナリ余又「邊」ト同ク彼ヲ厭フ所以アリ則チ彼平生謙退ヲ爲
 サズ而シテ妄ニ余ガ名ヲ取テ反鼻ニ用井絲瓜ニ旋シ鹿ノ
 如ク呼ヒ做スヲ以テナリ彼ノ名ハ新六故ト平安城下ノ産
 ニテ近頃彼得堡ヨリ還リ來レリト

「ト」余ハ「止」ト共ニ我愛ヲ愛好ス然ル所以ノ者ハ彼超越タル度
 量アレバナリ余又彼ヲ惡ムベキコト數條アリ兎角ニ千人
 會ヲ嗜ミ時粧ヲ好ミ挈觀ヲ務メ管轄無ケレバ後必ズ隨落
 坊トナルヲ以テナリ彼余ガ名ヲ以テ鷲ト云ヒ虎ト呼ヒ都

耳其人ニモ及ボシ而シテ木賊雙鸞菊椽實等ノ號トセリ彼
 ノ名ハ時七ニテ土佐ヨリ來ルト

「ナ」余ハ「知」ト等シク我愛スル所ヲ愛ス然ル所以ノ者ハ彼盟約
 ナ變ゼザルヲ以テナリ余又彼ヲ嫌フ所アリ力ヲ好ミ智慧
 ニ誇レバナリ彼余ガ名ヲ取テ偏跛練髮ニ號シ鷄佛林狗
 等マデニ施コセリ彼ノ名ハ千代八トテ筑前ヨリ來リシト
 「リ」余ハ「利」ト共ニ我愛ヲ愛ス其故ハ彼ハ老實者ニテ發達亨通
 アルヲ以テナリ余又「利」ト共ニ彼ヲ惡ム所以ノ者ハ彼吝嗇
 ニ過ギ利ハ智ヲシテ昏マシムルノ弊アレバナリ彼余ガ名
 ナ以テ力士ニ與ヘ兌換舖ニ施シ栗鼠林檎マデモ號トセリ
 而シテ彼ノ名ハ陸藏隣國ヨリ至ルト

「メ」余ハ「奴」ト共ニ我愛スル所ヲ愛ス其故如何ト云フニ彼幣帛ヲ
 取リ叩頭シテ神ヲ齊キ祭ルヲ以テナリ余モ亦彼ヲ厭フ所
 以ノモノアリ奸闖出物ヲ賣買シ盜賊窩主スルト聞ケバナ
 リ彼余ガ名ヲ以テ呆郎ト云ヒ鈍漢ト呼ヒ鷓鳥、葦菜、零餘子
 等ニモ名ヅケタリ彼ノ名ハ縫之助其來ル沼津ヨリスト
 「ル」余ハ「留」ト同ジク我愛スベキヲ愛ス其事由ハ彼ハ留守ヲ善
 ク務ムルヲ以テナリ而シテ余モ亦彼ヲ嫌フ所アリ流人ト
 成リテ流浪スレバナリ彼余ガ名ヲ取テ縲絏流刑ノ號トシ
 又類例モ無キ惡名ニ呼ビ做セリ彼ガ名ハ頼助ニテ其來ル
 始ハ呂宋ノ耶蘇ノ蠻屬ナリト
 「ナ」余ハ「遠」ト俱ニ我愛スヘキヲ愛ス其故如何トナレバ彼ハ雄

々シキ男子ニテ而モ壯子時ナレバナリ余モ亦彼ヲ厭フ踏
 蹴ヲ好ミ滑稽子ト做ルヲ以テナリ彼余ガ名ヲ以テ楊花女
 賊等ニ號シ鴛鴦、蟒蛇、貓尺蠖等ヨリ萩齒、羊楓ニ至ルマテ皆
 余ガ名ヲ呼ベリ而シテ彼ヲ折助ト云ヒ一昨年尾張ノ國ヨ
 リ來レリト

「ワ」余ハ「和」ト我愛ヲ均ウス如何トナレバ彼ハ常ニ笑顔シテ俳
 優ヲ做セバナリ余亦彼ヲ惡ム所アリ自慢横恣ニテ且黠
 ナリ以テナリ彼余ガ名ヲ取テ鷲トシ鷓トシ裙帶菜、山菜、稱穢
 マテニ用非タリ彼カ名ハ濟トテ度會ノ産ニテ久シク華盛
 頓ニ渡リ近頃還リ來レリト

「カ」余ハ「加」ト我愛ヲ共ニセン如何トナレハ彼ハ子錢家ニテ乘

除チ善クスルガ故ナリ余亦彼ヲ憎ムコトアリ偏信偏聽背
 後言ヲ爲セバナリ彼余ガ名ヲ以テ篋頭舖ニ號シ傘匠蚊帳
 高擲杖者ノ輩ニ及ボセリ其他鴨雁油鷓ヨリ比目魚校魚番
 南瓜、蕪根等ニ至ルマデ名ヅケタリ而シテ彼ノ名ハ嘉左衛
 門ト云ヒ加賀ノ河北リ來ルト

「ヨ」余ハ「與」ト我愛ヲ同リス然ル所以ハ彼能ク粧飾ヲ做スヲ以
 テナリ余亦彼ヲ厭フ意アリ彼世ニ結婚人有リテ嫁裝奩資
 ノ多キヲ自慢セリト而シテ彼余ガ名ヨリシテ馬鶴ト號シ
 又艾餅及ヒ豆乳雞腸菜蘆筍ニ至ルマデ余カ名ヲ用井タリ
 彼ノ婦人ノ名ヲ好女ト云フ昨夜橫濱ヨリ來ルト

「タ」余ハ我愛ヲ「多」ト共ニス其故ハ彼ハ婦女子ナガワ武士ノ氣
 節アレバナリ然レドモ亦彼ヲ惡ムニ故アリ彼常ニ闘歐ヲ
 好ミ性急ナリ余ガ名ヲ鷹ノ號トシ團餅ニモ炒雞子ニモ菜
 飯爛、烟盆ニモ余ガ名ヲ付ケザルハナシ彼ヲ竹子ト云フ丹
 後ノ竹野ヨリ來レリト

「レ」余ハ「禮」ト我愛ヲ同ウス其故ハ彼禮義ヲ知テ能ク行ヘバナ
 リ余モ亦彼ヲ惡ムベキコトアリ列見ノ坐ニ連署誓牒ヲ結
 黨セリト彼余ガ名ヲ取テ漁夫屠沽割烹家ノ號ト爲シ又蓮
 肉、蓮根等ノ名トセリ彼ヲ禮太夫ト稱シ靈岸島ノ邊ヨリ來
 レリト

「ソ」余ハ「曾」ト我愛ヲ同ウス其故何トナレバ彼暗誦ヲ能クスル
 ナリテナリ余モ亦彼ヲ憎ムコトアリ虛言ヲ吐キ若干ノ人

ナ喰スガ故ナリ彼余ガ名ヲ鐵菴豆菴麥麩ノ記號ニ命セ
リ彼ガ名ハ曾於彦先祖ハ襲ノ國嚙啖郡ヨリ來住セリト

「ツ」余ハ「津」ト我愛ヲ愛ス彼ノ者ハ走索戲ニ妙ヲ得タレバナリ
余モ亦名ヲ憎ム彼ハモト追放者ニテ今ハ俛眉承曉者ナリ
彼余ガ名ヲ取テ鶴燕ノ號トシ又菊花躑躅山茶花ニ至ルマ
デ之ヲ用キメリ彼名ハ鶴松筑紫ノ鶴崎ヨリスト

「子」余ハ「稱」ト我愛ヲ同ウス其故如何トナレバ彼甚メ懇懃ナル
ナ以テナリ余モ亦厭フ所アリ彼常ニ睡眠ヲ貪レバナリ彼
余ガ名ヲ誣賴ニモ云ヒ嘖嘖ニモ云ヒ猫鼠ノ號ニモ倣セリ
彼ヲ寢凡計ト稱ス其來ル所ヲ問ヘバ夢心地ニテ云フモト
根ノ堅洲國ヨリスト

「ナ」余ハ「奈」ヲ愛ス其故如何彼謀ヲ能ク話スレバナリ亦彼ヲ憎
ム緩慢者ニテ活計ニ怠ルヲ以テナリ彼余ガ名ヲ以テ鯨魚
ニモ蝸蜒ニモ號ト爲シ又猿梨ニサヘ名ヅケタリ彼者ノ名
ヲ奈良磨ト云フ奈良ノ故郷ヨリ慰快ニ來レリト

「ラ」余ハ「良」ト共ニ我愛ヲ同ウス如何トナレバ彼ハ喇叭ヲ吹ク
ニ妙ヲ得タリ然レトモ亦彼ヲ厭テ意アリ彼ハ本牢破ニテ
亂妨ノモノナレバナリ又余ノ名ヲ以テ賴坊或ハ埒ノ號
トシ或ハ薤白炒米饅及ヒ海狸等ニモ用井タリ彼者ヲ雷策
ト云ヒ浪華ヨリ來レリト

「ム」余ハ「牟」ト其愛ヲ共ニス其故ハ彼ノ者沈黙ニテ浪話ヲ言ハ
ザレバナリ余モ亦彼ヲ憎ム所以アリ白嚼枉費ヲ好ムヲ以

テナリ彼余ガ名ヲ取テ通取冒險者ノ號トシ顯微鏡ニモ云
ヒ百足貉鼯鼠等ヲモ呼ブ而シテ彼ノ者ノ名ハ陸奥藏一月
ノ始メ武藏ノ胸突坂ヨリ來ルト

「ウ」余ハ「宇」ト我愛ヲ愛スベシ其故如何トナレバ彼ハ賣ト先生
ニテ風雲占ノ巧手ナルヲ以テナリ而シテ亦甚ダ彼ヲ憎ム
ノ義アリ是輕浮兒ノ妄誕措大ナレバナリ彼余ガ名ヲ團扇
ニ記號シ馬舎牛欄兔圈ニモ名ヅケ種樹魚春サヘモ呼ベリ
彼ヲ禹吉ト云フ本居ハ宇治ニテ秦ヨリ來ルト

「井」余ハ「爲」ト我愛ヲ共ニス如何トナレバ田舎人ニテ禮敬ノ心
原キヲ以テナリ余又彼ヲ厭フ意アリ坐食ノ久シケレバナ
リ彼余ガ名ヲ位牌ニ記シ野猪豕トモ呼ビタリ彼ノ名ハ猪

之吉井上氏ニテ眞辨郡ヨリ來リシト

「ノ」余ハ「乃」ト我愛スベキヲ愛セン如何トナレバ彼散樂ヲ善ク
シ且能書ナルヲ以テナリ余乃ト彼ヲ憎ム故アリ遊蕩子ナ
レバナリ彼余ガ名ヲ宿ニ記シテ鑿仔鋸子及ヒ小蒜乾苔マ
デ名ヅケタリ彼ノ名ヲ飲介ト呼ブ其來ル能登ノ國ヨリス
ト

「オ」余ハ「於」ト我愛ヲ同ウス其故ハ彼ノ者生來嚴格ニテ制度ヲ
能ク守ルヲ以テナリ余彼ヲ憎ム故アリ唯狼餐ノミニテ填
記モ出來ザレバナリ彼余ガ名ヲ取テ謔浪ニモ詔譽ニモ云
ヒ鬼狼棘等種々異物ノ號トナセリ彼ノ名ヲ乙訓ト云フ其
來ルヤ遠ク隱岐ノ島ヨリス

「ク」余ハ「久」ト我愛スル所ヲ愛ス如何トナレバ彼ノ者ハ朝紳ヨ
 リ出テ草紙本ヲ能ク作ルヲ以テナリ余又「久」ト共ニ彼ヲ憎
 ム彼多口ノ癖アレバナリ彼余ガ名ヲ取テ鞋工職匠ノ號ト
 爲シ熊鯨馬蜂及ヒ糞蛆臭梧桐等ノ名ニ課セリ彼ノ名ヲ雲
 助ト呼フ其來ルヤ熊野ノ山奥ヨリスト

以下字母ノ結局ニ至ルマデ上條說ク所ノ例ニ照準スベ
 シ

本文記載スル所ノ詞ノ如キ其音頭ハ同一ニシテ其詞ノ全ク
 等シカラザル字音ハ遊伴ノ好ム所ニ應ジテ之ヲ代用スベキ
 ナリ譬ヘハ以ノ語頭ニ在ル音即チ怒ト云ヘル字ヲ以テスル
 モ暇ト云フ字ヲ置クモ可ナリトス鳥獸草木ノ名稱モ亦然リ

鶺鴒トモ狗トモ鼠狼トモ芋魁トモ無花果トモ云フベシ又露
 路ノ記六幅屏風ノ號或ハ春吉初太郎ト云フモ亦好シ然レド
 モ此戲ヲシテ一層ノ大快樂ヲ做サシメント欲セバ其舉グル
 所ノ諸物種屬ノ名稱ニ至リ恰モ適當スルヲ要セズ務メテ相
 反スルモノヲ以テスベシ譬ヘバ甘藍ト花監糖蜜ト番柿或ハ
 酒ト砂糖杏子ト油ノ如シ今更ニ日本字母ノ順序ヲ逐フテ再
 ビ其意味ヲ解明スベシ

「伊」余ハ「伊」ト共ニ我愛ヲ要ス如何トナレハ彼ヲ痛ク憂恤故ニ
 將ニ壹岐ノ國ニ遣ラントス而シテ彼ヲ養フニ覆盆子ヲ以
 テセン余彼ニ與フルニ色絹ヲ以テシ彼ヲシテ衣裳ヲ裁縫
 セシメントス又薔薇ヲ贈リ彼ノ女ヲシテ花束ヲ造ラシメ

ント

「路」余ハ「路」ト俱ニ我愛ヲ同ウス其故ハ彼能ク觸染ノ事ニ練熟シタルヲ以テ魯西亞ノ海岸マデ差遣サント欲ス余彼ノ養料ニ路費ヲ多ク與ヘテ衣食ヲ給セシメント又驢韃製ノ燭臺ヲ贈リ夜行ニ便ナラシメ且綠青ノ彩花ヲ與ヘテ其花束ニ插マシメント

「波」余ハ「波」ト共ニ我愛ヲ同ウス如何ト云フニ彼ハ發明ニテ印刷師刷印匠ノ技藝ノ巧者故ニ巴黎斯ノ首都ニ遣ラント欲ス之ヲ養フニ文藝ヲ以テシ冬日彼ニ服セシメンカ爲メ短掛ヲ以テスヘン而シテ花束ヲ作ランニハ紫羅蘭ノ一枝ヲ贈ラント

「雨」余ハ「雨」ト俱ニ我愛ヲ同ウス其故ハ彼ノ性柔和ナルヲ以テナリ余將ニ彼ヲ新川ニ遣シ彼ヲ養フニ捏飯肉包ヲ以テシ且與フルニ輻車ヲ以テシテ行李ヲ送ラシメント欲ス其花團ニ插ムニハ郁李ノ一朶ヲ呈スベシト

「寶」余ハ「寶」ト我愛ヲ同ウス彼ハ書癖ナルヲ以テナリ余彼ヲ香港ニ遣ハシ之ヲ養フニ糗糧ヲ以テシ且贈クルニ書厨ヲ以テシテ彼ガ藏書ノ數ヲ増サシメント欲ス其花束ニ插ムニハ牡丹花一種ヲ與ヘント

「邊」余ハ「邊」ト我愛ヲ共ニス何トナレバ彼ハ諛詔ノ無キ性質ナリ余僻邑ノ女學校ニ遣ハサント欲シ之ヲ養フニ行厨ト片餅トヲ以テシ又與フルニ銅筆嘴及ビ脂盒等ヲ以テ粧具ノ

一ニ供セシメ其花園ニ插ムニハ朱橋ノ一枝ヲ贈ルベシ
 「土」余ハ「土」ト共ニ我愛ヲ同ウス何トナレバ彼能ク自鳴鐘千里
 鏡ヲ製造スレバナリ余彼ヲ遠江ニ遣シ養フニ石花菜豆腐
 等ヲ以テセント欲ス又藥箭ヲ與ヘテ射獵ニ供セシメ彼ノ
 花束ヲ造ルニハ黃蜀葵ノ一枚ヲ贈ルベシ
 「地」余ハ「地」ト共ニ我愛スベキヲ愛ス其故如何トナレバ彼ハ智
 慧者ナリ余之ヲ遣ハスニ筑後ヲ以テス之ヲ養フニ粽子、茶
 トヲ以テセント欲ス且彼ガ有スル所ノ地球圖既ニ破裂ス
 ルヲ以テ新ダニ精選ノ地圖ヲ贈リ花園ニハ長春花一朶ヲ
 與フベシ

「里」余ハ「里」ト我愛ヲ同ウス其故如何トナレバ彼兌錢ノ巧手ヲ

レバナリ余汝ヲ西園ニ遣ハシ養フニ甘藷ヲ以テシ又與フ
 ルニ蘆等一具ヲ以テシ藥量ヲ詳細ニ測ラシメント欲ス而
 シテ彼ノ花束ニハ林檎ノ一枝ヲ插ムベシ

「怒」余ハ「怒」ト我愛ヲ共ニス其故ハ彼縫裁ニ巧ニシテ抄寫ヲ善
 クスレハナリ余彼ヲ布引ノ源泉下ニ遣ハシ之ヲ養フニ濕
 米ヲ以テシ又漆硯ト羅紙トヲ與ヘテ文房ノ具ニ充テント
 欲ス而シテ花束ニ插ムニハ檀麩子ノ一枝ヲ贈ルベシ

「流」余ハ我愛ヲ「流」ト共ニ爲ス其故ハ彼能ク琉璃燈ヲ製スルヲ
 以テナリ余之ヲ額外ノ樺太島ニ遣ワント欲シ多ク琉璃ヲ
 與ヘテ流浪人等ニ誇ラシメン其花園ヲ造ランニハ纏香艸
 ノ一種ヲ贈ルベシ

「予」余ハ「乎」ト我愛チ共ニス彼ハ摺本ヲ能ク製スル故ヲ以テナ
 リ彼ヲ尾張ニ遣ハシ之ヲ養フニ粳稻ヲ以テシ且桶ヲ多ク
 與ヘ彼ヲシテ水ヲ汲ムニ使ナラシメント欲ス其花束ニ插
 マンニハ敗鬪花一枝ヲ贈ルベシ
 「和」余ハ「和」ト我愛チ共ニセン如何トナレバ彼固ヨリ和歌ヲ好
 ヲバナリ余彼ヲ和歌山縣ニ遣ハシ養フニ早粳米ト蕨粉ト
 ナ以テセン余又別ニ碗碟等ヲ贈ラント欲ス而シテ其花束
 ニ插ムニハ迎春花一朶ヲ以テスベシ
 「可」余ハ「可」ト共ニ我愛スメキヲ愛ス其故ハ彼賢女ニシテ蠶、師
 ナルヲ以テナリ余彼ヲシテ支那ニ遣ハシ之ヲ養フニ乾饅
 頭魚カサシヲ以テシ且毬ト鏡トヲ贈テ以テ粧具ノ一ニ充テシ

メント欲ス彼ノ花束ニ插ムニハ海棠花ノ一枝ヲ與ヘント
 「豫」余ハ我愛チ「豫」ト共ニ愛ス其故ハ彼誦讀書記ヲ善クスルヲ
 以テナリ余之ヲ蓬萊島ニ遣ハシ好米ヲ以テ養ヒ又横笛ヲ
 與ヘテ樂ヲ奏セシメント欲ス彼ノ花束ニハ蠶、花ノ數枝
 ナ與ヘント

「太」我ハ「太」ト我愛チ同ウセン何トナレハ彼ノ處女ハ窈窕ナル
 容色アルヲ以テナリ余之ヲ丹後ノ天ノ橋立ニ遣ハシ養フ
 ニ罌子ト點刺酒トヲ以テシ又衣厨ヲ與ヘテ衣裳ヲ藏メシ
 メント欲ス而シテ花束ニ插ムニハ蒲公英ノ花ヲ贈ルベシ
 「列」余ハ我愛チ「列」ト共ニスベシ彼ノ者博ク歴史ヲ讀ミテ萬國
 ノ事情ニ通ズルガ故ナリ余彼ヲ冷泉家ニ遣ハシ連歌ヲ學

ハシメ養フニ冷酒冷飯ヲ以テシ又彼ニ鈴鐸ヲ與ヘテ樂器
ノ一具ニ充テシメント欲ス彼ノ花園ヲ造ル料ニ連翹ヲ與
フベシ

「素」余ハ「素」ト我愛テ愛セン如何トナレハ彼算盤ヲ善クスルヲ
以テナリ彼ヲ染井ノ菊見ニ遣ハシ養フニ索麵ヲ以テセン
又余彼ニ藍花數種ヲ贈リ以テ園ニ植エシメ且花園ニ插マ
シメントス

「都」余ヲ「都」ト愛テ同ウス然ル所以ハ彼誠ニ謹慎深キ者ナレバ
ナリ余彼ヲ對馬國ニ遣ハシ養フニ持餅ヲ以テセン又書案
ト紙束トヲ贈リテ讀書ノ用ニ給セシメ而シテ花束ニハ海
石榴一枝ヲ插ムベシ

「年」余ハ「年」ト我愛ヲ一ニス其意如何トナレバ彼甚ダ謹慎ノ性
質アルヲ以テナリ余之ヲ根來山ニ遣ハシ養フニ白膠ト葱
白トヲ以テセント欲ス又之ニ贈ルニ墜子臥榻ヲ以テシ彼
ノ花束ニ插ムニハ合歡花一朶ヲ與ヘン

「南」余ハ「南」ト共ニ我愛スベキヲ愛ス其故ハ余ト舊狎深ケレバ
ナリ今彼ヲ名古屋ニ遣ハシ養フニ鮮魚糟瓜茄等ヲ以テシ
又燒器一切ヲ與ヘ彼フ花束ニハ南天燭一枝ヲ贈ルベシ

「羅」余ハ「羅」ト我愛ヲ共ニス何トナレハ彼斐羅ヲ織ルノ新法ヲ
得タルヲ以テナリ余之ヲ羅甸語ノ學問ニ外國ニ遣ハサン
ト欲シ彼ヲ養フニ炒米糖ヲ以テシ又凍石數品ヲ與ヘテ行
餘ニ彫刻セシメ花園ヲ造ルニハ蘭數莖ヲ贈ルベシ

「武」余ハ我愛ヲ「武」ト共ニ愛ス其緣故ハ彼ノ者空間ニ光陰ヲ過
 サマルヲ以テナリ余彼ヲ武藏ノ蒸浴室ニ遣ハシテ養生セ
 シノ與フルニ麥麩ヲ以テセント欲ス又行膝ト堯肚トヲ贈
 リ行裝ニ給セシメ彼ノ花園ニハ木槿一朶ヲ供セン

「鳥」余ハ我愛ヲ「鳥」ト共ニ愛セン何ゾト云フニ彼ハ怨恨ヲ懷カ
 ズ忘語ヲツカチレバナリ彼ヲ宇佐八幡宮ニ謁セシメ養フ
 ニ炙鯁鰻ヲ以テシ贈ルニ髻華ト無淨靴トヲ以テセント欲
 ス而シテ花束ニハ梅花一朶ヲ插サマシムベシ

「位」余ハ「位」ト愛ヲ共ニス其故ハ彼ハ韻塞ノ戲技ニ妙ヲ得タレ
 バナリ余彼ヲシテ猪名ノ織原ニ遣ハシ養フニ豕ノ肉ヲ以
 テシ腰眼ニ炙ナスエ守官ノ印ヲ塗り置カント欲ス彼ノ花

團ニ雜ヘ插ムニ蘭艸ヲ以テスベシ

「能」余ハ「能」ト我愛ヲ同サセン其故如何トナレバ彼最モ農學ニ
 長スルヲ以テナリ余彼ヲ野上ニ遣ハシ養フニ飲料ノ酒肴
 ヲ贈リ且鋸小斧ヲ與ヘテ材木ヲ割截セシメント欲ス其花
 束ニ插ムニハ凌霄花一蔓ヲ以テセン

「億」余ハ「億」ト愛ヲ共ニス其故ハ陰陽師ノ學者ナレバナリ余彼
 ヲ愛宕ニ遣ハシ養フニ米飲歡喜團ヲ以テシ且帶ト大口袴
 ヲ贈ラン彼ノ花束ニハ映山紅一枝ヲ插ムヘシ

「句」余ハ「句」ト我愛スヘキヲ愛ス何トナレバ彼ノ者軍書ニ詳明
 ナレバナリ彼ヲ桑名ニ遣ハシ之ヲ養フニ葛粉餅菓子餠ヲ
 以テシ又馬鞍ヲ與ヘテ騎行セシメント欲ス彼ノ花園ニハ

香橙カウヂノ一枝ヲ插サムベシ

凡ソ此遊戯及ヒ他ノ類似セル戯技ノ如キモ皆數多ノ夥伴ニ
テ做シ得ベキモノナリ而シテ其詞ヲ發スル或ハ問答ノ際謬
誤ヲ爲スモノハ其罰ヲ償ハシムベシ既ニ前條ニ普通ノ例語
ヲ畧述セシニ據リテ字母戲ヲ做シ或ハ遊伴才力ヲ活潑タラ
シメ或ハ其語法ヲ異ニシテ此ニ代用シ或ハ聒絮ニ說破シ愈
可笑的ノ事アレバ愈愉快ヲ増スベシ此遊事既ニ成長セル男
女ニ在リテハ冗長ノ浪語ト看做スヘケレトモ左ニアラズ殊
ニ幼年ノ兒女ニ於テハ唯嬉戲ニ供スル而已ナラズ多ク草木
鳥獸飲食器械及ヒ國郡諸事物ヲ識ルノ最モ切要ナル者ト謂
フモ亦可ナリ即チ衆兒輩之カ爲メニ其心思ヲ練熟スルトキ

ハ地理學上ニ就テ必ズ大ニ智見ヲ増進スル所アラシ

○戀慕神

戀慕愛敬ヲ掌トル神ノ名
異歌ノ神傳中ニ在ル者

遊戯ノ女伴中ノ長娘タルモノ室ノ一端ニ其坐ヲ占メ而シテ
他ノ一端ニ於テ其遊伴衆女相連リテ列坐ス是ニ於テ一列ノ
衆女順次ニ起テ彼ノ教師タル長娘ノ目下ニ來リ之ニ對諷シ
話スルニ彼ノ戀慕神ノ性質品行ヲ以テス而シテ後長娘ノ背
後ニ至リテ坐ヲ占ム其時一心ニ彼ノ戀慕神ノ爲ス所ヲ望ミ
其容貌支體ノ動搖ニ模擬シテ其眞ニ逼ルヲ要ス若其事ヲ錯
謬シ又其話スルニ當テ音調及ヒ態度其宜ニ適セズシテ啻ニ
詞ノミヲ復スルモノハ即チ一罰ヲ受ク其詞ヲ出ストキ衆兒
女等字母ノ一音ヲ以テ始メノ詞ニテ漸次說話ヲ做シ全ク之

ナ言尽スニ至テ己ム例ヘハ此戲技ヲ爲スノ最初ニ在ル者ノ
曰ク彼ノ戀慕神ハ其格ル隱然測ルベカラスト即テ遊戲ノ作
法ヲ舉テ其例ヲ示ス

此段モ亦伊呂波ノ始メヨリ記スベケレドモ上條既ニ伊呂
波ヨリ始ムル者二回其雷同脈フベシ故ニ今姑ク之ヲ置キ
上條ノ尾オクニ續テヤマヨリ起ス即テ下條記載スル所ノ
如シ

也 彼ノ戀慕神ハ其格ルヤ

温和ニシテ優然

末 同

正面ニハ調難シ

計 同

粉飾ヲ爲サズシテ氣高シ

不 同

舉動實ニ不思議ナリ

古 衣 天 安 左 幾 由 免 美 之 惠
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

聲モ無ク苔モ無シ

艶ニ歎美容ナリ

照妙ノ調度ナリ

仰瞻スルニ可憐ナリ

幸福ヲ賜ヒ繁榮ル

清淨ニテ端正ナリ

往反誠ニ夢ノ如シ

希見シテ恭喜

宛ニ中リ御酒ヲ供ス

執心深ク慕ハル

笑顔ハ繪ニモ盡カレズ

比 同 只管ニ左祖スル
 毛 同 可畏氣カ悶ル
 世 同 只得ニ媒妁スル
 數 同 末長ク勸助ル
 此ノ如ク字音ニ應シテ想起スル所アレバ上條ニ記載セシ種々ノ形容ニ隨ヒ商量シテ彼ノ戀慕神ノ態度如何ナルヲ擬スルモ亦甚タ容易ナリトス此方法ニ因リテ新話語新工夫ヲ發出シ逐次ニ進歩シテ竟ニイロハチ反復スル三回若クハ四回ニ至ルヲ得ヘシ其復スル毎ニ必ス文詞ヲ變換スルヲ要ス凡ソ英敏ナル兒輩ノ此遊戯ニ習熟スル頗ル逸興ニ至ルベキ技藝ナリ

○贖罪ノ具ヲ賣ル

遊戯ノ際差謬ヲ做シタル兒輩ニ其罰罪ヲ償フ料ニ出サシムル所ノ物品漸次聚積スレバ之ヲ賣ルノ一戲アリ其之ヲ做スニ當テ一童女室ノ中央ニ在リテ椅子ニ腰居シ其目ヲ蔽フベシ又他ノ一女子彼ノ料料物品ヲ盛リタル籃ヲ携帯シテ中央童女ノ背後ニ立テ其籃中ヨリ一個ノ品具ヲ出シ之ヲ高く捧ケテ問テ云フ此物ノ持主ハ如何ナル戲事ヲ做スベキヤト其時彼ノ眼目ヲ蔽隠セシ盲童女質シテ曰ク其持主ハ美カ或ハ極美カト即チ其美カト云ヘルハ暗ニ童男ヲ指スノ號其極美カト云ヘルハ直ニ號女ヲ指スノ童ナク爾時持主若シ女ナレハ即チ其答フルニ其ハ極美ナリト云フテ要ス而シテ後料料

第三十七圖



例

第一 最初ニ做ス所ノ者ヲ擬偶像トス贖罪課ナリ
 科料品ヲ出ス所ノ一童女室ノ中央椅子ノ上ニ立ツ而シ

品ヲ賣ル者猶按盲者ニテ科料品ヲ
 其持主ニ返還セザルノ前豫メ裁決
 スルニ其持主如何ナル事業ヲモ做
 サバルベカラサルヲ以テスベシ凡
 ソ此事ヲ做サシムル無難ニシテ且
 優美ナルハ甚タ難シトス茲ニ選用
 セシ所ノ最モ適當ナル者ヲ舉テ下
 條ニ記載スベシ

テ他ノ衆女各順ヲ以テ其一童ニ命ジテ種々ノ形體ヲ做
 シシム譬ヘハ一人ノ來ルアリ即チ一童女ノ兩手ヲシテ
 其頭上ニ舉ケサセ共ニ之ヲ拍タシム又他ノ一人來テ彼
 ノ童女ノ兩臂ヲ執テ背後ニ置カセ兩手ヲ以テ互ニ其臂
 節ヲ握ラシム而シテ又第三次ニ來ル一人有リテ童女ノ
 兩手ヲシテ脚上ニ於テ合掌セシム第四次ニ來ル一人ハ
 童女ヲシテ其衣裾ヲ掲ケシメ其形恰モ踏舞スルカ如ク
 ナラシム第五次ノ一人又童女ノ兩手ヲ以テ眼目ヲ蔽フ
 テ按盲タラシム各個ノ衆女此ノ如ク來犯シ恣ニ彼ノ童
 女ヲシテ種々ノ異狀ヲ做サシムルコト我意ノ如クス而
 シテ後彼ノ一童女佇立セシ所ノ脚架ヨリ下リ前ニ出セ

シ科料品ヲ領受スルコトヲ得ル

第二 此時科料出品主ノ如キハ之ニ飲マシムルニ水ヲ以テス而シテ其誰カ水ヲ我ニ給與シタルヲ判決スルニ至ルマデ其事ヲ爲シテ止マズ

凡ソ此事ヲ做サンニハ其罰品主ナル女子ノ眼目ヲ蔽フテ椅子ニ坐セシメ水瓶ヲ備へ其中ニ茶ヒヲ置キ而シテ後各女交々來テ女子ノ口中ニ灌グニ一ヒノ水ヲ以テス此時彼ノ女子ハ自己ノ口中ニ水ヲ灌ケル女ハ正ニ誰人タルヲ決知フルヲ要ス若シ判斷適中スルトキハ即チ眼ヲ蔽フ所ノ帛帶ヲ去テ科料品ヲ復領スルコトヲ得

第三 樂譜中ニ在ル所ノ笑音ヲ做スコト其時ニ中斷スル

コト勿ク又諺誤ヲ做スコトヲ禁ス

第四 罰女罰女トハ即チ科料品物ヲ出シ或ハ一首ノ詩ヲ

反復スルヲ要ス其詩タル正調ナランヨリハ寧ロ滑稽可笑ノ篇ヲ擇ヒ爲スヲ要ス

第五 罰女況默シテ嚴肅ニ顔色ヲ正シ凡ソ五分時間或ハ笑或ハ擧スルコトヲ做サズ他ノ戲伴ノ好ム所ニ隨ヒ其指教ヲ承クベシ

第六 罰女一音ダニモ讀ミ誤ルコト無ク火急ニ誦復スル

コト五回ナルヲ要ス即チ其例言ヲ舉ケ示サン

喜喜ト云ヘル者近所ノ菊女ト共ニ金曜日ニ紀伊ノ國ニ

歸帆セリ

第七 罰女始ノ室ノ一隅ニ至テ笑ヒ亦他ノ一隅ニ至テ叫
 ヒ第三ノ隅ニ至テ欠シ第四ノ隅ニ至テ跳舞ス

第八 罰女一手ヲ以テ額ヲ搔キ其ト同時ニ他ノ一手ヲ以
 テ胸ヲ打テ瞬間モ兩手ノ動搖搔打ヲ相變スルコト無カ
 ラシム

第九 罰女下條ニ記スル所ノ語ヲ三回引續キテ反復スル
 ナ要ス其間讀停リ或ハ謬誤ヲ做スコト勿ルベシ即チ左
 ノ如シ

桑牛ハ桑ノ葉九枚ヲ喰フ桑牛ハ桑ノ九枚ヲ喰フカ然リ
 桑牛ハ桑ノ九枚ヲ喰ヘリ喰フベシ桑牛桑ノ九枚ヲ

第十 罰女下條ニ記スル所ノ詞ヲ少シモ讀ミ斷リ無ク一

息ニ五回誦過シテ誤マルコト無キヲ要ス

鄰ノ客ハ柿喰フ客カ柿喰ヌ客カ或ハ又鄰ノ古桃樹ニ古
 爛布カ下リタ等ノ類ヲ以テスベシ

第十一 罰女室ノ中央ニ佇立シ初時甚ダ惘然タル憔悴ノ
 顔色ヲ做シ中頃ヨリ欣然タル快喜ノ顔色ヲ現ハスベシ
 若シ夜間ニ於テスルトキハ其女手ニ燈燭ヲ把ラシムル
 コトヲ要ス

第十二 罰女五個ノ質問ニ答詞ヲ做スヘシ其間他女ハ自
 己ノ顛ヲ以テ罰女ヲ輕打スルコトヲ做ス

第十三 罰女傍ニ在ル所ノ戲伴ニ對シ一個ノ問ヲ發ス其
 問ハ答フルニ必ス然ノ詞ヲ以テスベキ者ヲ選ブベシ例

ヘバ「サ」ト「ヤ」ト「ウ」トヲ云ハン「サヤウ」ナリト

第十四 罰女ニ詩歌ヲ作ルコトヲ命ズ然レドモ難險ノ題
字ヲ設ケズ唯容易ニ詩歌ト爲スベキ物ヲ定メテ之ヲ作
ラシム例ヘバ花鳥雪月ノ類

第十五 罰女毫モ笑フ無クシテ戲伴ノ言フ所ノ活動物ノ
容貌ニ擬作スベシ

第十六 罰女遊伴ニ對シ謎語ヲ以テ問フベシ

第十七 罰女偏脚ニテ跳躍シテ室内ヲ回旋スルコト凡ソ
四回爲スベシ

第十八 罰女遊伴既ニ授クル所ノ字母中或ハ六個音ヲ取
テ之ヲ字頭ニ置キ彼ノ花團ヲ造ルベシ例ヘバ其文字ノ

如キハ伊呂波中「アナウレシサ」ノ六字ト假定スベシ而シ
テ今此ノ六字ヲ以テ花團ヲ造ランニハ「ア」ハ菖蒲「ナ」ハ梨
「ウ」ハ梅「レ」ハ連翹「シ」ハ紫苑「サ」ハ櫻ノ類ナリ若シ遊伴等
彼ノ才智ヲ試ミント欲セバ即チ伊呂波中ニ於テ花名ノ
稀ニ音頭ニ在ルモノヲ以テスベシ譬ヘバ「ラリルレロ」ノ
如キ難題ヲ授クベシ此ノ如クナレバ百方苦心スルニ隨
ヒ知識開明シテ蘭龍膽等ノ花名アルコトヲモ審案シ出
スベシ

第十九 罰女二十個ノ員數ヲ逆ニ讀ミ習フコトハス

第二十 罰女一椅子ニ佇立シ何事ヲ論ゼズ遊伴ノ指令ス
ル所ニ隨テ其動作ヲ做スナリ或ハ顔口ヲ喝斜スル等ノ

事トス其舉動ノ間嚴ニ笑語スルコトヲ禁ズ然レトモ極
メテ幼兒ノ如キハ好テ失儀ヲ爲シ或ハ婦女子ニ適セザ
ル行狀等ヲ做サシメザルヲ要トス

第二十一 恭シク他ノ衆女ニ向テ禮敬ヲ行ヒ且祝賀ノ詞
ヲ呈シ了テ又恭シク之ニ相反スル所ノ凶言要語ヲ以テ
接對スベシ

第二十二 器女短歌ヲ唱フルコト數回

第二十三 器女「ホルンパイプ」ヲ奏スベシ即チ「スコットラ
ンド」ノ跳舞ノ名ニシテ一人ニテ奏スベキ者ナリ

第二十四 器女自己ヲ鍵眼ノ中ニ入ル、ヘシ其戲タル一
小片紙ニ書スニ自己ト云ヘル文字ヲ以テシ而シテ後其

書紙ヲ旋轉シテ鍵眼ノ中ニ納ルベキコトナリ

或ハ手指ヲ茶瓶ノ把子ニ通シテ一人ノ頭ヲ衝クベシ或
ハ茶瓶ノ柄ニ其指ヲ置キ其ヲシテ人ノ頭ニ衝觸セシム

第二十五 器女下條ニ記スル所ノ詞ヲ急促ニ反復スベシ
其時間停止或ハ謬妄ヲ做スヲ許サズ即チ左ノ例ニ照準
スベシ

余曾テ一花園ニ遊ブ茲ニ不屈嫗ノ織帶五名ヲ見シガ其
大莊院ニテ大幅ノ帶ヲ夥シク織卸ス余是等五人ノ廳セ
ヌ嫗ノ大幅帶ヲ夥シク織卸スモノ等ニ謂テ云フ織ルベ
シ大帶ヲ廳セヌ嫗等ヨト

第二十六 器女自ラ鏡ニ向ヒ之ヲ舐ルベシ

第二十七 罽女他人ノ舉クル所ノ謎ヲ臆解スベシ

第二十八 問辭トコトバヲ一語ニ爲セ

試ニ之ヲ做スニ「トヒコトバ」ノ五音ヲ綴リ直ストキハ「ヒトコトバ」ト做ル此問辭ヲ一語ニ爲セト云フ兩意ヲ含蓄シテ以テ惑ハシムル戲事ナリ

第二十九 撚線者後ニ詳カニ説ノ言ヲ反復スベシ

第三十 撚線者ノ言ヲ誦シ畢テ後直ニ次即チ第三十ノ科ノ料出品ノ主人ニ命ズルニ撚線者ノ語ヲ「全ク之ヲ」七音ニ綴ラント云フヲ以テス

試ミニ之ヲ做サンニハ即チ「マツタクコレヲ」ノ七音ヲ以テ綴ルニ過ギザルノミ唯撚線者ノ言ヲ七音ニ綴レト云

フト兩意ヲ含蓄シテ以テ罪者ヲ困迫セシムルナリ

第三十一 一大字ノ中ニ自己ノ姓名ヲ書スルナリ其事タルヤ石盤或ハ厚紙ノ面ニ石筆ヲ以テ唯一個ノ大字ヲ書シ而シテ自餘ノ字數ハ極メテ細小ニ其一大字内ニ記スノミ譬ヘバ静屋ト云フ號ヲ記スニハ又渡邊介ト云フ姓名ヲ纏ト書スルノ類ナリ餘ハ准知スベシ

第三十二 罽女ニ質シテ曰ク汝字謎ヲ知ルヤ曰ク之ヲ能クセザレドモ少シク學ベリ然ラバ則チ余間ハン汝直ニ答フベシ寺ノ山傍ニ在ルハ何ゾヤ曰ク峙タツベシ月ノ門外ニ懸ルハ何ゾヤ曰ク間ナルベシ即チ綴テ一對句ト做ル又一ヨリ十ノ數ヲ間フ且ノ底ハ何ゾヤ曰ク一ナリ

エヲ斷テバ如何曰ク二ナリ横川ハ三倒目ハ四聚玉ハ五
撒大ハ六皂脚ハ七開入ハ八末九田心ハ十ノ類ナリト解
明スル等ノコトヲ云フ

第三十三 問女ニ問答スル前條ニ相類ス譬ヘハ上八下八
王人中ニ在リ右七左七横山倒ニ出ツルハ何等ノ物ゾ曰
ク美婦ナルベシ上八下八ノ中ニ王人ノアルハ即チ美ナ
リ右七左七ハ女ナリ横山ハヨナリ倒ニ出ハ出ナリ綴合
シテ婦トナルヲ以テナリ此モ亦彼ノ絶妙好辭ノ例ト了
解スベシ上章ト意味ヲ同ウシテ綴字法ニ至テハ則チ異
ナリトス

第三十四 醫女自己ノ次位ノ女ニ語ルニイロハ中古ト反

トノ二字ヲ除キ他ノ同字ニテ媚詔ヒメノコトヲ事ヲ五回言フベシ

其一回毎ニ詞ヲ異ニシ一モコヘノ二字ヲ云ハザルノ類

第三十五 啞講師ノ遊戯ニ擬シ試ムベシ

第三十六 奇怪事ヲ記載シタル目錄ヲ反復スベシ即チ下
條ニ述ル所ノ如シ

余ハ孔雀ノ火ノ尾ヲ引キタル者ヲ見タリ余ハ火焰ヲ發
スル彗星ノ霞ノ中ニ墮ケシ者ヲ見タリ

余ハ周圍ニ長春藤ヲ卷キタル雲ヲ見タリ

余ハ地上ニ匍匐ヒクヒクセル榿木ノ高キ物ヲ見シ

余ハ鱈ヲ吞ミタル一甲蟲ヲ見シ

余ハ磁器製ノ盃ノ深サ大凡十五尺ナル物ヲ見シ

余ハ人ノ出ス涙ノ充滿シタル井ヲ見シ
 余ハ熾火ノ中ニ濡レ眼ノアルヲ見シ
 余ハ家ノ高サ恰モ月ノ如ク又月ヨリモ猶高キ屋宇ヲ見
 シ
 余ハ暗夜ノ深更ニ太陽ヲ見シ
 余ハ是等ノ畏ルベキ怪事ヲ目撃セシ人ヲ見シ
 猶一層ヲ増加シタル怪事ヲ云ハン
 余ハ岡牌一具ノ骨ヲ嚼ム者ヲ看シ
 余ハ英國王坐ニ位セル一犬ヲ見シ
 余ハ王「ジョオルジ」ノ一函中ニ鎖閉セラレシヲ見シ
 余ハ一方金ノ肥牛ヲ逐フヲ見シ

余ハ一男子ノ終夜煖手套ノ上ニ坐スルヲ見シ
 余ハ手套ノ蠟燭ノ光ヲ以テ新聞紙ヲ讀ムヲ見シ
 余ハ一婦人ノ生後未ダ十二月ヲ經ザルモノヲ見シ
 余ハ純金製ノ大表衣ヲ見シ
 余ハ二個ノ扣鈕ノ其夢ニ就テ相共ニ話スルヲ見シ
 余ハ既ニ聞ク友人ノ此ノ如キ事ハ止メヨト云フヲ
 第三十七 怪語ヲ復スベシ然レトモ之ヲシテ全ク妖怪ナ
 ラシムベガラス即チ其語中ノ句讀ヲ變換シテ怪異ナラ
 シメザルヲ得ルナリ其例左ノ如シ
 余ハ一孔雀ヲ看シ「火ノ尾ヲ引タル
 余ハ一彗星ヲ看シ「霞ノ墜タル

余ハ一雲ヲ見シレ周リニ長春藤ヲ卷キタル
 余ハ一樞木ノ高キ者ヲ見シレ地上ニ匍匐セル
 余ハ一甲蟲ヲ見シレ鱗ヲ吞ミタル
 余ハ磁器製ノ一盃ヲ見シレ十五尺ノ深サノ
 余ハ濡眼ヲ見シレ熾火ノ中ニ
 余ハ一家屋ヲ見シレ月ト高サヲ争フ
 余ハ大陽ヲ見シレ暗黒ナル深更ニ
 余ハ曾テ是等ノ畏ルベキ怪事ヲ目撃セシ人ヲ見シ
 更ニ珍怪事ノ解明シ
 余ハ同牌一具ヲ見シレ骨ヲ嚼ミシ
 余ハ一犬ヲ見シレ英國王位ニ坐セララル

余ハ王^レシヨオル^レヲ見シレ一函中ニ鎖閉セラレタル
 余ハ一方金ヲ見シレ肥牛ヲ遂フノ
 余ハ一男子ヲ見シレ終夜煖手套ニ坐スルノ
 余ハ一手套ヲ見シレ蠟燭ノ光ヲ以テ新聞紙ヲ讀ムノ
 余ハ一婦人ヲ見シレ末ダ十二月ヲ經ザルノ
 余ハ一大表衣ヲ見シレ純金ヲ以テ製スルノ
 余ハ二個ノ扣鈕ヲ見シレ其夢ミル所ニ就テ語ル所ノ
 友人ノ此ノ如キコトハ止メヨト云フヲ余ハ既ニ聞ケリ
 第三十八 醫女手ヲ以テセズシテ額上ノ六^レ邊^レ尼^レノ英^レ國^レ銀^レ貨
ヲ日本金ニテ取除クベシ即チ此戲伴ノ頭目タル者銀貨
朱餘ニ載ル
 十錢或ハ五錢一個ヲ取り其舌ニテ之ヲ濡シ最モ神速ニ

料料出品主ノ額ヲ打ツカ如キ狀ヲ做スベシ實際ニ就テ云フトキハ其時直ニ彼錢ヲ取り去テ掌中ニ隱藏シ置ケルナリ而シテ其出品主ヲシテ信服セシメンニハ始終其額上ニ錢ノ粘着スルガ如クスベシ然スルトキハ其女ハ客易ニ欺カルベシ如何トナレバ自ラ手ヲ以テ額ニ觸ルコトヲ禁ジタレバナリ且衆女モ相共ニ戲謔シテ一錢實ニ其額上ニ附着セリト呼做ス而シテ其女頻リニ頭ヲ掉テ其錢ヲ振墜サントスレドモ素ヨリ其物ナケレバ且怪ミ且信シテ實ニ額上ニ粘着セリト爲スニ至ル他ノ衆女モ皆同意ニ彼ヲ欺騙スルヲ要ス若シ彼自ラ欺カルハチ覺了スルトキハ即チ額上ニ一物ヲ留ラサルヲ究詰シ科

料品ヲ復スルコトヲ得ル此時ニ當テ確實ニ有無ヲ定メント欲シ其手ヲ額ニ觸ルレバ即チ他ノ料品ヲ出サマルヲ得ズ

第三十九 醫女室ノ一隅ニ佇立シ一人ノ之ヲ呼フヲ待ツベシ其一人ノ答フル初中後否ノ一語ヲ以テスベシ即チ次條ハ記載スル所ノ如シ實ハ緊要ノ問答トス然レドモ唯此語ノミニ眼ヲズ問者ノ發明ニテ自在ニ轉換シテ可ナリ

問テ曰ク汝此屋隅ニ留滞スルヲ好メルカ答テ曰ク否ト又問フ其事汝甚ダ困追スル所カ答フ否ト又問フ余汝チ戸外ニ誘ハン須ラク半時間ヲ待ツベキカ答フ否ト又問

フ汝終夜此處ニ滞在スルヲ欲スルカ曰ク否ト又問フ余
將ニ他ニ去ルベシ而シテ獨汝ヲシテ留マラシメンカ曰
ク否ト又問フ汝此隅ニ在テ猶暫ク止マルベキカ答テ曰
ク否ト

此結末ノ一間ニ至テハ即チ直ニ其屋隅ヲ去ルベキ許諾
ノ意ヲ含メリ是ヲ以テ其女戶外ニ出ルコトヲ得ル

第四十 罽女頭上ニ載クニ童男ノ帽子ヲ以テ室内ヲ旋
轉回歩スルコト三回タルベシ而シテ其帽子ヲ脱スルト
キ遊伴ニ對シテ禮拜ヲ爲スベシ

○仙人跳舞

仙人ノ形象ヲ板紙ノ厚キ者ニ彫ミ先ツ其顔面ヲ着色シ之ニ

帽子ヲ載カセ或ハ其體ニ畫クニ表衣ノ模様ヲ以テシ或ハ眞
實ノ衣裳ヲ裝束セシムベシ而シテ後其厚紙ニテ長鞋一對ヲ
造リ又之ニ彩スルニ鞋及ヒ仙人ノ着ル所ノ服衣ノ狀ヲ以テ
スベシ其仙人ノ背後ニ固着スル所ノ小紐ノ中ニ遊戯者ノ二
本ノ指ヲ插ミ其一指ニ置クニ片長鞋一個ヲ以テス而シテ其
偶人ヲ跳舞セシムルニ蘇格蘭ノ跳舞ヲ以テスルトキハ彼ノ
二指ノ如キハ實ニ仙人ノ裸膝ヲ露出スルカ如ク是ヲ以テ童
兒輩其偶人ノ跳舞スルヲ見テ眞個ノ肉體ニシテ眞個ノ小男
兒タリト觀想スルニ至ル余輩モ亦曠昔幼童ノ時ニ在テハ此
ノ如ク信仰シタリ

運轉女

此原意ナリ其義ノ趣向ハ日
本ノ抽戲又ハ遊舞ノ類ナリ

此玩具タル板紙ノ堅六寸餘ナルモノヲ圓形ニシ其上ニ糊着スルニ白紙ヲ以テシテ之ヲ製造ス其外面ノ縁ニハ銀紙若クハ金紙ニテ美麗ニ粧飾スベシ其面ノ如キハ題目ヲ記サン爲メ規材ヲ以テ數個ノ線界ヲ作シ中央ニ於テ其諸線ヲ接遇セシムヘシ而シテ此線ヲ畫ク所ノ者最モ能ク注意シテ其界線ノ間ニ畫スルニ赤線或ハ黒線一個ヲ印スベシ是線界ヲシテ容易ニ認識セシメンガ爲メナリ此圓形板紙ノ中央ニ又一個人ヲ以テスベシ其形極メテ細小ナルヲ要ス其一手ニ小サキ藁杖ヲ持タシム其杖ハ即チ紙面上ニ畫シタル詩ヲ指示スル爲メノ物タリ彼ノ針金ハ封蠟箱其他平カナル物品上ニ固着

第三十八圖



スベシ其偶人ノ如キハ自由ニ運轉スルニ堪フベク板紙上ニ高ク置クヲ要ス若シ兒女ノ自己ノ運命ノ吉凶ヲ探知セント欲スルトキハ即チ迅速ニ偶人ヲ回旋セシムヘシ其偶人ノ止マル所ニテ彼ノ藁杖ノ指ス所ノ詩ヲ讀ムベシ茲ニ詩二三首ヲ

記載シテ以テ其題目ト做サン

朝ヨリ夕ニ至ル其レ汝ノ快樂トスル所ナラン彼ノ間斷無ク空談笑語スルコト然レトモ汝緩慢空シク消スルノ日一日モアル無シ恰モ彼ノ滴下スル水ノ如シ

幼年ノ童女輩其有スル諸物ノ美麗ナルガ爲メ彼ノ貧者
ヲ賤シムベカラズ彼ノ「エルレン」女ノ德行ト其装フ所ノ
美服トニ眞個ノ禮義ヲ備フルアリ

彼ノ「エンマ」女ト「ロース」女ニ致ス贈物ハ其姉妹「シウ」ノ遺
ル所ダリ嗚呼彼ノ幼稚ナル「ジョーシ」ノイカニモ揚々飛
躍シテ此奇麗ナル太鼓ヲ見ント欲スルハ其レ奈何ゾヤ
絲針ノ紐及ヒ其他ノ物皆悉ク失耗セリ床上ニ在ル所ノ
針工囊ノ如キモ己ニ損取セリ又汝ノ上服モ汚レ且散レ
リ嗚呼汝ノ運ニ關シテ一モ吉利ナルコトアラザルベシ
○塞子樹或ハ樹心製ノ跳舞偶

木偶ノ形細小ニシテ極メテ奇麗ナル跳舞人形ナリ塞子樹ヲ

以テ彫造スル所余曾テ之ヲ見ヌリ今之ヲ作ラシニハ塞子樹
ノ一端ヲシテ頭面及ヒ半身像ヲ造リ終リ又他ノ一端ニ豕ノ
粗毛四個ヲ刺スベシ而シテ後其顔面ヲ畫キ頭上ニ小帽子ヲ
置キ而シテ手臂ヲ具シ恰モ少女ノ容貌ノ如ク裝飾スベシ既
ニ此ノ如ク修整完了スルニ至テ之ヲ大洋琴ノ響板ノ上ニ安
置シ其大洋琴ヲシテ音調ヲ急促ナラシムルトキハ彼ノ偶人
其上ヲ彼此跳躍旋舞スル甚タ妙ナリ此形像塞子樹ノ外樹心
ヲ以テ製スルモ亦佳ナリトズ

○開牌戲

原名「ト
ミノ」

一函中ニ象牙ヲ以テ製シタル長方形ノ牌子二十八個ヲ藏ス
各牌ノ中央ニ一線ヲ畫シ以テ一個中區別シテ二個ノ部ヲ做

セリ而シテ各部ノ面上ニ圓キ黑點若クハ朱點ヲ印セリ其各
 牌子ニ附クル所ノ點ハ各個兩數名ヲ以テス即チ四ト六又三
 ト五或ハ唯六トノミ二個印スルアリ或ハ三トノミヲ二個點
 スルモノナリ

此遊戯タル唯二個人ニテ做スヲ最モ適良ナリトス而シテ其
 又ハ牌子ヲ例マニ做シテ即チ其白キ裏面ヲ上ニシ兩人ノ間
 ニ分配シテ互ニ其意ニ隨ヒ相等數ヲ取ル兩人之ヲ取了テ其
 骨牌ヲ置クヤ必ス其縁ヲ以テ立テ敢テ平ダクスベカラス此
 自己ノ對手ヲシテ牌子ノ點ヲ悟ラザラシムル爲メナリ其試
 始ムルニ至テ先手ヲ着クルモノハ先キニ牌子ヲ分配スルコ
 トヲ做スベカラズ則チ枱上ノ中央ニ自己ノ持ツ所ノ骨牌一

個ヲ置クベシ今之ヲ行フ所ノ兩童女ヲ以テ假ニ「セン」女ト「ル
 シ」女ト做サン而シテ「セン」女先手ト成リ五ト二トヲ印スル
 モノヲ以テ始ム其時「ルシ」女ハ自ラ牌子某族中或ハ一個ノ
 五若クハ二ノ數點ヲ附スル牌子ヲ探索スルヲ要ス而シテ「ル
 シ」查出シテ一部ニ五ヲ印シ他ノ一部ハ六ヲ印シタル牌子
 ヲ得タリ故ニ之ヲ以テ彼ノ對手「セン」女カ正ニ置キタル者ニ
 密接シテ置ケリ斯クシテ二個五ノ數ナル牌子互ニ相遇フコ
 トヲ得ル次ニ要スル所ノモノハ二ト六トナリ而シテ「セン」女
 其集族中ニ於テ六ト四トノ牌子ヲ看出シ以テ「ルシ」女ノ置
 キシ六ノ次ニ置ク是ニ於テ「ルシ」女ハ二或ハ四ヲ印スル牌
 子ヲ求メ得ルヲ要ス何トナシバ其二又四ハ即チ己ニ置キタ

ル所ノ牌子ニ次ク所ノ數ナルヲ以テナリ「ルシー」女竟ニ其二
ト三トヲ印セル牌子ヲ查出シテ先キニ置キタル同數ノ牌ノ
次ニ置ケリ始ニ役ニ要スル所ノモノハ唯四或ハ三トアル牌
子ノミナリ此ノ如キノ手法心匠ヲ以テ在ル所ノ骨牌悉ク板
上若クハ案頭ノ中央ニ排列スルニ至テ止ム而シテ兩女ノ之
ヲ做スニ際會シ若シ一女前ニ既ニ排列セル骨牌ノ兩字ノ中
ニ一モ相對スル物ヲ持有セザルトキハ即チ自己ノ順ヲ失ヒ
敵手之ニ代テ復タ骨牌ヲ排列ス此遊戲ノ贏者タルモノハ其
自持スル所ノ牌子ヲ悉ク敵手ヨリ前キニ排列シ畢ルモノダ
リ

○類卓戲 原名「ド
ラフト」

此碁戲ハ二人相對シテ做ス所ノモノトス即チ一盤上ニ三十
二個ノ黒キ方形ノ罫及ヒ三十二個ノ白キ方形ノ罫ヲ盡キタ
ル局上ノ鬮枝ナリ其子數ハ二十有四ヲ限トス其中ヲ半分シ
テ十二子ヲ一色トシ他ノ十二子ヲ別色ト做ス余輩今假リニ
其色ヲ定メテ赤及ヒ白トシ之ヲ行フ所ノ兩女ヲ號シテ「マラ
イヤ」女及ヒ「ルウイサ」女ト爲サン而シテ「マライヤ」女ノ取ル子
ヲ赤色トシ「ルウイサ」ノ取ル所ノモノヲ白色ト爲サン而シテ
後兩女各之ヲ以テ盤上ニ排列ス其盤ノ中央ニ二列道ヲアケ
置クベシ此即チ戲事ヲ試問スルノ地位トスレハナリ彼ノ赤
白子ノ如キハ一次唯一罫ヲノミ進歩スルヲ得ル即チ一個ノ
黒罫ヨリシテ他ノ一黒罫ニ至ルナリ又常ニ其子ヲ遺ル其路

ナ斜メニシテ白罨ニ至ル可カラズ黑白ノ兩罨交々相雜テ班
 點ヲ爲スガ故ニ同色ノ罨ニ進メハ常ニ斜行スルナリ又自己
 ノ方位ヨリシテ敵手ノ方位ニ進マシムベシ兩女互ニ目的ト
 スル所ノモノハ即チ其子ヲシテ盤ノ一端ニアルモノヲ最モ
 片隅ノ罨ニ達セシムル是ナリ加之ナラズ又務メテ敵子ヲ多
 ク食フコトヲ做スベシ我子前ナル斜向罨ニ敵手在ルトキハ
 之ヲ跳越シテ敵手ヲ食ス此敵手タル者ノ衆子ヲ奪領スルハ
 其勢力ヲ弱クスル所以ナリ若シ片端ノ最モ片側罨ニ自己ノ
 子ヲ排列シタルトキハ其子皆王ト做リ其王ト做ル者ハ前ニ
 進ミ後ヘニ退ク自在ノ權力ヲ有ス其之ヲ動スヤ必ズ常ニ斜
 行スベシ而シテ次ニ在ル所ノ一罨中ニノミ至ラシムベシ素

第三十九圖



結局ニ至ルマデ之ヲ用井ルコトナシ其結局ニ至テハ即チ一
 個ノ王者トナレリ凡ソ相競フテ敵手ノ子ヲ畧取スルヤ始終

ヨリ其兩女ノ其子ヲ置ク互ニ順次
 ナ以テス「マライヤ」女若シ我子ヲ動
 カシテ自己ノ子ノ後ニ一個ノ空罨
 ナ爲シ「ルウイサ」女ノ一子直ニ其隣
 次ニ在ルトキハ「ルウイサ」女其一子
 ナ跳躍セシメ「マライヤ」女ノ子ヲ越
 サシムベシ此ノ如クナレバ「マライ
 ヤ」女ノ一子ハ「ルウイサ」女ノ子ノ囚
 徒タルヲ以テ盤上ヨリ取去リ戲ノ

斜路ニ進ムコトヲ要ス王者ハ前後進退自在ナルモノタリ之ヲ除クノ外ハ唯敵手ノ方ノミニ向テ進撃ス若シ「マライヤ」女ノ一子「ルウイサ」女ノ一子ニ密通スルコトアレバ即チ「マライヤ」其一子ヲ動カシ次回ニ於テ「ルウイサ」女ノ子ヲ奪ヒ去ラント欲スルトキ「ルウイサ」其子中ノ一子以テ其空罨ヲ充タスコトヲ做ス若シ二子有リテ他手之ヲ防護スルノ機無ケレバ即チ超越スルヲ得ル然レトモ各子ノ後ニテ斜メニ空方目アラザルベカラズ又「ルウイサ」女適ニ「マライヤ」ノ一子ヲ畧取セシ後ニ「マライヤ」モ亦直ニ「ルウイサ」女ノ其一子ヲ食盡シテ之ヲ報答スルコトモ有ルベシ此ノ如キハ「マライヤ」ノ先見スル所アレバ即チ「ルウイサ」ニ對シテ我子ヲ守ルコト甚タ容易ナリ

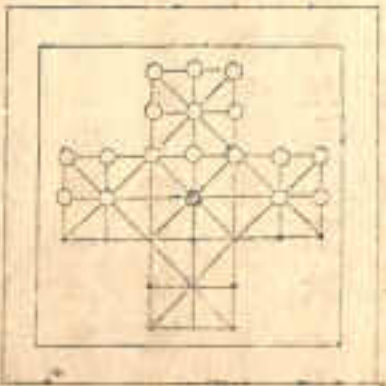
トス又一子アリ敵手ノ二子ノ間ニ夾マレタルモ道レ出ヅヘキ活手段ヲ得ベキナリ若シ其一子ヲシテ盤ノ片側ノ極處ニ至ラシムルコトヲ得バ即チ其一子ノ如キハ一個ノ王者ト化シ其上ニ他ノ一子ノ敵手ヨリ奪取シテ盤外ニ除キ置キタルモノヲ以テ之ニ重ヌル時ハ則チ眞ニ王ニ冠ヲ戴カスト謂フベキノミ其王者タルモノハ行歩自由或ハ先行シ或ハ却歩シ進退意ノ如キヲ得ル故ニ王ハ子ヨリモ其權力最モ強盛ナルヲ以テ兩女我子ヲシテ王タラシムル彌多ケレバ戲局ノ贏者ト云フベシ能ク巧手ニ之ヲ做ストキハ常ニ此ノ如キ妙計ヲ得ル夫レ敵手ノ子悉ク爲メニ畧取セラレ、カ或ハ又盤ノ片隅ニ放逐シテ敢テ動作スルヲ得ザラシムルニ至テハ戲事ノ

結局トスベシ若シ自己ノ領畧スベキ權力ヲ有セシトキ好機
 會ヲ誤リ之ヲ爲サザルニ於テハ即チ我子ヲ留セラレ敵手盤
 上ヨリ除キ去ルノ權アリ之ヲ稱シテ「ホツフイソグ」トス凡ソ
 此甚戲ヲ做スノ始メニ當テ其先手ヲ着クル者ハ兩女互ニ其
 順序ヲ以テスルアリ又ハ前ニ既ニ試ミタルトキ勝利ヲ得シ
 者ヲ先手ト定ムルアリ

○狐鶴戲

此戲技タル下條ニ書ク所ノ盤上ニ於テ做ス者トス亦類象戲
 ノ屬ナリ茲ニ十五個ノ子ヲ設ケ其中ニ就テ十二個ノ子ヲ一
 種ノ色トシ殘ル所ノ三個ヲ他ノ一種色ト做シ以テ鶴鳥ノ相
 集ル形象ヲ作ル而シテ狐ハ其子ヲ二重ニ累ヌベシ是ハ尙ホ

類象戲ノ王者ノ如シ或ハ指環等ヲ施スモ可ナリ而シテ一遊
 者ノ意唯此一狐ヲ籠絡シ捕ヘ獲ベキヲ務ム他ノ一遊者ハ十
 五個ノ鶴鳥ヲ保護スベシ茲ニ其盤ノ正中ニアル圓點上ニ其
 狐ヲ安シ鶴鳥ノ如キハ盤上數畫ノ點
 頭ニ置クベシ其狐ハ二方角ニ行クコ第
 トヲ得即チ前後進退自在ナリ鶴ノ如四
 キハ唯前路ニノミ進ムヲ得ル夫レ鶴十
 ノ目的トスル所ノモノハ彼ノ狐ヲ籠
 絡シテ自恣ニ其利スル所ヲ得ルヲ制



スルニ在リ而シテ狐ノ目的ト定ムル所ノ如キハ務メテ智力
 ヲ盡シ以テ鶴鳥數個ヲ食センコトヲ爲スニ在リ狐ノ鶴ヲ得

ルヤ其鶴ノ居所ノ隣次ノ方目空閑ナルトキハ即チ之ヲ跳越
 シテ其子ヲ食フナリ若シ其狐數多ノ鶴ヲ食盡シ鶴群ヲシテ
 己ヲ制御スル能ハサラシメバ則チ狐ノ贏利ヲ得タリトス鶴
 若シ狐ヲ圍ミ追捕甚タ迫切ニシテ彼道ル、ニ道無キニ至レ
 バ素ヨリ鶴ノ一群大勝利ヲ有スル所タリ夫狐ト鶴ト衆寡同
 シカラスト雖モ其動歩スル必ス一次ニ一點算ヲ過グベカラ
 ズ常ニ盤上ノ畫線ニ沿フテ進マシムベシ今茲ニ一葉紙ノ大
 キナルモノ並ニ筆界木一具ヲ備フルアラバ此遊戯ヲ奏スル
 ノ板盤ヲ製スル甚ダ容易ナルベシ

獨樂戲 原名ト

夫レ人心思ヲ快喜暢達セザルコト能ハズ況ヤ少年ノ童兒輩

獨樂戲 原名ト



ニ於テチヤ其嬉戲ヲ做サンニ近隣衆童兒ノ交遊スル者無キ
 トキハ一人一戲事ヲ爲シテ情意ヲ樂シマシム之ヲソリタイ
 ル即チ獨樂戲ト稱ス往日佛國「パスダイ
 ル」ト號スル一大獄舎ニ繫ガレ數年ヲ歷
 タル一囚人ノ新タニ工夫發明スル所ナ
 リト世ニ稱揚スル所ナリ此戲ヲ奏スル
 料ニ設タル所ノ板ハ形圓ニシテ數多ノ

孔ヲ穿ツ其孔竅ノ幅凡ソ五分許ニシテ其數ハ五十以上乃至
 六十ヲ以テスベシ而シテ此ニ填ムルニ若干ノ栓子ヲ用井其
 孔ヲシテ悉ク充タシムベカラズ此戲ヲ做スニ當テ其末ダ充
 タザル所ノ孔ニ填ムルニ他ノ栓子ヲ超越セシメターノ栓子

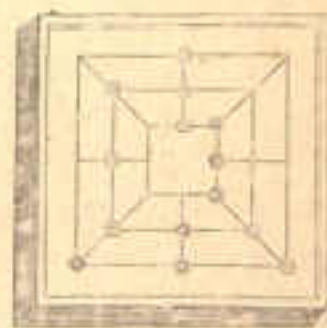
ヲ以テスベシ此ノ如クシテ超過シタル所ノ栓ヲ取除クベシ
 此方法ニ隨ヒ逐次ニ取去リ唯殘ル所ノ栓子一個ノミニ至ル
 マデ戲ヲ做シ他ノ數栓悉ク除クニ至ルベシ又一個ノ栓タリ
 トモ其間他栓ト一孔無ク密ニ接通スルニ非ザレバ決シテ他
 栓ヲ越過スベカラズトス或ハ此獨戲ヲ始ムル唯中央ナル栓
 子ノミ取除ケ置ケルモノアリ今獨戲ヲ做スニ普通使用スル
 所ノモノハ硝子製ノ球ニシテ之ヲ彩飾スルニ種々ノ色ヲ以
 テセシナリ

○三子象戲原名モルライスの譯ノ名
 稱ナシ即チ象戲ノ一種

此遊戲ハ四五歳ノ小兒ト雖モ容易ニ學ビ得ベキ所ナリ「モル
 ライス」盤ノ如キモ彼ノ象戲盤ノ背上ニ於テ做シ得ベキ者タ

リ其碁子ノ如キモ亦同一ナルヲ以テスレバナリ此戲ヲ做ス
 ニハ一個ノ盤トスベキ者ヲ持有セザレバ則チ筆墨及ヒ界木
 ヲ備ヘテ一葉ノ大紙ニ畫セバ容易ニ造ルヲ得ベシ此戲ニ具
 スル所ノ子數十有八個ニシテ其半數九個ヲ分別シ之ニ塗ル
 ニ二種ノ色ヲ以テス而シテ其活動樞機ノ用ハ三子ノミ戲者
 ノ目的ト做ス所ハ一列ニ三碁子ヲ排列スルヲ以テシ又敵手
 ノ斯ク爲サンコトヲ妨グルニ在リ今此ニ「スウーザン」女ヲシ
 テ赤色碁子ヲ取ラシメ「マリー」女ヲシテ白色碁子ヲ取ラシム
 ベシ彼象戲ニ於テ爲スカ如ク其碁子ヲシテ一度ニ碁石ニ置
 クベカラズ丙女各順チ逐ヒ盤上一回ニ一碁子ヲ以テスベシ
 其戲間常ニ昇ノ隅角或ハ畫線ノ相繼横スル十字形ノ處ニ碁

第十四圖



子ヲ置クベシ而シテ其子三個ヲシテ直
 線ニ置クトキハ即チ一刻ヲ做スベシ若
 シ之ヲ排置スル能ク巧爽ニ做シ得ルト
 キハ一子ヲ以テ二列ノ通用ヲ做サシム
 ベシ若シ彼「スウーサン」女「マライヤ」女ノ
 將サニ一列ヲ造ラントスルヲ目撃セバ直ニ自己ノ一子ヲ以
 テ「マライヤ」女ノ棋子間ニ置キ以テ彼ヲ妨碍スベシ若シ「マラ
 イヤ」女モ能ク一列ヲ做シ了ルコトヲ得ルトキハ其敵手「スウ
 ーサン」ハ爲メニ其一子ヲ料料トシテ出サマルヲ得ズ即チ「マラ
 イヤ」其子ヲ取テ盤外ニ出ス「マライヤ」其料料基手ヲ捉ラントス
 ルニ當テ務メテ「スウーサン」ノ排列セシ棋子ヲ破ルベカラズ

夫レ斯ノ如ク此方法ニ遵守シテ各其棋子ヲシテ盤上ニ排列
 セシ了ラバ即チ其子ヲ動使スベシ凡ソ棋子ヲ動使スル其
 驛線ニ沿フテ一回毎ニ一點ヨリ次ノ一點ニ動カスベシ其目
 的トスルハ猶一列ヲ做スコトヲ云フナリ盤上彼此ノ處ニ至リ
 其子ヲ動作セシメ敵手ノ子間ニ挾ミ之カ路ヲ截斷シ以テ其
 利ヲ得ザラシム若シ一女新タニ一列ヲ造ルトキハ其敵手ヨ
 リ一子ヲ取テ盤外ニ除クヘシ而シテ其子數唯二個ニ減少セ
 バ直ニ戲ヲ休メテ取テ取ラザルコトヲ得ズ何トナレバ三個
 アラザレバ以テ一列ヲ做スベカラザルヲ以テナリ余會テ田
 舎間ニ遊寓セントキ幼兒輩ノ此戲技ヲ樂ムモノヲ目撃セリ
 其時兒輩良好ノ器具ヲ欠クヲ以テ其盤ヲ造クルニ古函ノ蓋

上ニ白聖ヲ抹シテ畫線ヲ爲シタリ又其棋子トスル所ノモノハ赤白ヲ塗リタル物ヲ用ヰズシテ之ニ代用スルニ乾豆或ハ穀粒ヲ以テセリ

○教誡遊戲部

○歴史牌ノ戲

英吉利ノ歴史戲ノ如キハ下條ニ記載スル所ニ因リテ倣習スベキモノタリ

倫敦府遊戲上ニ就テ示サン其牌子ノ數六十アリ而シテ各個其牌子ノ記號ヲ彩飾スルニ赤色藍色綠色及ヒ黃白等ヲ以テセリ茲ニ其趣旨ノ區別アルヨリシテ又各四種ノ牌子アリトス即チ第一世「ウイリヤム」人名ノ牌子四「サーアイザック、ニユー

トシ氏ノ牌子四「セリト、ゼームス、バレー」スノ牌子四其佗モ此ノ如シ余輩今此戲事ヲ奏スル者ヲ假ニ定メテ「マライヤ」女「ジヨリヤ」女「エミリー」女及ヒ「ハルレー」女ト倣サン其牌子ヲ權セテ分配スル所ノモノヲ「マライヤ」女トシテ其數同一ニ回致スベシ而シテ「ジヨリヤ」女ハ幹事「マライヤ」ノ右手ノ側ニ坐スルヲ以テ戲局ノ先手ヲ倣スモノトス故ニ其意ニ適スル所ノ一牌ヲ置テ事ヲ始ム譬ヘハ「マクナカルタ」英國法律ノ名ノ牌子ヲ以テスルトキハ其初ノ高聲ニ題名ヲ誦讀スベシ若シ「エミリー」女其次順ニ當リシモ「マクナカルタ」ノ一牌子ヲ有持セバ亦其銘ヲ讀過シ坐上ニ置クベシ又「ハルレー」女モ其牌子ヲ有持セバ亦二女ノ如ク爲スベシ若シ「ハルレー」之ヲ自ヲ持セサ

ルトキハ其左手ノ側ニ隣坐スル「マライヤ」女ニ一牌子ヲ借ル
 ナ要ス其時「マライヤ」女ハ自ラ持スル所ノ數牌子ノ背ヲ「ハル
 レート」女ノ前ニ捧クルコトヲ爲ス爾時「ハルレート」ハ我意ノ
 如ク其數個中ヨリ一牌子ヲ取ル若シ其牌子偶幸ニ「マダ」ナカ
 ルダ」ノ牌子ナルトキハ「ハルレート」モ之ヲ誦讀ス然リト雖モ
 若シ其牌子要スル所ニアラザレバ以テ他ノ機會ヲ待ツベシ
 其奏スル一回ノ順序ヲ失フト爲ス戲場ノ贏者トスルモノハ
 衆ニ先ナテ其牌子ヲ悉ク讀ミ出シ了ル者トス若シ又或ハ人
 ノ所持スル數牌中同銘ヲ記セルモノ二個ヲ有スルトキハ譬
 ヘバ「ゼームス」街ト云フ牌二個アレバ其人一度ニ續テ其二牌
 ナ誦スルヲ禁ス其一個ヲバ再ヒ其次順ニ際スルニ至ラザル

マダハ有持スベシ是等ノ歴史牌子ヲ用キテ他ノ少年諸遊戯
 ノ如キモ奏スルヲ得ベキモノナリトス即チ「オールド」ハナエロ
 ル遊戯名「マトライモニー」遊戯名等ノ如キ是ナリ凡ソ此戲事ヲ做
 ストキハ其牌子ノ銘ヲ讀ムテ廢スルナリ倫敦牌子ヲ以テ彼
 ノ「オールド」バチユロル」戲ヲ做ストキハ即チ「サーアイザツク、ニ
 ユートン」氏ノ牌子三具ヲ殘シテ第四具ヲ以テ「オールド」バチユ
 ロル」ト做シ使用スベシ又「マトライモニー」戲ヲ奏スルトキハ
 即チ唯十有二牌子ノ各其色ヲ異セシモノヲ要ス其餘殘牌子
 ノ如キハ悉ク使用スベカラズト

○地理遊戯

此遊戯ハ木版面ニ糊着セシ地圖ヲ以テ做スベシ其之ヲ作ル

形状種々一ナヲス切斷スルノ大小モ亦同シカラズ地理ト歴史トヲ合一ニスルカ爲メニ某地ノ近傍ニ起レル某ノ事跡ヲ記スルヲ以テナリ譬ヘバ「ベスレーム」ノ近傍ニハ印度ノ智者耶蘇降誕ノ時一星ノ見ハル、ヲ見テ其星ヲ追尋テテ遂ニ「ベスレーム」ニ達セリ即チ此地ニ於テ耶蘇生レタリト彼ノ救世主ノ繪像ヲ寫シ「サンサリウエーデル」ノ邊ニハ「コロンプス」ノ上陸シタル形状ヲ模スルノ類ナリ

此地圖ヲ幾片ニモ裁斷シテ之ヲ集合シ以テ歷史上ノ情形ニ適當セシムルコト此遊戲ヲ爲ス少年生徒ノ職務ナリ

或ハ此戲ヲ做スノ木版ニ孔竅ヲ穿テ之ニ插ムニ木片栓數多ヲ以テシ其木片上ニ都邑村落郡國ノ名ヲ記シ置クベシ而シ

テ遊戲者ハ其栓ヲ適當ノ處ニ插ムヲ以テ先務トス其版面ニハ經度緯度ヲ記載シタリ

前戲ノ同種類ニ「サートトム」即チ獨樂ノ一種ニシテ手指ヲ以テ自由ニ旋舞セシムルノ技ナリ其形圓ナラズ八角或ハ十角ニシテ各側ニ數點アリ之ヲ旋ラシテ其舞ヒ終ル處即チ幾何點ノ上タルヲ認識シテ着手スルノ媒ト做スモノナリ此具戲モ亦數多アリ兒童ノ爲メニ贈物ト做スニ最上ノ品タリ具戲ノ中ニ天造物記ノ圖アリ許多ノ動物アリ其中ニ具載シテ各畫ニ其數ヲ記號セリ此遊戲ヲ爲スニハ自ラ「サートトム」ト記號トヲ以テス若シ「サートトム」旋轉シテ舞ヒ了ルトモ現ハレタル數ニ隨テ其記號ヲ動カスナリ兒童ハ其現ハレタル數ノ

動物ヲ説明シ而シテ獅子ニ至ルトキハ即チ勝算ノ點ヲ占ム
之ヲシテ獅子ニ及バシメザルノ工夫ヲ運ラシ務メテ之ヲ妨
碍スルニ種々可笑的ノ規則アリ

又英國王ト稱スル同種ノ遊戯アリ最モ顯明ナル事情ヲ見ハ
シ之ニ數ヲ點シ置ク戯者ノ其記號ヲ置ク處ノ事情ハ其兒ヲ
シテ各分明ニ説得セシムルヲ要ス

「ボーライトツーリスト」禮讓アル周遊ト云フ者ハ巴里府中ノ

最モ壯麗ナル築造物ヲ發見シ且ツ之ヲ説明スヘキモノナリ

「バルルー、トラヴェル」客舍ノ行旅ト云フ所ノ遊戯ハ世界中

最モ著明ナル各地所ト其解説トヲ見ハスモノナリ

格物學ノ遊戯ト稱スルモノハ輕氣球又光學視學ニ用ヰル所

ノ三角玻璃或ハ汽船等ヲ見ハシ且ツ之ヲ説明シ之ニ數ヲ附
クルモノナリ

「ミロルオラツルース」即チ眞鏡ハ功德種々ノ比喻ノ圖ヲ具シ
且ツ附スルニ許多ノ奇談ヲ以テシタルモノナリ

又此同種類ニ猶太史算學年代記等ノ遊戯アリ是皆「ナー」トト
ムレト記號トヲ以テ遊戯ヲ奏スルモノナリ

「チヤイニスアツブル」「チヤイニス」ハ支那人ナリ「アツブル」ハ人ノ

ノ戯タルヤ木片ノ方形三角形等ノ物ヲ以テ奏スベシ此木片
ヲ種々ニ並立シ色々ノ數學形狀ヲ設成スルヲ戯者ノ趣向ト

做ス

「モセツク」「モセツク」ハ切リ散メタノ戯タルヤ殆ト前條ノ手段

ニ類セリトス譬へハ茲ニ一函アリ木片ノ三角形ナルモノ五
 十個ヲ入レタリ而シテ其木片ハ黃ト黒トノ二色ヲ以テ彩飾
 セリ之ヲ以テ無數ノ模様ニ聯合シテ之ヲ排列スルガ爲メナ
 リ又之ニ附属スル所ノモノニ一小冊子ト版盤トノ二ツアリ
 是ハ其形容ノ變化シ得ベキ限りヲ悉ク現ハシ寫セルモノニ
 シテ無盡藏ノ意味ヲ含蓄シタルモノトス此ノ如キ戲技ニ至
 テハ小兒輩ヲシテ後年自ラ種々ノ情形ヲ思索シ出スベク才
 智ヲ練磨シ得ルニ至ラシムルノ好手段ナリト謂フベシ假令
 遊戲ノ器具兒童ノ嗜好ニ適合セザルモノアリト雖モ幾何圖
 典ヲ以テ習慣セシムルノ最モ緊要有用ノ技タリ
 以上説過スル所ノ數遊ノ種戲ハ皆頗ル溫和靜雅ナル者ニシ

テ童兒輩ヲシテ大ニ比喻教育ノ益ヲ得セシメ且ツ遊興雅致
 ナ存シタレハ冬時寒夜等ニ當リ團樂火爐ヲ圍繞シテ俱ニ此
 等ノ嬉戲ヲ做サンニハ實ニ最良ノ一樂事ナリト謂ハザルベ
 カラズ

教育遊具

即今吾黨ノ遊具ニ富ル實ニ黄金ノ世黄金ノ世トハ原語ニテ最盛ナル世ト云フノ意
 ト稱スベキナリ斯ク器具ノ千種萬類ニシテ全備セルコト古
 來未曾有ノ事トス其品無數奇巧絢美ヲ究メ一々兒輩ヲシテ
 歡喜シ延テ其父母ニ及ヒ快心悅目セシムルニ足レリ是他無
 シ其教ト樂ミトテ交ヘ有スルノ戲技ナルヲ以テナリ

「タンザフル、アリテメナツク、アシド、セオメントリフオール、ナル

ドルン」即チ兒童了解シ易キ算術及ヒ幾何學等ノ思索生智ノ
 戲ナリ其法木製版子ノ一面ト一面紙ノ算術ノ初法ヲ説明セ
 ルモノトヲ以テス此説明シタル算法ハ兒童ノ容易ニ學ビ得
 ベキ術ニシテ且ツ幼年ヲシテ嬉ヒ樂ミ明亮ニ其意ヲ會得セ
 シムベキモノタリ兒童ノ此技ヲ做ス實物ヲ以テ加減シ乘除
 スルコトノ石盤上ニ書記シタル圖式ヲ以テスルヨリ遙ニ敏
 捷ナル妙手段ト做ス

量體術ノ簡法モ亦同シク幾何學ヲ修業スル爲メノ一助ト做
 レリ
 兒童ハ許多ノ技術問題ヲ説明セル木片ノ形容數種ナルヲ具
 シタル一函ナリ余輩之ヲ用ヰテ兒童ト號ス學校ニ在テ之ヲ

行フ頗ル佳典ヲ催スモノニシテ且ツ教訓ト爲スニ足レリ
 假設ノ建築戲具是亦一函ニシテ三種ノ大ナル煉化石ヲ有ツ
 モノニシテ兒童ノ長幼ヲ論ゼズ共ニ陳列シ智巧ヲ興起スル
 モノタリ

實地建築遊具此技タル前條ノ戲具ニ漸ク習熟シタル後又益
 精美ナルモノヲ造立セント欲スルトキ使用スル所ニシテ此
 ニ附属セル指教ノ書冊アリ此中ニ美麗ナル築造ノ圖畫六個
 ナ揭示セリ此六圖ニ模倣シテ建築セシムルカ爲メナリ然リ
 ト雖モ兒童ノ銃才ト工夫トヲ以テスルニ及テハ此六圖ニア
 ラザル所ノ數種新様ノコトモ做シ得ベキナリ

音樂遊戲

是新造ノ遊戯ニシテ近來出版セシ所ヨリ大ニ行ハル友人此
 樂技ヲ兒女子ニ教授シタルヲ試ムルニ其法頗ル簡良ニシテ
 乳臭兒ト雖モ猶能ク緩急ノ音節ヲ會得スルニ至レリ其音調
 モ亦頗ル齊整ニシテ煩雜ナラズ其調曲ヲ爲ス左手ノ舉按彈
 法ノ如キモ亦能ク會得スベシ
 音調節度ノ譜ヲ記スルニ小木片或ハ厚紙ヲ以テス其譜ヲ並
 列スルハ猶活字ヲ植ルカ如ク蓋上ニ於テフベシ其戲伴ノ
 首長タルモノ樂譜ノ一冊子ヲ携帶シ並列スルノ方法ヲ指揮
 シ或ハ別種異様ヲモ倣サシムベシ衆兒聚首シテ之ヲ樂ムノ
 際頗ル歡笑ヲ發セシムルヲ要ス
 兒女輩ノ一目シテ直ニ樂譜ヲ誦スベク且ツ容易ニ學ヒ得ヘ

キノ方法ハ之ヲ以テ最良トスヘシ詩ニ曰ク

今爲ス遊戯ノ佳典ニ因リテ兒輩ノ困苦スル意ヲ消遣セ

リ

兒女ノ遊戯ハ兒女ヲシテ娛樂セシム

○暗記戲

此遊戯ノ如キハ余ノ肯テ舉用セザル所ナリ何トナレバ暗記
 ノ助ケノミヲ爲セバナリ夫レ思慮ナキノ語ハ更ニ神識ニ益
 ナシト雖モ亦一興味アル戲事ニ供スベシ即チ一行ノ語或ハ
 一句ノ詩歌ヲ幾回モ連續シテ言ハシムルニ或ハ意義無キコ
 トヲ云ヒ或ハ言ヒ誤ルトキハ直チニ過料ヲ出サシムベキ好
 機アルヲ以テナリ余童女ノ其學科中ノ一事ヲ諳記シ得タル

者ヲ識レリ然レトモ其何義タルヲ知ラザルナリ又一幼年生
 ノ其學科ノ書語ヲ悉ク暗記シタレドモ少モ其語ノ意味ヲ解
 スルコト無キモノヲ見タリ又嘗テ兒輩ノ問答スルヲ聽ケル
 コトアリ一兒問フ合衆國ノ海岸ヲ發見セシ人ハ誰ソヤ一女
 答フ大ナル蛇ト鱈魚トナリト試ニ思ヘ此女ハ只管ニ「リオド
 ラブラタ」地名南亞米利
 加ノ大河ナリノ河濱ニハ何等ノ物出テ害ヲ爲スヤ
 ト云フノ問ヲ一心ニ待居タレバ其書ノ義理ノ如キニ至テハ
 毫モ注意セザレバナリ同ジク思慮セズシテ語ヲ暗記セル風
 習ヨリシテ他ノ童女曰ク「ハルトフオルト」ハ商議盛ナル都會
 ナリ而シテ「カチベツク」河ハ猶「ウオートルヴイル」河ノ如クニ
 シテ且ツ製靴ノ盛ナル船航ノ出ル河ナリト若シ此童女語ノ

意義ヲ正シク知覺セハ當ニ云フヘシ「ハルトフオルト」ハ商業
 盛ニ且ツ製靴盛ナル都會ナリト是ニ由テ余ハ唯遊戲ニ於テ
 ノミ童女輩ノ語意ヲ思索セスシテ語脉ヲ暗記スルコトヲ姑
 ク許セリ幼年生ハ各辭ノ相適スルニ至ルマテ此意ヲ用井サ
 ルノ風習ヲ以テ暗誦スヘキナリ此藝ハ童女ノ善ク識レル「ジ
 ヤツク」ノ建タル家ト云フ戲ニ頗ル類セリ

○老婆及山羊兒

茲ニ一老婆アリ一小銀貨ノ地上ニ墜ナタルヲ拾ヘリ而シテ
 之ヲ以テ一個ノ山羊兒ヲ購得ス而シテ市街ヲ過テ我家ニ還
 ラントスルニ當テ彼ノ山羊兒隨ヒ來ラズ會老婆一狗子ヲ見
 ル即チ謂テ云ク狗子請フ山羊兒ヲ喫セヨ山羊兒進歩セザル

ベシ而シテ余月影ヲ望ムニ己ニ夜半ニ過キタリ余ト山羊兒
ハ一時前必ス我家ニ在ルヘキ理ナリト既ニシテ老婆僅ニ進
行シテ又一杖ニ會フ即チ謂テ云ク請フ杖子狗ヲ打撻セヨ狗
山羊兒ヲ喫セザルベシ山羊兒進歩セサルヘシ而シテ余月影
ヲ望ムニ云々ト老婆又少シク進行シテ火ニ會フ即チ曰ク請
フ杖ヲ燒却セヨ杖犬ヲ打撻セサルベシ狗山羊兒ヲ喫セサル
ヘシ山羊兒進歩セサルヘシ而シテ余月影云々ト老婆復々暫
ク行テ水ニ會セリ即チ云ヘワク請フ水ヨ彼ノ火ヲ消滅セヨ
火杖ヲ燒却セザルベシ山羊兒進歩セザルベシ而シテ余月影
ヲ云々ト又老婆僅々歩シテ牛ニ過ヘリ即チ之ニ語テ云ク牛
ヨ汝請フ水ヲ飲ムヘシ水火ヲ消滅セサルヘシ火杖ヲ燒却セ

サルベシ杖狗ヲ打撻セサルヘシ狗山羊兒ヲ喫セサルヘシ山
羊兒進歩セサルヘシ而シテ余月影ヲ見ルニ既ニ夜半ヲ過キ
タリ山羊兒ト余ト一時前必ス家ニ還ルヘキ理ナリト
屠兒是ニ於テ牛ヲ屠ル牛ハ水ヲ飲ム水ハ火ヲ滅シ火ハ杖ヲ
燒キ杖ハ狗ヲ打チ狗ハ山羊兒ヲ喫ム山羊兒ハ進歩シ老婆ハ
再ヒ我家ニ還レリ

○王ノ圖

此遊技ニ彼ノ「ジャツク」ノ建タル家ト云フ戲ニ近シトス唯一
人ニシテ悉ク之ヲ言フコトヲ得ル若シ謬誤アレハ過料品ヲ
出サシム或ハ環坐セル衆童女一人毎ニ交番シテ順次ニ言フ
モ亦佳ナリ

第一童女次ノ童女ニ一鍵ヲ授ケテ云ク余向ニ王ノ園ノ鍵ヲ賣ルト次ノ童女之ヲ領取シ又其次ノ女ニ贈リテ云ク余向ニ王園ノ鍵ヲ結ヘル糸ヲ沽ルト第三女又之ヲ第四女ニ遣ハシテ云ヘラク余向ニ王園ノ鍵ヲ結ヘル所ノ糸ヲ囓鼠ヲ沽ルト第四女復タ云々余向ニ王園ノ鍵ヲ結ヘル所ノ糸ヲ囓ミタル鼠ヲ獵スル所ノ猫ノ沽ルト第五女ノ曰ク余向ニ王園ノ鍵ヲ結ヘル糸ヲ囓ミタル麗ヲ獵ル所ノ猫ヲ囓ム狗ヲ沽ルト此ノ如ク漸次其語ヲ増加スルコト好ム所ニ從フ兒輩宜シク是等ヲ類推シテ其鏡才ヲ進歩セシムヘシ

○佛語ノ暗誦戲原書佛語ヲ以テ筆記セリ是英國童女子佛學佛語ヲ學習スル者ノ爲メニ學ッナリ

我「ローム」ノ都

余汝ニ我「ローム」ノ都ヲ賣ラン此都下ニ街アリ此街中ニ宅アリ此宅中ニ廣庭アリ此庭中ニ園アリ此園中ニ磴アリ此磴上ニ室アリ此室中ニ寢床アリ此寢床ノ傍ニ卓アリ此卓上ニ櫃アリ此櫃上ニ籠アリ此籠中ニ鳥アリ鳥ノ曰ク我籠中ニ在リ籠云フ我籠上ニアリ籠云フ余卓上ニアリ卓云フ余寢床ノ傍ニ在リ寢床云フ余室中ニアリ室云フ余磴上ニアリ磴云フ余園中ニ在リ園云フ余庭中ニアリ庭云フ我宅中ニアリ宅云フ余街中ニ在リ是ニ於テ余我ガ「ローム」ノ都ヲ賣ルナリ

我伯母ノ庭

彼ノ者我伯母ノ庭ヨリ來ル豈我ガ伯母ノ庭ハ美ナルニアラ
 スヤ我伯母ノ庭中ニ樹アリ豈我伯母ノ庭ハ美ナルニアラス
 ヤ我伯母ノ庭ノ樹中ニ竅アリ豈我伯母ノ庭ノ樹竅ハ美ナル
 ニアラズヤ我伯母ノ庭ノ樹竅中ニ巢アリ豈我伯母ノ庭ノ樹
 竅中ノ巢ハ美ナルニアラスヤ我伯母ノ庭ノ樹竅ノ巢中ニ鳥
 アリ豈我伯母ノ庭ノ樹竅ノ巢中ノ鳥ハ美ナルニアラスヤ
 我伯母ノ庭ノ樹竅ノ巢中ノ鳥カ「余汝ヲ愛スト云フヲ書キタ
 ル尺牘ヲ加ヘタリ我伯母ノ庭ノ樹竅ノ巢ノ鳥ノ嘴ニアル尺
 牘ニ書キタル余汝ヲ愛スト云フ語ハ豈美ナルニ非スヤ
 次ノ遊戯ハ諷誦戲ト同意ニシテ猶一等困難口ニ唱ヘカタキ
 語ヲ類聚シタルナリ

附言此戲ハ譬ヘハ日本ノ我家ノ御客モ柿ヲ食フ御客向
 ノ家ノ御客モ柿ヲ食フ御客隣家ノ御客モ柿ヲ食フ御客
 三客併セテ三柿ヲ食フ御客三客三柿ヲ食フ云々ノ戲言
 ノ如ク同音相類似シテ混淆シ易キ語類ヲ以テ成シタル
 歌ノ句讀ヲ迅速ニ言フヲ競フノ戲ナリ

「ロベルトローリー」名

「ロベルトローリー」ロールド、エ、ラウンド、ロールラウンド
 「エ、ラウンド、ロール」ロベルト、ローリー」ロールド、ラウンド」
 「ウエール、ロール、ズイー、ラウンド、ロール、ロベルト、ローリー」
 「ロール、ラウンド」

此譯「ロベルト、ローリー」ガ圓キ圓棒ヲ圓キ周リニ廻シタ

圓キ周リヲ「ロベルトローリー」ガ圓キ周リニ廻シタ
此處ニ「ロベルトローリー」ガ周リニ廻シタ圓キ周リガ廻
リシヤ

「ルコルザイエー、コルダシ」

カンタブン、コルザイエー、コルダン、ウコーアツコルデサコル
ド

ブルル、サコルド、アツコルデー、トロワー、コルドンヘイル、アツ
コルド、メー、シ、ラン、デ、コルドン、ドラコルド、デコルド
ロコルドン、デコルダン、フエーデコルデラコルド

此譯系ヲ繪ル所ノ系繪者系ヲ繪ントスルトキ
其系ヲ繪ル爲メニ系三線ヲ以テ繪ル

而モ一系ノ一小線解レバ解クル所ノ小線カ系ヲ解カシ

此歌ヲ次條ノ如ク學士「ウエリース」英語ニ譯セリ

「ズイ、ツワイノル、ツウイスナング」繪系者系ヲ繪ルト云フ義

ウエン、エ、ツワイノル、エ、ツウイスナング、ウイル、ツウイスト、ヒ
ム、エ、ツウイスト

フオール、ズイー、ツワイニング、オプ、ヒズ、ツウイスト、ヒー、スリ
ー、タイムス、ドス、インツウイスト

ブット、イフ、ワン、オフ、ズイー、ツワインス、オプ、ズイー、ツウイス
ト、ヅツ、オン、ツウイスト

ズイー、ツワイン、ヂット、アントウイステス、アントウイステス、

ズイー、ツウイスト」

此譯上ニ同シ

「ウエリース」氏次ノ二歌ヲ取り其句ヲ變シテ之ヲ作ルコト
即チ下ノ如シ二歌ハ之ヲ器ス

「ビートル、パイプル」名入

「ビートルパイプルビツクド、エ、メツク、オブ、ビツクルド、メツ
ルス、

ユ、メツク、オフ、ビツクルト、メツプルス、ビートル、パイプル、ビツ
クド、

イフ、ビートルパイプル、ビツクド、エ、メツク、オフ、ビツクルド、メ
ツプル、

ウエール、イズ、ズイー、メツク、オフ、ビツクルド、メツプルス、ビー
トルパイプル、ビツクド、

此譯「ビートルパイプル」ガ瀆タル胡榭ノ一桶ヲ選ンダ「瀆
ケタル胡榭ノ小桶ヲ「ビートルパイプル」ガ選ンダ若シ「ビ
ートルパイプル」ガ瀆タル胡榭ノ小桶ヲ選ハム」他所ニ「ビ
ートルパイプル」ガ選タル胡榭ノ桶カアルヤ

上ニ同シキ佛語ノ戯

「イルムユーブリエーブル」

エタンソルナーサンバラプリーユワイーイルミコープリーユ
キルフサエーブリーユト

此譯傘無シニ外出セシニヨリ、今少シ早ク雨フヲバ善キ

モノヲ

「トシター」

佛人ハ咳嗽ヲ補養スル爲メニ茶ヲ以テス偶茲ニ人アリ其近隣ノ人ニ問テ云ク

「トシターターマイルオーラーターツト

此譯汝ノ茶汝ノ咳ヲ除キシヤ

「デイトンデイナー」

「デイトンデイナーデイトンデウドーダンドーデユウダンド

此譯「デイトン」カ肥大ナル七面鳥ノ背肉ヲ食ヒシト人ガ云フ

「グログラガランドルシエ」太ク肥タル麥粉
「クログラガランドルシエカントデグログレスグランドルシエリゾラテウ」

第二回

「シヨムデグロスグラスグランドルシエリゾレーカントウレゾオートルグログラガランドルシエソデグログラスグランドルシエリゾロン」

此譯甚タ肥タル麥粒ヨ甚ク肥タル麥粒ハ消化スルヤ我が甚ク肥タル麥粒消化セン若シ總テ他ノ肥タル太キ麥粒ガ猶肥タル大麥粒ニテ消化スルヤ

○著明敬戲

兒輩遊戯ノ樂ミヲ做シ且記臆ト潛思工夫ノ力ヲ練熟スルニ
 最佳ナル方法ハ即チ此戲技ナリ之ヲ奏スルノ式左ノ如シ
 茲ニ十二人ノ兒女アリト看做シ紙片十二枚ヲ設ケ每紙ニ數
 字ヲ記スベシ即チ一二ヨリ次第ニ三四乃至十二マデノ數ヲ
 印シ而シテ之ヲ卷キテ袋中或ハ籃中ニ入レ置キ序ヲ逐フテ
 一枚ツヽテ兒輩ニ取ラシムルコト猶探圖ノ如クスベシ是ニ
 於テ其一ヲ得タル兒ハ一ノ著明ナル一事ヲ自ラ工夫ヲ凝シ
 發明シテ言出スコトヲ勉ムニ得タル者ハ二ノ著明ナリ二
 事ヲ熟按シ三八三ノ著明ナル三事四ハ四ノ著明ナル四事五
 ハ五事ノ數ノ如ク沉思スベシ是等ノ技ハ其時機ニ臨ミテ多
 少ノ難險事ノ課ニ當ルセノナリ所謂著明ナル事著明ナル物

或ハ著明ナル人名等ヲ認識セント欲セバ宜シク歴史神教法
 書學藝技術中ヨリ選擇シテ之ヲ採用スベキナリ左ニ畧例ヲ
 示ス

例

一ヲ得タル兒女ノ如キハ最モ容易ニ言出スコトヲ得ベシ
 譬ヘバ世界中唯一物ノ著名ナルモノヲ舉ケンニハ太陽ト
 言フベキガ如シ其餘ハ類推スベシ

二ノ著明ナルニテ云ハンニハ譬ヘバ「ヘルクルス」ノ二柱
「ヘルクルス」ト云フ人地中海ニ於テ二柱「カストル」及ヒ「ポロー」
ヲ建ツリト云ヘルコト史冊ニ著明ナリ
 ナル雙胎兒ノ如シ

三ノ著明ナル三數ハ譬ヘバ仁惠命數勇猛ト言ヒ出スカ如

シ
四ノ著明ナル四事ハ譬ヘバ時候元素方角元徳ト言ヒ得ル
ガ如シ

大凡此ノ如クシテ次第ニ説キ出シ十二ニ及ブマデ連續シテ
止マヂルベシ其數漸ク衆多ナルニ至テハ上條ニ舉クル所ノ
者ヨリ一段難題難説急遽ニ工夫シ出スコト能ハズ困迫ニ及
フアリ

十一ノ如キハ嘗テ一介ノ銳敏兒アリテ速ニ之ヲ説出セリト
云フヲ聞ケリ然レトモ實ニ能シ難キ事トス十二ノ如キハ却
テ易キモノタリ何トナレバ羅馬ノ著名ナル大將十二人ノ「セ
ーサル」等其他輓近ノ事物ニ於テモ十二ノ著明ナル定數ノ者

甚多ケレバナリ

其圖ニ出タル定數ニ應ジテ之ヲ説明スコト能ハサル童女ハ
過料ヲ出サズルヲ得ザルナリ

若シ極難數ノ圖ニ當リ小女ノ能ク之ヲ言ヒ開クニ堪フベカ
ラザルモノ有ルトキハ偶年長ケタル童女ノ好テ之ニ代ラン
トスルモノアルニ一個ノ科料品ヲ出シテ以テ之ニ易フルヲ
得ヘシ而シテ後其小女平常易々タル數ダニモ猶言ヒ開クコ
ト能ハサルトキハ再ヒ科料ヲ出サシムルハ勿論ナリ

○伶俐教師

一教師十五人ノ少女ヲ訓導ス而シテ一週間毎ニ一日三女ヲ
隨ヘテ逍遙散步セントス衆童女ハ一週中毎日其夥伴ヲ入レ

替フルコトヲ要ス即チ二童女一週中再ヒ同伴ト俱ニ散步ス
ルコト勿カルベク交換スルノ法ナリ然ラバ其之ヲ隊合スル
ニ於テ何等ノ手段ヲ爲シテ可ナランカ曰ク左ノ如クスベシ

日	イニトスワ	火	ワカリヲヨ③
曜	ロホナルカ	曜	ヌルヘナト②
日	ハヘリヲヨ	日	イロハニホ①
月	イロハヘリ	水	リヲワカヨ③
曜	ニホヲヌル	曜	ホヘトリヌ②
日	トナヨカワ	日	イロハニナ①
木	イロハホヘ	土	イロハニナ
曜	ナリニナト	曜	リトホルヘ

余等大家先生ノ此ノ如キ佳趣向無キモノトスル所ノ遊戯ハ
之ヲ廢止セントス

日	カヨヌワル
金	イロハホト
曜	ヘニナリナ
日	ヨワルヌカ

日
チヌカヨワ

「シエクスベール」氏ノ曰ク余輩ハ鬱氣ヲ散スベク愛玩ス
ベク快樂スヘキ所ノ遊戯ヲ爲スヲ緊要トス

○「クロケー」日本雜戲中此ニ適當セル者ナシ名目頗
煩穴蓋シ球杖打球跳丸拋毬ノ類ナリ

此遊戯ハ瓦石無ク草ヲ刈リ平ケタル原野ニ於テ行フベキモ
ノナリ地ノ堅硬ナルハ球ヲ輾轉スルニ却テ便宜ナリトス之

ニ供スルノ器具數品アリ先ツ十個ノ楯形ヲ製スベシ是大約
 十二「インナ」英ノ尺度即チ日本ノ八分三厘強ニ當ルニ微ヘノ彎形ニ
 今假ニ吋ノ字ヲ用ル以下皆之ニ微ヘシテ中央ハ脈鈕狀ニ曲レル鈍棒ナリ其肘ノ間キ十二吋ニテ
 其兩端ハ尖レリ又輕質ノ木ヲ以テ八個ノ球ヲ作ルベシ是容
 易ニ破壊セサワンコトヲ要ス其周圍ハ十吋ヲ適宜トス而シ
 テ每球各異ナル色ヲ以テ彩飾ス又八個ノ槌ヲ具ス槌首ノ長
 シ四吋兩端ノ周圍ハ七吋ニシテ中腰凹ク内ニ尖レリ其柄ハ
 兒女ノ把握ニ適スル大サニシテ緊直且ツ堅牢ナルヲ要ス全
 形ノ長シ三十吋ナルベシ又木若クハ鐵ヲ以テ二個ノ杓ヲ造
 ル其高サニ「フート」日本ノ一尺強ニ當ル今假ニ呎ヨリ長カラ
 ノ字ヲ用ル以下之ニ微ヘシムベカラズ其地面上ニ出ツヘキ部分ハ輪環様ニ彩色ヲ施

スベシ是其觸中スル所以ノ印タリ凡ソ此戲技ニ使用スル所
 ノ名目左ノ如シ

「ロケー」 一球槌ヲ以テ打撃セラレタルトキ他ノ一球ニ觸
 中スル之ヲ呼テ「ロケー」ト云フ

「クロケー」 一球「ロケー」ヲ爲スニ當リ戲手自己ノ球ヲ取テ
 之ヲ「ロケー」ヲ爲ス所ノ球ニ密接シ一足ニテ踏壓シ動クコ
 ト勿ラシメ彼ノ槌ヲ以テ「ロケー」シタル球ヲ一撃シテ其響
 ニテ他ノ球ヲ我欲スル所ノ方位ニ打遣ルヲ云フナリ夫レ
 此ノ如ク球ヲ打撃スル「クロケー」ノ方法ヨリ遂ニ此戲ト做
 レリ

「ロケー、クロケー」 是ハ足ヲ以テセズシテ自然ニ「ロケー」シ

タル球ヲシテ「クロケー」ヲ爲サシメ其ニ球相衝キ相離ル、トキ之ヲ名ケテ「ロケー」ト呼フ

「リユシー」若シ一球橋ノ一擧テ以テ一個以上二三若クハ四五ノ球ト相撞觸スルトキハ之ヲ號シテ「リユシー」ト云フ「ユンコンユン」トハ「ロケー」「クロケー」「リユシー」若クハ「ロケー」「クロケー」ノ動作ニ由テ打退ケラレタル一球他ノ一球ニ向テ進轉シテ其位置ヲ衝キ離ストキニ斯ク呼フナリ然レトモ之ヲ爲スノ球現在着手活動セシムル所ノ者ニハアラザルナリ

「ナルリング」我ト敵手ト彼此奏功ノ機會ヲ進退シ勝敗ノ計算ヲ増減スル爲メニ一球ヲ「ロケー」或ハ「クロケー」ト爲ス

コトヲ云フ

「アービー」一球ノ一槌擊セラレタルニ當リテ猶第一橋ヲ經過セザルモノヲ斯ク呼フナリ

「ローヴル」一球ノ全橋下ヲ經過シタリト雖モ末タ脚杭ヲ通行セザル者ヲ呼テ斯ク云フナリ

夫レ此打球戲タルヤ多シ遊伴ニテモ共ニ爲シ得ベキ技ナリ然レトモ八人以上ニテ之ヲ奏スルトキハ長ク時間ヲ費シ却テ厭倦ノ意ヲ生スベシ其之ヲ爲スニ當テ先ツ適宜ノ地ヲ選ヒ區界ヲ限リ而シテ後第一ニ杭ト橋トヲ設ケ置クヘシ脚杭ト稱スル一柱ヲ以テ打、球進轉ノ要據タル區界ヨリ十呎ノ處ニ樹テ他ノ一杭ノ首杭ト稱スルモノヲ以テ其對向スル

方位ノ限界ヨリ亦十呎ノ處ニ打込ミ而シテ一條ノ繩ヲ以テ
 柁ヨリ柁ニ掛直シ各柁ヨリ相距ルコト十呎ノ處ニ一橋ヲ置
 クベシ即チ繩ヲ以テ中心ト爲シ是ヨリ隔タルコト十呎ノ處
 ニシテ各橋互ニ一列線ナル様ニ橋ヲ架スベシ此繩ノ中心ヨ
 リ同距離ニシテ各方ノ限界ヨリ更ニ二橋ヲ安スベシ即チ繩
 ノ各方ニアル限界ヨリ同距離ノ處ニ各一個ヲ置クナリ又其
 二橋ノ各方ニシテ且ツ之ト同列ノ間ニ於テ復タ重テ二橋
 ヲ架ス是ニ於テ十橋悉ク完備セリ即チ其中ニ在テ四橋ハ柁
 ト同線一柁毎ニ各二橋ヲ架シ各個ノ邊側ニ各三橋ヲ安ス各
 橋ノ相距ルコト十呎ニシテ各柁ノ相隔ルコト六十呎ト做ル
 其兩端ノ限界ハ各柁ヲ相距ルコト十呎ニシテ兩邊側ノ限界ノ

橋ヲ相距ルコト十呎ヨリモ遠シトスニ三列ニ置キ重キヤ曲
 斯ク如ク橋ヲ柁トテ排列齊整シテ後始メテ戲件ヲ彼我ニ隊
 ヲ定メ置クベシ即チ先ツ二個ノ首長タル者ヲ選ブ其首長ヲ
 如キ各自己ノ順次ニ擇ビ第一ニ當ルモノハ柁ノ第一環ヲ彩
 飾ト同色ナル球ヲ使用ス爾シテ後黨伴ヲ選擇ニ當テ其次ノ
 環色ト同シ球ヲ取ル若シ遊手八人ナレハ之ヲ分テ四人ヲ
 二隊トシ或ハ二人ヲ四隊ニ爲スベシ設シ七人ナレハ其
 一人ハ二球ヲ持テ中央ニ立テ二次此戲ヲ做スベシ或ハ六人
 ナルト雖ハ三人ヲ三隊二人ヲ三隊ニ爲スベシ又五人ナルモ
 二人多球ヲ持ツトキハ亦猶六人ノ如ク遊戲ヲ奏スベシ僅ニ
 四人ナルモ亦再ハ二人ヲ三隊トシ各二球ヲ持テ或ハ各三球

ヲ持ツモ亦可ナリ三人ニシテモ四球ノ技ヲ爲シ得ベシ即チ各手二球ヲ弄シ六球ノ嬉戲ヲ行フニ足レリ若唯二人相對シテ之ヲ爲サンニハ各二球ヲ用非交換シテ自在ニ爲スベシ戲技ヲ爲サントスルトキ宜シク先ツ何ノ處ヨリ球ニ手ヲ着クヘキヤチ定メ置クベシ即チ脚杓ト杓ニ最モ近キ橋トノ間ヲ緊要トス此杓ヨリ相距ルコト二呎半即チ槌ノ長サナリ此技ヲ奏スル目的ハ唯槌ヲ以テ球ヲ打遣リテ全橋ヲ越過セシムルニ在ルノミ先ツ球ヲシテ脚杓ニ最モ近キ二橋ヲ越エシメ更ニ此處ニ於テ屈曲シテ初發ノ處ヨリ左側ナル三橋ヲ過キ又進テ首杓ニ最近キ二橋ヲ踰エ其首杓ヲ打撃シ又此橋ヲ通過シテ再ヒ曲折シ進テ右側ナル三橋ヲ踰エ重テテ曲折

シテ初時ノ二橋ヲ經過シ發越セシ處ノ脚杓ヲ打タシムベシ斯クテ彼此各方ニ在テ第一ニ之ヲ做シ完クシタル者ヲ以テ勝利ヲ得タル者トス各方ノ遊手ハ順次ニ其番ニ當ルベシ其首長タル者第一番ニ着手ス而シテ後各遊手ノ次番ニ當ルモノ、一點ヲ得ルニ至ルマデハ續作シテ己ムヘカラズ其點ヲ得ルトハ適當ナル橋ニ球ヲ進メ遣リ首杓ヲ撃テ「ロケー」若クハ「リコシー」又ハ「クロケー」或ハ「ロケー」「クロケー」ヲ爲サシムル時チ云フナリ此數者ノ中何レニテモ做シ誤ルトキハ其番ヲ終ヘテ再次ノ番ニ及ブマデハ他ノ遊伴ニ任セテ球ヲ使用セシメザルコトヲ得ス若シ一球既ニ「ロケー」「カ」或ハ「リコシー」「カ」將タ「クロケー」シタル

「ロケー」遊手ノ球槌撃ヲ受ケテ杙橋若クハ他ノ障碍ニ彈キ返サル、ニ由テ他ノ一球ヲ「ロケー」スルヲ得ル此球再ヒ同球ニ向ヒ「ロケー」セント爲ルニ當テ他ノ一賞點ヲ得ザルベカラズ此「ロケー」シタル球ハ其旋轉セシ處ニ殘リテ「クロケー」ニ屬シタリ

「リコシー」是ハ唯一球ノ常ニ他ノ一球ニ向テ「ロケー」スルカ又ハ「リコシー」セル者ニ由テノミ爲スベシ而シテ「ロケー」ト同法ニ屬スルモノタリ

「コンコシユン」是ハ一球若シ「コンコシユン」ノ舉動ニテ衝キ退ケラレシトキ其運轉シタル處ヨリ直ニ做シ得ベキモノニシテ「クロケー」ヲ爲スコトヲ得サルナリ

「クロケー」是ハ唯一球ノ「クロケー」シタル球ニ向テ既ニ「ロケー」シタルカ將テ「リコシー」シタル者ノミ做シ得ル所タリ而シテ此技ヲ辭シテ「ロケー」シタル球手ヨリ繼クコトヲ得ベシ若シ一球既ニ數球ニ對シテ「リコシー」ヲ爲サンニ又其總球カ若クハ幾球ニ對シテモ「クロケー」ヲ做シ得ベシ是等ノ球「リコシー」シタルトキハ是モ亦辭シテ止ムルコトヲ得ルナリ

「ロケー」クロケー」是ハ唯「ローヅル」ニ由テノミ做スベキ者ニシテ戲技中各球ニ於テ爲スベシ然レドモ此技ノ各番ニ唯一回做シ得ベキノミ

龍動ノ「ミツセス」ヤクースアンドソンオブハットンガルドン」ト云フモノハ此「クロケー」戲技ヲ奏スル第一等ノ人ニ屬ス

故ニ此戲ニ供スル器具ハ斯人ニ就テ購求シ得ベキナリ

○優美

此遊戲ハ日耳曼國ニ於テ新タニ工夫シ出セシ所ニシテ大ニ其國ニ流行セリ我英國ニ傳ヘシハ本ト佛蘭西國ヨリセリ而シテ此戲ノ名ノ由テ來ル所ハ之ヲ行フノ際戲者ノ情形甚タ優美ニシテ愛スベキノ風アルヲ以テ呼做セル名目ナリ此戲ヲ行ハントスルニ當テ先ツ二竿ノ竹ヲ備ヘ之ヲ持テテ相互ニ横タヘ恰モ十字形ノ如ク即テ剪刀ヲ開キタル狀ヲ做スベシ而シテ其竿上ニ一個ノ小繡輪ヲ投ス戲者ノ目的トスル所ハ此二竿ニテ之ヲ挟ミ捉ルノ一事タルノミ其繡輪ヲ捉ラントスルトキニハ二竿ヲシテ剪刀ヲ合セタルノ狀ヲナサシム

ベシ繡輪ヲ投抛スルトキニハ剪刀ヲ開キ置クベシ

○盃及ヒ球

茲ニ一個ノ木球ヲ製シ之ニ一孔ヲ穿テ假ニ呼テ一鳥ト做スヘシ而シテ又一竿ノ一端ヲ盃様ニ作り他ノ一端ヲ尖點ト做スベシ戲者ノ目的トスル所ハ專ラ其盃中若クハ尖點上ニ於テ彼木球ノ一鳥ヲ捉ヘント欲スルニ在ルノミ而シテ其盃ト球トノ如キハ絲ヲ以テ共ニ結ヒ置クヘシ

○日耳曼

第四十三圖



此抛球戲ヲ做サンニハ先ツ十六個ノ球ヲ製シ之ニ塗ルニ種々ノ彩飾ヲ以テシ一骰各一色ヲ設クルヲ要ス別ニ最モ大ナル一骰子ヲ造リ其小面ヲ八角ト做シ小面毎ニ記スルニ一二三ノ數ヲ以テスヘシ其數タル第一ヨリ第八マテヲ定額トス而シテ此戲ヲ奏スル場ト做スベキ者ハ大房内ニ如クハナシ或ハ投球草地ヲ選フモ亦可ナリ其遊伴ハ各個一對ノ球ヲ携フベシ即チ黃色ノ球二個チ一對トシ或ハ藍色ノ球一對ヲ携フル類ナリ其骰子ノ如キハ遊伴ノ約定ニ因リテ大抵二十尺以上乃至一百尺ノ距離ニ置クモノトス之ヲ置クニ當テ其小面上八ノ數ヲ記シタル處ヲ注意シテ地上ニ伏サシムヘシ而シテ後衆多ノ遊伴各順ヲ逐フテ二個ノ球ヲ投抛シ以テ彼ノ

骰子ヲ打タシコトヲ務ム若シ其球的中スルトキハ則チ骰子忽チ轉側シテ初メ頂上ノ一面ニ印記シタル數ノ如キハ反テ下面ニ呈露スルニ至ル斯ノ如ク各個順次ニ奏シテ戲技ノ練熟ヲ試ミ其間ニ在テ誰ヲ論ゼス最初地ニ伏シタル八數ノ面ヲ上ニ向ケ或ハ八ニ次ク七ノ數ヲ記シタル面ヲ上ニ向クルコトヲ得ルトキハ則チ呼テ此戲ノ贏者ト做スベシ若シ二人或ハ三四人各其八數ノ面ヲ露ハセシトキニハ戲伴爭ヒ競ヒテ結局唯一人ノ贏ヲ占ムル者アルニ至ルマテハ肯テ戲事ヲ止メサルナリ

○弓及ヒ箭

夫レ人間ノ百事百物ニ於ケル其最モ緊要トスル所ノモノハ

圖 四 十 四 第



即チ身體ヲ護リテ健康ヲ保ツニアリ而シテ之ヲ護リ之ヲ保ツニ利益アルモノハ曠野ニ於テ運動スルノ一事トス彼ノ射術ノ如キハ少年兒童ノ好ミ做ス所ノ遊戲中ノ最第一技トス其射發スルノ間一身四肢ノ態度ノ適宜實ニ深ク注意セズンバアルベカラズ今詳細ニ其度ヲ示サン凡ソ射者ノ踵ハ相距ル、コト僅ニ二三寸ナルベシ頭ハ少シク下面ニ傾フクガ如クシ頸ハ少シク曲ル狀ヲ做スベシ左臂ハ外部ニ張伸シ手腕ニ對シテ緊直ニ做スベシ而シテ手腕ハ少シク内部ニ曲ルヲ要ス弓ハ手ニテ把持スルノ輕キ

ヲ要ス箭ハ放發セントスルヤ必ズ耳邊ニ附クベシ其箭ヲ引クコト四分三ナルヤ正鶴ヲ取り眼目ヲシテ眇看セシムベシ箭ノ尖點ハ其視フ所ノ的ノ右ニ見ユルヤウニスメン其時箭ヲ引滿シ其尖頭ニ及テ即チ放射スベシ其的トスルモノハ若干ノ距離ヲ定メ樹幹ニ白堊ヲ塗抹シ以テ之ニ充ツベシ

○「カリスゼニツクス」體術中一法

夫レ「カリスゼニツクス」ト稱スルモノハ體術中ノ軟和ナル戲ニシテ兒女輩ニ恰好適當スルモノト做ス此體操ノ如キハ英吉利小學校中ニ於テ普ク採用スル所ナリ嘗ニ學校ノミナラズ亦居常各家兒童ノ甚タ愛好スル嬉戲タリ而シテ數氏ノ考驗スル所ニ據レバ凡ソ體術ノ如キハ甚タ危難ヲ生スルノ患

アリ其故如何トナレバ小兒ヲシテ粗暴且ツ勇悍大膽ナル技ヲ做サシムルヲ以テナリ然ルニ此體操ノ如キハ更ニ危害ヲ生セザルコト判然タリ其事實ヲ熟按スルニ小兒輩ヲシテ其筋骨ヲ強壯ニシ其運動ヲ輕捷ニセシメ且ツ身體ノ量ノ相稱フ所ヲ做セバ其養生ニ於テ緊要ニシテ補益アルコト疑ヲ容レザルベシ

○體術

手臂輪形ノ運動

(イ)圖ヲ解ク 此運動ハ最初ニ一手臂ヲ傍ニ缶レテ後面ニ振動シ而シテ後其一手臂ヲ其側ノ耳ニ着ケ動搖シ了リテ前面ニ捧ケ上グベシ斯ノ如ク曲折セシ所ノ手ハ其肩ノ上ヨリシテ

圓形ヲ畫スルガ如シ是ハ初時一手臂ヲ以テ之ヲ做シ了リテ後又佻ノ一手臂ヲ以テ前ノ如ク做シ而シテ後終ニ兩手臂ヲ以テ一齊ニ做スベシ其様式タル從容適宜運動畫一ニ做スヲ要ス

地上ヲ指スコト

(ロ)圖ヲ解ク 最初ニ兩手ヲ其頭ヨリ高ク舉ケ而シテ後全身ヲ曲折シテ前面ニ傾フクベシ之ヲ做フ者務メテ兩手地上ヲ指シ以テ其處ニ達セシメント欲スル狀ヲ爲スベシ然レドモ兩膝ヲ折ルコト無キヲ要ス

圖 五 十 四 第



幽靈運動

(ハ)圖ヲ解ク 此戲ヲ做ス者ハ兩手ヲ兩腕骨上ニ置キ其大指ヲ隠クシ跂足シテ立テ而シテ後前面ニ向テ寸步ツ、跳進スベシ其跳進スル迅速且ツ間斷セザルヲ要ス其際務メテ全體ヲシテ正直ナラシムヘシ

踏歩

(ニ)圖ヲ解ク 此戲ヲ做ス者ノ兩手ハ(ハ)圖ニ著ハスカ如クスベシ而シテ後偏足ヲ跂テ寸跳ヲ做シ他ノ偏足歩行シテ前進スルトキハ代テ復寸跳ヲ做スベシ

圖六十四第



進行ヲ做スニ斯ノ如ク一タビハ飛ヒ一タビハ歩ミ雙脚互ニ變換スベシ

輕杖運動

此技ニ使用スル杖ハ其量最モ輕クシテ且ツ滑カナル者ヲ以テスベシ但シ木質ノ柔弱ニシテ容易ニ撓屈スルモノヲ用ルベカラズ之ヲ做ス者兩手ヲ以テ其杖ノ兩端ヲ握リ指節ヲ外方ニ向ケルコト(ホ)圖ニ著ハスガ如クスベシ而シテ其兩手ヲシテ杖ヲ握持シナカラテ無線ノ位置

圖七十四第



ヲ爲サシムルコト恰モ(ト)圖ニ著ハスカ如シ而シテ後其杖ヲ
 持ナナガラ背後ニ至ラシムルコト恰
 モ(ナ)圖ニアルガ如クスベシ竟ニ其杖
 ナ最初ノ(ホ)圖ノ位置ニ復セシムルコ
 ト(リ)圖ニ示スカ如クスベシ其杖ヲ持
 スル狀ハ初時ノ如シト雖モ唯其指節
 ナシテ内方ニ向ハシムルヲ異ナリト
 ス而シテ後(ヌ)圖ニ示スカ如ク其杖ノ
 位置ナシテ兩肩ト平行スル形ヲ做サ
 シムベシ其兩手ノ如キハ互ニ内方ニ
 向ケ杖ノ一端ヲシテ恰モ腕肘及ヒ肩

圖 八 十 四



胛ノ間ニ在ル狀ノ如クナラシムベシ而シテ後其杖ヲ頭頂ニ
 舉ゲ其形恰モ(ル)圖ニ示スカ如クシ而シテ竟ニ杖ヲ背後ニ持
 ナ至ル其形恰モ(ナ)圖ニアルガ如シ而シテ後遂ニ(リ)圖ニ示ス
 カ如ク故トニ復セシムヘシ夫レ是等ノ體操術ハ數次反復シ
 テ之ヲ習ヒ熟練シテ迅速ニ做シ得ルニ至ルコトヲ勉ムベシ

地平ノ横木

茲ニ幾許ノ距離ヲ設ケ先ツ二本ノ柱材ヲ立テ之ニ横タフル
 ニ他ノ一材ヲ以テシ其位置ヲ地平ニ做スヘシ而シテ此技ヲ
 做ス者兩手ニテ彼ノ地平ノ横木ヲ把握シ身体ヲ前後ニ振動
 シ竟ニ其木ヲ固ク握ラズシテ手ヲ輕々其上ニ安置スルモ亦
 振動自在ノ妙境ニ至ルベシ然セシ後他ノ動搖ヲ做シ再ヒ又

其木ヲ固ク握ルベシ然レドモ横木ヲ離スノ機活ハ(リ)圖ニ示
スカ如キ體貌ノ位置ヲ做ストキニ
ノミ行フヘキナリ

三角

一個ノ横木ヲ設ケ其兩端ニ固縛ス
ルニ繩ヲ以テシ其二個ノ繩ヲシテ
同一ノ距離ニ於テ相合セシメ一滑

車ノ上ヲ起エシメテ固ク結合スベシ其高サノ如キハ此戲者
ノ適宜ナル所ニ於テズベシ是ヨリ下ノ條ニ記載スル所ノ運
動ヲ做ス者其横木ノ高サヲシテ膝ヨリ少シク上カラシムベ
シ其始メ輪形ノ運動ヲ爲サンニハ横木ヲ第四十七圖ニ示ス

第四十圖



ガ如キ振式ニ爲シテ後其做ス者
跣足シテ輪形ニ歩ミ逐次ニ其運
動ノ速力ヲ増進シ又次第ニ彼ノ
横木ヲ運轉スベシ

前面ニ屈曲スルコト

横木ヲシテ其自然ノ地平ノ位置ヲ取ラシメ此戲ヲ做ス者兩
手ヲ其上ニ置キ而シテ後一身ヲ前面ニ傾ケ恰モ全體ノ量ヲ
シテ兩手ト足趾トノ上ニノミ倚凭セシメ其偏足ヲ少シク前
面ニ進ムルコト恰モ第四十八圖ニ在ルカ如クスベシ

第五十圖



後面ニ屈曲ス

ルコト

前ニ做ス所ノ位置ヨリシテ其横木ヲ背
後ニ引キ寄セ兩脚ノ如キハ其位ヲ占メ
テ固ク横木ヲ把握シ身體ヲシテ後面ニ
傾仰セシムルコト恰モ第四十九圖ニ在
ルガ如ク做スベシ

胸助ヲ張擴スルコト

此戲ヲ做ス者「エラスナツク」ノ一片ヲ設ケ之ヲ美麗ニ包ミ
繩フニ絹紐ヲ以テシ其兩端各結フニ一個ノ把子ヲ以テシ其
兩手各兩端ヲ取り其頭ヲ越サシテ舉ゲ其舉動恰モ背後ニ繩
ヲ以テ飛フノ狀ト同一ナラシムベシ斯ノ如ク做ストキ八十
分ニ其「エラスナツク」ヲ張擴シ兩手臂ノ如キモ高く舉クル

第五十一圖



ガ爲メニ大ニ膨脹セシメ又兩肩ヲシテ
後面ニ傾向セシムルニ至ルベシ

○跳舞

夫レ跳舞ノ戲タル唯外貌ノ奇麗且ツ温
雅ナルヲ主トスルノミナツズ亦能ク人
身ノ健康ヲ輔ケ情意ノ快樂ヲ做シ居常
逍遙及ヒ動作スルニ於テ四支ノ機關ヲ

第五十二圖

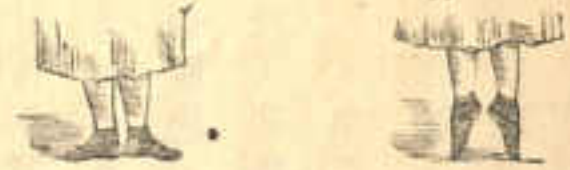


快活ニスル爲メニ甚ク切要、技ナリトス然リ而シテ踏舞ノ
形容ノ如キハ時風ニ由リテ屢變換スル所アリ跳舞ノ式様ヲ
稱シテ「ボーイトリー、オフ、モー、シヨン」即チ活動ノ詩詩ハ言語
華ヤカナ
ル者跳舞ハ運動中ノ活澆タト云フ凡ソ現今ヲ距ル、コト一代
ルモノ故ニ斯ク稱スルナリ

以前ノ人ノ式類ハ今時流行スル四人相連リ一齊ニ跳舞スル
 ノ儀容ヲ散テズ唯歩ヲ亂シテ踊リシノミ今世人ノ傳フル所
 ニ因リテ之ヲ考フルニ「マラコツフ」ノ「ダク」佛國ノ大將「サバ」
 タル人ト云ヘル人我英國女王殿下ト共ニ跳舞ヲ奏スルノ光
 榮ヲ得シ時ニ當リテ彼ノ「ダク」珍奇ナル跳舞ヲ奏セリ其式様
 ノ如キハ今ヲ距ル、コト二十五年前ニ於テ流行セシ所ニシ
 テ大ニ風雅心アル看客ノ欣慰ヲ爲セリ爾時女王殿下自ラ善
 良ノ儀容ヲ整ヘ婦人タル静婉ノ手練ヲ做シテ直ニ彼ノ「ダク」
 ノ跳舞同一ノ方式ニ適ハセタリ加之ナラス其幼稚ノ時學ビ
 得シ所ノ手段ヲモ行ヘリ英國女王ノ斯克奏セシヨリ其部下
 ノモノ一ニ皆之ニ倣フテ最モ良好温雅ナル一例ヲ創造スル

ニ至レリ此一段ノ奇語ノ如キハ實ニ女王ノ心意ト才智トナ
 シテ光耀煥發セシムルニ足ル夫レ跳舞ヲ學ブニハ必ズ先ツ
 歩法ヲ學ブベレ猶彈琴ヲ學フニ先ツ指ノ運移ヲ習慣スルカ
 如シ古ノ跳舞ニテモ今ノ跳舞ニテモ共ニ是歩法ヲ善ク教フ
 ルモノニテ必ズ先ツ學ブベキハ歩法ナリ
 田舎僻邑ニ於テ良師友ノ教フベキモノ無キトキハ左ニ舉ク
 ル所ノ歩法ヲ最モ有用トス而シテ尋常歩行ノ醜態ヲ修改ス
 ルニモ亦緊要ナリトス故ニ此戲ヲ習熟セント欲スルモノハ
 必ズ下條ニ示ス所ノ法式ニ由ルベシ
 第一回跳舞者(イ)圖ノ如ク兩脚底ヲ地ニ密接シ而シテ後唯足
 指ノ端ヲ踏ミ佇ズムコト恰モ(ロ)圖ノ如クシ或ハ踏ミ暫ク佇

第五十三圖



ズミ或ハ足趾ヲ下ゲ再三反復疲倦スルニ至ルマ
テ斯クノ如ク做スベシ

第二回跳舞者其兩脚ノ位置ヲ做スコト(ハ)圖ノ如

クレ而シテ後從容其右脚ヲシテ脇ト

正直線ニ動カシメ足趾ノ端ヲ踏ミ佇

ズミテ脚ノ指節ヲ屈メ丁字樣ヲ做ス

コト恰モ(ニ)圖ノ如クス此ノ如クシテ

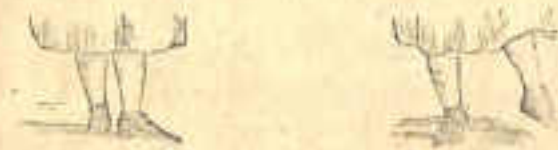
遂ニ其脚ヲ地ヨリ舉ゲ空中ニ鼓動ス

ルノ形勢ヲ做スベシ戲者ノ如キハ其右臂ヲ直線

ニ擴ケテ趾頭ニ觸レシメ其體ハ全ク直立ニ做シ

テ以テ此運動ヲ適成スルナリ而シテ余輩是等ノ

第五十四圖



第五十五圖



運動ヲ做ストキ必ス注意シテ臂尻以下ヲ勞役シ腰部ヲ動カ

スヲ禁スベシ又彼ノ跳舞者ノ兩脚ヲシテ(ホ)圖ノ位置ヲ取テ

シメ其片脚ヲ以テ前面ニ動カシ他ノ足趾ノ端ニ

返スコト又第五圖ノ如クナラシムヘシ而シテ頭

ハ正直ニ做シ其臆ト膝トノ如キハ少シク内方ニ

傾フクヲ好シトス斯ク運動スルノ間ニ當テモ兩

膝ハ尙依然緊直ナラシムベシ或ハ兩膝ヲ弛緩シテ佇立シ或

ハ身體ノ重量ヲ雙脚中ノ片脚上ノミニ偏倚セシムル等ノ如

キハ甚々拙陋ナル慣習ト謂フベシ此演習業ヲ卒ルトキハ幼

兒輩ハ其頭上ニ一冊ノ書ヲ戴カセ能ク其量ヲ平均シテ室内

ヲ巡回スベシ是其兒女之カ爲メニ甚々溫柔ナル舉動ヲ做シ

得ルノ一助トナレバナリ彼ノ東方亞米利加州ノ婦人ノ逍遙
 緩歩スル其式様甚タ沈重ナルカ如キハ畢竟其頭上ニ戴クニ
 水桶ヲ以テシ手其器ヲ把握セスシテ能ク行歩スルノ習慣ニ
 ヨリテ致ス所ナリト世ニ傳稱セリ是東方婦人等ノ平生井泉
 或ハ河岸ニ來往スル際ニ於テ做ス所ノ形狀ナリ夫レ兒輩ヲ
 シテ斯ノ如ク種々ノ運動ヲ日々反復習慣セシムルトキハ跳
 舞師ヲ得テ教導ヲ受クルノ日ニ當テ必ス大ニ裨益スル所ア
 ルベシ

○習慣

夫レ一個ノ國民トシテ他ノ世上善良ノ風習アル者ヲ一概ニ
 蔑視スルモノ甚タ多シ然レトモ彼風儀動止ノ善良ナルモノ

ハ平常余輩ノ品行上ニ關係シ之カ爲メニ開明發達ヲ得ルノ
 ミナラズ少シク注意期望スル所アレバ日々消光ノ際ニ於テ
 モ大ニ切要欠クヘカラザル者タルコト判然了解スヘキナリ
 凡ソ人タル者受敬ヲ他ヨリ受ケ且ツ卓越ノ性質ヲ固有スル
 ト雖モ彼ノ舉動ノ失儀アルト孤疑怯怕スル所アルトノ爲メ
 ニ埋滅セラレ假令善良ノ本心ヲ存スルモ動止ノ溫柔ヲ失フ
 ナリテ竟ニ消亡スルニ至ルナリ耶穌ノ徒弟ノ勸諭ノ語ニ曰
 ク汝恭禮ヲ鄭重ニ行ヒ何事ヲ問ハズ可憐ノ情ヲ呈スヘキモ
 ノハ人ノ稱譽トナルナリト此語ノ旨趣ニ因テ余輩耶穌ヲ信
 奉スル者ノ品位ヲ覺悟スルニ足ルベキモノ、爲メ舉動ニ關
 涉シテ最も緊要トシ主張スルノ本源タル誠語ヲ記スルナリ

假令最良最善ノ恭禮中心ヨリ發起スルアリトモ其之ヲ言語ニ表スルニ當テハ更ニ一層ノ修整ヲ要スルナリ世間ニ卓越俊秀ノ才子アリ而シテ其爲ス所ノ事業極メテ拙迂鹵莽ニシテ更ニ善行アルヲ聞カザルモノ余往々之ヲ知レリ然ラハ彼ノ耶穌徒弟ノ誠語ヲ確守シテ履ミ行ハント欲スル人ニシテ猶且ツ失儀ナキコト能ハザルハ何ゾヤ他ナシ其風俗習慣ノ惡キニ由テナリ第一ニ驕慢ヲ絶シ自負獨尊ノ意ヲ抑制スベシ是全ク倜傲虛飾ヨリ發出スル所タリ彼ノ自己ノ心ヲ恃マザル所ノ女子ヲ見ズヤ其平日ノ舉動單純質朴自然ノ良風ヲ存シ愛スベキノ善行アリ今外貌ヲ粉飾シ假偽ヲ以テ自ラ其心ヲ欺キ怯懦ニシテ本然ノ善ヲ踐行スルヲ怕ル、者ノ如キ

ハ即チ此良風ノ敵ト知ルベシ斯ノ如キ地位ニ至ルノ女子ト雖モ尙其動止ノ儀容及ヒ言語ノ發音人間ノ交誼ノ如キハ必ス學知セザルベカラサルノ要務トス其歩行スルヤ輕ク靜ニシテ緩ナルベシ其物ヲ搖カスヤ穩和ニシテ矚視ナルベカラス都テ進退動作ノ際小心翼々トシテ恭シク之ヲ做スベシ唯遲鈍ノ域ニ陷ラザルヲ注意スベキノミ凡百ノ事ヲ執ル必ス定規ヲ以テシ輕卒ニ爲スベカラズ急遽周章シテ事ヲ爲ス必ス粗漏失儀アルヲ免カレ難シ凡ソ女子ノ動作ハ特ニ圖ニシテ溫柔ナルベク方ニシテ粗暴且ツ輕卒ナル勿レ兒女ノ音聲ハ低クシテ調節ノ整ヒタルヲ好ントス教育ノ善ト性質ノ良トヲ表スルモノハ音調ヲ以テ最第一トス聲音ノ粗クシテ語

勢ノ高キハ絶美ノ天資ヲモ理滅スルモノナリ是故ニ疾ク語ル勿レ音ヲ長ク引ク勿レ宜シク詳細ニ語り鋭烈ノ音ヲ除クベシ「エキスベール」氏余輩ニ語レルコトアリ其言ニ曰ク「低音ハ婦女子ニ於テ一個ノ卓越セル事ト謂フベシ」ト同氏又「メルデイタ」名ナリノ温雅柔和ノ動作ヲ評シテ海上ノ波浪ニ比較セリ是「メルデイタ」ノ行歩動作ノ甚ダ温和ナルヲ想像セシモノナリ夫レ波浪ノ細カニ搖クハ凡百運動中ノ最モ美ナルモノナリ故ニ運動ノ美ヲ云ヘバ波浪ノ如シト云フ姿態ト音聲トノ温和ナルハ素ト禮儀教訓ノ然ラシムルニ由ラザルモノ無シ我國ノ中ノ女子ニハ一朝ニ發怒シテ椅子ヲ打倒シ或ハ器具ヲ投擲シ或ハ荒忙ニ器物ヲ運搬シ或ハ暴聲ヲ發シ醜態

ヲ現ハスカ如キ失儀亡狀ヲ做スモノハ衆多アリト云フベカラズ然レドモ亦誰モ其動作ノ温靜ナルニ至ル所ノ眞理ノ高尚ナルヲ測リ知レルニハアラズ夫人深省注意シテ自己ノ近隣懇親ノ他人ニ交接スルニハ勉メテ之カ助援ヲ做スヘシ譬ヘハ他人ノ器物ヲ缺損スルヲ見レバ縱ヒ我ニ請求セザルモ之ニ與フルニ彼カ要スル所ノ脚架或ハ書冊等ヲ以テスベシ若シ我ヨリ年齒ノ長シタルモノ或ハ技藝ノ優レル者ニ對シテハ之ヲ遇スルニ從容怡色ヲ以テシ細小ノ事ト雖モ其心意ヲ喜ハシムルヲ要トス若シ食堂ニ入り盛饌ニ對スルニ當テハ務メテ行儀ヲ善良ニスルコトニ注意スベシ凡ソ麵包ハ割折シテ食ヒ口ニテ嚙切ルコト勿ルヘシ鳥獸魚肉ノ類及ヒ他

ノ皿ニ盛りタル食物等ハ必ス肉又チ以テ食フベシ小肉片ノ如キハ此限ニアラズ又妄リニ自ラ取テ食フベカラズ其番次ニ至リ給與セラル、チ待テ野菜物及ヒ皿物等チモ食フヘシ又何等ノ品チ間ハズ物チ錯置轉倒スルコト勿レ要求スル物ノ如キハ靜ニ手輕ク之チ取ルヘシ其他器具ノ名チ呼フニ必ス正シク適當セシ稱號チ以テスルコト其人ノ賢智且ツ教育ノ善良ナルチ表スルナリ吾人日々注目スル所ノ器具チ知ラザルハ不都合ナリ或ハ其知ラサルチ以テ虛託偽稱スル等ノコトチ做ス勿レ夫レ怯怖ノ心ハ愚癡過失ノ二ツノ者ト同一視シ勉メテ之チ除キ去ルベシ今細カニ怯怖チ推究ムレバ乃チ外部體上ニアルモノナリ然レトモ中心ノ剛毅克ク之チ壓

抑スルトキハ此温和ノ儀容ニ一大妨碍チ做ス所ノ怯怖チモ容易ニ除キ去ルベシ又自己ノ感觸チ抑壓スルチ以テ一要務ト想ヒ爲ストキハ隨テ其自恣ノ感觸モ逐次ニ消滅スルニ至ルベシ其房室ニ入ルヤ丁寧温靜ニシテ怯怖驚愕ノ態チ做スベカラズ其說話スルヤ最モ著實チ要ス若シ慈母ノ親友至ルアルトキハ之ニ應接スルニ色チ怡ハシ氣チ平カニシテ握手ノ禮チ行ヒ或ハ少シク屈身シテ拜禮スベシ其親友平生看熟セサル人ナレバ一層慇懃ノ恭禮チ做スベシ幼兒輩ノ房室ニ入ルニ臨テ其貌ノ怯怕戰栗スルハ實ニ哀ムヘキノ醜風チ見ハスモノナリ彼ノ幼兒ノ心中ニ自己ノ醜態失儀チ愧ルニヨリ他人ノ之チ非笑センコトチ怯怖シテ斜メニ他人チ目撃シ

不平不遜ノ色ヲ現ハシ恰モ妖怪物ニ遇フカ如キ想ヲ做シ一語ヲ發スルコト能ハズ斯ノ如キノ過失ハ嚴ニ壓制セサルヲ得ス而シテ之ニ反シタル幼兒ノ喋々多辨閑談贅語以テ時晷ヲ費ヤシ或ハ他人ノ對話ヲ妨ルカ如キハ是モ亡狀不適當ノ事トス

上條ニ舉タル怯怖癖ノ偵探心アルコトハ往々兒輩ノ盜心ヲ懷クモノ、所業ト做スアリ茲ニ記臆スル所ノ條欸アリ即チ我耶穌聖教ノ純乎タル正義人ハ貴賤長幼ヲ問ハズ萬衆人ニ對シテ恭敬丁寧ヲ做スナリ今真正ノ教訓ヲ勉力踐行シ來ル女子ニ至テハ其自己ニ如カサル者ヲ遇スルモ猶已ト同等ナル人或ハ己レヨリ勝レル人ヲ遇スルカ如ク少モ差異アルコ

トナキヲ注意スベシ斯ノ如キ女子ノ平日各人ヲ遇スル更ニ變態ナク和氣滿面常ニ微笑ヲ呈シ温言ヲ發シ懇切至ラサル所ナク加之ナラズ其接語ヲ做サゞルトキト雖モ必ス愛スヘク悦フベク親ムベキノ顔色ヲ表ス余ハ此一小冊子ヲ讀ム者ヲシテ其師タルモノニ對シ強ユルヲ待タズシテ當ニ致スヘキノ恭敬ヲ盡サシメンコトヲ希望ス其女師ヲ尊敬シ且ツ之ヲ崇重スベキハ固ヨリ論テ俟タザル所ナリ凡ソ人タル者感激謝ノ意ナクンバアルムカラズ然ルニ今余此ノ如クナラザル者アルヲ痛歎ス故ニ重チテ嘗テ間知スル所ヲ記シテ其意ヲ示サン一童女曰ク余女師タル者ヨリ授與セラレンコトヲ記臆セリ實ニ平常容易ナル事件ニ就テ要スル所ノ禮法ノ

ミナリト又一兒女ノ每朝早展ト毎夜請安トノ禮詞ヲ云フヲ嫌フ者アリト聞ケリ是其兒女ノ女師ヨリ教訓ヲ受ケントキ之ヲ聞知セザルガ如キ風習ニ慣レ或ハ師ニ答フルニ粗暴ノ言ヲ以テセシヨリ斯ノ如ク後來ノ失儀ヲ醸成スルナリ其故如何トナレバ夫人幼少ノ日ニ在テ習染スル所ノ行爲ノ如キハ後年ニ及テ容易ニ之ヲ洗除スベキ者ニアラズ其人ノ自負傲慢ヘ氣象ト粗暴拗振ノ偏性トニ由リテ往々温乎トシテ愛敬スベキ妙齡婦人タルヲ得サルニ至ルモノアルヲ知ルベキナリ是即テ習慣ノ第二ノ性トナレル者ナリ夫人幼時ノ習慣スル所必ズ後年品行ノ資質ト成ルベキモノタリ凡ソ其經過スル所或ハ艱難哀感ニ遇フモノ或ハ康寧幸福ヲ承クル者等

一ニ皆此習慣ヨリ致ス所ナリ故ニ千事萬務悉ク實踐上ニ就テ幼時ヨリ溫柔愛敬ヲ習慣セシムルヲ以テ一課業ト注意シ美譽英聲ヲシテ傳聞セシメンコトヲ勉勵スベキナリ

○會話

夫人ノ知識ヲ開發スル其善ク會話ヲ做スノ技ヨリ勝レルモノ無シ凡ソ說話ノ要トスル所ハ其大趣意ノ在ル所ヲ報スルコト意味ヲ敏捷ニ解釋スルコト世人ニ妨碍ナキ好語ヲ説得ルコト及ヒ多辯冗語ヲ做サ、ルコトニ在ルナリ而シテ彼ノ心意ノ新舊諸事物ヲ其包藏ノ室ヨリ吐露スルニ至テハ各般ノ旨趣皆之ヲ含蓄スルヲ以テ自然說話ノ原資ト做リ自由自在ノ妙用ヲ出シ來ルコトヲ得ルナリ然レドモ乳臭ノ幼兒ハ

説話ヲ做ス能ハス務メテ幼稚ノ日ヨリ此技ヲ試ミ其普ク知
 覺スルニ隨ヒ其心室ニ畜藏スル所ノ種子多ク發生シ之ヲ口
 ニ播演スルニ及テ最モ能ク注意シテ詳細ニ説話セシムルヲ
 要ス又能ク發音セシメ其言フ所ノ旨趣ニ隨ヒ的當ノ詞ヲ用
 非ルコトヲ注意スベシ處女ノ年齢稍長セル者ノ如キハ充分
 ニ説話スルコトヲ會得シ其談スル所務メテ傍人ノ過失等ヲ
 舉クルコト無ク我職業ニ關係スルコト或ハ讀書上ニ就テノ
 コト或ハ自然ノ妙用及ヒ人事ノ作用等ニ據テ説出サハ最モ
 好キ趣向ノ會話ト做ルベシ又鄙賤ノ俗語方言ノ如キハ捨テ
 用非ル勿レ倨傲先生ノ醜態ヲ做ス勿レ其發説スル所ノ言語
 中親實ナラザル詞或ハ嘲弄誹謗ニ屬スルノ言ヲ交フルモノ

等ハ唇門ヲ出サシムル勿レ彼ノ金剛石ト蝦幕トノ古諺小説
 ト雖モ寓意ノ深キコトヲ思索スベシ
 玆ニ一婦人ノ二女ヲ有セルアリ母其姉ヲ憎ミ妹ヲ愛シ常ニ
 姉ヲシテ勞力苦辛セシム一日姉井水ヲ汲ムニ當テ異形ノ貪
 婁婦ノ現出シテ勞動スルニ遇フ時ニ彼ノ婦姉ニ水ヲ乞フ姉
 快ク清水ヲ汲テ之ニ與フ婦大ニ歡喜シ謂テ云ク當ニ汝ノ口
 ヨリ金剛石ノ出ルアルヘント言畢テ跡ヲ味マセリ而シテ姉
 倉皇家ニ還リ母ト對話スルニ及テ忽地ニ金剛石ヲ吐ケリ母
 ト妹ト視テ大ニ驚キ且ツ甚タ羨ミ乃チ其妹ヲシテ姉ノ爲ス
 所ニ倣ハシム亦果シテ一婦人ニ逢ヘリ然ルニ姉ノ謂フ所ノ
 如キ貪婁婦ニアラズシテ富貴ナル一美人ナリ妹心私カニ之

ヲ妬ミ其水ヲ乞ヘルニ及テ與ヘズシテ曰ク是汝ニ與フベキ
 水ニアラズト是ニ於テ彼ノ美人白眼ミ見テ曰ク汝ノ口ヨリ
 蝦蟇ノ出ルアラント既ニシテ急遽家ニ入り母ニ此言ヲ語ス
 ルニ臨テ果シテ蝦蟇跳出タリ母之ヲ見テ驚愕シ益々姊ヲ憎
 ミ遂ニ之ヲ逐フテ家ヲ出去ラシム姊己ムコトヲ得スシテ山
 野ヲ彷徨シ流離嗟歎ノ際偶一貴人ニ遭遇シ終ニ舉ゲラレテ
 其夫人トナレリ

夫人口吻ヨリシテ發出スル言語ヲシテ其純粹ナルコト恰モ
 真珠ノ如ク又其光輝アルコト金剛石ニ齊シカラシムベシ乃
 ナ彼ノ怨妬ヲ懷キ好性質ナラサル蝦蟇ヲ以テ余輩ノ哀憐ヲ
 要スル徒ニ委スベシ然レドモ余輩ハ之ヲ受スルコト能ハザ

ルナリ佛蘭西著述ノ大家「バスカル」氏謂ヘルコトアリ仁惠ア
 ル詞ハ絶テ舌本或ハ唇端ナシテ膨脹セシムルコトナシ余輩
 即チ「バスカル」氏自ラ云フ左ノ論說ヨリ起出スル所ニシテ中心艱苦アル
 コトヲ聞カサルナリ假令其詞ヲ多ク費ヤサヅルモ以テ人我
 ノ好性質ヲ整治スル所アリ曰ク柔和ノ詞ハ自己ノ心神ヲ靜
 定スルニ足リ激怒ノ言語ハ憤怒ノ火焰ニ投スルニ薪ヲ以テ
 スルカ如ク怒氣ヲシテ益々炎熱ナラシムルニ至ル仁惠アル
 詞ハ他人ヲシテ其性質ヲ善良ナラシムヘシ冷言ハ自他ヲ寒
 慄ナラシメ熱言ハ以テ他人ヲ焦燥スルニ足ルベシ又苦言ハ
 他人ヲ酸苦ナラシメ怒言ハ他人ヲ怒ラシムベシ大凡世間ニ
 自餘言語ノ種類無用ニ属スヘキ者アリ是等ニ換フルニ仁恩

アル詞ヲ以テセンコトヲ請フ乃チ無用ノ贅語ヲ舉ケン茲ニ
 浮言アリ閑言アリ驢言アリ毒言アリ癡言アリ虚言アリ妄言
 アリ侮言アリ暴言アリ及ヒ殺氣ヲ帶ルノ勇言アリソレ斯ノ
 如ク多種ナルカ故ニ偶々仁惠ナル詞ハ人ノ心地ニ仁樹ヲ種
 ルト謂フヘク其仁意ノ生スル實ニ美ト稱スル所ナリ其仁言
 ノ如キハ聽者ヲシテ意ヲ柔和ニシ氣ヲ平穩ニシ且其神思ヲ
 欣慰セシムル者ナリ其仁惠ナル語ヲ以テ人ノ慘酷ニシテ激
 怒シ易ク無情ナル心意ヲシテ大ニ慚愧セシムルニ堪ヘタル
 モノトス余輩未ダ嘗テ仁言ヲ出スノ過度ナリトスルニ至ル
 ナ聞カザルナリ以上バスカル氏以下ニ記スル所ノ如キハ諸
 人ト對話スルニ用ヰル語法即ケ母君兒女ノ慈母ヲ又我君或

ハ我處女汝貴君或ハ汝貴女等ノ語ハ今日ニ在テハ用ヰル雖シ
 是等ノ對談ニ用ヰル語法現今既ニ貴媛女及ヒ貴人等ニ用ヰ
 ザル所ナリ今日稱用スル所ハ唯名號ノミヲ以テス譬ヘバ「モ
 ルトン」君近頃何地ニ在ルヤト云ヒ又「ミスセス、ロベルト」汝此
 書冊ヲ讀了リシヤト云フガ如シ然レドモ汝貴女近頃何地ニ
 在ルヤ或ハ阿母汝此書冊ヲ讀了リシヤ等ノ語ヲ用ヰルハ宜
 シカラズ其他斯ノ如キニ就テ「マルクイス」五等爵ノ一ニシテ
 侯ニ當ルヲ云フ
 ト云フ語ヲモ用ヰルコトナシ又「カーンナー」伯爵ノ夫或ハ
 人ヲ云フ或ハ
 「エル」即ケ伯爵等モ亦然リ「ロルド」貴族ノ尊稱「レーダイ」貴媛女
 ノ尊稱ノ二
 語ハ即今何爵ノ人ニテモ之ヲ用ヰテヨシ譬ヘバ「ロルド、ソル
 スベリー」ト謂フヘシ然レトモ「マルクイス、オスソルスベリー」

トハ謂ハザルベシ又「レデイー」ト「ドルビイ」ト謂フベシ然レドモ「カト」ンテツス、オフ、ドルビイ」トハ謂ハサルベシ其他亦善ク注意シテ稱號ト副名トナ相混シテ唱用スベカラズ茲ニ「レデイー、スウィーザン」或ハ「ロルド、ジヨン」ト稱スルハ可ナリ斯ク云ハズシテ「レデイー、プフオン」或ハ「ロルド、デーロル」ト稱スルハ不可ナリ斯ノ如キ稱謂ハ甚タ無識ノ謬誤ト做ス如何トナレバ彼ノ公侯伯爵等ノ幼男及ヒ幼女ニ對スルニ稱號ヲ以テスルハ禮儀ノ一端ナリト雖モ其稱號ノ如キハ固ヨリ「クリスチヤン、チーム」洗禮ヲ行フトキニ受クツル名ナリ而已ニ屬スル所ニシテ副名ニ屬スル者ニアラサルヲ以テナリ

余輩茲ニ小言ヲ舉ケテ人生平日交際上有用ノ語法ヲ會得セ

シメン夫レ用語ノ法ヲ識ラサルヨリシテ談話ヲ做スニ當テモ甚タ拙陋失儀ヲ呈スルアリ假令能ク之ヲ教授セラレシ人ト雖モ猶無識文盲ノ外貌ヲ免カル、コト能ハサルカ故ナリ

小言

些少ノ詞ト云フ意簡短ナル懇切ノ一言ヲ云フ

可愛ノ懇情ヲ含ミ可憐ノ顔色ヲ現ハシ涕淚ヲ帶フルノ一言ハ放蕩敗壞セシ心魂ヲ療治スルノ益タル少ナカラス又其友人ヲシテモ慙愧セシムルニ足レリ

夫レ一言一視屢々芽花ヲ地下ニ厭伏スルニ至ルアリ即チ幼兒ニ向テ暴逆ノ言ヲ爲シ或ハ恐ルベキノ眼ヲ示サバ兒心之ニ厭伏セラレテ遂ニ之カ爲メニ僻スルヲ云フナリ若シ初生ノトキ温順柔和ナル顔色ヲ以テ一視一言

スルトキハ終身快然忘ルベカラサル者ナリ然ラバ徒ニ
仁言ヲ話スルノ徒ト思フ勿レ汝ノ顔色及ヒ語聲ヨク心
意ヲ愈活シ得ヘク又以テ破壊シ得ベキモノナリ

○「ブツザルス」「リクデルス」及ビ「シヤラードス」此三語皆隠
ナルヲ以テ適譯スベキナシ姑ク原旨ニ由テ其意ヲ
解シ後篇詳ニ
其事ヲ舉示ス

夫レ衆人ノ能ク知ル所ノ「ミスセス、バルボ」即チ諸謎語ヲ解
シテ云フ解
説スルノ戯技ハ心意ノ運用練達ノ進歩ヲ増加スル者ニシテ
恰モ身體ノ運動ノ走歩跳躍及ヒ角力等ニ於ケルト同一ノ看
ヲ做スベシ凡ソ走歩跳躍及ヒ角力等ノ技一モ要事トスルニ
アラズ又勞作ヲ作スニモアラズ唯遊戯ヲ做スト云フベキノ

ミ然リト雖モ是等ノ操練ハ豫シテ身體ノ動作ヲ齊整スルモ
ノニシテ若シ一朝事アリ做サマルベカラザルノ時ニ臨テ即
チ其事ヲ做ス輕捷迅速ナルコトヲ得ベシ謎語ノ善良ナル者
ヲ解説スルモ亦是ト同一意ニシテ心意思ノ敏銳ヲ増進セ
シテ問題ヲ變換スルノ方法ヲ容易ニ做シ得ヘク且ツ之ヲ考
察スルニ至テ的中セスト雖モ大抵差謬ヲ做サ、ルコトヲ得
ヘキモノナリ

啞謎ノ戯タル斯ノ如ク珍重スヘキノ確證アルヲ以テ余輩今
讀者ニ示スニ下條ニ記スル所ノ「エミグマス」即チ「シヤラデー
ス」即チ「コナウンドラムス」即チ「謎語」ヲ以テスベシ讀ムモノノ留意シ
テ之ヲ記憶センコトヲ要ス其自ヲ閑靜ヲ樂マン爲メニ兒輩

ノ才智ヲ試ミルニ當テ彼ノ世人ニ妨害ナキ謎語ノ如キハ恰モ善キ古諺ト同シク今代生智ノ好遊戯タルノミニ非ス往古以來ノ德慧術知ヲ登錄セシ者ト謂フベシ彼ノ名高キ「スフィンクス」小説ノ舞身ノ謎ハ則チ此選錄中ニ載セタリ又彼ノ希伯民ヲ放ナシ人往古希伯國人ノ敵ニ因ハレタル者アリ「モヒ」伯民ト云フチノ謎ノ如キ其結局終ニ敵國「フイダスタイン」ヨリ「イスレール」國人ヲ救援シ戰役ニ至リシハ衆人ノ能ク聞知ル所タリ凡ソ「リツデルス」ト稱スル謎語或ハ「ブツサルス」ト稱スル謎語ノ如キモ各數多ノ種類有テ其區別ヲ做ス「ブツサルス」及ヒ「エミグマス」ト稱スルモノハ唯一科ニ限ラズシテ凡百ノ謎隱瘦辭ヲ總括スルノ名號ナリ又「コノシンドラム」ト稱スルモ

ノハ二個物ヲ比較シテ之ヲ做ス其二個物タルヤ異義同音ノ語ヲ選用スルナリ又「リツデル」ト稱スルモノハ物ノ力量及ヒ原質ヲ舉ケ種々ニ名狀シテ比喻スル者タリ其名狀スルヤ務メテ人ノ解シ易カラスシテ迷惑スルヲ要スルナリ今其一例ヲ示サン則チ鐵架ヲ舉ケテ曰ク茲ニ一物アリ三足ニシテ立テ一步モ動クコト無ク重量ノ物ヲ負フテ温熱帶ノ地ニ住メリト云フノ類ナリ此「リツデル」ノ如キハ自他ノ國語ヲ以テ隨意ニ反譯シ得ヘキ者ナレトモ「シヤラード」及ヒ「アナガラノ」等ニ至テハ語音ヲ入レ換ルノ幾微ナル活法アリテ決シテ他ノ譯スヘキモノニアラズ其「シヤラード」ト號スル技ハ一個ノ文字ヲ其字音ニ分割シ字音ノ名ニアルヲ別々ニ名狀シテ造成

スル所ナリ試ニ其例ヲ舉ケン番兵即チ英語「オツナマン」ト云フ二語アリ英語ニテ番ノ字ヲ「オツナ」即チ袂時計トモ云フ又兵ノ字ヲ「マン」即チ男ト云フ是ニ於テ其人ニ謂テ云ク余ノ第一ハ時間ヲ作ルモノ第二ハ其時間ヲ費ヤスモノトス而シテ其全體ハ時間ヲ報告スル者ナリ何ゾヤ解シテ云ク番兵ナリト云フ意ノ謎ナリト又「リーボスト」ト稱スルモノアリ即チ各謎判斷シテ其事タルヲ知ルノ戲タリ其文字ノ頭ニ置ケル所ノ音ヨリ綴合シ始メテ之ヲ了解スベシ試ニ日本語ヲ以テ謂ハン譬ヘバ木匠ノ使用スル物ノ頭音ト水夫ノ運動スル物ノ頭音トヲ聯合スレバ何等ノ物ヲ造出スヤト之ヲ解釋シテ云ク袋ナリト即チ舟ノ「フ」ト木匠ノ使フ釘ノ「ク」ト水夫ノ搖カス

鱸ノ「ロ」トヲ合スレハ「フクロ」ナラヌヤト云ヘル類ナリ「ロゴグリツフ」ト稱スルモノアリ是ハ先ツ一文字ヲ定メ置キ自餘ノ文字ヲ造成スルノ法ニシテ其音ノ如キハ前後シテ排列スルモ亦妨ゲナシ每事全音ヲ全用スベカラズ之ヲ再三再四ニ分ケテ用ヰルコトアルベシ最モ能ク注意シ元來文字中ニアラザルノ音ヲ以テスベカラズ譬ヘハ驢馬即チ「ウサギ」ウマ「ト」云フチ根元ノ字ト定メバ其五字ヲ種々ニ轉置シテ活用スベシ馬兔即チ「ウマ」「ウサギ」牧馬即チ「マキウマ」或ハ相馬即チ「アチブウ」譯シテ詞ノ交換ト云フ「ロゴグリツフ」ト相近シ然レドモ一回用ヰタル音ヲ二回用ヰルコトヲ禁ズ其法タル一

個ノ原語ヲ取り其語中ノ音ヲ連テ換ヘテ他ノ語ヲ造成スル
 コトヲ要ス譬ヘバ家主即チ「ヤヌシ」ト云ヘル語ヲ轉換シテ漆
 工即チ「メシヤ」ト做スガ如ク共ニ同一ノ音ヲ以テ別ノ名物ヲ
 言ヒ出スノ戲ナリ此戲ヲ爲サシニハ先ツ其原本トスル所ノ
 語音ヲ注意シテ是ヨリ増加セズ又減省スルコトヲ得ズ又二
 回同音ヲ用ヰルコトヲ許サス「アン」即チ戲要言ハ恰モ「コノ
 シ」ト稱スルモノニ似タリ今「コノシ」ト云フラム「ノ意ヲ推ス
 ニ「アン」ノ間ノ法式ト一モ異ナル所ナシ譬ヘバ南氏ノ肥大ナ
 ル人ニ謂テ汝ハ甚ダ肥大ナリ何故ナレバ皆肉即チ「ミナミ」ナ
 ルヲ以テナリト云フカ如キ戲要調諺ノ類ナリ

○「エニグマス」亦是
 隱語

第一 時計

余其物ノ自ラ云フナリ以下ノ余音之ニ倣ヘハ顔面ト兩手ヲ具有セルコト眞ナリ
 而シテ汝ノ目前ニ搖クナリ然レトモ余カ動クトキハ余常ニ
 安着ス余カ休止スルトキニハ余ガ眞チ人ニ示スコトナシ

第二 カノ字

カ余ハ伽藍ノ中ニ在リ然レトモ寺院ニアルニ非ズ又唐土ニ
 在リ然レトモ本國ノ中ニアルコトナシ又樂工ノ中ニアレト
 モ鼓吹ノ伴ニアラズ又阿母ノ下ニアレトモ母ノ家ニアルコ
 トナシ

第三 影

茲ニ捉フベカラズシテ取テ證據トスベキ一物アリ而シテ一

個ノ名稱ヲ具有セリ此物タルヤ時トシテ長短アリ時トシテ正斜アリ常ニ余等ノ宴遊跳舞ニ伴ヒ始終相離レスシテ各種ノ遊樂嬉戲ヲ做セリ

第四

譯スベカラズ

第五 アノ字

余ハ常ニ安樂ヲ好ム然レドモ爭訟ヲ免ル、コト能ハズ又常ニ嘲ヲ避ケント欲シテ冷笑ハレタリ

第六 鏡

余ヲ善ク用井ヨ余ハ常ニ各種ノ人ト化ス或ハ美女ト做リ或ハ醜婦ト變ス若シ余ガ背面ヲ磨削スルトキハ余ハ忽然消滅

シテ人ニハアラザルナリ

第七 今日

昨日既ニアリ而シテ又明日將ニアラントス

第八 明日

余ハ絶テアリシコトナシ然レドモ將ニ有ルアラントス曾テ一人ノ余ヲ見シモノアラズ汝モ亦余ヲ見ルコトアタハズ然レドモ猶此地球上ニ住シテ其生ヲ營ム者余ニ對シテ必ス來ランコトヲ信スルコト最モ深シ彼ノ君王ノ位ヲ嗣グベキ嫡男ノ如キモ其花ノ未ダ開カザルハ則チ明日來ラザレバナリ常ニ必ス余ヲ望ミテ其戴冕ノ日ヲ待タサルハナシ又彼ノ守錢奴ノ如キハ余カ其富ヲ増殖センコトヲ渴仰希望セリ夫ノ

疾病ヲ患フル人及ヒ看養者ノ如キニ至テハ只管其健康ニ復
センコトヲ余ニ祈ル最モ深切トス夫ノ春心發動セル少年ノ
若キハ其約定セル所ノ新婦ヲ娶ラント欲シ余ノ來ランコト
ヲ渴望スル甚タ懇篤ナリ凡ソ世人ノ事ヲ願望スルモノ皆然
ラザルハナシ今余ノ名ヲ舉クベシ務メテ余ニ依頼スル勿レ
其故何如トナレバ汝及ヒ自餘ノ衆人モ余ノ亦欺クコトアル
ヲ確信スルアラシ

第九 昨日

余ニ己ニアリシ然レトモ今在ルニアラス又絶テ再ヒアラザ
ルベシ萬衆余ヲ有スレドモ一モ輔益トナルナシ余ハ或人ニ
對シテ親友ヲ證契シ又或人ニ對シテ怨敵ヲ證明ス余又一人

ヲ登用シ又一人ヲ貶黜ス余或ハ甲兒ニ與フルニ天福ヲ以テ
シ毫モ嗟歎ヲ知ラザラシメ或ハ乙兒ヲ譴責シテ罰苦ヲ嘗メ
シム若シ余輩幸ニ遭遇シ又不幸ニシテ分離スルコトヲ覺了
セハ則チ今當ニ語ルベシ汝ノ幾久シク訣別スル所ノ者ト

第十

留馬木

牧場ヨリ馬ノ奔逸スルヲ防キ止ムル
木ニシテ十字形ノ一柱上ニ横シテハ
回轉スベク若シ人之ヲ通行スルトキ
ハ自由ニ横木ヲ旋轉シテ過ルナリ

余ハ衆人ノ通路ニ在リト雖モ更ニ一人ヲモ妨クルコトナシ
余ガ四本ノ角ハ日々地平ニ並列セリ而シテ余カ頭ノ如キハ
頂上ニ釘ヲ打タレタリ

第十一 眠

茲ニ一個ノ文字アリ其音單純ニシテ且ツ發スルニ甚タ容易

ナリ之ヲ反復フルモ音韻更ニ異ナルコト無シ然レトモ此一物アルヲ以テ心中ヨリ特ニ想像ヲ發現セシメ美婦人ニ在テ最モ要物ト爲セリ

第十二 銅筆嘴

余ハ鑄山ヨリ採出サレテ竟ニ木製函中ニ鎖閉セラレ此函中ヲ出ルコト絶テ無シ然レトモ尙余カ如キハ毎日各人ノ爲メニ必用ノ事務ヲ做セリ

第十三 氷柱

其生スル唯嚴冬ニノミ在ルモノヲ其レ何トカ謂フ盛暑ノ日ハ即チ死亡シ其生スルヤ必ス根氷柱ノ莖莖ヲ倒シマニセシモヲ

第十四

日本ニ適セサルノ戲ナレバ譯チ欠ク

第十五 「アイウエオ」ノ五音

余輩ハ恰モ彼蒼々タル空際ニ飛翔スル小蟲物ノ如ク各々其活潑ナル所ノ音聲ト容貌上差異スル所アリ余輩ノ第一ハ綱ノ中ニアリ又余輩ノ第二箒ニ於テ見ル又其第三ハ團扇ニ屬セリ而シテ第四ハ胡篋ノ中ニ藏シタリ若シ強ヒテ結尾ノ第五ヲ求メナバ汝ヨリ外ナラズト解説スルノ類ニテ即チ「オマヘ」ヨリ外ナラズト答フルハ第五ノ「オ」ノ字ハ「オマヘ」ト唱フル中ニ在リト云フ意ナリ

第十六 針

余ハ唯一眼目ヲ具スルノミ而シテ萬物ヲ見ルコト能ハズ然レドモ此一眼目大ニ余ノ各般事務ヲ做シ皆之カ補助ヲ受ク又余ニ才智無シト雖モ極メテ銳利ナリ感覺セズト雖モ能ク衆人ノ運命ト快娛トヲ明決ス然ラバ余ガ身ノ汝ニ於ケル最モ要用タルコト疑ヲ容レザル所ナリ

第十七 偶人

余ノ如キハ從來人體ヲ具備スト雖モ曾テ慈母ノ教育撫愛セラルコト無シ而シテ人生固有ノ感覺及ヒ性命ノ如キハ余ノ敢テ與リ知ル所ニアラサルナリ余ハ裝束スルニ最美ノ絹帛ヲ以テシ童女ノ余ヲ寵愛尊重スル實ニ甚ダ厚シ即チ余ヲ有價物ト做シ親炙スルコト日アリ然レトモ余亦衰運ニ會スルア

リ彼ノ童兒ノ如キハ却テ余ヲ賤視嫌忌セリ

第十八 無一物

如意満足セル人ノ如キハ何モ無シノ余ヲ願望ス不足ノ患ヲ知ラザレバナリ貪乏人ニ至テハ余ヲ固有ノ資本物トス世上ノ富貴人ハ余ヲ請スレドモ守錢奴ハ勉メテ余ヲ浪費ス浪費生ハ常ニ余ヲ守護セリ余トシテ何モ無シ云フナリ守錢奴ノ費生ノ守護セサルナリ而シテ各個皆其棺ニ入り其墓ニ埋マルニ至テハ長ク余ヲ伴フナリ死シテ無一物トナルヲ云フ

第十九 何物

從容温乎タル處女ハ各個如何ナル様式ヲ做シ得ンヤ若シ能ク粧飾ナリセシトキハ其容貌ハ如何ニ見ユルニヤ又夫婦反

目争闘スルアリ而シテ後之ヲ和解スルトキニハ繁雜如何ナル状ゾヤ又平常無事ノ日ノ生活ニ於テモ甚タ許多ナルモノ

第二十 刺馬輪トコノ一對

茲ニ兄弟二人アリ離群索居シテ互ニ能ク其用ヲ做ス然レトモ兄弟同居シ相俱ニ協力シテ之ヲ爲スコトナシ其在ル所ノ邊傍ヲ異ニスレバナリ余等常ニ屢旅行ヲ職務トスレトモ恰モ囚奴ノ如ク長鞋ニ接シテ離ルハコト能ハズ又彼ノ駿馬ト共ニ千里行ヲ做セドモ常ニ脚下陪從スルヲ奈何セン

第二十一 地球

余ノ形容ハ一個ノ驚愕スベキ巨大ノ乗物ナリ然レトモ貨車馬車貨船戰艦ノ属ニモアラズ假令余ガ上ニ坐臥スルモ立行

スルモ休息栖運スルモ之ヲ論ズルナク余ハ唯汝等ヲ載セ無數百萬里ヲ勞動シテ遂ニ己ムコト能ハズ汝等ハ余ガ一呼吸ヲモ聞知ルコト無ク恰モ死亡セシ者ノ如ク默然タリ然ルニ余ハ自己ノ職分ヲ盡シ日夜ノ旅行ヲ勉勵ス固ヨリ一大速力アリテ回轉ヲ做シ常ニ旋動シテ己マザルナリ汝等更ニ此事理ヲ知覺スルコト無ク常ニ余ト共ニ旅行ヲ做スノ人ニシテ或ハ一碼即チ「ヤルド」ヲ行クト云フトモ決シテ之ヲ信ゼザルアリ余ハ斯ノ如ク是等ノ人ヲ愛シ數年ノ久シキヲ經テ末タ曾テ之ヲ棄ルコトアラズ然リト雖モ余ニ於テハ一點ノ賞ヲ要望スルノ意ヲ懷カズ汝等諸君子余ノ意ニ抗敵スルモ隨從スルモ適意散歩スルモ安睡軒息スルトモ余ハ猶愛着シテ

汝等ヲ棄ルコトナカルベシ

第二十二 鑰匙

人間何等ノ強勇大力ナルモノト雖モ鎖門鎖戸ヲ自由ニ通過スルコト能ハズ然ルニ余ハ一タビ溫柔ヲ以テ之ト接遇スルトキハ容易ニ交通ヲ做シ開闢自由ヲ得ルナリ若シ余一友ト爲リ近ク其所ニ在ラザルトキハ街市ニ在ル所ノ數多ノモノ將ニ閉鎖スベシ

第二十三 蚤

余ヲ棄テバ世人ハ皆死スベシ余ハ是「ノミ」ト云ヘル一虫ナリ亦能ク人ヲ咬フ人ノ性命ハ飲食ニアリ同音ノ余ナクンバ必ズ死セン

第二十四 莫大小

茲ニ一個ノ物アリ之ニ納ル、ニ一物ヲ以テスレバ其物漸ク膨脹シテ巨大ニ至ル若シ一物ヲ加ヘザルトキハ次第ニ收縮シテ細小ト做ル

第二十五 四猫

茲ニ試ニ一物ヲ假説セン一室ノ四隅ニ各々一猫ヲ置キ一猫ハ他猫ニ對シ一猫ノ尾上ニ又一猫ヲ置ク然ルトキハ幾何ノ猫兒アルヤ

答フ四猫ナリ即チ四個ノモノ各相對坐スベシ是能ク相互ニ見ル自己ヲシテ尾上ニ坐セシムルガ故ナリ

第二十六 七人

「ジョシ」君其知己ノ貴人ニ謂テ言ヘ「ク余ハ六女ヲ生メリ而シテ其女各々一個ノ弟ヲ持セリ然ラバ其兒子ノ數凡ソ幾何ナルヤ

答フ七個ナリ「ジョシ」ノ産ム所ハ七人即チ六女ニシテ一弟ノミ故ニ其六女ニ對シテ云フトキハ皆其弟タルコト勿論ナリ

第二十七 唯一人

余曾テ「セント、アイヴス」ト云ヘル街市ヲ逍遙セシニ適々九婦人ノ已ニ老齡ニ属スルモノニ遇ヘリ然ルニ其九婦人各々九個ノ袋ヲ携帶シ其袋ニ各々九個ノ猫ヲ入レ其猫各々九個ノ猫兒ヲ養育セリ今其猫兒ト猫ト袋ト婦人トノ總數合セテ幾

許ニテ「セント、アイヴス」ノ市中ヲ行キシヤ

余ハ即チ他ノ衆人ニ逢ヘルナル他ノ衆人ハ即チ「セント、アイヴス」街ヨリ來レル者タリ故ニ行ク所ノセノハ唯我一人ノミトス

第二十八 蠟燭

童女「チツナコート」ハ被ルニ白色ノ下衣ヲ以テス而シテ其鼻ハ純赤レリ此童女ハ一足ヲモ有セズ又一手ヲモ有セズシテ起立セリ其起立スルヤ久シキニ至レハ必ズ隨テ短キニ至ルコトモ亦彌甚シ

第二十九 雪

家屋ノ周圍ヲ周廻シテ家屋ノ周圍ヲ周覽スルニ各窓毎ニ一

面ノ白色ヲ殘スモノハソレ如何ナル物トナスヤ

第三十 卵

「ハンブナー」「ダンブナー」墻ヨリ墮テ破壊セリ假令女王ノ戰馬
或ハ軍人ト雖モ彼ノ「ハンブナー」「ダンブナー」ヲ再ヒ完造スル
コト能ハズ

一回地ニ墮テ破壊スレバ決シテ復元スルコト能ハザル
モノ之ヲ何物トカセン即チ是ナリ

第三十一 人

茲ニ一物アリ朝ニ富テハ行動スルニ四個ノ脚ヲ用井午後ニ
及テハ唯二個ノ脚ヲ以テシ已ニ晩暮ニ至レバ行動必ズ三個
ノ脚ヲ勞スルモノ今汝之ヲ如何ナル物トカスル曰ク人ナリ

夫レ人幼稚ノ時ニ在テハ必ズ四肢ヲ以テ匍匐行動ス其
成長スルニ至テハ直立シテ行走自在ヲ做ス若シ老衰ニ
及ブトキハ郷里ヲ歩行スルモ常ニ杖ノ輔助ヲ假ラザル
ヲ得ザルナリ

第三十二 名稱

製造菓子申ニ有スル所ノモノ或ハ其他總テ地球上ニ在ル限
リノモノニモ亦悉ク有スル所ノ物ヲ何トカスル

第三十三 非

茲ニ一介ノ士アリ其人未ダ生レテアラズ其父ト云フモ生ル
ハノ前ニアラズ其人存スルニ非ス又死亡スルニ非ズ而シテ
神銘ノ如キモ其人ノ上ニ非ズ

第三十四 烟火

余ハ一個ノ小玩具ト雖モ若シ勢焰ヲ猛烈ニスルトキハ一大都府ヲシテ須臾ニ黒烟中ニアラシムベシ今余ガ頭ノ二音ヲ採用セバ即チ遊園中ニ在テ衆人ノ愛護賞玩スル所ト做ルベシ又其上下二音ヲ除キ去リダツバ人家日用養生食物ノ一種トナラン之ヲ何トカスルヤ

花火ノ上ノ二音ヲ取レバ即チ「花」ト做リ又其上下二音ヲ去レバ即チ「茶」ト做レバナリ

第三十五 工學

烏帽子ヲ始メトシテ吹笛ヲ終リトスル物ヲ何トカ云フヤ

第三十六 腿

茲ニ二腿ヲ以テ一腿ヲ運ブモノアリ來テ房内ニ入り其一腿ヲ以テ三腿ノモノ、上ニ置ケリ偶ニ二腿ノ外出セシテ伺ヒ四腿ノモノ跳上リテ其一腿ヲ竊ミ去ラントス彼ノ二腿遽ニ還テ其三腿ヲ抛投シテ其四腿ヲ打撲ス是ニ於テ一腿ノモノ再ヒ舊位ニ復ルヲ得ダリ是ヲ何等ノ物トスルヤ

是即チ一個ノ人ノ手ニ一個ノ羊腿ヲ携ヘ室ニ入來リ其羊腿ヲ三脚腿ノ腰架上ニ置キテ又室外ニ出デシトキ偶一狗子ノ來テ羊腿ヲクハヒ去ルアリ時ニ其人室ニ還リ急ニ腰架ヲ以テ狗ニ投撲シテ其羊腿ヲ取返スヲ云フノ

第三十七 我子

一處女他ノ二婦人ニ問テ曰ク彼ノ男子ハ汝ニ於テ何等ノ親
屬ナリヤ一婦人答フ彼ノ母ハ我母ノ唯一人ノ子ナリト

第三十八 準經

余ハ愈々卑低ノ處ニ下レバ隨テ愈々長キニ至ル若シ最モ高
上ノ處ニ在ルトキハ則テ最モ短キニ至ル

第三十九 新聞紙

余ハ一種ノ奇異ナル造物ナリ請フ余ニ余ガ名號ヲ報ゼンコ
ト夫レ余ハ余ガ國人ノ面目及ビ名聲等ノ專ニ關係シ而シ
テ日毎ニ老死シテ陳腐ト爲リ又日毎ニ蘇生シテ新珍ト做ル
或ハ讚歎セラルレ或ハ誹謗セラルレ或ハ虛妄アリ或ハ眞實アリ
余ハ余ノ青年人ニ在テハ盛美ノ少年新聞紙ニ在テハ未ダ陳腐ニ屬セザル所ノ珍話ヲ云フ日ニ

於テハ即チ鏡テ國人ノ談話ト做ル若シソノ時ヲ過ルトキハ
己ニ遺忘セラル、物ニ屬ス夫レ晨朝ニ在テ余ガ如ク愛玩セ
ラル、處女ハ世ニ在ルコト希ナルベシ然レドモ暮夜ニ及デ
ハ等閑無用ニ屬セラレ復タ間フモノ無シ汝等美婦人ニ告ク
能ク自ヲ節省セヨ余ハ汝ト同シク光陰ヲ閑過スルモノタリ
嗚呼奈何セン汝ト余ト共ニ陳腐老臉ニ屬セザランコトヲ欲
スレドモ得ヘカカラザルナリ

第四十 濟河ノ妙計

茲ニ一男子アリ小舟ニ乘シテ大河ヲ濟ル其管護スル所ノ物
ハ一個ノ狐一羽ノ鶴及ヒ一籃ノ穀ナリ然ルニ舟狭小ニシテ
三物一時ニ運スベカラズ一回ニ一物ヲ送ラザルコトヲ得ズ

然スルトキハ相傷害スルノ患アリ彼ノ男子之ヲシテ完全ナ
ラシメント欲シ百方思索シテ始テ其法ヲ發明セリ若シ三物
一所ニ殘ストキハ狐ハ必ズ鵝ヲ食フベシ獨狐ノミヲ捕ヒテ
先ツ濟サバ穀ハ盡ク鵝ノ餌食タラシ假令二回ニ鵝ヲ送ルト
モ復タ還ルトキハ彼ノ鵝ハ狐ノ餌ト爲ラン若シ最初ニ穀ヲ
運搬シ鵝ト狐トヲ殘シ置カバ狐ノ鵝ヲ食フコト判然タリ然
ラバ三物ヲシテ相傷害スルコト無ク共ニ運送シ得ルノ好工
夫如何

是時彼ノ男子決斷スルニ三回運送ノ勞ヲ一回増加シテ
四回ト做シ乃チ初回ニ鵝ヲ遣ハシ穀ト狐トヲ遣シ次回
ニ狐ヲ捕ヘテ彼ノ岸ニ運ヒ置キ再ヒ鵝ヲ携テ還來リ第

三回ニ穀籃ヲ送り第四回ニ至テ彼ノ鵝ヲ抱キ去ル斯ノ
方法ニ因テ狐ト鵝トヲ共ニセズ鵝ト穀トヲシテ其所ヲ
同クセシメザルヲ得タリ

第四十一 玻璃盃

余ハ飲饌中必ズ衆人ノ爲メニ舉ゲラル若シ余其處ニ在ラザ
ルトキハ其食事ハ極メテ粗惡ナリト看做ス汝等余ヲ誘導シ
テ茶若クハ咖啡ヲ用井ルノ坐ニ至ルハ固ヨリ稀ナリトス然
レドモ汝余ヲ伴ハズシテ飲酒ノ席ニ赴クモ亦甚タ稀ナリ

第四十二

適寶ナラザレバ譯セズ

第四十三

水鞋

此物半ハ鉄メ用半ハ木ヲ用テ
製ス鐵頭ハ地下ヨリ出テ木ハ地上

其半ハ地下ヨリ出デ其半ハ地上ヨリ出ル余等姊妹ノ如キハ再誕ヲ工術ニ由テ成ス即チ鍛工ト木匠トノ二養女ニシテ陸地ニ製作セラレ水上ヲ旅行ス余輩ノ運動スル彌迅速ナルトキハ亦隨テ彌緊密ニ壓着セラル汝余ヲ海或ハ空地ニ遣ルコトナク貪者ノ爲メニ其用ヲ做シ富者ノ爲メニ其鬱ヲ散セシム若シ雨降ルトキハ則チ沉没シ其凍結堅硬ニ至テハ輕々通過スルテ得ルナリ

第四十四 水

余ハ風ノ吹キ起ルニ隨テ必ズ震動ヲ做ス然レドモ最大重量ノ物ヲ運轉シテ疲勞ヲ覺エス余ノ威力強勢能ク此世界ヲシ

ニ生出ス
ルナリ

テ缺損ヲ受ケシメ各物悉ク混淆スルノ大患難ヲ發生スルコト衆人ノ知ル所ナリ又其億兆ヲ保存スルノ大功德モ我中ニ存在セリ

第四十五

適當スベキモノ無シ

第四十六 墨

豪傑ノ士十有一人烈婦十有五人銳敏秀才ノ童子二十有三人美術三十有三牡蠣ヲ料理スルノ新法咖啡ヲ製スルノ最上法葡萄栽植法ノ改正時様ノ婦人帽子十個一百卷ノ書籍ノ要畧等ノ如キハ皆是平生用非ル所ノ一液タリ而シテ其語ハ二音ヲ以テ呼フ所ノモノ之ヲ何トカスル

第四十七

適當スベキモノ無シ

第四十八 蟲

余ハ人ノ敵ニシテ曾テ人ノ憐愍ヲ受ケズ余カ形體ハ細小ナリト雖モ其艱難勞苦ノ巨大ナル實ニ言フベカラズ然レドモ亦一快慰アリ昨日余ヲ敵視シタル人モ今日泉下ニ歸シ余ノ餌食ト住居トヲ兩ナガラ供給スルニ至レリ

第四十九 一物

不測ノ一物アリ恰モ衆星ト高サヲ争フモノアリ一個ノ井モ斯ノ如ク卑ク掘ルベカラザルモノアリ此ハ五千年ノ齡ヲ保テリ彼ハ未ダ一時間ヲモ經過セズ恰モ水ノ如ク濕氣ヲ帶ビ

紅燒ノ鐵モ乾燥物ト做シ難ク其暗キ夜ノ如ク其寒冷氷ノ如ク太陽ノ照スニ類シ火ノ燃ユルニ似タリ一個ノ精神モ無ク又形體モ無シ老練ノ妖狐モ是ヨリ狡猾ナルモノ無ク白癡ノ蠻子モ是ヨリ愚鈍ナルモノ無シ地球上ニアラズシテ此室ニアリ其堅剛石ノ如ク其輕柔毛ニ似タリ一點ノ色ヲ帶ビズ而シテ雪ト其色ヲ同ウス内外共ニ黒キコト墨ノ如ク又全ク赤色アリ全ク綠色アリ全ク黃色アリ全ク藍色アリ汝頃刻ニ之ヲ思考シ得ルヤ其響キ汝ノ耳ヲ撲ツ速カニ消失スルアリ更ニ衰滅セザルアリ常ニ光中ニ現出スルアリ然レドモ晝間ハ見ハルヽ能ハズ全地球ヨリ廣大ナルモノアリ又細微鏡針ノ尖頭ヨリモ猶小ナルモノアリ余汝ニ告ク是如何ナル物カ十

回反復ストモ汝之ヲ了解シ得ザルベシ今汝ノ口中ニ在ルモノアリ亦近キニアラザル者アリ汝ノ目撃スル所ヲ汝見タリ此事汝ナシテ笑ハシメ又汝ナシテ叫バシム若シ平生汝ノ意ニ適スルモノニ觸レナバ必ズ汝ノ感ヲ覺ユルコト彰々乎タリ

第五十 無事物

世界創造ノ以前ニ當リ造物主ノ命スル所ハ分子集合シテ万物ト做リ無疆ノ空所唯余ガ占有スル所ト做リ彼ノ始テ造ル星ノ如キモ余ノ頭上ニアリシ凡ソ溫柔ナル人若クハ謙遜ナル人余ヲ輕蔑ス驕慢虛飾ノ人能ク余ヲ扶持ス聖者能ク余ニ聽キ盲者能ク余ヲ視ル拙人能ク余ヲ識レリ吝嗇夫貪惜ノ意

ナク能ク余ヲ惠恤ス大量驕子却テ余ヲ保有セリ若シ汝ヨク察知セバ余告クルニ之ヲ以テセン

第五十一

適當スルモノ無ケレバ畧セリ

第五十二 無事物

衆人ノ生命ヨリモ一層重ク愛スル所ノモノヲ何トカスルヤ又生命ヲ懸ケテ争闘スルヨリモ猶恐怖スベキモノアルカ抑モ富貴ノ極ニ至ル人ノ要請スル所ノモノカ又貪賤者ノ固有保持スル何物ヲ以テスルカノ類大意前條ノ無一物ト同シ

〇「シヤラードス」

「シヤラードス」ト稱スル謎ハ詞ヲ以テ試ミルモノニシテ或ハ

一個ノ詞ヨリ其綴音チ一二或ハ三ニモ截斷シ後又聯合シテ
 他ノ語ヲ造成シ或ハ二三個ノ詞ヲ以テ各其詞ニ分チ或ハ合
 シ或ハ散シテ之ヲ做スモノナリ今二三ノ例ヲ舉示サン即チ
 家婦ト云フ二詞ヲ「シヤラードス」ニテ云ハンニハ余家婦ノ二
 フノ第一家ヲ云フ後ハ若シ暗黒ナル暮夜ノ來リ追ルトキハ
 甚ダ貴重セラルハナリ斯ノ如ク余ガ第一チシテ貴重ナラシ
 ムルハ素ト余ガ第二婦ヲ云フノ活用ヨリ做ス所又余ノ全體家婦
 云不撓ノ意見ヲ以テ勉力スルニ因テ余ノ第一チ守護スルヲ
 得ルナリ而シテ後余ノ第二タル者ノ道ヲ尽セリト云フベシ
 以上家婦ノ二字チ解キタリ又茲ニ金鑽ノ二字チ舉ゲン
 余金鑽云フノ第一金ヲ指ス後ニ尾シテ衆人悉ク奔走ス是其意

富チ得ント欲スレバナリ又地ヲ鑿ツ人アリ是余ノ第二眼云フ
 ヨリ要用ナル物チ得ント欲スレバナリ人若シ能ク余ノ全體
 云金鑽中チ窺ヒ得バ其第一金ヲ云フチ保有スルコトヲ察知スベシ

自餘數十ノ問題アレドモ固ヨリ日本國語ト適合セザレ
 バ之ヲ畧シテ唯其大意二三ノ例チ解スルノミ

○「レボセス」「アツズルス」「コノドラマ」等音讀語ノ名目

○盛饌部

第一 人間固有ノ最モ尊重スベキ部ノ油煎シタルモノハ何
 ズヤ

答フ「ソール」英語ニテ靈魂トス又其同音ニシテ鞋底魚ト
 云フ詞ナリ故ニ人々ノ重スベキ部トハ靈魂ニシテ其盛

餌ニ供スルモノハ韃底魚トス是音通ノ詞ヲ以テスルナ
リ以下類推スベシ

第二 魯西亞國ノ欲スルモノ

荅フ吐綬雞英語「トルキー」ト云フ彼ノ「土耳其」國ト音相通
ズレバナリ

○植物ノ部

第三 木匠ノ日々要スル所ノ者ト植物ノ色ノ秀逸ニシテ香
ノ愛スベキモノハ何ゾヤ

荅フ菊ナリ木具ハ工匠ノ要スル所菊ハ隱逸君子ノ愛ス
ル所

第四 一日ノ最モ始メト人体中ノ最モ重ズベキ部分ハ何ゾ

ヤ

荅フ牽牛花「アツ」ハ一日ノ最モ始メニシテ「カホ」ハ體中最
モ貴重ナル部分ナリ

○食後菓子ノ部

第五 日本字母第二十一ノ字音ト數ノ三位ノ次ニ居ルモノ
ハ何ゾヤ

荅フ梨ナリ「ナ」ノ音字母ノ第二十一ニ在リ而シテ三ノ次
ハ「シ」ナレバナリ

第六 最良ノ酒ヲ釀スル所ノ蟲ハ何ゾヤ

荅フ蚶子葡萄ト音相近ケレバナリ

○茶酒酪等ノ部

第七 大西洋中ノ一島ハ何ゾヤ

答フ馬德拉即チ一島ノ名ニシテ其地ヨリ製シ出ス所ノ酒モ亦島名ヲ以テ呼ベザナリ

第八 英國ト支那トノ間ニ於テ相結ブノ紐ト做スベキモノ

ハ何ゾヤ

答フ茶トリ

第九 半ハ豆ト呼ヒ半ハ茶ト呼ブモノハ

答フ「カツヒー」即チ豆茶ナリ

第十 製乳所ノ富ヲ致スベキモノハ

答フ乳糖ナリ

第十一 砂石ノ石ヲ除キ糖蜜ノ蜜ヲ去リシモノハ

答フ砂糖ナリ

○菓實ノ部

第十二 人ノ珍異トスル所ノ鳥ト衆ノ能ク知ル所ノ菓實ハ

何ゾヤ

答フ鳳梨ナリ

第十三 樹木ノ鬱然タル下ニ一禽ノ一木ニ並列スルモノア

リ何トカスル

答フ林檎ナリ樹木ノ鬱然タルハ林ナリ一木一禽ハ即チ

橘ナリ

○花ノ部

第十四 兒女ノ遊戯ニ専用スル所ノ花ハ

苔ツグミフ繡クサビ毬クマ花ハナ即チ兒女ノ毬戲ヨリシテ花ニ言ヒ及ボスナ

○草ノ部

第十五 酸辛ノ反對ナル草ハ

苔ツグミフ甘草ナリ

第十六 以テ牛羊ヲ飼フモノハ

苔ツグミフ野草ナリ

○「ブツザルス」

「ブツザルス」ト稱スルモノハ其苔者ヲシテ容易ニ解シ得ズシテ困惑セシムルノ義ナリ問題ヲ舉クルニ文字ヲ大書シ其間ニ異様ノ字形ヲ畫ク其法數種譬ヘバ 問ハ何等ノ字ナルヤ

ト問ハンニ當ニ苔ヘテ問ナリト云フベシ

自餘題目衆多アレドモ大抵此類ナレバ一々之ヲ掲ケズ

○「シャワー」

第一余ノ第一ハ執迷人ノ拜跪尊崇スル所ノモノ余ノ第二ハ馥郁タル薰香ヲ帶フル花余ノ第三ハ東位ニ反對セシモノ而シテ余ノ余體ヲ以テ歐洲中ノ一強國ト做ス

苔ツグミフ佛蘭西ナリ

第二 余ノ第一チ女子ノ常用物トス余ノ第二チ木匠ノ造リ

出ス所ノ物トス而シテ余ノ全體ハ婦女子ノ日々手ヲ離サ
ズル器具タリ

苔ツグミフ針箱ナリ

第三 余ノ第一ハ鱧物中最貴ノ物トス余ノ第二ハ河海共ニ住ム所ノ物ノ總名トス而シテ余ノ全體ハ園地泉水ニ游泳シテ人曰テ欣怡セシムル者ト傲ス

荅フ金魚ナリ

大凡此ノ如キ類ノ語ヲ擧ケテ解説スルナリ原本其他數題アリ今之ヲ畧ス

○「レ」ボス」

第二ハ樵夫ノ使用スル所ノ器械第二ハ日本國ト其形ヲ同ウスル蟲第三ハ兒童ノ甚タ嗜好スル菓實若シ此三詞ノ頭ニアル所ノ各音ヲ其順ニ隨ヒ綴合スルトキハ即テ衆人ノ視テ大歡喜ヲ傲ス所ノ者ナリ

荅フ踊舞ナリ 「テ」トハ 樵夫ノ小斧ト「ト」トハ 踊舞ノト是日本國ノ形ニ似タルヲ以テナリ「リ」トハ 林檎ナリ是重兒ノ好ム所ノモノナリ

○「リ」ツデルス」

第一 余ハ居常湯々颯々トシテ鳴ル然レドモ更ニ啼泣ノ聲ヲ出スコトナシ余ハ常ニ臥床ニ伏ス然レドモ遂ニ睡眠シ夢ヲ結ブコトヲ得ズ余ノ口甚タ廣ク余ノ頭顱ヨリモ大ナリ余更ニ人ノ養育ヲ受ケザレドモ常ニ大量ヲ吐出セリ且ツ余ハ一個ノ脛脚ヲモ有セズシテ其走ルコト極メテ迅速ナリ而シテ余ノ降下スルコト彌多量ナルトキハ其激動スルコトモ亦彌迅速ナリ

荅フ河水ナリ

大率此類ノ隱詞謎語ニ属スル者亦多シ

○「ロゴグリセ」

茲ニ數個ノ音ヲ定メ轉倒反覆シテ數詞ヲ作ルコトヲ做ス其音ヲ超過シテ他ノ音ヲ用ヰルコトナシ然レドモ其定メタル所ノ數音ヲ每詞完用スルニアラズ或ハ多ク或ハ少ク唯其確定セシ所ノ音中ノ二三ヲ取テ語ヲ成セバ則チ可ナリ譬ヘバ「アカサタナ」ノ五個ノ横音ヲ基本ト做シ數個ノ詞ヲ造ランニハ樵夫ノ使フ所ノ器具ハ「鈍」厨庫ニ在テ諸器具ヲ藏スルモノハ「閣」行人ノ登躋ニ難艱スル所ハ「坂」雨中ニ必用ノモノハ「傘」一日ノ最初ハ「朝」武士ノ要スルモノハ「刀」野蠻人ノ居所ト做スモノハ「穴」ナリ

斯ノ如ク鈍閣坂傘朝刀穴等ノ數詞ヲ成スト雖モ彼ノ「アカサタナ」ノ五音ヲ出ヰルコトナシ以下此例ヲ以テ造成スベシ

○「アナグラムス」詞ノ交換ト云フ原意ト

- | | | |
|----|-----|-----|
| 第一 | 詞訟師 | 荅祝詞 |
| 第二 | 繩 | 荅花 |
| 第三 | 孫羊 | 荅檀輿 |
| 第四 | 任間 | 荅堪忍 |
| 第五 | 閣 | 荅鈍 |
| 第六 | 石榴 | 荅六社 |
| 第七 | 木枕 | 荅屋隅 |
| 第八 | 盤針 | 荅飯炊 |

第九 隱子

答驛轆

第十 日本

答眞實

第十一 莖

答菊

○數學ノ「ブツザル」スレ

第一 二十五個ノ數ヲ二倍セシモノト二倍シタル五個及ヒ

二十個トノ數ノ差異ハ如何

答フ 五十二倍二十五個ヲニト三十五ヲ二倍シテ十ト且ツ

リバナトノ差ハ即チ二十ナリ

第二 茲ニ青魚ノ一尾半アリ其價三個ノ半錢ニ當ルトス然

ラバ今十一錢ヲ以テ幾個ノ青魚ヲ得ルヤ

答フ 青魚ノ一尾半價三個ノ半錢ニ當レバ一尾ノ價一錢

タルコト判然タリ

第三 甲乙二人アリ賭ヲ做スニ其雞卵ヲ食フ孰レカ最モ多

キヲ以テス而シテ甲ハ其數九十九個ト一個ヲ食ヒ乙ハ其

數一百個ヲ尽セルニ甲尙贏ヲ得タリ其故如何

答フ 甲十個多ク食ヘリ勝ナリ甲ハ九十九ト一

レバナリ

第四 一男子アリ昔日其妻ト婚姻ヲ結ビシ時ニ富テ其夫ノ

年齢其妻ニ超過スルコト恰モ三ノ數ニ三ノ同數ヲ乘セシ

如ク三増倍ナリトス其後十有五年ヲ經テ依然トシテ情好

適合ノ夫妻タリ而シテ今妻ノ齡ノ夫ノ齡ニ近キコト八ト

十六ニ於ケルガ如シ試ニ問フ其夫妻ノ新婚セシトキ各齡

幾何ナルヤ

答フ新婦ノ年十有五ニシテ夫婦ノ齡四十有五ト做ス

第五 茲ニ一室ノ四隅ニ備フルモノアリ其各隅ニ於テ一個ノ猫ヲ置ケリ而シテ之ヲ觀ルニ三猫ハ各猫ノ前ニ對シ一猫ノ坐スル各猫ノ尾上ニ於テスト今幾何ノ猫其室ニアルヤ

答フ四猫ナリ

第六 茲ニ毛布三丈アリ之ヲ一尺毎ニ截斷セント欲シ手ヲ下シテ毎日一尺ノ毛布ヲ切ランニハ幾許ノ日數ヲ費ヤシテ其事ヲ做シ了ルコトヲ得ルヤ

答フ二十九日ナリ

第七 十二ノ半分ハ七個ナリ其故如何

答フ七即チ卅ⅩⅡノ字形ヲ推テ知ルベシ

第八 若シ二個人アリ其兩手ニ握ルニ金錢ト銀錢トヲ以テス而シテ今何レノ手ニ銀錢ヲ握レルヤ又其金錢ヲ持ツノ手ハ何レナルヤヲ確識セント欲セバ則チ次ニ説ク所ノ簡易ナル方法ニ由テ解スベシ

金錢ノ數ハ偶數ヲ以テスルヲ要ス譬ベバ之ヲ八ト爲シ銀錢ヲ奇數トシテ三ト做スノ類ナリ斯ノ如クシテ後其一人ニ語ルベシ其右手ニ握ル所ノ數ニ乘ズルニ他ノ偶數ヲ以テシ且ツ他ノ奇數ヲ以テ其左手ニ在ル所ノ數ニ乘ゼヨト而シテ之ヲ合併シテ其總數奇ナルトキハ金錢右手ニ在リ

トス若シ偶ナルトキハ則チ銀錢ノ右手ニ在ルコト明白ナリ此專チ一層巧ミニ識リ得ント欲セバ乘積全數ヲ問フニ偶カ奇カト云フヲ用非ズシテ直ニ其全數兩分スモキヤ否ヲ以テスベシ若シ分ツベキ數ト云フトキハ其偶タルコト論ヲ待タザルナリ

第九 凡ソ九ト稱スル數ハ自餘ノ數ニ屬セザル所ノ特別ノ質ヲ固有セリ汝ノ意ニ適スル所ノ他數ヲ以テ此九ニ乘ズベシ其加ヘタル所ノ積モ亦猶九ノ數ヲ存セリ譬バ九ノ數ヲ二倍スルトキハ二九十八ナリ八ニ一ヲ加ヘバ又即チ九ノ數トナル十八チ一八ト書ス一ト八トハ即チ九ナリ又九ヲ二倍ニ做ストキハ即チ二十七ナリ二ト七トチ合スレ

バ即チ九ト做ル又九ヲ八倍ニナストキハ七十二トナル而シテ七ト二ト相加ヘバ又九ト做ル等ノ如シ若シ其九ノ數ニ乘ズルニ二十有一個ヨリ以上ノ數ヲ以テストモ猶九ノ數ト做ル是唯九數ノ重疊シテ數多ニ做ルノミナリ

算數妖術

此戲タル奇異ノ名數ヲ舉ゲテ人ヲシテ眩惑セシムルノ術ナリ汝等試ニ其適意ナル數ノ偶ナルモノヲ心中ニ思定スベシ而シテ之ヲ詞ニ發スル勿レ余汝ニ謂ハン今心中ニ定ムル所ノ數ニ加フルニ此數ヲ以テスベシト即チ彼ノ偶數ノモノヲ舉ケ云フ而シテ余又謂テ曰フ今汝請フ余ガ言シ數ヲ加ヘテ得ル所ノ全數ノ半ヲ除ケト然シテ後余又謂ハン其始メニ汝

ノ思定セシ數ヲモ亦除クベシト斯ノ如ク做シ了ルトキハ假令余其數ノ何許ヲ知ラズト雖モ其殘數ノ幾何タルヲ確言スルニ於テ毫モ謬ルコトナシ其殘數タル常ニ余ノ汝ニ加ヘント發言セシ數ノ半ニ適スルモノナレバナリ譬ヘバ汝ノ思定スル所ノ數八ナレバ余ハ汝ニ請フニ其數ヲ二倍センコトヲ以テス其時汝モ亦知ルベシ斯ノ如クセバ即チ十有六ニ至ルコトヲ然レドモ余ハ其事ニ就テ一モ知ル處ナシ又汝ニ請フニ其相信セシ所ニ四ノ數ヲ加ヘンコトヲ以テス斯クセバ全數二十ヲ得ベシ余ハ更ニ知ルコトナシ而シテ後余又汝ニ請フニ其全數ノ半ヲ除カンコトヲ以テス是ニ至テ其全數唯十ノミ結局ニ至リ余又汝ニ請フニ始メ思定セシ所ノ數ヲ除カ

ンコトヲ以テス其總額ノ幾許ナル素ヨリ預知スル無シト雖モ余汝ニ告クルニ殘數ノ二ナルコトヲ以テスルヲ得ベシ是戲者ノ昏迷混淆シテ分曉シ易カラシムルノ技倆ナリ其實地ヲ言フトキハ始メ加ヘント云ヘル數ノ半數必ズ其殘數ト做ルベシ余初メ望ムニ四數ヲ加ヘンコトヲ以テス故ニ其殘數所ノ數ハ即チ二ノ數タルコトヲ確知スルナリ

○「コノンドラム」証語ノ一種即チ奇語ヲ發シテ物ノ全ク齊シカタザルモノ、二個ヲ相照シテ比

第一 何ノ故ニ木葉ハ人體ト齊シキヤ

答フ木葉モ脉管膜理ヲ固有スルナリ

第二 醇美ノ酒ヲ製スルニ何蟲ヲ以テスルヤ

在リ日出ノ方ニ當テ現出ス此「メムノン」ノ像ノ如キハ彼ノ音樂ノ如キ響テ發スヲ小説ノ書ニ據テ考フルニ其像太陽ノ光線ニ觸レバ自ラ音樂ノ聲ヲ發シ光線ノ消滅スルニ隨ヒ其音聲モ亦自ラ靜止スト斯ノ如クシテ「シヤラード」ノ全體ヲ做セリ余亦他ノ兒女モ「アガメンノン」ヲ表呈スルニ「アイフエジニヤ」ノ性ヲ奉供スルノ景況ヲ做スヲ以テスベシ其「アガメンノン」已ニ前條ニ出セリ是れ最モ著名ナル者ニシテ扁額ノニ模擬スルニハ往古ノ畫法着色ニ從ヒ其顔面圖畫ニ多シヲ覆フニ外套ヲ以テセリ此沉默セル「シヤラード」ノ如キ甚ダ温雅靜婉其宜キニ適スルノ技タリ若シ之ヲシテ一段ノ戲謔笑態ヲ增加セシメント欲セバ談話ノ「シヤラード」ヲ採用ズヘシ余輩ガ今下條ニ附説スル所ノモノハ即チ幼童ノ常ニ做シ

得ルモノニシテ余ガ一目シテ三歎セシ所ナリ而シテ其豫シメ假定セシ題詞ハ即チ「線烟艸」ノ三字トス
 女王「イリサベス」紀元一千百年ニ代ノ女王ナリニ模擬スル一人ノ如キハ其女王ノ衣服ヲ粧飾シ鬘附ノ風領ト袴下ニ貼スル圈及ヒ大扇等ヲ持ツ又其内廷諸貴媛等ニ擬スル所ノモノハ自餘ノ戲伴之ヲ做ス皆其當代様ノ服飾ヲ爲ス
 「エスセツキス」伯ニ模擬スルモノハ一人ノ啞子ト做ル
 「ソルウオルトルラリーフ」「ロルドバレー」兩人ニ擬スルモノモ當代ノ服飾ヲ做セリ

戲場第一款

女王「イリサベス」其諸侍臣「ロルダバレー」一人ハ其列ニ關セズヲ從ガヘテ室内

ニ入ル其時女王ハ特ニ一層高キ椅子ニ其坐ヲ占メ扇ヲ以テ
 「ソルウオルトル、フリーフ」ヲ招ク形ヲ做ス「ソルウオルトル」是
 ニ由テ進ンデ女王ノ目前ニ佇立ス時ニ羽毛ヲ以テ修飾セシ
 帽子ヲ其手ニ持テリ

女王謂テ曰ク「ソルウオルトル、フリーフ」汝ニ告ク今日ハ是余
 等王家ノ宜シク歡樂ヲ做シ閑散ノ情意ヲ快慰セシムベキノ
 佳節ナリ是故ニ彼ノ曠漠且ツ奇異ナル地位ニ於テ河水ノ金
 砂ヲ踰エテ漂流セシ談話等ヲ以テスベシ彼ノ馨香馥郁タル
 園亭及ヒ荒漠タル草地ニ於テ非常ノ妖艶ヲ帶有セル草ヲ見
 ザリシヤト

「ソルウオルトル」答テ曰ク女王殿下ニ一種異草ノ妖氣ヲ有ス

ルモノアリ其生スルヤ彼ノ「ヴェルジニヤ」有名ノ花中ニ於テ
 セリ其草タルヤ恰モ昏睡ニ着クガ如ク人意ヲ和慰シ或ハ細
 磨シテ粉末ト爲シ人ノ神經ヲシテ反響スル所アラシムト「ソ
 ルウオルトル」乃チ一少匣ヲ取出シ又謂ヘ「ク須ラク之ヲ看
 ルベシ殿下此中ヨリ一捻ヲ取レト

女王曰ク斯ノ如キ試験アルヨリシテ畏縮スル所アレバ眞ノ
 女王タルヲ得ズト自ラ一捻シテ之ヲ嗅ゲバ劇シク噴嚏ヲ做
 ス此時「エスセツキス」伯大ニ笑フ然レドモ諸貴媛ハ務メテ笑
 ハズ

女王曰ク實ニ是奇怪ノ粉末ナルカナ「ソルウオルトル」汝ノ言
 善カナト又其貴媛ニ向テ曰ク汝等余ノ躊躇セザリシ果決ヲ

見ルベシ然レドモ其匣中ノ如キハ實ニ不潔物ノ充滿セシ所
タリ今汝等彼ノ物ヲ指テ何ト呼做スヤト

「ソルウオルトル」答テ曰ク鼻烟ナリ

女王曰ク汝ノ言善クナ實ニ然リ實ニ然リ今ヨリ後我ガ英國
女王ノ如キハ必ズ余輩ノ今日之ヲ嗜好スルヨリモ猶甚シカ
ラシノミト暫ク思惟シテ又謂フ余輩汝ノ烟管ヲ見タリ汝之
ニ充タスニ鼻烟ヲ以テスルカト

「ソルウオルトル」答テ曰ク否々殿下其烟管ノ火頭ヲ充タス所
ノ者ハ即ケ此妖草ノ葉ニシテ若シ之ヲ充タシムルトキハ之
ヲ稱シテ烟草ト云フト

女王ノ曰ク「ソルウオルトル」汝言ヒ得テ好シ又茲ニ余等王者

ノ素志トスル一件アリ汝宜シク我英人各個ノ鼻ヲシテ適宜
ノ安靜ヲ得セシムベシ且彼等ノ口ヲシテ煙筒タラシムル勿
レ此風俗タルヤ正ニ我ガ婦女子ノ嗜好スル所ニシテ身ヲ害
スルガ故ニ今汝之ヲ禁ズルノ方法ヲ發明セバ爾來我英國ノ
夫人タルモノ是害ヲ受ルモノアラザルベシ烟室ノ如キハ實
ニ試験ヲ經テ知ルベシ亦憎ムベキノ者ナリ若シ之ニ加フル
ニ烟管及ヒ鼻烟ヲ以テセバ又如何ナル事ト做ルベキヤ

「ロルドバレー」室内ニ入り禮拜シテ奏シテ曰ク是至重ノ國務
タリ我温良ノ女君宜シク自ラ智慧ヲ振發シテ以テ王者タル
注意ヲ做サンコトヲ要スト

女王ノ曰ク此處ニ來ルベシ我ガ「ロルド」貴稱今汝ノ說話ヲ做ス

ノ時節到來セリ嗚呼余輩ノ閑暇己ニ烟ノ如ク消遣セリト

女王諸貴媛等皆其跡ヲ隠セリ唯ニ鼻烟トイフ一部ノ詞

ナリ

戲場第二款

農家景况

王「アルフレツト」紀前八百七十一年ニ即位セシ英國王ナリ時
放逐セリ王田舎間ニ潛匿シ農夫ノ狀貌ニ摸シテ時機ヲ
待ツ爾後兵ヲ舉テ舊業ヲ恢復シ英國王ノ位ニ即ケリ並ニ
老婦即チ當時ノ貧農夫ノ婦ナリ此婦ハ往古「サクソン」ノ衣服
ナ着タリ

王「アルフレツト」ハ形容ヲ農夫ニ擬シテ坐ヲ占メ其弓ニ掛ク
ルニ絃ヲ以テス

老婦ノ曰ク妾今日彼ノ小班點ヲ帶タル牝鶏ガ必然卵ヲ生ミ
タレドモ其賣レ得ルヤ否ニ疑アリ而シテ妾今市場ニ出行ス
ル間彼ノ牝雞ニ意ヲ留ムルコト能ハズ又「アルフレツト」汝宜
シク儼ノ製成ニ至ルマデ注目シテ之ヲ焦着セシムル勿レト
ツ妾ガ還リ來ルマデ彼ノ儼ヲ等閑ニ看過スル勿レト

「アルフレツト」曰ク諾汝ノ言甚タ好シト乃チ自ラ坐シテ恍惚
ノ狀ヲ現シ時々欠伸シ段落ヲ成サマルノ語ヲ以テ獨話ヲ做
シテ曰ク實ニ我ガ忠節ノ臣等必ズ復タ戰勝ヲ得ベシ此時ニ
當テ余當ニ王位ニ復スベシ而シテ英國ノ憐ムベキ形勢ヲシ
テ強盛ニ至ラシメ今日ノ哀苦ヲ脱シテ安樂境ニ赴カシメン
人民ノ艱難ニ遭遇シ諸所ニ流離スル所ノモノ必ズ余カ意ノ

如クナルニ至リ而シテ英國遂ニ自主自由人ノ住處ト做ルヘ
シト

時ニ老婆還來リテ彼ノ儼ノ焦着スルヲ視テ「アルフレット」ノ
頭ヲ撲ツ

老婆曰ク咄々癡奴ナルカナ眼ハ醒メテ猶夢ミ各儼炭ノ如ク
焦ケタリ是皆我ノ損耗ナリ如何ナル忍耐人モ争デカ之ヲ憤
怒セザランヤ汝ハ一人ノ食フ所ノ鹽價ニモ及バザルナリト」
「アルフレット」曰ク阿婆請フ之ヲ宥怒セヨ是余カ始メテノ一
過失ナリ余此過失ニ由テ大ニ悔悟スル所アリ其損耗ノ如キ
ハ余麥粉一函ヲ以テ之ヲ償還セント

老婆曰ク汝余ニ麥粉一函ヲ與フト云フカ是何等ノ妄言ゾヤ

幾何ノ時ヲ待タバ之ヲ能クスベキゾト

時ニ門外ニ人アリ大ニ戸ヲ叩ク老婆曰ク誰ソヤ余汝ニ入ル
コトヲ許サズト

戸外ノ人曰ク汝余ヲ入レズンバ將ニ其罰ヲ受ルアラントス
余等ハ王ヲ搜索スル者タリト

老婆曰ク王カ王カ王ハ此處ニ在ルコトナシ汝ハ發狂人ナル
ヤト

外人等曰ク然ラバ戸ヲ破テ直ニ入ラン王ハ蓋シ弑セラレタ
リ而シテ彼女ノ王ノ事ヲ秘スルナラン嗟乎我王「アルフレッ
ト」余輩ノ素志水泡ト爲ルカト時ニ王立テ椅子ヲ離レテ自ラ
戸ヲ開ク

「アルフレット」曰ク余ハ忠義ノ臣等ヲ待テ此處ニ在リ嗚呼我
 ガ忠臣ヨ忠臣ヨ汝等ハ闇黑夜ノ光明ノ如シ是ニ於テ臣等感
 泣シテ跪坐ス
 老婆大ニ驚キ懼レテ曰ク吁々我今奈何セバ可ナラン何ト言
 ハ、可ナランヤト而シテ婆モ亦此ニ跪坐シテ謝シテ曰ク妾
 前ニ大王ノ足跡ヲ舐ルベキニ足跡ヲ舐ルハ叩頭シテ過テ大王
 ノ頭ヲ撲テリ伏テ請フ大王我罪ヲ宥セ時ニ王彼ノ婆ヲ扶ケ
 起ス

「アルフレット」曰ク我汝ガ罪ヲ責メズ余實ニ怠慢ナルヲ以テ
 汝ノ發スルハ是道理ナリ汝余ニ宿ヲ借シタルニ余却テ汝ノ
 態ヲ損害セリ向來互ニ和親セン汝余ノ家ニ來訪セヨ余前ニ

汝ニ約スル所ノ麥粉一函ヲ贈ラン余ガ戰勝己ニ近キニ在リ
 必ス戰勝テ再ヒ先王ノ位ヲ襲クニ至ラバ既往ノ親好ヲ重キ
 不親好ノ事欸ハ遺忘シ去ランノミ「アルフレット」是ニ至リテ
 去ル

此「シヤロード」ハ即ケ函ヲ以テ主トスル所ナリ

戲場第三款

全體

王后「チャルロット」ノ新婦タルトキ王「シヨルジ」第三世ノ
 之ヲ聘スルコト諸貴媛及ヒ諸貴人ノ如キハ其裝束ヲ同
 ウスルコト

王「シヨルジ」曰ク余甚ダ汝后ヲ見ルコトヲ悦喜ス余ノ居ル所

ノ宮殿モ汝ノ來ラザル前ハ誠ニ憂愁ノ色ヲ帶ビタリ今汝ノ來ル後余輩俱ニ幸福ヲ得タル意アリ是皆衆臣ノ知ル所ナリト王乃チ自ラ立テ坐テ后ノ隣ニ占ム

王后答テ曰ク陛下ノ仁惠深キコト海ノ如シ今日此賀宴ヲ開ク妾ノ陛下ニ對比セザル萬々ナリト雖モ妾ガ陛下ノ深恩ヲ奉戴シ之ニ報セント欲スル所ハ即チ陛下ノ妾ヲ愛スルノ極メテ厚キヲ以テ之ヲ謝スルノ信心ヲ盡サンコトヲ務ムト后乃チ自己ノ鏡烟箱ヲ取出シ其蓋ヲ開テ王ニ奉呈シ又謂テ曰ク妾請フ陛下之ヲ一檢スルヲ承諾セヨ王拜禮シ少シク色ヲ變ジテ嫌惡スルノ態ヲ做ス后謂ヘラク陛下之ヲ嫌ヘルカ抑モ何處ニ避ケント欲シテ斯ノ如ク逡巡シ去ルヤ夫レ此鏡烟

箱ノ物タル最良ノ混合物ニシテ妾ノ郷國ニ在テハ何等ノ男兒モ之ヲ手ニ持タザル者ナシト王ノ曰ク余ハ決シテ之ヲ取ラザルナリ汝宜シク許諾スベシト而シテ又獨語スラク實ニ嫌ハシキモノナリト后乃チ鏡烟箱ヲ以テ其從者ニ授ケテ曰ク「フレデリカ」從者名ヨ妾ヲシテ再ヒ之ヲ見セシムルコト勿レ噫妾日耳曼ノ婦人タリト雖モ是國ニ來嫁セシ上ハ大王ト意志ヲ齊ウシテ好惡ヲ同ウセザルヲ得ズ故ニ大王ノ嫌フ所ノモノヲ好マズ亦其心ニ悖ルコトヲ欲セズト

王ノ曰ク憐ムベシ我が姫ヨ汝ノ余ヲ愛スルコト深シ余ノ汝ヲ愛スルモ之ニ踰エズト乃チ從者ニ命シテ曰ク一函ニ代ルニ二函ヲ以テシテ此處ニ齎セト

此三款ヲ合セテ驪烟函ト云フ全體ヲ備フ

○史談活戲

此遊戯ハ實地ノ「シヤワード」戲ヨリモ一層容易ナリトス即チ
 啞子ニ擬スル者アリテ各國歴史上ノ事跡ヲ表呈シ自餘ノ戲
 伴ナシテ臆斷セシムル者タリ希臘及ヒ羅馬若クハ英吉利佛
 蘭西等ノ歴史ヲ選用スルヲ最好トス是衆人ノ能ク了解スル
 所ニシテ事跡衆多ナレバナリ譬ヘバ「シビル」女ノ其書冊ヲ以
 テ「タルクイニユース、メルプス」ニ奉呈スルコト或ハ「アレキ
 サンドル」王ノ桶中ニ在ル所ノ「グイナジニス」往古希臘ノ理學
 者ニシテ路傍ニ
 桶ヲ置キ其中ニ平常ヲ訪問スルコト或ハ王后「エリヤイル」カ
 居住セシヒトナリ
 王「エドワード」第一世ノ傷創ノ毒ヲ吸ヒシコト或ハ「シヤン

キタルク」ガ王「シヤル」第七世ノ徵服セシテ其侍臣中ヨリ看見
 ハセシユト等皆人ノ容易ニ曉リ得ル所ノモノタリ若シ此戲
 ナ爲スニ當リテ童男ノ戲伴ニ交ラザルトキハ東方人ノ衣服
 スルコト或ハ往古ノ織匠ノコトヲ含有スル所ノ事ヲ以テ戲
 ノ原趣意ト做シ以テ奏スルユトヲ選用スルノ類甚タ善シト
 ス是兒女輩ノ容易ニ着手スルコトヲ得レバナリ一二ノ肩巾
 及ヒ假鬚臥單等ヲ設整スレハ則チ此戲ニ用ヰル所ノ衣裳ノ
 如キモ皆容易ニ備フベシトス

○生畫

此戲技ノ如キハ若シ衣裳數多有リテ其宜ニ適スルトキハ史
 談活戲ヲ做スヨリモ一段簡易ニ做シ得ベキ者トス生畫戲ノ

妙タル老少男女ヲ間ハズ嬉樂スベキモノトス余輩曾テ此戲ヲ奏スル所ノ小兒若クハ成人ヲ目撃セリ其之ヲ做スニ當テ善ク注意スレバ甚ダ奇妙ニ其法ヲ施スコトヲ得ルナリ今汝等之ヲ行ハント欲セバ一個若クハ二三個以上ノ畫ヲ載セタルモノヲ選ブベシ其之ニ模擬スル所ノ修行ハ衣服ヲ粧飾シテ後精細ニ其畫像或ハ版畫ニ臨ミテ以テ其位置ヲ定ムベシ是等ノ事一々各般ノ夜遊戲ニ熟練セシ人ノ指教ヲ受ケテ其表呈セント欲スルモノヲ做スベシ又其修行スル各童男童女等其位置ニ注意スル最モ精密ナルヲ要ス其遊戲ヲ爲ス所ノ室窓ニ掛タル帷ヲ開クハ當ニ畫像ノ全成セシトキヲ以テスベシ若シ修行者ノ倦厭スルヲ察セバ則テ之ヲ閉鎖スベシ余

輩ノ曾テ目撃セシ所ニ「ボールデ、ラ、ロツシユ」即テ高名ナル畫師ノ寫セル華麗ナル畫「コロンツェル」ノ王「チヤールス」第一世ノ遺骸ヲ望ム所ノ景アリ最モ驚歎スルニ堪ヘタル奇巧ノ畫ト謂フベシ兒童輩ノ爲メニ選設スル所ノ如キハ一段簡易ナル法ヲ以テスベシ譬ヘバ「モルレデイ」画名ノ新婚禮服ノ外表衣ノ如キハ衆多ノ修行者ヲ要セザル一小美畫ニシテ生畫中ニ在テハ稍觀ルベキモノト做ス又「エスアンドルソム」ノ寫シタル祖母ニ助力スト題號セシモノ、如キハ唯一婦女ニシテ做シ得ベク實ニ簡ニシテ美ヲ盡セル者タリ是祖母ノ作業ヲ助力セントシテ大ニ勞役スレドモ遂ニ其功ヲ成シ得ズ却テ難險ヲ醸成シタル情狀ヲ模寫セシモノナリ以下數語無用ニ

属スルモノハ姑ク東國ス

○針工

世ノ兒女子タルモノ假令國語ヲ能ク學ビタルモ針工ヲ領會スルニ非ズンバ全ク教育ヲ受ケ得タル處女ト稱スベキニアラズ夫レ繙針ノ技藝タルヤ其起源スル所ヲ搜索スルニ上古以來自然ノ方法連綿シテ一日モ欠クベカラザル業ト做ス裁縫ノ事ハ「ホリーライト」即チ聖經第一章ニ掲ケタリ「イスライレト」國ノ婦人ノ縫飾シタル冠弁服飾等ノ來歴針工ノ原始ハ舊約書第二卷三十九章ノ二十九節ニ説明セリ其書中ニ言ヘルアリ曰ク美ナル泉紉青色紺色及ヒ金色ノ縷等ヲ以テ繫綴スル所ノ諸縫織皆是針工ヨリ造成スル所ト又巧ミニ

製スル所ノ袴帶胸牌裏衣ヲ以テ奉事スルノ詞ヲ舉示セリ尙自餘ノ經典中ニ在テモ往古縫織ヲ要トセシ確證極メテ多シ凡ソ婦女子タル者ヲシテ自己ノ手工ヲ勉勵勞作スルノ功用專務タルコトヲ心中ニ默識神會セシムベキハ固ヨリ言ヲ俟タザル所ナリ然リ而シテ普通女子ノ此賢要ヲ能ク領知スル者甚タ稀ナリトス其賢婦人ト稱スル者ニ至テハ獸毛ヲ需メ亞麻ヲ購ヒ自ラ十手ヲ勞動シテ其意志ヲ樂マシメ常ニ其手ヲ紡錘ノ上ニ置キ且ツ撚線竿ヲ持チ又能ク其家事ニ注意シ以テ其身ヲ修メ怠惰人ノ食物ヲ受ケズ今針工ヲ分テ二部トス即チ其一ヲ尋常用ノ針工ト做ス貼裏袷衣或ハ家内藝服麻布等ヲ製スル法ヲ云フ他ノ一ヲ裝飾縫ト做ス「ベルリン」即チ

毛工若クハ羅網莫大小ノ如キ編結工或ハ組綴ノ工純縁ノ工
 及ヒ紐縁製造等ヲ包含シテ云フナリ尋常針工ニ要スル所ノ
 器具ハ皮繕綿絮剪刀針釵碼尺大針留針其餘紐縁等種々ノ物
 質ヲ以テ各種ノ貨物ヲ製造スルナリ其皮繕ノ如キハ銀若ク
 ハ象牙ヲ以テ作ルベシ而シテ銀ヲ以テ最良好品トス小童女
 ナシテ之ヲ學習セシメンニ鐵製ノ皮繕ハ屢々手指ヲ傷害ス
 ルコトアリ故ニ用心苦慮シテ此害ヲ避ケントスルヨリハ寧
 ロ之ヲ用井ザルノ愈レルニ如カズ皮箱ハ必ス常ニ針工匣中
 ニ納メ置クベシ其日用幾回ト雖モ事畢レバ必ズ注意シテ復
 タ匣中ニ納ムベシ其故如何トナレバ最モ要用ノ具瞬息ノ間
 モ之ヲ遺失スレバ困迫實ニ譬フベキモノ無ケレバナリ針ハ

鋪ヲ防ガン爲メ小絨ニテ包ミ置キ其用ヲ畢テ後輒ナ必ズ金
 剛移入ノ針褥ヲ二三回モ刺シ通スベシ是其把握スル手ヨリ
 熱氣ニ由テ蒸出スル所ノ汚穢ヲ除去ルガ爲ナリ針ノ最モ良
 好ナルハ倫敦府中「ヘイズコロスリーアンドマー」商社ニ於テ
 賣出ス所ノモノタリ此針ハ其鋒銳利至微至細ニシテ刺貫ス
 ルニ毫モ障碍スルコト無ク極小指ト雖モ更ニ艱苦ヲ知ラズ
 シテ容易ニ縫ヒ得ルヲ以テナリ剪刀ハ其不用ノ間ハ必ズ其
 鞘ニ納ムベシ棉布ノ端ノ如キハ絲鬘子ニ捲キ付ケ珠ニ之カ
 爲メニ設ケ作りタル「ノツナ」即チ絲卷ノ凹所ニ捲クベシ針工
 匣ハ小童女ノ裁縫ニ要スル所ノ諸器具ヲ納ルニ甚タ便ナリ
 トス何トナレバ其匣中ニハ各物ヲ藏スル區分ヲ設ケタレバ

ナリ手工籃或ハ綢工ノ小囊等ノ如キモ若シ體裁ヲシテ美麗
 ナラシメバ其用ヲ做スニ至テハ猶針工匣ニ譲ラザルベシ尋
 常裁縫ノ法ハ專ラ精巧奇麗ヲ要ス其針歩ハ緻密ニシテ且ツ
 齊均一様ナルヲ妙トス斯ノ如クスレバ線路決シテ皺皺ヲ起
 スコトナシ初學ノ童女輩ハ其接合スル所ヲ先ツ粗ク上ハ縫
 スルコト最モ良工夫トス其指頭ヲ用ヰズ左手ノ食指ヲ長ク
 接口ニ沿ヘテ持ツトキハ針歩必ズ齊均ヲ得ベシ然セズシテ
 接口ヲ撮持シテ縫ヘバ針ノ正條ヲ失シ齊一ナラザルコト必
 セリ童女輩能ク此理ヲ思量セヨ若シ斯ノ如ク做ストキハ必
 ズ皺皺ヲ生ズルコト明白ナレバナリ又其縫線ヲシテ緊急ナ
 ラシムル勿レ若シ緊急ニスレバ之ヲ張擴スルニ當テ必ズ針

歩ノ綻裂スルコトアレバナリ純線縫ノ如キハ其法務メテ靜
 徐ニシ且ツ細カニ意ヲ留メテ做スベシ其縫手練熟シテ本工
 ノ一教師ト稱セラルヽニ至ルマデハ務メテ粗漏ニ做スコト
 ナ嚴禁ス此粗漏手ヲ以テ急卒ニ縫線シタルモノヽ如キハ其
 折口ノ善ク折レザルコト屢之アレバナリ夫レ縫線ハ色絹製
 ノ絲ヲ以テスルヲ最良トス斯ノ如ク爲ストキハ其針路ノ鮮
 麗ニシテ同一様ナルヲ表スル故ナリ尋常ノ縫線ハ二重ニス
 ベシ極小細美ナルモノト雖モ亦此ノ如クスベシ「フエルリン
 グ」ト稱スル詞ハ即チ線ノ縫口ニシテ其裏方ニ在ルモノタリ
 此線ノ如キハ自餘ノ縫ヨリモ一層華麗ナル所アリトス之ヲ
 縫フニ當テ先ツ其裁斷シタル處ヲ折反シ再ヒ之ヲ逆ニ疊ミ

縫フベシ而シテ又之ヲ逆ニ折反シテ手指ニテ強ク之ヲ抑按
 シ再ヒ之ヲ縫フベシ其角隅ハ重複セザル様ニ又線ノ斷口ノ
 出ザル様ニ務メテ端麗ニ縫紵スベシ襯衣若クハ寢衣ヲ縫フ
 トキ其純線ニ於テ誤テ一所ハ裏ニ折反シ一所ハ表ニ折反ス
 ルコトアリ此錯誤ヲ避ケンニハ先ツ上條ニ説ク所ノ如クシ
 テ兩端ヲ縫了リ而シテ其下邊ヲ縫フベシ凡百ノ事ヲ做スニ
 條理アリ不條理アリ兒女輩ノ裁縫ヲ習練スルニ當テ僅少ノ
 事ト雖モ意ヲ用非ズシテ忽慢ニ爲シ置クベカラズ常々意ヲ
 小事ニ留ムレハ久シキニ及ビ漸ク積テ一大功益ヲ做シ得ル
 ニ至ルモノナリ

平常精細ニ思量セザル童女ノ如キハ襯衣ヲ縫フニ先ツ袖口

ヲ縫ヒ而シテ袖ヲ縫ヒ之ヲ襯衣ニ縫着スルニ及テ尙其肩ヲ
 縫ハザルアリ

襯衣ヲ縫フニ臨テハ先ツ其袖ノ雙口ニ「インテ」半ノ縫線ヲ
 做スベシ而シテ後假ニ蠟ヲ塗りタル白線ノ力強キモノヲ二
 重ニシテ粗ク上ハ縫スベシ此粗縫ヲ做スニハ縹物ヲ適宜ニ
 疊ミ針ヲ通シ畢テ其疊口ヲ引伸バシ針ヲ以テ其表裏ヲ摩擦
 シテ平坦ナラシメ而シテ先ツ袖口ヲ縫着スベシ若シ之ヲ後
 ニスルトキハ甚ダ縫ヒ難キモノナリ是ト同一理ナルヲ以テ
 兩脇ヲ縫ハザル前ニ先ツ肩ノ裏ヲ縫ヒ未ダ袖ヲ着ケザル前
 ニ先ツ襟ヲ縫フベシ鎖袂印子ノ孔ヲ縫フニハ必ず先ツ粗縫
 ヲ爲シ其形狀ヲ誤ラザラシメ而シテ後三重ニモ四重ニモシ

テ精縫スベシ其縫法單ニ捲キ縫ニセズシテ線ヲ牽キ出シ前
ニテ結ヒ縫ニスルトキハ孔口極メテ鮮麗一層ノ美觀ヲ増ス
モノナリ彼ノ物隱シノ小囊ヲ縫着ケント欲セバ袖口ヲ着ケ
ルガ如ク做スベシ若シ之ヲ一層美麗ニ爲サンニハ囊縁ヲ覆
フニ織物ヲ以テスルコト袖口ニ於テ二條ノ縫口ヲ作ルガ如
クスベシ此囊ヲ製スルニ折反シテ之ヲ襯衣ニ着ルトキハ其
裏囊口ヨリ露出スルヲ以テ之ヲ二ツニ裁斷シ孰レモ一方ニ
表ヲ向クベシ

襯衣ヲ造ルモ亦難シトス大凡童女ヲシテ此ニ從事セシメン
ニハ豫メ裁斷區別シテ之ニ授クルヲ常例トス其童女タルモ
ノハ如何シテ能ク之ヲ裁斷シ如何シテ自ラ其事ヲ管理スル

ノ方法ヲ學ビ識ラザルベカラズ其裁斷スルニ當テ最モ良善
ナル模範ヲ擇ブヲ要トス是亦注意セザルベカラズ苟モ急遽
粗鹵ニ此緊要ノ事件ヲ做ス勿レ其織物ノ邊端ヲ裁縫上ニ攤
ケ又其上ニ模範ヲ置クベシ例ヘバ茲ニ一表衣ノ模範ヲ裁斷
シ造ランコトヲ假定セン第一ニ衣ノ前面ノ模範ヲ以テシ第三
ニ腋下ノ模範ヲ以テシ第四ニハ袖ノ模範ヲ以テスベシ而シテ織
物ノ邊側ニ安クニ前面ノ模範ヲ以テシテ之ヲ留針ニテ留メ置
キ其爲スニ隨テ能ク注意シテ後一面ニ全斷スベシ其模範ニ
密接適合セシムルコトハ勿論ナリ若シ縫上グベキ所アルト
キハ曲尺四分二厘強ヲ餘殘ニシテ斷去リ長針及ビ「タツキン
グ」即チ綿絲ヲ以テ其他衣ノ前面背面並ニ兩腋下ヲモ同一法

ニ裁斷シ之ニ適宜恰好ナル裏衣ヲ附着スベシ凡ソ裁斷ノ法ハ正直ナルコト織物ノ邊側ノ如クスベシ上蓋衣ノ袖袂モ今代ハ正直ニ裁テタル唯襟袂ノ粧飾ノミ横ニ裁ツベキモノトス
 横ニ裁斷スルノ法先ツ裁者ノ前ニ織物ヲ攤ケ斜ニ之ヲ撮ミ其邊側ノ上ニ正直ニ合セテ摺ミ形容恰モ手巾ノ半ヲ撮ミタル如クシテ其曲折シタル縁下ニ一線ヲ印記シ之ニ傍フテ裁ツベシ斯ノ如クスルトキハ横斷形ノモノヲ得ベシ是ニ由テ其好ム所ノ裁餘ノ小片粧飾スルニ要用タルモノヲ出スベシ又縹紗ヲ裁斷スルニ當テハ最モ注意セザルベカラズ先ヅ其縁ヲ折コムベシ是斜紋ニ織タル貨物ノ如キハ截斷ノ始メ其

體裁極メテ良否巧拙アレバナリ縹紗ノ裁法ハ十字形ニ爲スヲ要ス若シ其經緯各線整然齊直ナルトキハ尋常一樣ノ如クニ做シ得ベシ今又却テ腰下ノ衣類ヲ説カン夫レ兒女子ノ汚衿下袴下衣心衣及ヒ裏衣ノ兜肚裏衣等ノ如キモノヲ製スルニ或ハ縫ヒ或ハ縁シ或ハ割口ヲ裁レ或ハ綴合シ以テ之ヲ做セリ是ヲ以テ一小童女ト雖モ其縫綴ヲ巧ニ成シ得ルトキハ自己貼裏ノ衣服ハ大抵他人ノ手ヲ假ラズシテ造リ出スベシ唯「フラチル」即チ小絨ノ下衣ノミ針歩別ニ一種ノ差異スル所アリ此針歩ヲ稱シテ青魚骨ト云フ其骨ニ能ク類似スルヲ以テ此號アリ夫レ小絨ノ縫口ハ始メ緻密且ツ整美ニ針ヲ通シ一片ノ縁ヲシテ他ノ縁下ニ二線或ハ三線許リスリ違へ而シテ

出タル万ヲ折反シテ平坦ニ小絨及ビ青魚骨上ニ至ラシムル
 コト恰モ次條ノ如ク爲スベシ即チ着手ノ始メ其裏ヨリシテ
 表ニ向テ進ミ小絨ノ上ニ於テ二縷ノ線ヲ取り又其折反シタ
 ル縁ニ於テ二線ヲ取り出スナリ斯ノ如クシテ其進ム所ノ各
 針歩ノ隔ハ織物ノ四線許ニシテ己ムベシ是即チ雁行形ヲ做
 スナリ若シ之ヲ做シテ善ク其法ニ合ヒ且ツ緻密ナルトキハ
 甚タ美ニシテ艶ナルモノタリ小絨下衣ノ縁ハ唯縷縫ノミヲ
 施スコト往々アリ然レトモ其縁縫ハ必ズ疊ミ反シテ以テ青
 魚骨様ニ爲スヲ要ス

○縫機械

亞米利加洲中最初唯一人ノ智巧發明ヨリシテ驚愕スベキ非

常便利ノ機械ヲ創造シ今代ノ處女ノ如キハ其母及ヒ祖母等
 ノ手工ヨリモ一層一裨益タルニキ事業ヲ容易ニ做シ得ルコ
 トヲ證スルニ足ルモノアリ夫レ唯一個ノ縫機械ノ便利ナル
 アルニ由テ處女タルモノ尋常一日課程ノ手工ヲ僅ニ一時間
 ニ成就シ其餘暇ノ力ヲ文學ニ勉勵スルト他ノ技術ヲ研究ス
 ルトニ用キ竭スコトヲ得タリ或ル一史家ノ名譽ヲ得タルモ
 ノ新説ヲ作シテ云ク凡ソ處女タルモノハ年齢ノ成長スルニ
 非ズンバ專ラ針工ヲ做サシムベカラズ其故奈何トナレバ其
 幼稚ノ口ニ在テ唯裁縫ノミニ意ヲ留ムレバ切要ノ智識ヲ開
 明スルノ學問ヲ精研スルコト能ハズ巨ツ其手指ノ使用忙ハ
 シキトキハ決シテ他ノ工夫ヲ起スノ暇アルコトナキヲ以テ

ナリ故ニ學問ヲ先ニシテ針工ヲ後ニスベシト然レドモ亦經驗スル所アリテ證明シ得タルコトアリ世上普通ノ女子其齡十六歳ニ及バザル時ニ於テ針工ヲ教授シ其技ニ習熟セシムルニ非ズンバ後來自己ノ意匠ヲ構ヘテ工夫經營シ得ント欲ストモ裁縫練達スルニ至ルモノ甚タ稀ナリトス是ヲ以テ針縫ノ技タル十五六歳前ニ於テ之ヲ習練セザルベカラズ唯之ヲ學習スル其規則ニ從テ怠ルコト無ク毎日幾許ノ手工ヲ定メ做スベシ縫機械ヲ用ヰルニ至テハ童女ト雖モ尙能ク毋テ助ケテ其用ヲ做スコトヲ得ベシ故ニ其幼稚ノ日ニ於テ容易ニ認メ得ベキ機械ノ活動使用等ヲ詳細ニ學バスルコトハ最好至真ナル教法トス縫機械ノ種類亦甚タ衆多ナリトス而シ

テ其機關ノ如キハ多少ノ差異ナキコト能ハズ今此手工ヲ目的ノ要トスルヲ以テ機械ノ差異ハ強テ論ズル所ニアラズ然レトモ詳ニ縫機械ヲ分別スルトキハ四種類ト做ス其一ヲ縫針歩トス鐘狀ノ如ク縫口ヨリ縫口ニ交々カケテ縫フヲ云フナリ其二ヲ「ロツクス」ケツナユ」即チ銳縫針歩トス二條ノ線ニテ之ヲ縫ヒ一條ニ一條ヲ卷キ着ケテ縫フヲ云フナリ此二機械ハ「イリヤス」ハウ」氏ノ創造スル所又其三ナル「グロツエル」針歩ハ「グロツエル」氏「ペー」クル」針歩ハ「ペー」クル」氏ノ創造スル所皆其創造者ノ名ヲ以テ其物ニ名ケシナリ其終ノ四ヲ「ウイ」ルコツクス」針歩及ビ「シツ」ブス」針歩ト做ス是即チ「シツ」ブス」氏ノ創造スル所ニシテ最モ簡便ナル機械トス倍鐘縫ト稱スルモ

ノハ屢其針歩ヲ差謬シ手工ヲシテ完熟シ難カヲシメ且ツ誤
 ヲ自餘ノ損失ヲ致スコト多シ然レドモ練習シタルモノ、細
 思シテ之ヲ造成スルルハ絶美絶麗實ニ觀ルニ足ルモノアリ
 錠針歩ト稱スル者亦分テ二種トス其一ヲ「ハウ」シ「ンゲル」ト
 「マス」等トス是ハ梭ヲ附ケタル器具ニシテ其他ヲ旋轉スルニ
 釣ヲ以テ活動サスルモノト做ス即チ「ウエーレル」「ウイルソン」
 及ヒ之ニ擬似スルモノタリ「グロツエル」並ニ「ペークル」ト稱ス
 ル機械ハ其製造スル所ノ織物ノ一回ハ縫織針歩ノ美ヲ現ス
 他ノ一回ハ平坦ノ針歩ヲ爲ス若シ巧手者ノ是等ノ機械ヲ縱
 横自在ニ活使スルニ至テハ驚クベク歎ズベキモノヲ造成ス
 共之ヲ活使スルヤ機關上ニ就テ艱苦スル所アルヲ能ク忍耐

研究スルヲ要トス「ウイルコツクス」及ビ「ジツブス」ノ創造セル
 者ハ最モ簡便ニシテ且ツ容易ニ做スベキ者トス假令一條線
 ノ機械彼ノ鏈條縫ノ如クナラズト雖モ猶其固有セル一種ノ
 針歩ヲ存シ其巧用甚ダ簡易ニシテ奇妙ニ造ラレタルモノナ
 リ「ルーブル」ハ螺旋ノ機轉ニ由テ軸端ニ固着セラレ單ニ針側
 ニ觸レシムベク製シタルモノニテ其針下リテ線界木ノ邊ニ
 至ル時ニ其「ルーブル」針ト線トノ下ルニ由テ成ス所ノ孔ヲ通
 シテ其孔ヲ留メ以テ線ト針トヲ離レシム其孔ト離レザル前
 ニ結合ヲ做スベシ此線ハ專ヲ針歩ヲ強クスルノ功力アルモ
 ノタリ「ルーブル」法ノ線堅強ニシテ能ク久シキニ堪ヘタルコ
 トハ英吉利及ヒ亞米利加ニ於テ屢經驗實測ニ就テ論定セシ

所ナリ此機械ノ用タル甚タ迅速ニシテ輕便ニ能ク旋轉シテ最モ靜穩ナルモノトス之ヲ使用スルノ際練熟ノ妙ヲ得タル目的ハ即チ其靜穩ニシテ紛囂ナラサルト正直ニ針ヲ使フト「アレーク」即チ齒輪ノ回轉ヲ留ムルモノ、調理セルト機關ノ精整セルト數種附屬物ノ全備スルト織物ノ稀薄ニシテ且ツ強固ナルト其至テ簡易ナルトニ在ルナリ少年ノ女子平日針縫ヲ學ビ得ント欲スルノ志アル者此機械ヲ使用スル日毎ニ間斷ナク勉力スルトキハ習慣性ト成リ何ノ疲勞モ無ク速ニ成シ得ベキナリ

幼兒ノ如キモ「ウィルコツクス」及ビ「シツプス」ノ機械ヲ用井バ毫モ倦厭スル所ナクシテ其未ダ曾テ機械ヲ見ズ又毫モ其巧

用ヲ知ラザル者ト雖モ容易ニ之ヲ學ビ得ベシ而シテ其作爲スル所ノ課ハ即チ純線スルコト聯綴スルコト編組スルコト摺折スルコト括結スルコト襞積ヲ取ルコト綿絮ヲ入ルコト是等ナリ之ヲ爲スノ手段最モ巧捷ヲ要ス機械ノ輪ヲシテ誤テ縫者ノ衣服ヲ破裂セシメザルガ爲メニ「ガルド」即チ防護ノ具ヲ其輪上ニ覆ヘリ此「ガルド」ノ奥ニ樹膠製ノ球アリ「アレーク」即チ齒輪ヲ留ル具ノ功用ヲ做シ輪ヲシテ獨右方ニノミ旋轉セシム其所用ノ針ハ極メテ良好細微ニシテ棉絲ノ如キモ亦自家通常所用ノ物トス上條ニ説ク所ノ線ノ綯タルモノハ織物ノ強キヲ増ス功力アリ「アレーク」ノ棉絲大小幾個ノ號アリ其號八十或ハ一百ニ至レバ則チ下衣用ノ麻布ヲ製スルニ

足レリトス

斯ノ如キ巧便ナル妙機械ヲ實地ニ試ミルニ至テハ童女等宜シク針ヨリ線ヲ除キ押板ヲ上ニ回轉スベシ而シテ此機關ヲシテ忽地ニ奮起シ或ハ迅速ニ停止セシムル等ノコトヲ學習シ其使用ノ方法ヲ善ク識リ善ク熟スルニ至ルマデハ只管機械ノ運轉ヲ練磨スルヲ要ス是ニ至テ兒女等自ラ使フ所ノ針ニ線ヲ貫キ縫ヒ始ムベシ此縫事成完シ得テ乃チ縫線及ヒ裁斷ノ類ヲ學習シ務メテ之ニ附屬スル所ノ器具ヲ調整シ其作用ヲ料理スルノ方法ヲ得ルニ至ルベシ機械ヲハ清淨ニ保護シ且ツ屢々ニ油ヲ塗ルベシコレ等ノ事ハ各機械ゴトニ附屬シタル教示書中運轉作用ヨリ保護ノ法ニ至ルマデヲ記載セシ

所ノ例ニ從フベシ凡ソ兒女ノ清潔ヲ好メルモノハ如キハ必ズ自己ノ縫機械ヲシテ狼藉錯置セシムル等ノ失儀ヲバ做サザルナリ此機械ヲ整列調理スルニ最良ノ手段アリ先ツ其左傍ニ一個ノ籃ヲ掛ケ置キ之ニ盛ルニ綿絡板剪刀等ノ器具ヲ以テスベシ茲ニ「ドヴル」英ノ一都ノ大砲ノ奇話アリ稍此縫機械ノ意ニ適合スルヲ以テ今乃チ舉示サン

余大砲自ラ云フナリ善ク拭ヒ善ク洗ヒテ清淨ニ做スベシ乃チ余彼ノ「カレ」佛ノ一都ノ遠キニモ彈丸ヲ放ツベシト

兒女等ハ彼ノ機械ヲ善ク油ヲ塗り絹手巾ヲ以テ善ク拭ヒ之ヲシテ一點ノ銹鏽無ク清淨ナラシムベシ斯ノ如クシテ使用スルトキハ運轉ノ際更ニ喧鬧厭フベキノ響ナク裁縫工事ヲ

做ス實ニ易々タルヲ得ベシ世上ノ婦女子生涯ヲ一針上ニ經營スル其苦辛幾何ゾヤ彼ノ機械ノ用タル豈大便利ト謂ハザルベケンヤ此簡便ノ妙理ヲ了解シタル女子ノ如キハ唯其身ニ於テ補益アルノミナラズ長者タルモノ、一大助ト做ル所アリ今余輩此縫機械ノコトヲ説盡サントスルニ當テ更ニ又「ハンデマシーン」即チ手ヲ以テ使用スル機械ヲモ記載セント要セリ手機械ノ如キモ多クハ裁縫機械ノ製造者ヨリ買得ベキモノナリ其最モ簡易ナル機械ニ至テハ小童女ノ用ニ供スル甚タ適宜ニシテ手ヲ以テ自由ニ運轉スベキ様ニ造レリ其好ム所ニ由テ手ヲ以テスルモ或ハ足ヲ以テスルモ皆意ノ如ク做サシムベシ其之ヲ能スルニ及デハ歩行上ニ於テ大ニ其

便宜ヲ得ル所アリ世傳ニ踏板ノ用ヲ以テ兒女ニ適スルノ好運動トス今之ヲ比較スルニ手ヲ以テ動搖スルノ技ヨリハ寧ロ踏板ヲ以テスルヲ妙ト做スベシ
 夫レ世間ノ廣キ婦女ノ健康ナルモノ衆多ナリト雖モ蘇格蘭ノ紡婦ヨリ優レル者ハ無シ如何トナレバ蘇格蘭ノ紡婦ハ平生間斷ナク彼ノ輪ニ踏板ヲ用ヰルノ習慣ヲ做セリ實ニ紀元一千七百年代ノ流行ニテ是專ヲ輕便ヲ稱スルナリ爾後之ト反對セル説起テ一般ニ流行シ製造機械ノ甚タ重量ナルモノヲ家用ノ機械ト做シ盛ニ賣買スルニ至レリ

○縫補

莫大小ノ襪ハ其損裂スル所アレバ裏ヨリ之ヲ補繕シ針歩ヲ

ハ極メテ密接スベシ其針ヲ通スニハ最モ緩徐ニシテ孔竅ノ
 殘ル様ニ做スコトヲ要ス何トナレバ洗濯スルニ當テ線ノ取
 縮センコトヲ恐レテナリ針刺ヲ爲スハ交々上ト下トニ做ス
 ベシ爾スレバ必ズ一線ハ上ニ一線ハ下ニ交錯シテ現ハレ觀
 美ヲ做スナリ故ニ之ヲ做ス毎ニ必ズ線ヲ交換スベシ若シ絹
 製ノ襪類ハ之ヲ補フニ純白ノ蠶綿ヲ以テ製シタル絲ヲ以テ
 スベシ童女輩ノ如キモ能ク倦厭ニ忍耐シテ勉力スルトキハ
 其修補ノ精麗ヲ致スコト成長婦人ト異ナルコト無カルベシ
 唯一難事トスル所ハ餘リ急グ爲メニ或ハ絲ヲ針ニ通シ過テ
 二本ニ成リタルマヽニテ縫ヒ或ハ其絲ヲ初時ニ做セシ縫目
 ニ引掛テ夫ガ爲メニ縫方見苦シクナルコトニアリ佛蘭西ノ

補縫方ハ襪ヲ修補スルノ最美最善ノ法ト做ス其襪ヲ修補ス
 ルヤ針尖ヲ以テ補フベキ孔ノ線ヲ解キ蠶綿絲ヲ以テ雙方ニ
 掛ケ亘シテ孔ニ填テ柔和ニ孔ヲ縫括シ結局凹凸ノ處無キニ
 至テ止ム而シテ後復通常爲ス所ノ法ニ由テ各個ノ絲ヲ以テ
 上下互ニ編ミ縫ヒニシテ補繕シ若シ又綿紗ノ衣類破裂スル
 コト有テ之ヲ補ハンニハ其裂口ヲシテ容易ニ認識スル能ハ
 ザラシメン爲メニ最モ精巧ヲ極メテ縫修スベシ其絲ニハ白
 色又着色ノ品ヲ用ヰル無ク宜シク同物質ノ棉紗ヨリ解キタ
 ルモノヲ以テスベシ假令棉紗ノ餘片無クトモ二三縷ノ絲ノ
 如キハ裾端ヨリモ之ヲ得ベシ又通常衣服印花布等ノ製造物
 ナ修補スルニ其同物同色ノ染絲ヲ以テ巧ミニ之ヲ縫繕スル

トキハ余輩其繕絲ノ在所チ認ムト雖モ然レドモ其何レノ
 處ニテ了ルヲ判知スル能ハザルノ佳境ニ入ルモノアリ又布
 チ補縫スルハ最モ正シク裁斷シテ鮮カニ編次スベシ其形或
 ハ圓或ハ三角適宜ニ做スベシ若シ斷口正シカラズ横斜不整
 ノ形ヲ爲スモノハ則チ粗齒拙劣ノ女子タルコトヲ識ルニ足
 レリ凡ソ縫補ヲ施スベキ衣服若クハ柳條縞布或ハ紋飾模様
 等アルモノハ務メテ之ト比對スベク外貌ヲ擬シ其修補ノ痕
 跡容易ニ見ルベカラザルコトヲ要スベシ此事尤モ針工ノ注
 意スベキ所ナリ凡ソ至大至重ノ事業ヲ體認シテ盡力セント
 欲スルモノハ必ズ先ゾ最後最細ノ技藝ト雖モ能ク忍耐シテ
 勉強スベシ手套ヲ補フニハ手套針ヲ用ヰテ能ク密ニ能ク美

ニ縫ヒ其外縁ヲ覆フニ絹ヲ以テスベシ而シテ之ヲ修繕スル
 ノ際心思ヲ凝シ手套ヲシテ容易ニ緩弛セザラシムルコトヲ
 要ス

〇「ベルリン、ウオルク」

此「フアンシー、ウオルク」ハ即チ心目ヲ悦バシムベク造リタル
 美縫ニシテ之ヲ以テ小童女ニ習ハシムル最初ノ具ト做ス何
 トナレバ齡既ニ四歳ニ至ル女兒ハ是ニ由テ容易ニ種々ノ美
 好物品ヲ造成シ得ルヲ以テナリ其之ヲ做スニ緊要ナル器具
 ハ綿毛線針粗布毛及ヒ絹帛等ナリ針ハ大ニシテ且ツ長ク其
 孔竅及ヒ尖頭ノ鈍キモノヲ以テスベシ是毛ノ大ナルモノヲ
 刺スト其粗布ノ下ニアル手ヲ刺戟スルトヲ防ギ避クルガ爲

メナリ凡ソ最初ノ編縫ヲ經針歩ト呼ブ布ノ一面ニ許多ノ方
 形相對スルモノヲ模シ之ヲ排列セシメ前後ニ針路ヲ作りテ
 縫フベシ其之ヲ編ムヤ縱ナル絲ヲ二ノ長サトシ又横ナル絲
 ナモ二ノ長サトシ各正直線ニ於テスベシ其始メニ針歩ヲ進
 メ列ヲ做スヤ其向フ所必ズ左ヨリシテ右ニ至ルベシ第二ノ
 列ヲ造ルヤ右ヨリシテ左ニ終ルベシ是ニ至テ針歩ヲ終ルト
 云フ下條第五十六圖ノ如キハ即チ此編縫ノ針歩ヲ做ス方法
 ナ示ス者ナリ

第五十六圖



縱ナル絲ヲ四ノ長サトシ横ナル絲ヲ二ノ長サトスルノミナ
 リ譬ヘハ縱四尺若クハ四寸ナレバ横ヲ二尺若クハ二寸トス
 ルノ平均ヲ云フ

斜經針歩モ上ニ述ル如ク前後ニ於テ列ヲ成スナリ第一始メ
 ニ造ルモノヲ斜列トシ第二後ニ做スモノヲ正直ノ排列トス
 スシ

「デマスケ」即チ綴子ノ針歩ハ其方向左ヨリシテ右ニ至リ相重
 ナツズシテ唯一個ノ單列ヲ成シ造リ出スモノトス其用井ル
 所ノ縱ノ絲ヲ四ノ長サトシ横ナルモノヲ二ノ長サトスベシ
 而シテ其第一列ノ針歩ハ來テ次列ニ在ル針歩ノ間ニ達ス
 帳幕針歩ト稱スルモノハ彼ノ綴子針歩ト同一ナル方法ヲ以

テ造成スルモノトス其異ナル所ハ唯布面ニ畫別セザルト針
 步毎ニ用井ル絲ノ一縷ナルトニ在ルノミ
 針形「ゴブリン」針歩ノ如キモ各個縦ニ三ノ長サニ絲ヲ亘シ布
 目一個ヲ殘シテ又三ツニ亘シ次第ニ摺リ違ヘテ參差タル形
 狀ヲ做スナリ端直「ゴブリン」針歩ハ縦ノ絲ヲ二ノ長サト做シ
 其間ニ置ク所ノ絲ノ長サチ一ト爲シ以テ造成ス而シテ其針
 歩ノ向フ處左ヨリシテ右ニ至リモナ厚クセル小片或ハ薄キ
 紐子ヲ中心ニ入レテ縫フベシ是其形容ヲシテ微シク膨脹セ
 シメン爲メナリ

剪絨進步ノ如キハ前條ノ如ク同一様ニ做スベシ其中心ニ入
 ルニ細木枝ヲ以テシ旣ニ縫畢ルノ後線上ヲ剪テ其心ヲ除

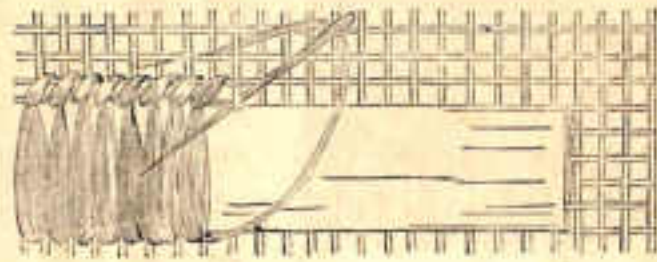
キ去リ之ヲ梳淨スルトキハ恰モ剪絨ノ如キモノヲ造出ス又
 其羅眼ノ大サヲ同一ニシテ其針ノ絲ヲ通シタル者ヲ取り最
 初ニ造ルモノヲ斜針歩ト做シ其狀恰モ常ノ十字形針歩ヲ始
 ムルガ如ク做スベシ然レドモ其針ヲ刺シ入レシ所ノ下ニ於
 テ正直ニ其針ヲ抽カズシテ表裏共ニ斜形針歩ヲ造ル如ク同
 處ニ於テ精密ニ引出シ而シテ後或ハ羅眼ヲ踰エテ動作ヲ始
 メ做シテ其上ニ針ヲ刺シ其下ニ於テ斜メナル向キニ袖キ出
 ス斯ノ如クスルトキハ繙造物ノ裏ニ位置ヲ排列シテ横針歩
 ヲ造成シ而シテ二個ノ羅眼ヲ用井ルコトヲ做ス其故何トナ
 レバ第一ニ造ル所ノモノハ第二ノ排列ヲ全ク了ルニ至ラザ
 レバ袖クヲ得ザレバナリ環ノ如キハ利器ヲ以テ截斷スベシ

其之ヲ爲スヤ第二ノ排列ヲ造成シテ後第一ノ羅眼ノ頂上ニ於テスベシ

剪絨進歩ニ属セル他ノ方法アリ是ハ平幅ノ羅眼ヲ造ルモノトス即チ次ノ第五十七回ニ於テ概見スベシ火燈臺或ハ瓶壺臺疊席ノ端縁ヲ作ルニ最要ノモノトス此剪絨針歩ヲ以テ暗黒色ノ毛糸ノ中ニ作りタル此剪絨針歩ノ許多ノ排列ハ數種ノ縫物ニ甚タ美麗ノ縁ヲナスナリ

「ブルユス、スナツナエ」ト稱スルモノハ其外貌剪絨針歩ニ髣髴タリ其縫法ハ下ヨリ上ニ及ビシ通常ノ「クロツス、スナツナエ」即チ十字形針歩ノ如クシ而シテ縦ニ二縷ノ絲ト横ニ二縷ノ絲トヲ踰サセ粗布ヲ通シテ針ヲ刺入ルベシ其刺路ノ向フ所ハ

圖七十五第



斜ニ做スヲ要ス

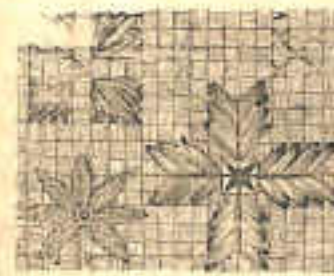
毛ヲ緊收スルコト緻密ナルベカラズ線ニテ作ル所ノ環ヲシテ下ニ低尙セシメ之ヲ緊收セシメ爲メニ通常ノ經針歩ヲ造ル其數最モ許多ナラシムベシ縦横縫絲ノ排列シタル末尾ニ於テ必ず一個ノ經針歩ヲ造リ其縫事ヲ做シテ「ルトキハ彼ノ環ヲ剪去ルベシ

「レツアイアサン、スナツナエ」ト稱スルモノハ其一系列ヲシテ斜形ナラシメ他ノ一系列ヲシテ正直ノ經針歩ナラシメ縦ニ四縷ノ絲ヲ用井横ニ四縷ノ絲ヲ入ルベシ其針歩極メテ迅速ニシテ且ツ容易ナルモノトスニ

重「レツアイアサン」ト稱スルモノモ亦上條ニ説ク所ノ者ノ一
種トス其之ヲ做ス縱横各六縷ノ線ヲ以テスルナリ

「ヤウア、ウオルク」ト稱スルモノハ「ベルリン、ウオルク」ノ部中ニ
在リ此華麗ナル縫繡ヲ做スニ要スル所ノモノハ粗布ノ類及
ヒ美毛絹蠶綿等是ナリ夫レ「ヤウア、ウオルク」ノ大ニ便益ヲ做
ス所以ノモノハ縫ヲ爲スニ織物ノ地質ヲ用井ザルコト、ス

第五十八圖



帆布ヲ以テ縫紮シタル針歩ノ様式モ亦數多
アリ今舉クル所ノ第五十八圖ノ如キハ以テ
其二三ヲ觀ルニ足ルモノト做ス

圖中ノ鎗形ナルモノハ其針歩斜形ト爲シ光
澤アル色絹ヲ以テ縫フベシ其地質黑色ナル

由テ之ト相分タンガ爲メナリ

「ボアンロツス」形ノモノモ亦此縫繡ニ用井タリ是ハ後條ニ説
明スベシ而シテ「ベルリン」縫繡ノ様ニ於テモ亦掛氈條繡法ニ
從フトモ其色ニ至テハ必ス屢用井慣レタル所ノモノヲ以テ
爲スベシ彼ノ藍色ノ如キハ縫繡スルノ際其色ヲ失ヒ易キヲ
以テ結末ニ於テ彩飾スルコトヲ要ス白色及ヒ蠶綿ノ如キハ
自餘ノ物具全ク其設施ヲ做シ了ルニ至ラズンバ決シテ置ク
コト勿レ若シ摸形悉ク成就スルニ及バ、則チ白紙片若クハ
白麻布ヲ以テ其上ニ附着シ是ニ於テ始メテ地質ノ縫法ヲ施
スベシ其之ヲ施スヤ先ツ左方ヨリシテ右方ニ及ボシ而シテ
復タ排列ヲ做シ最モ後ニ於テスベシ是ヨリ外ノ方法ヲ以テ

決シテ此事ヲ做ス勿レ其故如何トナレバ此法ノ設施タル唯
 之ニ適合スル所ノ一手段ノミナレバナリ又正直線ニ於テ地
 質ヲツクルコトニ倦厭ヲ生シタル兒女ノ偶然彼ノ模範ニ據
 テ縫繙シ畢ルコトアリ然レドモ其外見彩飾必ズ不齊ニシテ
 且ツ其針歩ノ相接スル痕跡露出シテ悉ク觀美ヲ失フニ至ル
 凡ソ地質ヲ造ルニハ其毛ヲ堅ク緊收スルコト無カルベシ若
 シ斯ノ如ク緊收スルトキハ粗布ノ絲必ズ露出スルヲ以テナ
 リ又其毛タルヤ粗布ニ比シ若シ稀薄ニ過グルトキハ却テ好
 手段ト做スベキ件歟アリ其左方ヨリシテ右方ニ至ラシムル
 ニ一個ノ長キ針歩ヲ造リ此上ヲ踰エテ即チ尋常ノ方法ニ
 從ヒ後方ニ横ギラシムベシ而シ其模範ニ達スル所アレバ直

チニ前ニ做セシ如ク地質ヲ造ルコトヲ續成スベシ彼ノ白紙
 若クハ白布ノ如キハ染汚無カワシメザルガ爲メニ務メテ迅
 速ニ取去ルコトニ注意スベシ粗布ノ面ニ其法ヲ施スノ前ニ
 於テ毛ヲ以テ地質ノ縁側ニ縫綴シ或ハ折痕ヲ做スベカラズ
 凡ソ針工ヲ施スノ際用心シテ粗布ニ折襞ナカラシメ先ツ下
 邊ヨリシテ上邊ニ至テ完成スルニ隨ヒ其上ヲ覆フベシ茲ニ
 一良工夫アリ則チ圓形ノ板上ニ粗布ノ下邊ヲ攤ケ其他ノ邊
 縁ハ「レード、コーション」即チ下底ニ鉛ヲ付ケテ重疊ト做シタ
 ル針匣ノ類ヲ以テ櫃上ニ置クベシ又粗布ノ其形大ナルモノ
 ハ之ヲ撐張スルニ帽子ヲ以テス其帽子ヲ以テスルハ縫繙ヲ
 シテ大ニ美麗ヲ増現セシメンガ爲メナリ然レトモ手工ヲ以

ア之ヲ做シ心目ヲ樂マシムルト身體ノ健康ヲ助クルトノ愈
 ルニハ如カザルナリ毛ヲ彩飾スル諸色ノ如キハ各其色名ヲ
 紙上ニ記シ集メテ一處ニ置クベシ譬ヘバ藍色綠色黃綠色及
 ヒ青蓮色等是ナリ若シ暮夜ニ當テ縫繡ヲ爲ストキハ各色數
 種ナルモ燭光ニ照映シ大抵其特有ノ色ヲ變スルヲ以テ必ズ
 其過誤アラシコトヲ恐ルハガ爲メナリ

○縫繡

縫繡ノ手工ハ其性伶俐ニシテ忍耐ナルモノ、容易ニ做シ得
 ベキモノトス之ニ要用ナル品具ハ細ク短キ針種々小大ノ「フ
 ランス」縫棉布絲ノ「ベルフェクシヨネチ」ト呼フモノ麻布綿紗
 「カムグリツク」即チ佛蘭西ヨリ出ル棉布ノ紗ノ如キモノ其他

裝束用ノ物品ナリ

縫繡ヲ爲スニ巧ミナルモノハ縫案ヲ要セズシテ之ヲ做スベ
 シ然レドモ未熟ノ者ハ之ヲ用ヰザルヲ得ズ是其指頭ヲ害セ
 ザルガ爲メナリ此案上ニ「ケムブリツク」ヲ細針ニテ着クベシ
 平カニ着ケテ其既ニ縫ヒ畢リタル部ヲ卷キ未ダ縫ハザル部
 分ヲ出スベシ凡ソ縫繡ヲ學ブニ先ヅ第一ニ試ムベキモノハ
 側縫ナリ之ヲ單一ナル形ニ縫ハン爲メニハ必ズ先ツ粗キ棉
 糸ヲ以テ側縁ノ外線ヲ縫ヒ形容ヲ附クベシ其之ヲ爲スニハ
 常ニ長縫ト短縫トヲ交々施スベシ此側縫ヲ爲スニ當テハ其
 縁ヲ我方ニ向ケテ側ノ頂ヨリ針ヲ刺入レ其ノ下底ヨリ抽キ
 而シテ棉絲ヲ適宜ニ引張ルベシ其指ハ大指ヲ以テ縫フ處ヲ

圖十六第



確乎ト握持シ居ルコト第五十九圖ノ如クナルベシ
 第二ニ爲サントスル側縫ハ始メ手ヲ着ルニ當テ第
 僅ニ手指ヲ勞煩スルヲ要ス即チ前ニ縫フタル棉
 絲ヨリモ少シク大キナル棉縫ヲ用非其上ト下ト
 ニ容テ附クルコト又前ノ如クスベシ又其絲ハ
 十六吋乃至十八吋ヨリ長ガルベカ

圖九十五



ラズ而シテ稍凸ナルベシ側縫ヲ爲サント欲ス
 ルニハ鎖子縫ノ法ニテ二條外線ノ間ヲ填タス
 ベシ而シテ裝飾ヲ爲ス前ニ於テ形容縫ヲ做ス
 ベシ
 此縫編ハ諸花葉等ヲ縫フ爲メニ多少要用ナル

モノナリ第六十圖中ニ其二三ヲ掲ケ示ス圖中(イ)ナル花ノ中
 心ハ側縫ニ等シク作ルベシ各花及ヒ葉ノ中心ハ剪刀ヲ以テ
 之ヲ斷チ其斷チタル側面ヲバ針ヲ以テ
 之ヲ折リ曲クルナリ是其縫編ヲシテ堅
 確ナラシメン爲メナリ而シテ後凹凸無
 キノ縫法ニテ纖美ナル綿絲ヲ以テ側縫
 ナ爲シ且ツ之ニ紐子ヲ通ズベキ小孔ヲ
 開クベシ
 圖中(イ)(ロ)ノ如ク此處ニ「ステレット」即
 チ孔ヲ開ケ之ヲ廣ムベキ針ヲ以テ小孔
 ナ穿ツベシ而シテ又其孔ヲ側縫ニ做ス

圖一十六第



ハシ

第六十一圖中(ハ)ノ形ハ即チ薔薇花ノ房ト其葉ナリ此房ハ其中央ニ在テ開キ猶嫩葉ノ尖頭ノ如クナルモノタリ是亦上ニ陳ル所ノ方法ヲ以テ縫繡ヲ做シ得ベシ平葉ノ縁ヲバ側縫ニシ葉ノ文理ヲバ浮キ繡ニスルコ第ト次條ノ如クスベシ即チ其葉或ハ幹或ハ木理等ノ六模様ヲ着ケ而シテ務メテ鮮美且ツ緻密ニ其上ヲ繡トフベシ是直浮繡ナリ斜浮繡ハ直浮繡ニ於ケルヨリニモ稍疏ラニ針ヲ斜ニ刺シ之ヲ外ニ緊收スルヲ要ス凡ソ此繡法ハ文字又ハ模様ノ外線ヲ細密ニ繡フ爲メニ最要ナルモノナリ第六十一圖中ノ(ニ)(ホ)(ロ)



(ハ)(ト)(チ)ハ皆側縫ト浮繡トヲ以テ爲セルコト上條ニ説ク所ノ如シ第六十三圖ハ尋常ノ側縫及ヒ刻紋アルノ側縫又雞冠狀ノ側縫等ヲ著ハセリ是等ノ模様ハ小兒ノ爲メニ小絨方形ヲ縫ヒ又小絨ノ「ベツトコート」即チ婦人ノ上蓋衣ノ縁ヲ縫フ爲メニ切要ナリ

第六十三圖

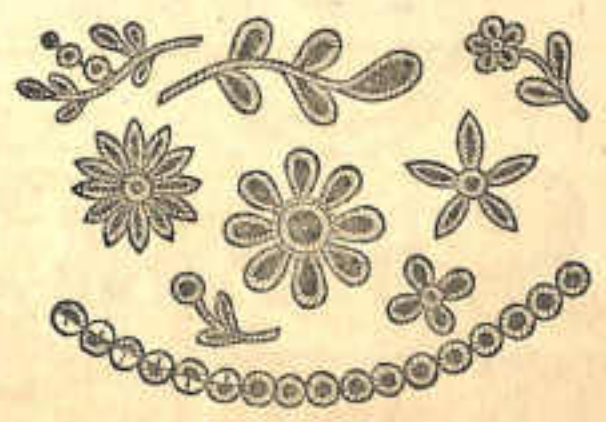


英式ノ縫繡ハ開キ縫ニシテ孔アル縫法最モ手工ノ容易ナル一種ナリ之ヲ做スノ方ハ先ツ模様ヲ着ケ細小ノ葉ヲ縫ハン爲メニハ縦ニ端麗ニ穿開スベシ若シ大ナル葉ヲ縫

ハント欲セバ先ゾ縦ニ長ク裁開シ而シテ又横ニ裁開シテ後
 之ヲ細密ニ浮縹ニスベシ其縫縹ス
 ル間ニハ漸次ニ其縁ヲ折リ曲グベ
 シ第六十四圖ハ此縫縹ノ數種ノ模
 形ヲ著ハス此模形ニ由テ其縁タル
 小孔ハ十字形ニ裁リ此圖表ニアル
 如ク縫縹スベシ

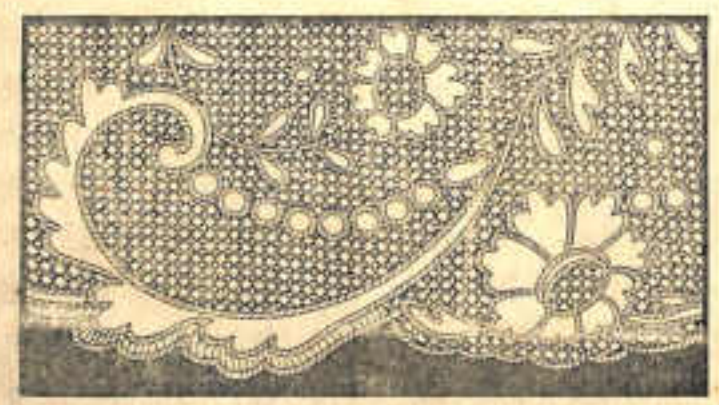
「アロドリアツブリケー」即チ粘着縹
 ハ甚タ美麗ナルモノニシテ左ノミ
 雜事ニモアラズ此縹法ハ第一ニ織物ヲ他質トシテ好模形ニ
 裁斷シタル他ノ物ヲ縹ヒ着クルナリ多クハ剪紙ノ截リタル

圖四十六第



モノヲ哆囉呢或ハ紋洋布又ハ羅眼ノ上ニ縫着クルコト第六
 十五圖ノ如ク「ブルツセルレース」即チ細縁ニ類似セシテ縹フモ
 ノナリ之ヲ爲スニハ最モ細密ニシテ
 且ツ美麗ナル綿紗ヲ選用セザルベカ
 ラズ又最モ注意シテ良好ノ「ブルツセル」
 羅紘上ニ着クルコトヲ要トス爾ル後
 縫案ノ上ニ此兩物ヲ粘シ尋常縫縹ニ
 於ケルガ如ク模様ヲ着ク可シ此時心
 ヲ留メ針ヲ以テ羅紘ヲモ洋布ヲモ取
 去ル様ニ爲シテ即チ浮縹ヲ施スベシ
 此浮縹ヲ施スニハ務メテ平坦ニシテ

圖五十六第



規模正シク毫モ不齊ナラシメザルヲ要ス外見ノ美ト醜トハ
 獨リ此浮縞ノ巧拙ニ由レリ其縞已ニ完成セルトキ地質タル
 羅縞ヨリ綿紗ヲ裁リ放スベシ之ヲ爲スノ際務メテ忍耐シテ
 精細ニ思量セザル可カラズ且シ極メテ短キ剪刀ヲ以テスベ
 シ之ニ用キル所ノ剪刀ハ特別ノ一類アリト雖モ鋒尖リ且ツ
 利キ刀ナレバ如何ナル狀ニテモ能ク裁斷シ得ルベシ凡ソ裁
 斷スルニハ刀ノ一端ヲ案上ニ着ケ留意シテ之ヲ做スヲ要ス
 此縁ハ細カナル側縫ノ線ヲ以テシ或ハ細縁ヲ着クルコト多
 シ

「アルメナー」即チ孺子縫ハ諸縫中ノ最美ナルモノタリ其
 之ヲ爲スモ他技ヨリ時晷ヲ移スコト最モ久シトス學習セシ

第六十六圖



ト欲スル者ハ先ツ宜シク「カムブリツク」ト云フ棉紗或ハ「チー
 ンスー」ト云フ綿紗ニ縫フベシ漸次練熟シテ巧手ニ至ルニ
 非ズンバ織美ナル綿紗ニ縫フコトヲ許サズ此縫ヲ做スニハ
 先ツ模形ヲ着クベシ而シテ模様ヲ縫縮スル
 所ニ反對シタル所ニ鎖子縫ヲ以テスベシ之
 ヲシ常ニ其形線ヨリ細密ニ針ヲ刺シ其下ヨ
 リ之ヲ引抽キ短キ直縫ヲ爲スベシ花上ノ葉並ニ其枝ハ共ニ
 其尖頭ヨリ縫始ムルヲ要スルモノハ十分尖ルヲ以テ佳トス
 ルカ故ナリ第六十六圖中ニ在ル中央ノ分レタル葉ヲ縫フニ
 ハ鎖子縫ヲ以テ繙完スル前ニ紋理ヲ着クルヲ要ス而シテ葉

ノ一尖點ヨリ始メテ先ツ其葉ノ一方ヲ繙ヒ了リ漸ク他面ニ及ボスベシ

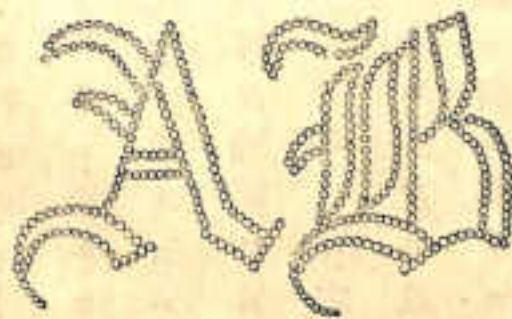
第六十七圖ハ「ボアンドプリューム」ト云フ繙法ニシタル草花ノ一小枝ヲ著ハセリ是亦「サケンスケツケユ」ノ一種アリ其枝ヲバ浮繙ニシ花ノ中心ヲバ「ボアンドポスト

第六十七圖



繙ト做セリ即チ綿紗ノ一小片ヲ針上ニ上セ第六十八圖ニ示スガ如キ大サニシテ二三繙チ此點頭ニナスベシ

第六十八圖



第六十九圖



「ボアンドポスト」ハ手巾帕等ニ記號ヲ着クル爲メニ最モ要用ナルモノニシテ其嵌填スルニ至テハ「サケンスケツケユ」ト聯用セラル、ナリ

「ボアンドサーブル」ハ一小點ノ繙ニシテ唯「サケンスケツケユ」ノ如キ他ノ繙ト共ニ聯用セラル、ノミ是ハ反シ繙ヲ以テ小點ノ行列ヲ爲スナリ是等ノ點ハ其葉或ハ花瓣ヲ完成スル爲メニ用井ラ

ル而シテ砂粒ニ等シク小細ナラザル可カラズ是此繙法ノ名稱トナル所以ニシテ「サーブル」ハ佛語砂ト云フ義ナリ
「ボアンスケツケニユート」即チ分時繙ハ頗ル速カニ繙フベキヲ以テ斯ク名ツケシナリ此法ハ「サケンスケツケユ」ニ類セルモ

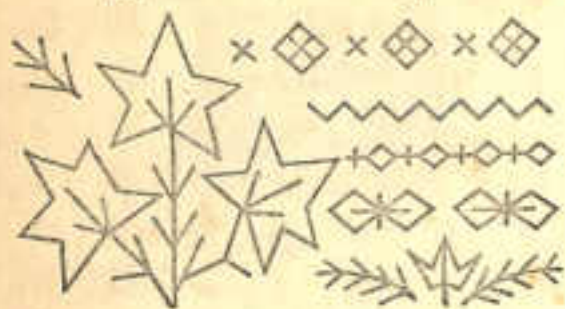
第七十圖



ノニシテ能ク之ヲ做ストキハ實ニ「サナン」縫ニ髣髴タルニ至ル此縫ヲ爲スニハ模形ヲ着クルコトヲ要セズ針ヲ刺シ入ルルニハ先ヅ填タスベキ葉ノ頭點ヨリシ棉絲ヲ以テ針ヲ幾重モ纏ヒ葉ノ尾點ヨリ針ヲ引抽クベシ斯ノ如クスルニ當テ此纏ヒタル絲ヲ大指ニテ堅ク按着シテ搖クコト無カフシム可シ第七十圖ヲ見テ會得スベシ

鐵道縫ハ亦頗ル神速ニ完成スベキヲ以テ此名號アルナリ第七十一圖ニ著ハス所ノ花或ハ葉ヲ造ルニハ葉ノ一端點上ヨリ始メテ左手ノ大指ヲ以テ之ヲ固持シ其將ニ針ヲ袖ントスル處ノ邊側ヨリ針ヲ刺シ入レ葉ノ一端ヨリ

第七十二圖



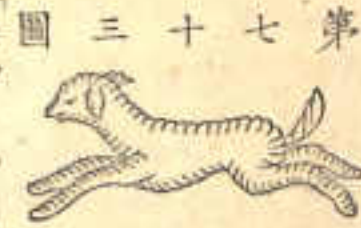
之ヲ油クベシ此處ハ即チ彼ノ大指ニテ固持セシ處ナリ斯クシテ全ク葉ヲ覆フニ絲ヲ以テスベシ葉端ノ細縫ハ裏ヨリ針ヲ貫キテ縫フナリ乃チ他質ナル織物ノ二絲ニ掛ケ又葉端ノ裏面ニ掛ケテ針ヲ通スベシ小絨或ハ「カシユミヤ」ヲ縫編裝飾スル之ヲ以テス其幹ハ常ニ浮繡ニスルナリ

第七十一圖



「#アナルユシス」ハ美細ナル黒絹其他支那ノ色絹絲ニテ單形ヲ着クルモノナリ最モ簡易ニ且ツ美麗ナル縫繡ノ第一ナリ此縫

ハ飾物トナルベキモノ並ニ手巾風襟衣服ヲ裝成スルニ最モ
要用トス此模様ハ特別ニ意ヲ留メテ畫シ長キ反シ縫ト短キ



反シ縫トナ交換シテ縫綴シ恰モ好ク其模様ニ適
合スル様ニ爲スベシ之
ヲ爲スノ間注意シテ正
シク縫着スルヲ要ス

「ボア」ニ「ヨシコ」ト云フ縫ハ此別種
ニシテ亦「ボア」ニ「ユツス」ト一般ニ流
行シ最モ簡易ナルモノナリ此模形
ヲハ細密ニ直縫ト側縫トナ交互
用キテ爲スベキナリ斯ノ如キ縫ハ

圖 四 十 七 第



種々ノ衣類及ヒ手巾襷物等ニ用キテ有益トス

「ミニヤル」デイスブレード細線ハ甚ダ奇麗ニ且ツ要用ナル繡
法ナリ是ハ模範上ニ粘シ其眞形ヲ細密ニ繡スルニ細線縫ニ
テ之ヲ填スコト左ノ如シ

圖 五 十 七 第



「ブルユツセルス、レース」縫ハ細美ナル側縫ノ孔縫ヲ連續セル
モノニシテ左ヨリ右ニ掛ケ凹凸ナク頗ル平坦且
ツ端正ニ縫フベシ

「ブルツスセルス、テット」ト稱スルモノモ亦「ブルユ
ツセルス、レース」縫ト同シ方法ヲ以テ做スナリ則
チ其第二位ノ排列ニ於テハ左方ヨリ始メテ右方ニ及ボス第
二列ニ在テハ右方ヨリ始メテ左方ニ終ル是其第一位ノ列或

ハ裝飾中ニ於テ做ス所ナリ

英吉利ノ組線縫ト稱スルモノハ「ミニヤルデイ

スブレード」ノ模形ヲ繙完全填セシムルニ於テ

最モ緊要ナル縫法ト做ス而シテ其充填セント

スル所ノ空隙ヲハ初時距離ヲ一様ニシ區別ヲ

分テ横線ヲ以テ之ヲ包隠シ乃チ其線ヲ二回一ノ圓形線ノ周

圍ニ纏絡シ其四纏ノ線ノ相俱ニ横キル地位ノ上下ヲ通過セ

シム四線ノ横キルモノハ其做サント欲スル所

ノ圓形ヲ適宜ニ至ラシムルマデニ在ルノミ線

ヲシテ其圓形中ヲ通過セシメ再回ノ時ニ第二

ノ點處ニシテ四線ノ横キル處ニ達セシムル様ニ爲スベシ此

第七十七圖



第七十六圖



縫法タル其一線ヲ十分長ク縫完スルコトヲ要ス此織物ト異

ニシテ線ヲ數々接續スルハ甚タ拙陋ヲ呈スルモノナレバナ

リ英吉利縫法ニ於テ此ニ舉ケタル第七十七圖ノ如キハ以テ

「ブレード」即チ織物ノ環線ノ中ニ造リタル圓形ヲ示スモノニ

シテ其作法ノ如キハ則チ上條ニ記スル所ノ方法ニ據テ上下

六纏ノ線上ニ於テ之ヲ做セリ其他現今ニ在テ「ホイント、レ

スト」稱スルモノニ代用スル所ノ組線縫ト呼ブモノ又數種ア

リ是等ハ上條ニ記載シ來ル所ノ如ク以テ「ミニブルデイス、ブ

レード」即チ組縫ヲ爲サンニハ十分足レリト做ス通常組縫ノ

法ハ甚タ簡易ニ做シ得ベキモノニシテ佛蘭西國語之ヲ「ス

タツシエ」ト云フ

之ヲ組ムニ絹若クハ棉ノ組絲ヲ以テスルカ或ハ二種色ノ夤麗ナル組絲或ハ種々ノ線ヲ以テスルヲ得ルナリ組絲ノ摸形ハ其繡飾スベキ物ノ上ニ畫クカ或ハ金紙銀紙等ノ錦紙上ニ圖スベシ若シ此錦紙ヲ用井ルトキハ則テ其組絲ヲ完了シ紙ヲ平直ニ裂クモノナリ又之ヲ精巧ニ組マント欲セバ其組絲ノ中央ニ於テ一回一縫スルヲ要ス此縫ヲ稱シテ密通針歩ト云フ然レトモ背後縫ヲ採用スルニハ注意シテ組ノ隅側ヲ端麗ニ曲折シテ圓キ「ローブ」即テ環ノ中ニ於テ緊ク其組絲ヲ把持スベシ是其處ニ在テ疎闊センコトヲ防護スル所以ナリ組絲ヲ着クルハ「ホアン、ルツス」及ヒ「ホアン、ノキシコ」等ト聯用シテ華美精麗ヲ極ムルコト屢之アリ又金縷組即テ黄金製ノ

如キハ其距離常ニ短クシテ細美ニ縫繡セリ其用絲ハ黄色絹或ハ黄金線ノ如キ是ナリ凡ソ金縷ヲ以テ繡ハンニハ細心思考シ務メテ其手ヲシテ製物ニ觸レシムベカラズ例ヘバ一部分ヲ完成シタラバ即テ直ニ之ヲ覆フニ物ヲ以テシテ善ク保護スベシ

雁行形ノ繡縫タルヤ衣裳ノ模様ノ空隙アル所及ヒ襖衣ノ繡ヲ施スニ於テ甚タ緊要トスル所ニシテ其方法恰モ青魚骨縫ニ類似スルモノナリ即チ一個ノ針歩ヲ十字形ニ做シ而シテ後其針歩ノ尖ノ頭ニ自餘ノ小針歩ヲ做シ又其相反對スル方ニ於テ他



ノ十字形ノ針歩ヲ造リ最後ノ繻ヲ聯結スベシ然シ畢リテ又
小針歩ヲ此第二ニ當レルモノ、尖頭ニ置キ因テ以テ許多ノ
數ヲ造成スルニ至ルマデハ間斷ナカルベシ

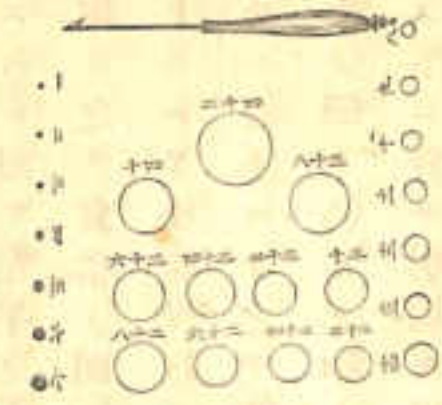
○「クロシエー」

「クロシエー」ウオルク「ト稱スルモノハ極メテ簡易ナル器
械ニヨリテ之ヲ施スコトヲ得ルナリ「クロシエー」ト
ハ釣ヲ云フ此針工タル亦一種ノ要法トス最モ速ニ學
ビ得ベキヲ以テノ故ニ小童女ト雖モ亦容易ニ之ヲ辨
解ス此手技ニ要スル物料ハ絲綿布花毛及ヒ絹等ナリ
其大小ニ至テハ己ニ製造物ノ在ルアルニ隨テ擇ヒ取
ルベシ而シテ「クロシエー」針ハ第八十圖ニアル者ヲ使用ズベ



シ其針ノ係蹄ニ掛ルベキ所ノ部分ノミ「ゲーシ」ト稱スルモノ
ハ紙牌製ノ板ヲ以テ造ルモノナリ

第十八圖



今圖スル所ノ空環線ノ如キハ木製ノ
「クロシエー」針ノ大小ヲ示ス而シテ黒
環線ト云フモノハ鋼鍍製ノ針ヲ示ス
其最モ巨大ナルモノハ即チ重量ナル
毛工ヲ做スニ用井ル「クロシエー」針ナ
リ其毛ノ兩端ヨリ離レ墜ツルヲ防カ

ン爲メニ球ヲ附着セリ

「クロシエー」編製ヲ做ス」凡ソ「クロシエー」ヲ做スニ其針工ノ
要スル所ニ隨テ長短種々一ナラズト雖モ皆鏈條ヲ以テ編縫

シ起シ之ヲ針工ノ基礎ト做スナリ是其手ヲ施コスノ最初ニ在テ其自持スル所ノ棉花ヲ以テ環輪ヲ造リ針ヲ插シ又左手ニ之ヲ執ルコト次條ノ如クナスベシ即チ左手ノ大指ト食指トノ間ニ絲ヲ取り之ヲ食指ノ圍ニ廻シ中指ノ下無名指ノ上ニシテ小指ヲ以テ之ヲ把リ「クロシエー」針ヲハ右手ニテ之ヲ特ツベシ其狀形恰モ寫字生ノ筆ヲ執ルカ如ク做スベシ而シテ左方ヨリ右方ニカケ絲ノ下ニ針ヲ引抽キ以テ其針ノ圖ニ絲ヲ纏ヒシ針鈞ノ用ニ由テ絲ヲ籠絡シテ針ニ通シタル環ノ如クニシテ之ヲ引抽クベシ斯ノ方法ヲ以テ常ニ環ヲ外ツシテ鏈狀縫ノ如ク成シ若



シ鏈條甚ダ長キトキハ則チ基礎ノ鏈ヲバ針鈞ニ密接シ左手ノ大指及ヒ食指ヲ以テ把持スルヲ要ス其針歩ノ如キハ各弛緩シ又ハ緊收スルコト勿レ是針鈞ヲシテ容易ニ通過セシメシガ爲メナリ若シ甚ダ緊收ニ過ギ或ハ甚ダ弛緩ニ過グルトキハ皆中庸ヲ得ザルナリ「ブレーン、クロシエー」尋常「クロシエー」ハ其編縫左ニ記ス所ノ如シ凡ソ基礎トナルベキ鏈狀針歩ノ裏方ヲ通シテ針ヲ抽キ之ニ纏フニ絲ヲ以テスルコト猶上條ニ説ク所ノ方法ノ如クニシ而シテ又其針ニテ針歩及ヒ環ヲ通シテ以テ引キ抽クベシ

二重「クロシエー」即チ文彩ヲ繡飾シタル針工ノ一種ナリ之ヲ

第八十圖



做スヤ恰モ單即テ尋常ノ「クロシエー」ヲ造ルニ匹似セリ茲ニ一個ノ組口ノ裏方ヲ通シテ環ト爲シ以テ絲ヲ抽ク針ノ固ニ棉布ヲ纏ヒ其針二個ヲ環ニ通シテ之ヲ引抽クベシ
 三重「クロシエー」ヲ造ルニハ針上ニ絲ヲ掛ケニ其基本ト做シタル組口ヲ通シ釣ヲ經過セン圖
 再ヒ其釣ヲ踰エテ絲ヲ掛ケ環ヲ通シテ之ヲ引キ抽クベシ斯ノ如ク爲ストキハ即テ茲ニ針上ニ三個ノ組口ヲ成ス而シテ其絲ヲハ又掛ケ反シ其始メ造リシ所ノ二個ノ組口ヲ通シ引抽キテ第四回目ニ當



テ之ヲ掛ケ反シテ其殘リタル二個ノ組口ヲ通シテ引抽クベシ夫レ尋常ノ「クロシエー」ニ於テ各列絲ヲ掛ケル初メニ在テハ必ズ鏈狀ヲ做ス若シ之ヲ做スニアラザレバ則テ各列ニ於テ一個ノ組口ヲ減損スルニ至ルベシ又其列ヲ二重ノ組口ヲ以テ始ムルトキハ則テ三個ノ鏈組口ヲ増益ス若シ三重組口ヲ以テ始ムルトキハ則テ四個ノ組口ヲ做スニ至ルベシ
 「クロシエー」ヲ做スニ漸次ニ其末ヲ廣クセンニハ第八次第ヲ逐ヒ其組口ヲシテ唯一個ノ組口ヲ増サシメテ造ルコトヲ要ス即テ八十四圖ニ於テ之ヲ見ルベキナリ
 減損スルコト」 其組口ヲ造ルコト無クシテ唯一



第五十八圖



個或ハ二個已上ノ組口ヲシテ經過セシムベシ
 後方及ヒ前方ニ做スコト」此趣意ダレ他ノ一列ノ極端ニ達
 スルニ至テ繡法ノ方向ヲ轉シテ結末ニ造リタル組口ヲバ悉
 ク踰エシメテ續成スベシ若シ尋常ノ法ニ由レバ則チ一人其
 右手ヲ以テ各列ヲ造リ始メ絲ヲ裁リ去ルコトヲ
 要ス而シテ其繡工ヲシテ更ニ各列ヲ做始メシム
 ベシ
 全ク造成スルコト」其端ヲ殘スコト大抵曲尺三
 寸許ニシテ絲ヲ裁去リ結尾ニ在ル所ノ組口ヲ通
 シ其端ヲ抽キ又堅ク緊收スベシ
 接合スルコト」最首ニアル所ノ組口ノ中ニ係蹄ヲ通シ又絲

第六十八圖



ヲ組口ニ通シテ緊束シ其端ヲ殘スコト三寸強ニシテ最首ノ
 組口ヲ造成ス此端ヲバ絲ト共ニ通シテ引抽キ其組口ト相密
 通シテ斷去ルベシ
 均シク手工ノ二部分ヲ結合スルコト」此事ヲ做サ
 シニハ尋常ノ組口ノ二三ヲ要用ト做ス即チ其將ニ
 結合セントスルノ面ニ於テハ唯其組口ノ半分ノミ
 ニ針ヲ通スベシ
 「クロシエー」ニ於テ「ハールト」ト云フコトハ一個ノ尋
 常鏈狀ニ造リタル四個ノ鏈組口ヲ以テ造成セシ所
 ノ小サキ環形ヲ稱スルナリ即チ尋常ノ一鏈組方ノ四ヲ做シ
 第四ノ組口ニ至テ第一ノ組口マデ復スルモノナリ即チ第八

十六圖ヲ看テ識ルベシ
 三葉形ノ飾ト云フハ三個ノ環形ニ做シタル者ヲ粗一個ニ結
 合シテ以テ造成セシモノト做ス玆ニ舉ケタル第八十七圖ノ
 如キハ飾リ側縫ヲ以テ覆ヒ扁キ方形物ノ上ニ
 置キタル三葉形ヲ示スモノナリ
 又第八十八圖ノ如キハ少シク凸クシタル粗口
 ヲ以テ飾レル平坦ノ方形物ヲ示ス此粗口ヲ稱シテ豌豆ト云
 フ三個或ハ五個ノ粗口二重「クロシエー」ヲ一個ノ地質ノ中ニ
 ナス此事タル甚タ堅牢ナル方形ノ模ヲ製造ス
 ルニ至ル被物ヲ造ル爲メニハ頗ル相應スルモ
 ノナリ

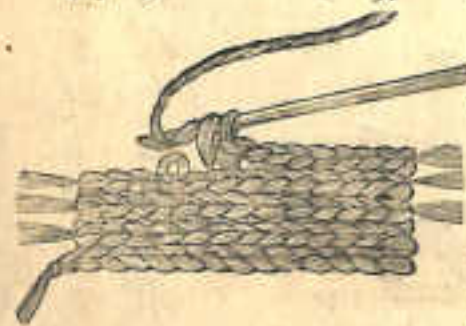
第八十七圖



第八十八圖

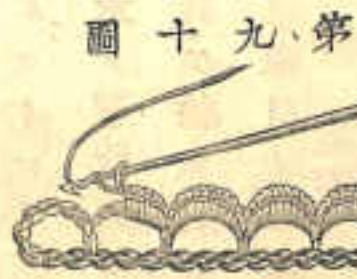


「クロシエー」トリコー「ハ」處女等ノ「クロシエー」ノ書冊中ニ於テ
 屢稱スル所ナリ其外形怡モ編製ノ様式ヲ備フルヨリシテ此
 名號アリ其方法ノ如キハ第八十九圖ノ如シ基本ノ鏈狀ノモ
 ノ、上ニ二重ノ「クロシエー」ヲ做シ其列ノ端ニ於テ絲ヲ裁去
 ルベシ而シテ他ノ端ニ於テ第二ノ列ヲ做シ始メ粗口ノ最尾
 ニ在ル列ニ至ルマデ悉ク做サズシテ之ヲ殘
 シ置キ其例ノ背後ナル粗口二重ノ「クロシエ
 ー」ヲ造ルベシ是等ノ列ヲ各々反復シ其各列ノ
 ノ結尾ニ於テ乃チ絲ヲ切去リ又他ノ端ヨリ九
 更ニ始ムベシ此第八十九圖ノ如キハ背後組圖
 口ヲ用井ルノ方法ヲ著ハセシモノナリ



「クロシエー、アフエストン」此組口タル鏈狀組口ヨリ造レル環ノ下ニ飾り針ヲ通過シテ是等ノ環狀ノ上ニ二重ノ「クロシエー」ノ組口ヲ做シテ造成セルモノト做ス即チ第八十七圖ニ示スカ如シ

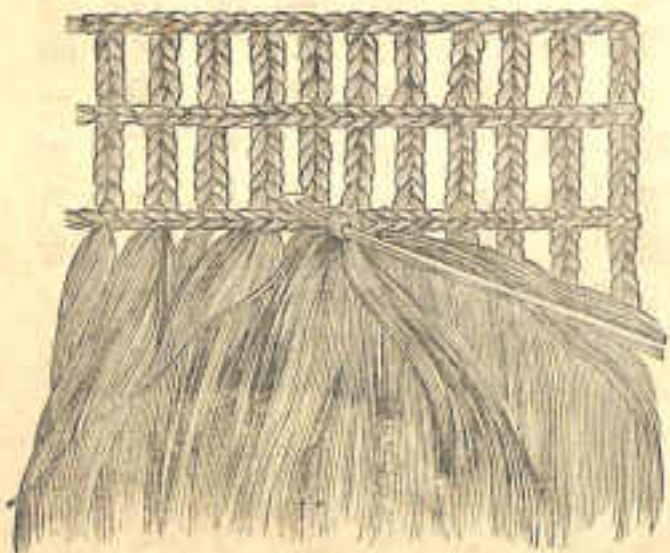
「ブリンシエツトクロシエー」ハ即チ流蘇ノ如ク飾ルモノニシテ一基礎ト做サン爲メニ「クロシエー」方形ノ組口ヲ做スコトハ第八十八圖ニ示スガ如クスマシ而シテ後選擇ニ應シタル彩色ヲ着ケシ縦毛ヲ備具ス其毛ノ長サ大抵曲尺八寸乃至一尺ニ止マル是等ノ毛ノ半分ヲ手ニ握リ方形ノ各孔ニ入レテ之ヲ飾ルベシ此專ヲ做スニハ鏈狀針歩ノ下ニ「クロシ



第十九圖

エー」鉤ヲ刺通シソノ上ニ縦毛ヲ置キ其縦ノ中央ノ下ニ「クロシエー」鉤ヲ經過セシムルト同

時ニ於テ彼ノ握手セシ所ノ毛ノ下ニモ亦超サシメテ環ヲ造リ其毛ノ長キ端ノミヲ引キ通スベシ其開キタル所ヲ通シテ切タル毛ノ下ニ引キ通スナリ」
第十圖
斯ノ如クシテ毛ノ極端竟ニ其組口ニ固着ス若シ針工全ク成



了セントキ即チ鋼鐵精製ノ櫛ヲ以テ丁寧ニ毛ヲ流淨スベシ其之ヲ做ス織緯ヲ分チ其外貌恰モ皮ノ如ク見エタリ此組口

ノ如キハ甚タ美艷ナル線ヲ造リテ靈前ノ坐褥或ハ火燈席等ニ
用井ルニ實ニ珍重スベキナリ

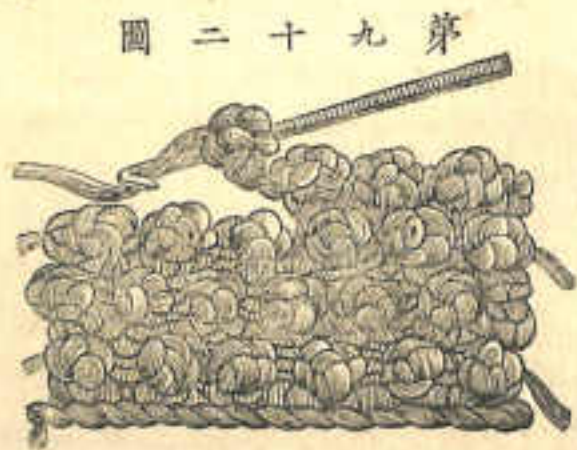
「クロシエー、ビードツト」ハ即チ小珠飾ニシテ若シ基礎ノ鏈狀
組口全ク成就セバ即チ此鏈狀組口ノ第二ノ組口中ヲ通シテ
絲ヲ引抽クベシ斯ク做ストキハ則チ「クロシエー」針ニ二個ノ
環ヲ遺スニ至ル而シテ後三個ノ鏈狀組口ヲ做シ其最後ニ造
リタルモノヲ環中ニ通シ最初ニ造リタルモノヲ針上ニ遺ス
ベシ其始メニ當テ三個ノ鏈狀組口ヲ造リシ所ノ孔ノ背後ニ
「クロシエー」針ヲ超サシメ其針上ニ絲ヲ掛ケテ其孔ヲ通シ抽
クト同時ニ最尾ノ鏈狀組口及ヒ最首ノ環ヲ通スベシ斯クシ
テ漸次ニ第一ノ「ビード」即チ小珠ヲ完成セリ則チ第八十九圖

ニ於テ見ルベシ一個ノ鏈狀組口ヲ造リ一個ニ解レズシテ第
三ニ當リテ第二ノ「パール」ヲ做シ始ムベ
シ

排列ニ於テ其珠ヲバ前列ニゾル珠ノ間
ニ造ルヲ要ス其各列ノ極端ニ於テ毛ヲ十
切去リ而シテ又他ノ端ヨリ列ヲ造ルニ
着手スベシ

「チユニス、クロシエー」ト稱スルモノハ即

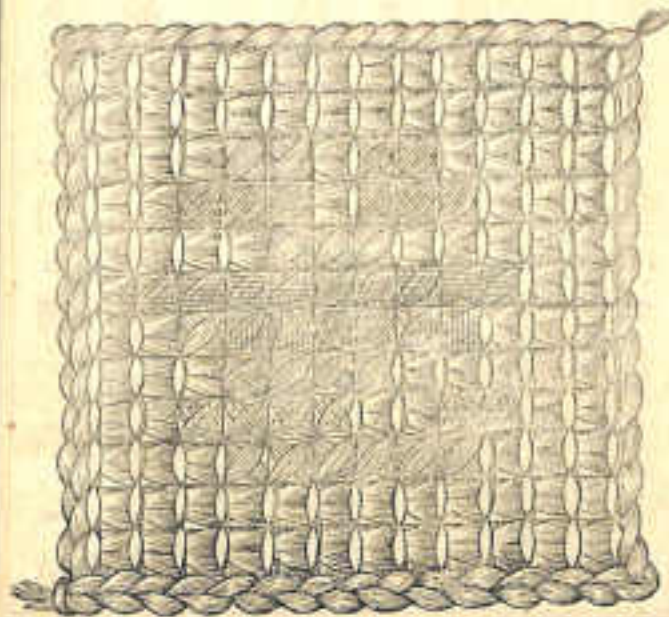
チ「クロシエー」ノ一種類ニシテ木骨或ハ象牙製ノ長ク厚キ「ク
ロシエー」鉤ヲ用井毛ヲ以テ造レルモノナリ此端ノ如キハ之
ヲ完成スルトキハ則チ結口或ハ珠形ニ造リ做スチ常トス是



茅 圖 二

其端ヨリ針ヲ遺墜センコトヲ防ゲバナリ之ヲ着手スルニハ
 通常鏈狀「スナツナ」ヲ基本ト做スベシ第一列第二位ニ在ル鏈狀
 組口ノ中ニ「クロシエー」鉤ヲ通過シ其小鉤ノ圍ニ毛ヲ纏ヒテ
 此第二位ノ組口ヲ遺シ其第三
 位ノ鏈狀組口ニ「クロシエー」鉤
 ナ刺通シ此鉤ノ圍ニ一回毛ヲ
 以テ通シ而シテ後引通スベシ
 斯ノ如ク做ストキハ鉤上ニ遺
 留シタル三個ノ組口ニ至ルナ
 リ其基本トナルベキ各個ノ鏈
 狀組口ニ之ヲ反復スベシ常ニ

第九十三圖

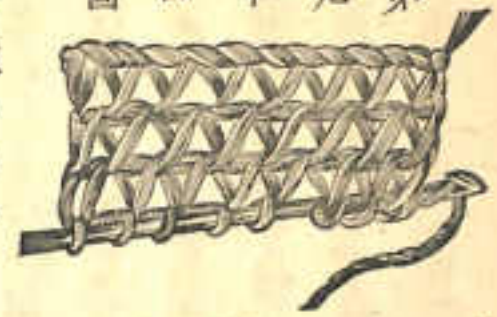


其造成セシ所ノ組口上ニ鉤ヲ放タザルヲ要ス
 第二列ノ還返之ヲ做ス一回鉤ノ圍ニ毛ヲ通過セシメ其鉤上
 ノ環ヲ通シテ引抽キ又第一位ノ正直ナル組口ヲ通スベシ而シ
 テ小鉤ヲ越エテ毛ヲ掛ケ其次列ニ在ル正直ナル組口ヲ通シ
 テ之ヲ引キ以テ一個ノ環ノミ針上ニ遺留スルニ至テ止ムベ
 シ
 第三列ノ第二位ニ在ル正直ナル組口ニ「クロシエー」鉤ヲ通ス
 ベシ其第二ノ正直ナル直組口ハ恰モ完成シタル列上ニ在ル
 モノナリ彼ノ「クロシエー」鉤ノ圍ニ一回毛ヲ投掛ケ之ニ通シ
 引キテ其次ニアル針歩ニ鉤ヲ通シ竟ニ正直ナル組口ヲ撮
 取シテ新ニ之ヲ做スニ至テ止ムベシ

第四列ハ第二列ト類似ス茲ニ記應セザルベカラザルノ款アリ即チ此第四ノ「クロシエー」ノ如キハ其第二列ノ完成スルニ非ザレバ亦之ヲ完了セザルベシ其第一列ハ右方ヨリ左方ニ及ボシテ環ヲ做ス第二列ノ如キハ左方ヨリ右方ニ至リテ環ヲ全造スルナリ「ナユニス、クロシエー」ヲ完成スルトキニ當テ其最尾ノ列ヲ做スニハ次條ニ記スル方法ニ由ルベシ若シ未ダ第三列ヲ造ラザルニ際シテ二個ノ環鉤ノ上ニ在ルトキハ則チ第一列ヲ踰エテ第二列ヲ脱離セシメ其列ノ端ニ至ルマテ反復シ尋常「クロシエー」ニ於ケルガ如クニシテ完了スベシト增益スルコト 第二個ノ正直ナル組口ノ間ニ於テ一個ノ組口ヲ加ヘ猶前條ノ如ク縫ヒ做スベシ

減損スルコト 縫編ヲ用井ズンテ一個ノ組口ヲ省クベシ「ナユニス、クロシエー」ト稱スルモノハ其縫法猶粗布ノ如クニシテ彼ノ十字形縫ノ編ヲ做サン爲メニ基礎トシ用井ルベキモノナリ乃チ第九十圖ニ示スガ如シ
開キタル「ナユニス、クロシエー」其第一及ヒ第二ノ列ハ尋常ノ「クロシエー、ナユニス」ト同一様ニ編フベシ
第三列ハ「クロシエー」鉤及ヒ前列ノ鏈條ヲシテ正直組口ノ間ニ在ル各孔ヲ通過セシメ又是等ノ孔ヲ通シテ毛ヲ引抽クベシ斯ノ如クシテ鉤上ニ造リシ所ノ環ヲバ部ヲ繫持スベシ
第四列ハ尋常「ナユニス、クロシエー」ノ如ク相互ニ二個ノ鏈ヲ反復スベシ

第九十四圖



「クロシエー、レース」ハ十五個ノ組口ヲ做シ之ヲ以テ針工ノ基礎ト做シ而シテ後ト前トニ縫フベシ

其第一列 第七鏈狀組口中ニ一個ヲ二重ニシ三個ノ鏈毎ニ一個ヲ二重ニ做シ又三個ノ鏈ニ一個ノ二重既成ノモノト其法方ヲ同シクシ三個ノ鏈毎ニ二個ノ二重ヲ做シ其結末ニ至テ各個ノ間ニ四重ノモノト三個ノ鏈ト

ヲ做スベシ

第二列 六個ノ鏈ト一個ノ二重トヲ組尾ノ組口ノ第一ノ「フェストン」ノ上ニ做ス一個ノ鏈其前列ノ上ニ一「パール」ヲ做ス三個ノ鏈三個ノ二重一個ノ「パール」一個ヲ造ル猶前條ノ如

クシ其次ノ「フェストン」上ニ一個ノ二重五個ノ鏈一個ノ二重ナリ

第三列 四個ノ鏈ヲ其「フェストン」ノ結尾ニアルモノ、上ノ各個ノ間ニ四個ノ二重四個ノ鏈ト共ニス可シ一個ノ鏈一個ノ「パール」一個ノ鏈ヲ做シ而シテ後三個ノ二重ナルモノ二列ノ間ナル鏈狀組口ノ上ニ五個ノ鏈ト共ニ二個ノ二重ヲ做スベシ一個ノ鏈一個ノ「パール」一個ノ鏈ヲ做シ而シテ其前列ナル結末ノ「フェストン」ノ上ニハ一個ノ二重三個ノ鏈一個ノ二重ヲ做スベキナリ

第四列 六個ノ鏈其最モ密近ナル「フェストン」ニ一個ノ二重三個ノ鏈ヲ做シ其中央ニアル「フェストン」ニ一個ノ「パール」ヲ

ノ思定セシ數ヲモ亦除クベシト斯ノ如ク做シ了ルトキハ假令余其數ノ何許ヲ知フズト雖モ其殘數ノ幾何タルヲ確言スルニ於テ毫モ謬ルコトナシ其殘數タル常ニ余ノ汝ニ加ヘント發言セシ數ノ半ニ適スルモノナレバナリ譬ヘバ汝ノ思定スル所ノ數八ナレバ余ハ汝ニ請フニ其數ヲ二倍センコトヲ以テス其時汝モ亦知ルベシ斯ノ如クセバ即チ十有六ニ至ルコトヲ然レドモ余ハ其事ニ就テ一モ知ル處ナシ又汝ニ請フニ其相倍セシ所ニ四ノ數ヲ加ヘンコトヲ以テス斯クセバ全數二十ヲ得ベシ余ハ更ニ知ルコトナシ而シテ後余又汝ニ請フニ其全數ノ半ヲ除カンコトヲ以テス是ニ至テ其全數唯十ノミ結局ニ至リ余又汝ニ請フニ始メ思定セシ所ノ數ヲ除カ

ンコトヲ以テス其總額ノ幾許ナル素ヨリ預知スル無シト雖モ余汝ニ告クルニ殘數ノ二ナルコトヲ以テスルヲ得ベシ是戲者ノ昏迷混淆シテ分曉シ易カラシムルノ技倆ナリ其實地ヲ言フトキハ始メ加ヘント云ヘル數ノ半數必ズ其殘數ト做ルベシ余初ノ望ムニ四數ヲ加ヘンコトヲ以テス故ニ其殘ル所ノ數ハ即チ二ノ數タルコトヲ確知スルナリ

○「コノンドラム」謎語ノ一種即チ奇語ヲ發シテ物ノ全クナリ 較スルナリ

第一 何ノ故ニ木葉ハ人體ト齊シキヤ

答フ木葉モ脉管膜理ヲ固有スルナリ

第二 醇美ノ酒ヲ製スルニ何蟲ヲ以テスルヤ

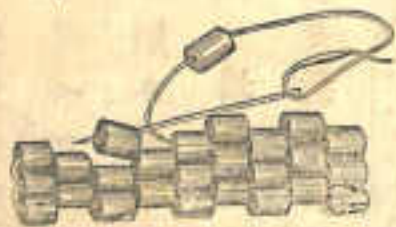
紙牌上ニ於テ華美ニ其線ヲ縫ヒ若シ其數ヲ十分ニ做シ了ラバ則チ模形ニ倣ヒテ之ヲ排列シ彩絹若クハ黒色ノ絹絲ヲ以テ緻密ニ其上ヲ縫綴スベシ其縫綴スル所ノ絹絲ノ如キハ選ヒテ同一物ヲ用井其絲ヲシテ其事ヲ完了スルニ至ラシムベシ或ハ黄金色ノ絹絲ヲ選ヒ用井ルモノアリ甚タ華麗彩美ヲ現ハスモノナリ然レドモ黒色絹ノ堅強ナルガ如クナラザルナリ厚紙牌ノ如キハ其縫事ヲ完了シタラバ則チ他ニ取除キ置クベシ若シ之ヲ臥被ニ用井シニハ小絨絹或ハ綿製ノ裏ヲ着ケ若シ之ヲ案檯布ニ用井シニハ單絹ヲ以テ裏ト做スベシ其線ノ色ハ繡物ニ存スル所ノ中ニ就テ最モ許多ナル色ト相對セシムルヲ要ス又其四隅ノ流蘇ノ如キモ是ト同一様タル

ベシ紙牌ヲ除キ去ルニ當テ各個ノ飾絹工繡物上ヲ均熨スルニハ冷鉄ヲ以テスベシ若シ其絹上ヲ覆フニ他ノ布帛ヲ以テセバ熱鉄ニテ熨シテ可ナリ斯ノ如ク做サレバ此熱氣ノ爲メニ其色ヲ剝奪スルノ恐アレバナリ

「ペード」バツナウオルク「ト」稱スルモノハ即チ飾珠工ニテ其模形數種針尖珠ヲ穿ナテ以テ造成シ恰モ模形ヲ製スルガ如ク衆色ヲ排列シテ之ヲ做ス其方法第九十七圖ニ示スガ如シ

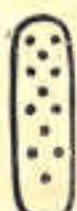
此工事ニ用井ル所ノ珠形數種アリ其中ニ於テ最モ美珍ト稱スル所ノモノハ色澤光潤ナル玻璃製ノ大球ト做ス是特ニ此事ニ用井ル爲メニ製販ス

第九十七圖



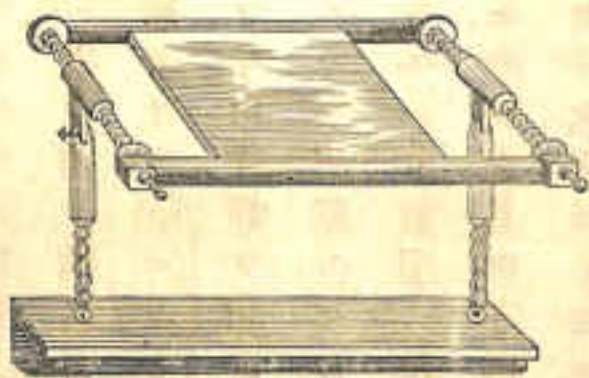
ルモノタリ小球ノ如キハ其製者ヲシテ大ニ心目ヲ勞煩シ忍
 耐勉力セシムルニ非ザレバ其絲ヲ貫通スルコトヲ得ベカラ
 ズ而シテ其大球ヲ貫クニハ太キ「クロシエ」綿絲ヲ用井小球
 ヲ貫クニハ細美ノ絹絲ヲ以テスベシ若シ初時一個ノ排列ヲ
 完成セバ次ニ第二ノ排列ニ手ヲ着ケ自餘ノ各針歩ヲ悉ク做
 シ了リテ其間ヲ填メサシニハ順次ノ列ニ於テ此ノ
 如ク做スベシ此縫事ノ用タル火燈茶瓶等ニ要スル所ノ席ヲ
 造ルニ供ス

「ペード、エンプロイデリー」即チ球繡ト稱スルモノ其有用ノ物
 具ハ「カンヴラス」ノ外數種アリ此織物ノ如キハ幘子上ニ撐張
 スルコト第九十八圖ヲ見テ識ルベシ之ヲ做スヤ模形ヲ寫シ



之ニ被フニ種々ノ彩色セシ所ノ珠
 ナ以テス是皆其模形ニ從フベキナ
 リ而シテ其「ペード」即チ珠ヲ縫綴ス
 ルニハ良好ノ針ト綿絲トヲ要ス針
 歩ノ如キハ上ト下トニ互ニ交ヘ做
 ス乃チ一手ヲ以テ幘下ニ置テ針ヲ
 引抽キ又他ヨリ刺通スナリ若シ「ペ
 ード」即チ珠同一ノモノニシテ其排
 列長キヲ要スルトキハ珠ニ針ヲ貫キ全列ヲ一時ニ置キ各別
 ニ其珠ヲ分用スルコトヲ做ス勿レ然レドモ其珠ヲ以テ地質
 ナ造ルニ臨ミテハ則チ之ヲ各別ニシテ一個毎ニ縫着スルヲ

第九十八圖



良工夫トスルナリ此「ペードウオルク」ニ用井ルニハ「カンヴァス」即チ羅眼織ノ經緯方形ナルモノヲ必要トス「メチローブカ」ンヴァス」即チ一種ノ羅眼織ヲバ用井ザルヲ可トス

○「マルキング」記號織

夫レ記號ノ用タル兒女等ノ自己ノ用及ヒ一家ノ用ニ供スル所ノ麻布ニ記號ヲ附クルニ於テハ頗ル其勒苦ヲ省クベキモノト雖モ既ニ七八歳ニ及ビシ兒童ハ各自ノ手巾襪等ノ如キモノ美麗ニ記號スルノ方法如何シテ可ナルヤヲ認織セザルベカラズ其之ヲ學習スルノ最良法ハ經緯ノ方形ナル「カンヴァス」ノ上ニ十字針歩ヲ設施シテ文字ノ形ニ擬シ之ヲ學ヒ得テ後粗製ノ抹巾等ノ上ニ於テ之ヲ試ミ逐次ニ熟達スルニ及

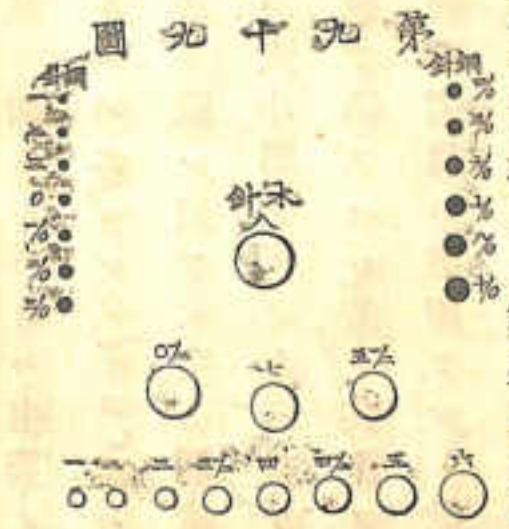
ヒテ美麻布上ニ試験スベシ大凡記號ヲ附スルモノハ生染ノ棉布或ハ絹ヲ以テスベシ文字ヲ造ルニハ各「カンヴァス」或ハ麻製ノ一纏ノ絲ヲ用井十字形ノ針歩ヲ做シ以テ文字ノ體裁ヲ造ルベシ或ハ「ストツキング」即チ莫大小製ノ襪ノ上ニ於テハ其同質ノ織物ノ二纏ノ線ヲ横ニ裁テ做スベシ若シ其製スル所ノ貨物ノ數號及ヒ年紀ノ號トチ其名目ニ増附セント欲セバ則チ一二三ノ數號ヲ以テ認識スルコトヲ要ス其文様ノ極メテ細小ナルモノト又極メテ巨大ナルモノトノ如キハ「フアンレー、レツトル」及ヒ針歩ヲ印記セザル以前ニ於テ之ヲ做スベシ即チ繡法ノ「ポアンルツス」ト同一様ナリトス

若シ襪ニ記號セントナラバ足踵ニ當ル所ニ於テスベシ其故

何トナレバ此階上ニ當ル所ハ自餘ノ部ヨリモ其摩損スルコト甚タ稀少ナルヲ以テナリ

○「ニツナシク」編製

此編製ト稱スルモノハ莫大小等ノ属ニテ實ニ有用ノ針工ナリ其要スル所ノ物具ハ鋼鑊象牙骨及ヒ木材ニテ製造シタル針又綿絲絹絲毛絲等ナリ編製用ノ針ハ其形大小數種アリ凡ソ物ヲ編マント欲スレバ其物ニ適合スル所ノ針ヲ用井假令編製ノ物質或ハ絹或ハ毛或ハ綿ナリトモ其何物タルヲ論ゼス其相應スル所ノ針ヲ選フ



コトヲ要スルナリ

尋常編製ノ法ハ常ニハ唯二本ノ針ノミヲ用井テ之ヲ做スナリ膝蓋及ヒ襪等ノ如キ圓形ニ編製スルモノヲ做サンニハ三四本成ハ五本ノ針ヲ使用スルナリ彼ノ九十九圖ハ即チ編製ノ大小ノ度ヲ寫セシモノトス而シテ其圖中ナル黑環ハ則チ鋼鑊製針ノ大小形ト番數號トヲ示スモノニシテ其白環ノ如キハ則チ象牙製或ハ木製ノ針ノ形ノ大小ト番號トヲ圖識セシモノナリ

「カステング」ト稱スル語ハ即チ針上ニ最初ノ一列ノ針歩ヲ編始スルヲ云フナリ第百圖ニ於テ其義見ルベシ

第百圖



左手ノ第一食指ト第二中指トノ間ニ絲ヲ掛ケ持テ大指及ヒ食指ノ上ニ投ケ掛ケ恰モ環ヲ造ルガ如ク其環中ニ針ヲ貫キ通シ而シテ針ヲ經過セシメテ之ヲ抽出シ竟ニ十分ナル針歩ノ數ノ針上ニ在ルニ至リテ止ム針ニテ編ミ續クルノ法ハ左手ニテ針歩ヲ投掛クベキモノヲ取り又右手ニテ爲ス所ノ他針ヲ取りテ完成スベシ即チ百一圖ヲ觀テ悟了セヨ

左手ニ持ツ所ノ針歩ニテ造成セシ環中ニ右手ニ持ツ所ノ針尖ヲ刺入レ其絲ヲシテ一回圍繞セシメ而シテ其上ニ投ケ掛ケタル絲ヲ運轉シ舉クベシ乃チ其絲ヲ回轉スルニ隨テ針歩ヲ造リ其左手ニ持ツ所

圖一百一第



ノ針ヲ經フナリ尋常ノ編製ハ左手ニ持ツ所ヨリシテ造ルモ

圖二百二第



ノナリ最初ノ針歩ニ右手ニ持ツ所ノ針ヲ裏面ニ通過シ其絲ヲ表面ニ掛ケ其針歩ノ下ニ在ル右手ノ針尖ヲ過キシメ彼ノ表面ニ投ケ掛ケタル絲ヲ以テ別ニ更ニ針歩ヲ造ルベシ其絲ヲハ右手ニ持ツ所ノ針ニ躋ラシメテ其針歩ヲシテ左

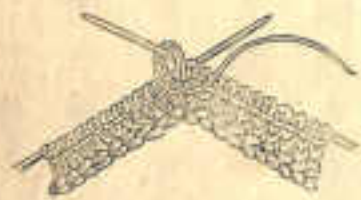
手ニ持ツ所ノ針ヲ放棄セシム是唯左手ノ針

ヨリ右手ノ針ニ轉移セシメ了ルノミ而シテ

其編製ノ列全ノ成就スルニ至リテ後已ムベ

シ

圖三百三第



編織ノ飾ノコト或ハ之ヲ呼テ縫合セトモ云

フ其法裏面ニ於テ做サズシテ表面ニ於テ針歩ヲ拾ヒ做スナ
リ此編飾ノ針歩ヲ做スノ前ニ當リテ絲ヲ針ノ前面ニ持來タ
シ之ヲ造ルニ及ヒテ即テ復背後ニ超過セシムルヲ要ス

「デグリーシング」即テ減損ト稱スルモノハ其方法二種アリ一
種ハ即テ二個ノ針歩ヲシテ一個ト做サシメ以テ編製スルナ
リ他ノ一種ハ更ニ編ムコトヲ用井ズシテ唯針歩ヲ取り編目

四百第



ヲ脱過シテ通常ノ方法ヲ以テ針歩ヲ編ミ又
其最初做ニシタル「スナツナ」即テ編目ヲシテ
第二ノ目ノ上ニ脱離セシムルナリ

又一回ニ二個ノ編目ヲ減損セシムルコトハ
即テ一個ノ「スナツナ」ヲ離シテ二個ノ「スナツ

ナ」ヲ一處ニ編ミ而シテ後其一個ノ編マザル「スナツナ」ヲシテ
二個ノ一處ニ編ミタルモノヲ踰エテ離サシムベシ

「インクラシング」即テ増益ト稱スルモノヲ做サンニハ一回針
ノ圍リニ絲ヲ掛ケシメ而シテ通常ノ編目ヲ做スガ如ク其次
列ニ於テ之ヲ編ムベシ

又筒形ノモノヲ編製スルニハ四本ノ針ヲ用井其第一ノ針ニ
掛ケルニ二十二個ノ針歩ヲ以テシ其第一針ヲ以テ做シタル
最後ノ針歩ノ中ニ刺入スルニ第二針ヲ以テシ之ニ掛クルニ
其數二十個ノ針歩ヲ以テスベシ第三針ヲ運用スルモ同前ノ
方法ニ據ルベシ其針歩ノ如キハ唯十八個ノミヲ以テシ第一
針ト最後ノ第四針トヲ以テ兩端ニ在ル所ノ針歩ヲ編ムベシ

斯ノ如クスルニ由テ各針上ニ其二十個ノ針歩ヲ做ス是ニ於
 テ十分ノ環珍ヲ完成スルニ至ルナリ
 「カスナング、オツフ」ト稱スルモノハ二個ノ針
 歩ヲ編ミ左手ニ持ツ所ノ針ヲ以テ第一ノ針
 歩ヲシテ第二ノ針歩ヲ踰エシメ以テ之ヲ離
 シ遂ニ排列ノ極ニ至リテ後止ムベシ
 「ピツキング、アツプ」即チ撮摘ト稱スルモノハ二個ノ針歩ノ間
 ニ絲ヲ取り舉ケテ之ヲ一個ノ針歩ト做シテ編メルニ由リテ
 造成シタルモノトス



葉數	四八	五三	六二	同	六七	七五	九三	九六	一〇四	一二二
行數	一一	八	一	二	九	六	七	二	八	二
誤	ヘザレ	穿ルヲ	大集ナ	者ナシ	要堡	内部ハ	老夫婦婦	舞ス	物ハ一	此真類
正	フ勿レ	穿ツヲ	大集ス	者ナシ	要望	内部ニ	老夫老婦	廻ス	物一	此ノ類

同	一五九	跳ヒ	講讀
同	一六二	鐸子ノ	講讀
一八	一八	祝詞	祝詞
一八六	一八六	方ヒシ	書ヒシ
一八七	一八七	祝詞	祝詞
一八九	一八九	做フ	做ス
一九七	一九七	其恩惟	其思惟
二四三	二四三	而シ	而メ
二五八	二五八	女ノ縦ヒ馬車セズ	女ノ馬車ニ乗ラス
同	同	諸門チシテ躍	諸門ヲ躍

二六一	五	其穿ク	其穿ツ
二六四	六	其縁故	其縁故
同	一〇	其縁	其縁
二七六	五	河北リ	河北ヨリ
二七九	六	厭ヲ	厭フ
二九〇	八	余ヲ	余ハ
二九六	八	戀恭	戀慕
二〇九々	一一	而シテ	而シテ
三〇五三	三	典起	典起
三〇五々	八	典味	典起
三〇六〇	六	猫ノ	猫ヲ

三〇九一
四〇〇〇
四〇一七
四〇二三
四〇三八
四〇四九
四〇五八
四〇九二
四〇九八
五〇〇五
同

二
八
八
一
九
七
一
一
八
一
五
一〇

轉側
起エ
感謝
仁恩
余ニ
赤レリ
威力
貧農夫
誠ニ
賢要
藝服

轉側
越エ
感謝
仁惠
余ハ
赤ナリ
威力
貧農夫
誠ニ
緊要
藝服

五〇一六
同
五〇三八
五〇四々
同
五〇四九
五〇六四
五〇七九
五〇九六

一
六
一
五
九
五
七
六
二

方ナ
綴蜜
黒色ナル由
ニ容
裝飾
注意シ
特ツ
繻フ
形

方ナ
綴密
黒色ナルニ由
ニ形容
裝飾
注意シ
持ツ
縫フ
形

童女筌卷之一畢

村山德淳
小林病翁
校

紅印

35.

1370

